

Working Paper Series

Working Paper #22-01

河井重蔵・弥八研究会編

河井弥八日記 一九四二年

Graduate School of International Relations

University of Shizuoka

52-1, Yada, Suruga-ku Shizuoka, JAPAN 422-8526

<http://www.u-shizuoka-ken.ac.jp>

【史料復刻】

『河井弥八日記』一九四二年

森山優（編）河井重蔵・弥八研究会（校訂）

目次

解題

iii

河井弥八日記 一九四二年 本文

1

河井弥八手帳 一九四二年 抜粹

1

河井弥八日記 一九四二年 人名録

1

【史料復刻】

『河井弥八日記』一九四二年

森山優（編）河井重蔵・弥八研究会（校訂）

解題（改訂版）

今回復刻したのは、『河井弥八日記』の一九四二（昭和一七）年分である。当時、河井は貴族院議員（勅選）になって四年、前年一二月八日に日本は米英との戦争を始め、戦捷の報せに国内は湧き立っていた。

・日米戦争と河井弥八

緒戦の勝利を寿いでいたのは、河井も同様である。年頭に「戦捷ノ新年ヲ迎へ、旭光赫燿タリ。二千六百年積徳ノ一切ヲ挙ケテ君国ニ報センコトヲ命スルカ如シ」と記している。シンガポール占領祝賀会が全国一斉に開かれた二月一七日、貴族院では陸海軍に対する感謝決議が全会一致で可決された。が、河井は「予、旅中ニ在リ、不幸之ニ列スル能ハス」と悔しさをにじませている。河井は当時すでに逼迫しつつあった食糧事情の改善のため、甘藷増産に向けて日本中を啓蒙してまわることを、その後の至上命題としたのである。ただ、必ずしも全ての官公庁が河井の活動に協力的だったわけではないことが窺えて、興味深い。この問題については、前田寿紀「戦中・戦後における『大日本報徳社』の甘藷増産活動に関する研究(1)(2)」『淑徳大学社会学部研究紀要』37、38、40、二〇〇三〜二〇〇六に詳しいので参照されたい。

・翼賛選挙と河井弥八

一九四二年は、選挙干渉が横行した翼賛選挙（第二一回衆議院議員総選挙）の年として、憲政史に記憶される。前回の総選挙は日中戦争が全面化する前の一九三七年四月三〇日に実施されており、既に一年前の一九四一年に議員の任期は切れていた。しかし、第二次近衛内閣は国民の不満が噴出することをおそれ、特別法で議員の任期を一年延長したのである。東條英機首相は当初五ヶ月と見積もっていた南方攻略作戦が予想以上の進展をみせたため、シンガポール陥落直後の二月一六日、自ら兼任していた内務大臣を辞任して湯沢三千男内務次官を昇格させた。専任の内相を置いて翼賛選挙に備えたのである。政府は一八日の閣議で所信を表明するとともに、湯沢内相が「大東亜戦争遂遂翼賛選挙貫徹運動」の開始を宣言した。運動を統括するのは大政翼賛会と翼賛壮年団とされたが、問題は大政翼賛会が公事結社である以上、選挙にタッチできないことである。このため、好ましい候補者を推薦するために、翼賛政治体制協議会（以下、翼協と略す）という組織を結成して、一線を画したのである。会長には阿部信行元首相が選ばれた。このようなやり方に衆議院の非翼賛議員（鳩山一郎を中心とする同交会）は強く反発し、政府の意見を糾す質問書を提出した。そもそも、翼協の会長が阿部（陸軍大将）、委員（三三名）に翼賛会副総裁兼翼賛壮年団長の安藤紀三郎（陸軍中将）、元閣僚や貴族院議員（二九名）らが並んでおり、彼らが推薦候補者を選ぶわけだから、

清新強力な議会を確立する公正な選挙ができる筈もない。同交
会は二院制と民選という憲法の精神をゆるがすものと激しく批
判した。東條は彼らの動向を警戒し、解散を視野に入れた対応
すら考えていたのである（伊藤隆他編『東條内閣総理大臣機密
記録』東大出版会、一九九〇）。貴族院では、三月二〇日に調査
会第三部会で内務省による選挙関係の説明が実施された（次官、
地方局長、警保局長があたった）が、河井によれば「大体ニ於
テ不満足ノ説明」だった。東條は三月二五日の本会議（最終日）
に回答書を提出し、通り一遍の演説をぶつた後は、議場での質
疑を省略して切り抜ける（もちろん議員に動議を提出させて採
決させる合法的手段だが）。同じ日に開催された貴族院本会議で
は大河内輝耕が質問に立ち、河井も注目していた。さすがに大
河内の質問は物腰軟らかだったが、首相に①推薦が偏ることへ
の危惧②現状は官選に近く憲法と抵触する可能性③選挙干渉を
仄聞④貴族院議員が多数翼協に入っていることの問題性等を指
摘し、内相に対しても言論の自由を制限できるのは治安警察法
のみと釘を刺していた。これに対し、東條は翼協は別組織であ
り、誰を推薦するか政府は関知しないという建前論を繰り返す
のみだった。

結局、翼協の地方支部が候補者を推薦し、支部長が中央へ名
簿を提出することになったが、全国的に選定作業は難航した。
静岡の例を見てみよう。最終的に推薦候補は定数と一致したが、
一〜三区全てで推薦を受けなかった前職・元職候補が各一名当

選する結果となった。非推薦候補と言っても当選したのは東方
会のようなイデオロギー対立ではなく、旧政友会二名、旧民政
党一名、つまり従来の政党政治家であった。ちなみに東方会は
全選挙区に候補者をたてたものの、当落線をかなり下回ってい
る。新人は一區（2/5）、二區（3/4）、（2/4）と全県で
は過半数を占めたが、一區の保守性が際立つ結果となった（そ
れでも、前職の平野光雄が推薦をうけたにもかかわらず、落選
している）。

推薦候補の絞り込みは最初からうまく行つたわけではない。
一區は定数五に対し、当初は六名が推薦された。報徳社関係者
で立候補を表明していた庵原村の片平七太郎が四月七日に推薦
候補者は争うべきではないと辞退したため、定数に収まった経
緯があった。河井は前々日の五日に「立候補セシ社員ニ対スル
応援ノ程度方法如何等ニ付、佐々井、鷺山諸氏ト相談ス。庵原
村長片平七太郎氏推薦セラレテ候補者トナリタルヲ以テ、片平
信通翁特ニ来社セラレタリ」と記している。全体的に選挙関係
の記述は少ないが、「森口淳三氏ヨリ立候補ニ付来信アリ、返電
ス。柴田氏〔善三郎。貴族院議員（同成会）培本塾理事長〕へ
其書状ヲ送ル」（三月九日）とあり、その後も森口の選挙戦の情
勢を気にかけていたり、彼への「投票依頼状葉書三十四枚ヲ認
ム」と具体的に支援している記述がある。元外務官僚の八木元
八の立候補については「日本倶楽部ニ至リ八木元八、杉本良岡
氏ニ面会ス。八木氏立候補ニ付相談アリ」（四月一四日）とある

ため、報徳社が支援する候補者について関与していたことは確実である。また、選挙全体については、三月三〇日には静岡県知事、中村総務部長と「選挙粛正ノ件ヲ相談」し、事務担当者とも面会している。おそらくこの時の県の依頼に従って四月三日に「丸山鶴吉氏〔貴族院議員、同成会〕ニ電話ニテ静岡県ニ講演会ヲ開クコトヲ依頼セシニ、推薦ノ実況ニ鑑ミ講演ノ意思ナシト答フ。同感ナリ」と、いささか醒めた感想を漏らし、七日には中村総務部長に丸山氏等三名の貴族院議員の来県が困難な状況を伝えている。この日、河井には高林兵衛から「県下ニ於ケル代議士候補者推薦会ノ乱脈ト、対中央関係ノ不正調ナル状況」の情報が入っている。欄外に先述した片平七太郎の立候補辞退に関する記述があるため、それを指しているものと思われる（片平の辞退の責任をとって庵原郡の推進委員は総辞職し、県の推薦委員も辞職が見込まれる事態となっていた。『朝日新聞静岡版』四月九日付は、吉川翼賛会庵原郡支部長、常務委員一〇名と翼壯郡支部副団長、総務六名の辞職を報じている）。選挙結果には「各種ノ感想湧起シテ止マス」（五月二日）と感慨を抱き、当選・落選者と関係者には祝状と同情の書状を発している。これらの宛先から河井の人脈を窺知することができる。

・翼賛議会と河井弥八

五月末に開かれた第八〇回帝国議会では、貴族院で選挙干渉について質疑を求める動きがあった。交友倶楽部の古島一雄の提案に同成会は全会一致で賛成したものの、貴族院での意見は

まとまらず、沙汰やみとなっている。五月二七日開院式、二九日開院式という「昭和期の戦時議会」で唯一まったく無風におわった（古川隆久『戦時議会』）と評されているが、貴族院が完全に沈黙していたわけではない。貴族院の予算委員会では澤田牛麿議員の質問に対する東條首相の態度に、河井は「遺憾ナリ」と記している。議事録では、海軍の査問会の存在を確かめ、陸軍大臣にも同様のものはあるかと質したのみとされており、東條が淡々と懲罰、行政措置、軍法会議等があると答えたことになっている。河井が何を遺憾としたか窺い知ることが難しいが、同日の高木惣吉海軍大臣（海軍省調査課長）の日記には「橋本辰二郎ノ陳情長質問、澤田牛麿ノ腹一物質問、大河内輝耕ノ愚問、何レモ貴院ノ存在価値ヲ表明ス」と批判的に記述されており、陸海軍を刺激したことが察せられる。澤田の質問の状況は、内務官僚として静岡県知事を勤めたこともある貴族院議員、松本学が記録していたので、少々長いが引用しよう。

澤田牛麿の質問は、海軍大臣に査問会を質し、陸軍大臣に海軍の如き査問会ありやと問ひ、最後に四月の事件（空襲のことならん）と五月の事件（大洋丸が敵潜水艦に激「撃」沈された事件）の責任者取り調べの査問の状況は如何と質問してゐると、其途中星野書記官長が東條陸軍大臣のところに行つて耳打ちをしたと思ふと、直ぐ立上がつて委員長を呼んで曰く、「只今戦時中左様な質問はおひかへ願いたい」とえらい剣幕で昂奮した態度で言葉荒々しく云つた

東條の狭量さはかねてから指摘されているが、星野直樹にネジを巻かれての行為だったことがわかり、興味深い。もちろん澤田も「御答弁がないなら致し方がない。然し自分は議員たる職責上御尋してをるに過ぎない」と反論している。この議論の流れに、林博太郎予算委員長は議事録からの削除を提案して可決されたが、松本が「成程かような問題で、一国の総理大臣の興奮した答弁が速記録に残ることは、実に大日本帝国の恥辱なり」と云はねばならぬ」と記すほどの失態だった（尚友倶楽部・原口大輔・西山直志編『松本学日記（昭和十四年～二十二年）』芙蓉書房、二〇二二）。澤田と並んで高木から批判された橋本（造船問題）や大河内（食糧配給制度の不具合と町内会との関係）の議論も戦時体制の矛盾を指摘する適確な内容である。戦後の執筆活動で海軍の立場を弁護し「避戦派」的なイメージを形成するのに資した高木だが、この感想は彼の軍人としての限界を示しているとも言えよう。この問題は、稿を改めて論じたい。

・ 地方政治・行政・財界

翼賛選挙の他にも、河井の下にはさまざまな案件が持ちかけられている。例えば、お膝元の南郷村だが、八月末に掛川町への合併問題が浮上した。結局、合併は翌年に四月に実現することになるが、その契機は兵事行政だった。八月三〇日、南郷村の軍人会分会長石野弥三郎は掛川町会議員と同軍人会分会副会長を伴って河井を訪れ、「軍人会事務ノ多端ナルヲ陳へ、南郷村ヲ掛川町ニ合併スルノ要ヲ力説シ、進ンテ予ニ積極的行動ニ出

テニコトヲ求メ」た。河井は「考慮ヲ約」し、その日に開かれた東遠明朗会役員会の後、出席した小柳直吉（東遠明朗会）に石野の話を伝え、「同志ト協議スヘキヲ勸告」している。翌日、石野元治郎と「村将来ノコトニ付談話」し、九月一九日には訪れた小柳と「村治及農産増進ニ関シテ夜八時半マテ談話」、翌二〇日には小柳の案内で四人の村会議員と「村治ノ将来ニ付意見ヲ交換」している。その後の動向は不明だが、明朗会員を中心に議論を進めていることがわかる。

また、戦時体制の進展に伴う地方銀行の整理問題では、静岡三十五銀行（以下、三十五銀行とする）と遠州銀行の合併が成立した（八月二〇日調印）。一九三六年に大蔵省が普通銀行について一県一行という意向を表明して以来、全国的に合併が進展させられており、全国の銀行の数は三六年の五二二から四二年末の二三〇へ、静岡県下でも二四から一三へと減少したのである。三十五銀行と遠州銀行の合併に際して問題となったのは、三十五銀行が量的に圧倒していたことである（資本金で約一・五倍、行員数で一・六倍弱）。ただし、銀行としての経験の蓄積は遠州銀行の方が豊富であり（三十五銀行は五年超だが遠州銀行は二二年）、地元の顧客との関係を考えれば、合併の動機は薄かった。対等合併とはいえず、本店の位置（静岡市か浜松市か）、頭取ポスト、名称（遠州銀行は両行と無縁の名称を主張）の問題で協議は難航した。一月一九日、合併契約書がかわされるが、この間の経緯を静岡銀行編『静岡銀行史』一九六〇、は「新

銀行重役の問題はかなり議論的となり、合併の成否にまでも影響する懸念が濃厚であったが、結局大蔵当局の公平な裁量に一任ということであり、静岡三十五銀行側から十名、遠州銀行側から八名という比率だけを公表して具体的なものは創立総会まで極秘に附されることとなった。しかし頭取を静岡三十五銀行の中村頭取にするという諒解は暗黙のうちについておったであろうし、合併契約書中にも遠州銀行の主張は一つも充たされていなかった」と総括している。全て三十五銀行側が押し切った印象を受けるが、河井日記からは別の側面も知ることができる。

実は一八六八（慶応三）年生まれの中村は前年から健康問題を抱えており、周囲から経済界からの引退を勧告されている状況だった（河井は三月二日「一同ヨリ衷心回復ヲ熱禱シ居ルヲ以テ、経済界ヨリ引退セラレンコトヲ懇述ス」と記している）。河井重蔵・弥八研究会校訂『河井弥八日記 一九四一年』静岡県立大学大学院国際関係学研究科。中村の病は癒えて前年中には大蔵省とも接触していたものの、中村の健康は河井らの懸念材料だった（合併の話が具体化していた九月には浜松貯蓄銀行監査も務めていた高橋兵衛から「中村氏ノ将来ニ付深切ナル申出」があり、河井も同感として、翌日に中村と面会し「大ニ自愛ヲ乞」うと記している）。また十一月一日には尾崎元次郎（静岡市名誉市長）から「中村円一郎氏ノ健康保全ノ為相談シタシ」と相談を受け、六日に面会した尾崎から「三五、遠州両銀行合

併進行ニ伴ヒ、各種ノ困難続出ノ見込」と告げられた。中村に關する記述はここで途切れるが、河井は二月一日に河田烈（元蔵相）と面会して「合併後ノ首脳部組織方針ニ付意見ヲ述へ」て銀行局長の意見を聴取することを勧めている。河井はその経緯をすぐに三橋四郎次（貴族院議員、同成会）に書状で報せ、五日には「浮月楼ニテ尾崎市長及三橋」に報告している。『静岡銀行史』の言う「大蔵当局の公平な裁量」が、河井のルートだったかどうかは定かではないが、彼が影響力をもっていたことは推測できよう。

他にも日記の記述は多岐にわたるが、紙幅の関係からこの程度にとどめたい。『河井弥八日記』は歴史を振り返る上での宝庫そのものである。

河井重蔵・弥八研究会について

参考のため、河井重蔵・弥八研究会についての前回のワーキングペーパーの文章を一部加筆修正して掲載する。

二〇〇二年、掛川市は、河井家から旧河井邸と土地、土蔵等に納められていた河井重蔵と弥八関係の膨大な旧蔵史料を譲渡された。史料の全貌を把握して河井家に報告する必要が生じたため、掛川市教育委員会が二〇〇三年に開始したのが、新たに立ち上げられた河井家寄贈資料目録作成調査委員会による目録作成事業である。既に弥八の侍従次長時代の日記が、岩波書店から復刻されていた（一九九三〜一九九四年）。これらの史料の

価値については、今さら論じるレベルではないことが、当初から想定された。北原勤の呼びかけに応じた地域史研究者を中心に、掛川市教育長から委嘱された一〇名ほどの調査員が、主に夏・冬・春の休みの期間（高校教員を主要メンバーとしていたため）、旧河井邸での任にあたることになった。途中、中断時期はあったが、二〇〇七年まで事業は継続された。夏は冷房がなく締め切った部屋の中で、冬は隙間風に苛まれながらという悪条件の作業だったが、一部は埃まみれとなっていた膨大な史料群との格闘が、往事を偲びつつ続けられた。

現在、確認されているだけで、史料数は四万余点にのぼる。

河井重蔵と弥八の巨大な政治活動を窺わせる史料群である。まだ調査が完了していない段階だったが、北原勤が『近現代日本人物史料情報辞典3』（伊藤隆・季武嘉也編、吉川弘文館、二〇〇七）に、「河井重蔵・弥八」の項目を執筆したことで、河井家史料の存在が全国の研究者に広く知られることになる（甘藷増産については前出の前田論文が公刊されたのが二〇〇三～二〇〇六年であり、河井家の文書を使用した最も早い例である）。その後、諸事情により史料の閲覧が困難な状況が続いたが、旧河井邸が取り壊された跡に南郷地域生涯学習センターが建設され、敷地内に残る土蔵を改装した河井弥八記念館も二〇一二年に開館となった。史料は未だに一箇所には収められていないが、教育委員会に申請すれば、閲覧可能である。

河井重蔵・弥八研究会は、上記の事業で調査員を務めた者達

を中心として、若干のメンバーを加え、二〇一二年に発足した。二〇一二年三月の構成は、下記の通りである（調査員経験者は*を付した）。

北原勤*（元静岡県立高等学校教諭 地域史）

見城悌治（千葉大学大学院国際学術研究院・教授 日本史学、

日本近代思想史）

小池善之（元静岡県立高等学校教諭 日本近代思想史）

清水実*（元静岡県立高等学校教諭 地域史）

前山亮吉（静岡県立大学国際関係学部教授 政治学、日本政治

史）

森山優*（静岡県立大学国際関係学部教授 日本史学、日本近現

代史）

山本誠*（静岡県立藤枝西高等学校教諭 日本近世文学）

二〇一二年～一三年度には、静岡県立大学教員特別研究費「戦後政治と参議院 河井弥八文書を中心に」が採択され、史料調査と判読作業が開始された。調査の過程で、二〇〇七年までの史料調査では把握できなかった新史料も発見され、研究が深化しつつある。二〇一四年～二〇一七・二〇二一年度は静岡県立大学教員特別研究費「河井家文書と日本政治（河井重蔵・弥八を中心に）」として採択され、河井重蔵関係文書も加えて研究を進めている。日記復刻の成果は『河井弥八日記 河井弥八手帳 一九五二年』（二〇一四年八月、静岡県立大学大学院国際関係学

研究科ワーキングペーパー#14・1）、『河井弥八日記 一九

四〇年』(二〇一六年三月、静岡県立大学大学院国際関係学研究科ワーキングペーパー#16・1)、『河井弥八日記 一九四一年』(二〇一八年八月、静岡県立大学大学院国際関係学研究科ワーキングペーパー#18・1)として出版された。また、河井重藏宛の田中正造書簡は「田中正造の新発見資料(書簡と風刺画) 掛川市所蔵河井家文書調査より」(『静岡県近代史研究』三九、二〇一四年一〇月)に復刻し、特に後者は静岡のみならず正造の地元栃木県でも大きく報道されるなど、マスコミにも反響を得た。これは、北原・山李・見城・清水が復刻の中心となり、他のメンバーがこれを補完する形で完成させたものである。

二〇一八～二〇二〇年度は、科学研究費(基盤B)「近現代議会資料「河井弥八関係文書」の総合的研究」(代表者・小林和幸)の一端を担い、研究会活動と今回の復刻の作業を進めてきた。

また、河井弥八記念館での講演会(掛川市南郷地区区長会と河井文書研究会の共催)には講師を派遣して研究成果を講演してきた。参考までに現在までの報告者と題目を以下に示す。

第四回 見城悌治「河井重藏と田中正造の交流―田中正造書簡の内容を中心に」(二〇一五・三・一四)

第五回 清水実「浜松県地租改正と交換米問題、小笠地域の地価修正運動と河井重藏」(二〇一六・三・一二)

第六回 森山優「河井弥八と戦時体制―河井弥八日記一九四〇・一九四一年から」(二〇一七・三・一一)

第七回 北原勤「点描・河井重藏―河井重藏書状より」(二〇

一八・三・一〇)

第八回 山李誠「河井弥八の学生時代」(二〇一九・三・九)

第九回・第十回(コロナウイルス感染症蔓延により中止)

第十一回 北原勤「河井重藏の足尾鉍毒被災地視察記録」(二〇

二二・三・一二)翌年に延期)

今回、日記の底本として尚友倶楽部が筆耕したものを使用させていただいた。末尾ではあるが、記して謝意を表したい。また、日記とともに、手帳にも参考となる記述があったので、一部抜粋して本文に続いて収録してある。

解題は森山が執筆し、本文全体のチェックは清水・山李・北原・見城・小池・森山が、索引は清水・山李・見城・森山が作成し照合には北原氏も参加した。

※本研究は二〇一八～二〇二〇年度科学研究費(基盤B)「近現代議会資料「河井弥八関係文書」の総合的研究」(代表者・小林和幸 課題番号18H0175)及び二〇二二年度静岡県立大学教員特別研究費「河井家文書と日本政治(河井重藏・弥八を中心に)」の成果の一部である

河井弥八日記

一九四二年

凡例（書式について）

- 1 仮名遣いは原文のままとした。
- 2 句読点は適宜補った。日記の日付同一行の天候、健康などの句読点は、原文の通りとした。
- 3 旧字は基本的に常用漢字に置き換えるが、人名は表記のままとした（正字は正字、略字は略字）。
- 4 一行に二行書いている場合（註的な意味で）は ≪ ≫ で括った。
- 5 ママ カ 「ヨゴレ」「ニジミ」などは、ルビと同様に文字の横につけた。
- 6 本文中の空白は、文字数程度の幅のかっこをとり、「空白」とした。
- 7 「総裁」を「総オ」と書くなど、日記ゆえの簡略化については、分かりにくい場合は、文字の横にかっこ「」で正確な字を記載した。
- 8 アルファベット、算用数字は基本的に半角横書きとした。
- 9 抹消部分は、単なる書き間違いを除き、筆耕して抹消線を引いた。
- 10 欄外に記入されている場合は、その日付の最後に「以下欄外」として記入した。
- 11 日記は、日付が変わるごとに、空白一行を挿入した。
- 12 現在では差別的表現と受け取られる記述があるが、歴史的史料のため原文通り記載した。
- 13 プライベートな問題に関する記述については、一部復刻を見送った部分がある。

一月一日（木）快晴 頗寒

○戦捷ノ新年ヲ迎へ、旭光赫耀タリ。二千六百年積徳ノ一切ヲ挙ケテ君国ニ報センコトヲ命スルカ如シ。

早朝、丸山氏著甘藷栽培法ニ寄スヘキ序文ヲ加筆ス。

○全家頗健康ナリ。館林成也ノ生育特ニ顕著ナルヲ欣フ。

○八時、八幡神社ニ参拝ス。了テ町会役員ノ戦捷祈願式ニ列席ス。需ニ応シテ聖寿万歳ヲ三唱シ、各員ノ唱和ヲ得タリ。

○九時出發。長谷川直敏將軍ヲ請シテ同車、宮城ニ参入ス。十時十分拝賀ス。天機御機嫌愈々麗シク歛扑比ナシ。御車寄脇ニテ皇太后陛下ヘ奉賀ノ記帳ヲ為ス。

○徳川公爵家ヘ年賀ス。

○明治神宮前ニテ下車シ参拝ス。小田急ニ依リ下北沢ヨリ徒歩帰ル。

○瀬古保次氏、保井誠一郎氏、中村茂氏、田村角太郎氏、藤井宇多治郎氏、伊東卓治氏、松井秀五郎氏等来賀セラル。

○夕、館林三喜男来賀ス。

〔欄外〕

○馬來半島ノ要地クワンタン〔空目〕ハ昨日戦車ノ占領ニ歸シタル由、発表セラル。新嘉坡ヲ距ル二百七十キロト云フ。

○十二月八日布哇襲撃ノ写真、新聞紙上ニ発表セラル。○本年内使用セラルヘキ手帳ニ各種重要事項ヲ記入ス。

一月二日（金）曇 頗寒

○午前中家居。宣戦ノ詔書、第七十八回、第七十九回議會ニ賜リタル勅語ヲ筆写ス。

○午前中、野口明氏来訪ス。午後、岡本愛祐氏来訪セシモ面会セス。木村康一郎氏来訪ス。

○三時頃、山崎昇二郎ヲ訪問ス。帰途、館林三喜男ヲ訪フ。

○夕、重友帰京ス。大村芳次同道来泊ス。

一月三日（土）晴 頗寒

○十時、東京駅發急行列車ニテ帰村ノ途ニ就ク。静岡ニテ乗換ヘ三時掛川著。大村留吉ノ出迎ヲ受ケ帰宅ス。静岡迄鹿兒島県代議士津崎尚武氏ト同車シ、甘藷栽培法普及ニ付、尽力セラレンコトヲ依頼ス。

○大村芳次ヲ案内スル為、重友、興三同行ス。十時前、東京駅前ニテ別ル。

〔欄外〕

○昨二日午後三時マニラ占領ヲ了ストノ発表アリ。

一月四日(日)晴 頗寒

○朝、上張村社ニ参拝ス。

○九時、大日本報徳社新年会ニ出頭ス。会衆六百名許リ。祭式ノ後、佐々井副社長宣戦ノ詔書ヲ捧読シ、ソレヨリ社長代トシテ訓示ヲ行ヒ大東亜戦争ノ意義ヲ明ニス。佐々井氏ヨリ昼食トシテ寿司ヲ饗セラル。

午後ノ講演ニ於テ予ハ外交経過其他ヲ説明ス。寒氣骨ヲ刻ムカ如ク、背部強直疼痛ヲ始メタルヲ以テ、約一時間ニシテ結論ニ入り降壇ス。退席、外套ヲ用フ。

○神宮寺墓参ス。真如寺参詣。

○山崎健太郎氏ヲ年賀ス。氏不在ナリ。

○報徳社ニ於テ、丸山方作氏、森口淳三氏ニ対シ、明日来訪ヲ乞フノ電報ヲ發ス。

一月五日(月)晴 風強 頗寒

○丸山方作氏、八時五十五分著ニテ来訪ス。甘藷増産方法普及計画実施ニ付、(1)大日本報徳社講師ヲ委嘱スヘキ適任者選定ノ件、(2)甘藷栽培指導要綱起草ノ件、(3)理事会ヲ十二日開会ト決定ノ件ヲ相談ス。氏八十時五十分發西歸ス。

○藤田久蔵氏、石原民次郎氏九時半頃来訪ス。予ノ森口氏へ宛テ發シタル電報ニ依リ森口氏ノ代理トシテ来レ

ルナリ。依テ、来十二日開催ノ西遠明朗会發会式ヲ十日ニ繰上クルコト、同挙式方法其他ニ付打合せヲ為ス。両氏三時三十分發ニテ歸ル。

○袴田銀蔵氏、小柳直吉氏来訪ス。東遠明朗会大会ニ関シ相談ス。又、丸山氏、藤田氏、石原氏トモ打合せヲ為ス。

○森口淳三氏二時過来訪。西遠明朗会其他ニ付打合せヲ為ス。四時十六分發氣賀へ歸ル。

○午後、山崎健太郎氏来賀ス。本日逗子へ還ルト云フ。

○夕、村明朗会員石野元治郎、松井六郎、小柳直吉三氏来訪ス。

一月六日(火)晴 嚴寒

○甘藷行。掛川七・二二一一・四二名古屋二・二五〇六・四八大阪。芦屋泊。

愛知県庁ニ相川知事ヲ訪ヒ甘藷増産方法普及ニ付配慮ヲ乞フ。安積經濟部長其他ニ紹介セラル。同県ニテハ既ニ組織成リ、来十七日頃ヨリ官民一体ノ運動開始ノ手筈ナリト云フ。知事ヨリ觀光ホテルニ招カレ午餐ヲ饗セラル。山田内務部長(警察部長)、安積經濟部長モ同席ス。

ホテルニテハ知事ノ自動車故障ヲ生シタルヲ以テ、下出民義氏ノ車ニ乗り停車場ニ至ル。

○七時半頃、芦屋ニ著。昇三郎ノミ在リ（高子出京中）
世話ニナル。

○県忍氏ノ逝去ヲ聞ク。驚愕ス。本日名古屋ニテ同氏ニ
モ面会ヲ欲シタルモ、現ニ出京中ナリト聞キシヲ以テ
ナリ。

○昇三郎ノ配慮ニテ片岡直方氏往訪ノ打合せ成ル。

一月七日（水）朝小雨 夜晴 寒

○十時前頃、甲風園ニ三島方ヲ訪フ。直子ニ面会ス。三
十分ニシテ去ル。

○十時四十分頃、住友本社ニ昇三郎ヲ訪フ。同人ノ案内
ニテ十一時、大阪瓦斯会社ニ片岡直方氏ヲ訪ヒ、甘藷
栽培法実施ニ付希望ヲ述フ。直ニ快諾ヲ得タリ。

昇三郎ト共ニ午餐ヲ饗セラル。勝田永吉氏ト同席ス。

○堺市七条通三ノ四ニ久次米邦蔵氏ヲ訪フ。(1)馬鈴薯栽
培法指導者ヲ索メシニ、ナシ。(2)氏ノ著書ノ大量印刷
頒布ヲ日本甘藷馬鈴薯株式会社ニ託セラレンコトヲ勸
ム。承諾アリ。

○三時頃住友本店ニ還リ、昇三郎ト共ニ中山寺ニ片岡氏
ノ農場ヲ訪フ。管理者ノ案内ニテ各種施設ヲ視ル。甚
我意ヲ得タリ。予ハ甘藷栽培法ノ概略ヲ説明シ、且久

次米氏ヲ紹介ス。七時頃芦屋ニ還ル。

○三島甫来訪シ在リ、晚餐ヲ饗セラル。八時頃直子モ来
訪ス。九時頃兩人西宮へ還ル。

○高子九時過東京ヨリ帰来ル。

一月八日（木）晴 寒

○第一回大詔奉戴日ナリ。

○八時、芦屋昇三郎方ヲ辞ス。大阪駅迄昇三郎ニ送ラル。
八時四十七分大阪発、九時四十六分大津著。直ニ県庁
ニ知事近藤壤太郎氏ヲ訪問ス。甘藷増産方法即時実施
ニ付希望ヲ述フ。知事ハ経済部長桐谷勝三郎氏、農政
課長岐部光久氏、農事試験場長中村英夫氏、試験場技
手門野一雄氏等ヲ知事室ニ召集シ予ノ説明ヲ聴キ、了
テ即時実行ヲ命セラル。尚、岐部課長ヨリ本月下旬磯
部幸一郎氏ヲ招ク由ヲ告ケラル。県庁食堂ニテ温飴ヲ
饗セラル。

○土木課長技師三宅秀太氏ヨリ県内荒廢地ノ状況及砂防
事業ノ説明ヲ聴ク。

○大津駅ヨリ京都ニ返リ、同所二時九分發急行列車ニ乗
リ浜松ニテ乗換へ、七時三十五分掛川著ニテ帰宅ス。

○大村芳次入営ノ為明日出發ニ付、見送りノ為帰宅セシ
ナリ。大村親戚ノ者多数来泊、送別会ヲ催ス。

一月九日(金) 晴 頗寒

○朝、原田村長ヲ訪フ。不在ナリ。夫人ニ面会シテ年頭ノ礼ヲ述へ、令息喜之助氏ノ凱旋ヲ祝ス。

○大村芳次十一時半出發、村社ニ至リ村長以下有志ノ歡送ヲ受ケ、旧郡役所ニ至リ一時五十分發臨時列車ニテ静岡へ赴ク。明日入営ノ予定ナリ。

神社マテ同行シ、ソレヨリ村境ニテ別ル。停車場ニテハ遂ニ面会ヲ得ス。汽車進行開始ノ時、神代地空地ニテ送ル。

○大村ノ親戚本日モ多数滯泊ス。

○午後、報徳社ニ出頭シ、新年常会及社長会ニ於ケル行動ニ関シ必要ナル注意ヲ求ム。又、志太出張所所在箇所及乗物等ニ付問合ス。

〔欄外〕

○興三八武蔵高等学校内寄宿舎ニ移転ス。

一月十日(土) 快晴 嚴寒

○十時、西遠明朗会發会式ヲ氣賀町国民学校講堂ニテ行ハレタルニ付、東遠明朗会々長トシテ出席ス。八時二十九分發ニテ浜松ニ至リ、輕便鉄道ニテ十時過氣賀著。二十分頃出頭ス。袴田、小柳、松浦清諸氏同行ス。農

務課技手平谷竹一氏、技師兼子常一郎氏等モ特ニ出席ス。

十時半開式。設立經過報告、会則決定、役員決定等アリ。來賓祝辭アリ、予モ祝辭ト共ニ希望ヲ陳述ス。

午後ハ丸山氏ノ講演アリ、予モ亦約三十分ニ亘リテ講話ス。ソレヨリ各自ノ体験談アリ。甚盛会ニシテ会衆三百余ナリ。

○丸山氏ト明後十二日掛川報徳社ニ於ケル全国甘藷栽培運動実施打合会ノ用意ニ付協議ス。

○氣賀發四時四十三分ニテ帰ル。掛川ニテ山本福吉氏ノ令息栄枝氏静岡ヨリ來着待居リ、山本氏ト共ニ駅前茶屋ニテ面会ス。氏ハ農村ノ為ニ稻薄蒔一本植ヲ主張シ、シナリオヲ草シ予ニ託スルニ大家ノ檢閲ヲ以テス。兎二角之ヲ諾ス。

〔欄外〕

○西遠明朗会ニ対シ過日山崎昇二郎ヨリ贈ラレタル烏柏ノ種子ヲ分与ス。

○水谷熊吉氏ニ対シ久次米邦藏氏ヨリ贈ラレタル馬鈴薯種子二箇ヲ呈ス。

○重友、夜八時四十二分掛川著ニテ帰村ス。

○大村芳次、今朝中部第三部隊ニ入営ス。出口隊ニ属ス。○大森健一郎來訪ス。玉川学園ヲ見ル為來レリト云フ。

一泊ス。

一月十一日(日)晴 寒強シ

○見付報徳館新年常会及社長会アリ、出席ス。掛川発八時廿九分ニテ赴ク。九時過磯部英一氏ヲ年賀シ、昨年ノ厚配ヲ謝シ、十時報徳館ニ出頭ス。

社長ノ訓示ヲ敷衍シ、又予ノ意見ヲ述フ。主トシテ甘藷増産即時実施ヲ強調ス。二時半散会ス。

○バスニテ中泉ニ至リ、中津川長治氏ヲ訪フ。氏及母堂ニ面会ス。ソレヨリ神谷文平氏ヲ訪フ。一同無事ナリ。五時五十分中泉発ニテ帰宅ス。

○家代山田まさ来訪セシモ、不在ニテ面会セス。ます枝ヨリ口上ノ取次ヲ聴ク。甚不都合ナリ。

○重友ハ今朝、石間尚方ヲ往訪ス。然ルニ信夫凱旋帰宅セシ由ニテ、一同ト共ニ静岡聯隊ニ至リ面会ヲ遂ク。

〔欄外〕

○興三帰来ル。健一郎来京セシ為ナリ。

一月十二日(月)曇 寒

○九時報徳社ニ出頭ス。丸山方作氏ノ来会ヲ乞ヒ、鷺山、田辺、小野氏等ト共ニ甘藷栽培法普及ノ為、農事講師十九名任命ノコトヲ決ス。ソレヨリ各講師ノ分担府県

別決定。講師ノ為ニスル特別講習会打合会ノ期日決定、旅費手当給与制、主催府県費用負担制、携帯スヘキ文書、図画、写真等ノ選定及之カ調整^{〔製〕}方決定等ヲ為ス。尚、右ニ基キ即時発動ノ準備ニ着手ス。

○鷺山理事ハ明日御殿場ノ常会ニ出席ノ予定ニシテ、感冒ヲ顧ミス出発セラレントスルヲ以テ、強ヒテ之ヲ断念セシメ、其代リトシテ戸塚氏ノ出張ヲ乞フ。

○金谷町山本栄枝氏報徳社ニ来訪シ、農村シナリオ原稿ヲ渡サル。兎ニ角之ヲ預ルコトヲ約ス。原案ハ小包郵便ニテ直ニ東京宅ヘ送ル。

○村明朗会ニ対シ大村留吉ヨリ今後常会ノ会場ヲ断ルトノ申出アリシヲ以テ、夕刻石野元治郎、小柳直吉、松井六郎三氏来訪。同人ノ了解ヲ求メントセシモ、姑ク予ニ一任スヘキヲ勸メ帰ラシム。

〔欄外〕

○静岡農事試験場技師村上博靖氏来訪ス。松井六郎氏栽培ノ稻調査ノ為ナリ。予ハ松井氏ト共ニ西遠明朗会発会式ニ臨ミシヲ以テ不在ナリ。

○矢田部昌子来泊ス。

一月十三日(火)晴 風強ク寒

○報徳社志太出張所管内新年常会及社長会ニ出席ス。掛

川発八時三十五分、藤枝ヨリ徒歩ニテ高洲村栄昌寺ナル会場ニ赴ク。所長紅林玲助氏以下三十七、八名出席ス。儀礼ノ後、社長ノ告辞及講演ヲ行フ。食糧増産ノ必要ヲ述ヘ精神的及生産的ノ大積極的報徳ヲ勸説ス。又、駿河明朗会ノ即時結成ヲ強調ス。二時十分講了。散会后、国民車ヲ供セラレテ藤枝駅ニ至ル。

○東行列車待合中、藤相社事務所ニ山田平四郎氏ヲ訪フ。同家ノコト及中村円一郎氏ノ近状ヲ問フ。

○三時藤枝發ニテ静岡ニ至リ県学務部ニ出頭ス。伊能部長不在ナリシモ、河合囑託、小山正氏及飯田氏ト面談ス。偶々視学官有坂氏モ来リ、中等教育界ノ刷新意見ヲ出ス。又、培本塾ニ対シテ改革意見アリ。之ニ対シ予ハ所信ヲ直言ス。

○小濱八弥氏ヲ訪ヒ、同氏知事在任中育英会、報徳社、培本塾、久連国民高等学校等ニ対スル尽力ニ対シ厚ク感謝ス。

掛川著六時二十八分ニテ帰宅ス。

〔欄外〕

○山田元治氏三週忌ニ付重友ヲ遣ハシテ訪問セシム。

一月十四日(水)晴 風強 寒冷

○朝、報徳社ニ出頭シ、(1)農事講師派遣ニ付其内容ヲ相

談ス。(2)丸山氏著書完成ノ時ニ付溝口正氏ト相談ス。同氏ヨリ用紙ノ配給申請ニ付相談ヲ受ク。(3)袴田、小野両氏ト来二十五日ニ開会ノ東遠明朗会大会ノ相談ヲ為ス。

○十一時五十七分發ニテ藤枝ニ至リ、藤相線ニテ神戸村下車。中村円一郎氏ヲ訪問ス。約二時間許リ会谈ス。大ニ健康ヲ回復セラル。再ヒ藤相ニテ藤枝ニ出テ、四時五十五分發五時三十七分掛川著帰宅ス。

○午前中、石間たみ、信夫ヲ同伴シテ来訪ス。信夫ハ午後名古屋ニ向ヒ、神谷夫婦ヲ訪フト云フ。民子居残り一泊ス。

○七時半頃、黒田節三氏来訪ス。菊川改修記念碑建立ニ付、男爵山本達雄氏ニ題字揮毫依頼ニ付相談アリ。又、山崎本家ノ為尽瘁セラレタル実話ヲ聴ク。感スヘキナリ。

○七時ヨリ村明朗会常会アリ、廿名許リ集会ス。其中ニハ西川、亀井両氏モ在リ、十時頃散会ス。明朗会費トシテ金十円ヲ寄附ス。

〔欄外〕

○報徳社ニ対シ善種金十円ヲ納入ス。

○重友ハ午前中字長久院山ノ平野忠五郎氏所有地トノ境

界ヲ確定ス。之ニテ侵伐問題ノ実地的解決ニ入レルナリ。

○矢田部昌子日光へ帰ル。

一月十五日(木)晴 厳寒

○六時起床、帰京ノ用意ヲ為ス。当座必要品ノミヲ携帯ニ決シ、其他ハ重友帰京ノ時ニ託ス。

○七時四十分發ニテ帰京ス。九時七分清水著、九時三十分發伊佐布行乗合自動車ニテ庵原 村報徳社(駿河東報徳社)ニ出頭ス。十時半頃、同報徳社新年常会及社長会合併会開会ス。主事西ヶ谷正巳氏ノ司会ニテ宣戦ノ大詔ヲ奉読シ、了テ予ニ演説ヲ求ム。予ハ社長訓示ヲ朗読シ之ヲ敷衍シテ十二時過休憩ス。昼食後一時再會、更ニ講演ヲ続ケ、積極的報徳ノ即時実践ヲ強張シ二時十分終了。直ニ散会ス。

○徒歩ニテ清水駅ニ至ル。途中マテ高部村柏尾報徳社長神戸保氏ニ案内セラル。又、駅ニハ飯田村高橋報徳社長吉川元良氏ニ世話セラル。三時四十七分吉川氏ト別レ乗車帰東。九時前帰宅ス。

○石間たみヨリ重友ノ祝儀トシテ金五十円ヲ贈ラル。

一月十六日(金)晴 厳寒

○昨夜熟眠ス。但シ終日微頭痛アリ、聴覚鋭敏ナリ。

○柴田善三郎氏ト電話ス。(1)角替ヨリ申出テタル大竹氏令弟トノ縁談、不成立ノ報告アリ。(2)縣敏氏逝去前ノ狀況ヲ聴ク。(3)培本塾へ肺結核兵士ノ収容申入レアリシヤヲ問フ。之ハ久連国民学校長大谷英一氏ヨリ同様ノ報告アリシニ由ル。

○不在中ノ用件ヲ処理ス。佐藤助九郎、大谷英一両氏へ返書ヲ發ス。

○小原直氏ヨリ電話ニテ、来十九日議長ヨリ各派交渉委員ヲ招カレシ由ニテ、末広会ト両立シ難キ由通知アリ。依テ岡喜七郎氏ト相談ノ上、二十八日ニ延期スルニ決シ、直ニ通知状ヲ發ス。正午前發送スミ。

○東京営林局属菊地清七氏ヨリ、丸山方作氏招聘決定ノ報告アリ。又、丸山氏ニ対スル謝礼ノ程度ヲ問ハル。

○二時、中央林業協力会事務所ニ至リ、漆山理事ニ面会シ事務進行状況ヲ問ヒ、明日ノ理事会ニ付相談ス。

○鈴木英雄氏、赤木正雄氏、松山高四郎氏、井上健彦氏ヲ訪フ。不在ナリ。

○松村知事ヲ府庁ニ訪フ。榮転ヲ祝シ甘藷増産ニ助力ヲ乞フ。

〔欄外〕

○日本甘藷馬鈴薯会社往訪ノ帰途、日本橋ニテ関屋貞三

郎氏ニ面会ス。氏ト共ニ白木屋ニ南洋展ヲ見ル。紅茶ヲ饗セラル。

○井上匡四郎子其他ヨリ金曜会結成ニ付、入会ヲ勸メラル。直ニ之ヲ承諾ス。

一月十七日(土) 晴 嚴寒

○朝、井上健彦、岸良一兩氏其他諸氏ニ電話シ、打合せヲ為ス。岸氏ハ出張中ノ由ナルヲ以テ坂田英一氏ト電話ス。

○九時半頃、植村澄三郎氏未亡人ヲ訪問ス。故人ノ一週年日ニ当ルヲ以テ懷旧談ヲナス。

○貴族院調査部会ニ出席ス。

○正午、丸ノ内常盤家ナル中央林業協力会理事会ニ出席ス。評議員ノ選任、大東亜森林資源対策研究確立組織ノ協議、全国的大造林計画実施案ヲ議決ス。

○三時半、産業組合中央金庫ニテ開催ノ南方農林水産協議会設置ニ関スル件協議会ニ出席ス。中央林業協力会ヨリハ後藤会長、漆山常務理事出席ス。之ハ中央農業協力会、中林協及南方水産協議会ノ提携団体ナリ。趣意書及規約案ヲ決定シ、綱要ノ決定ハ幹事協議ノ上決定スルニ決ス。

○興三、夜十時帰宅ス。

一月十八日(日) 晴 寒冷

○朝、津崎尚武氏ニ電話ヲ以テ、鹿児島県へ甘藷増産指導者派遣ノコトヲ打合ハス。

○十時頃、井上健彦氏ヲ往訪。甘藷栽培指導員派遣計画ノ説明、久次米氏ノ馬鈴薯栽培法普及方及同氏著書買入ノ依頼等ヲ為ス。

○十一時過、三善信房氏往訪。熊本県へ甘藷栽培指導者派遣ノ件、農政研究会ノ代議士諸氏ト会見ノ件等ヲ依頼ス。

○小坂順造氏ヲ訪フ。不在ナリ。夫人ニ面会シテ見舞フ。頗元氣ナリト云フ。

○山崎はま子来訪。赴、日本電気会社へ入社ニ付保証人トナル。

○三時半、塚本清治氏ヲ往訪シ、特別委員ノ割当ヲ決定ス。夜、其結果ヲ同成会書記三浦安藏氏へ通知シ、事務局へノ届出及各委員へ報告ノコトヲ依頼ス。

○早朝、赤木正雄氏来訪ス。苺ヲ贈ラル。

○夕、山崎昇二郎ヲ往訪ス。不在ナリ。克子ノ案内ニテ坂田英一氏ヲ訪ヒ、帰途再訪ス。

○坂田英一氏ヲ訪ヒ、報徳社ニテ講師派遣ノ内容ヲ報告シ、農林省援助ノ程度ヲ問フ。尚、帝国農会、農業報

国聯盟、農政研究会ノ協力ヲ得ルニ付相談ス。

〔欄外〕

○館林ハ相撲見物ニ行ク。帰途一也ヲ送りテ来ル。

○午後、山崎昇二郎、赴ト共ニ来訪ス。

一月十九日(月)晴 寒冷

○朝、石黒忠篤、田中長茂両氏ト甘藷講師派遣ノコトヲ電話ス。

○十時、貴族院調査部第二部会ニ出席ス。拓務省文書課

長川本邦雄氏ヨリ南方資源ノ状況ニ関スル説明ヲ聴ク。

○十二時半、農業報國聯盟事務所ニ田中長茂氏ヲ訪問ス。

不在ナリ。同所ニテ中食ノ上待居リ、遂ニ面会ス。甘

藷講師派遣ニ付聯盟ノ協力ヲ求メ、同氏近日九州へ旅

行ニ付、地方長官へ勧誘方ヲ依頼ス。

○大阪ヒル三階齋藤正一氏方ニ宮城県佐藤忠太郎氏ヲ訪

問ス。不在ナリ。依テ面会ノ時所ヲ廿一日正午議院ニ

於テスル旨伝言ヲ頼ム。

○三時、法曹会館ニ至リ貴族院有志ト司法省首脳部トノ

思想対策研究会ニ出席ス。刑事局〔^{太田} 〔^{耐造}〕〕氏ヨリ

最近ノ思想犯ノ状況ニ付報告ヲ聴ク。貴族院側ハ松本

学、藤沼庄平、次田大三郎氏、大塚惟精、小原直、小

山松吉、木村尚達、赤池濃、松村義一諸氏出席ス。

○五時過星ヶ岡茶寮ニ於ケル全国砂防協会晚餐会ニ出席

ス。出席者ハ西原亀三、大河内輝耕子、矢吹省三男、

松平外與磨男、江口定條氏、岩田宙造氏、田中好氏、

赤木正雄氏ナリ。砂防問題促進ニ付協議ス。

一月二十日(火)晴 厳寒

○十時、貴族院ニ登院。三浦安藏氏ノ求ニ依リ、特別委員選定ノ氏名表ヲ渡ス。

○町村富山県知事ニ対シ、昨日受領セル同県下各郡指導

地ニ於ケル甘藷收穫成績ニ対シ謝状ヲ呈ス。又、指導

員派遣ノコトヲ申送ル。

○全国治水砂防協会ニ赤木幹事ヲ訪ヒ、次田大三郎氏ヲ

予算第三分科兼務トシ、又研究会側ヨリ砂防問題ノ発

動ヲ促スヘキコトヲ報告ス。

○中央林業協力会ノ南方林業問題委員会ニ出席ス。山口、

漆山、岡部、山口、赤木、藤岡、小林、村上諸氏出席

ス。根本方策ニ付協議シ、了テ応急対策ニ入ル。三時

半散会ス。

○鹿児島農会副会長原口仙造氏、津崎尚武氏紹介ニテ

来訪ス。丸山方作氏同県出張ノ件ニ付打合セヲ為ス。

○夜、重友来帰ス。

一月二十一日(水)晴 厳寒

○九時三十分ヨリ控室ニテ昨日ノ各派交渉会ノ内容報告ヲ聴ク。

○十時、本会議ニ出席ス。三笠宮殿下議事御傍聴ノ為、御臨場アラセラレシヲ以テ、一同起立敬礼ス。東条首相、東郷外相ノ演説アリ、最注目スヘキ帝国ノ態度發表セラル。次テ児玉秀雄伯ノ質疑演説アリ、十二時過散会ス。一同ハ再ヒ起チテ御退場ノ三笠宮殿下ニ敬礼ス。

○宮城県白石町佐藤忠太郎氏ニ面会ス。楮布製造業ニ関シ情状ヲ聴ク。

○漆山雅喜氏貴族院へ来訪、後藤会長ト共ニ面会シ、各種ノ要件ヲ相談ス。

○撫順炭礦紅林卓次氏ニ貴族院ニテ面会ス。

○紅林、佐藤両氏ニ貴族院傍聴券ヲ与フ。

○大東塾影山正市ヨリ鈴木男ニ送リシ怪文書ヲ見ル。

○山崎昇二郎ヨリ赴入営ニ付、晚翠軒ノ別宴ニ招カル。要、重友、庵地氏及三男武彦氏、角替夫妻出席ス。石間信夫、偶来京出席ス。山崎一家ト記念ノ撮影ヲ為ス。八時頃散会ス。

一月二十二日(木)晴 寒

○十時、貴族院内談室ニテ薄田鹿兒島県知事ト会見ス。甘藷栽培法指導講師派遣ニ関シテ説明シ、知事ノ配慮ヲ求ム。

○本会議ニハ後レテ出席ス。戦時刑事特別法案ニ関シ、次田大三郎氏ハ何故ニ治安維持法改正ノ公約ヲ実行セサルヤニ付、司法大臣ニ質疑ス。

○柴田善三郎氏ヨリ、国家総動員法ニ依ル法人等ニ行政官中心ノ職権ヲ移行スル法案特別委員会審議ノ状況ヲ聴ク。審査ノ粗漏ナル甚遺憾ナリ。

○三時四十分、農林省ニ岸農政局長ヲ訪問ス。甘藷栽培法指導講師派遣費一万円ノ交付ヲ受クル手續ニ付相談ス。坂田特産課長及帝国農会幹事天明郁夫氏ト協議決定ス。

○五時、帝室林野局長官三浦篤氏ヨリ丸ノ内会館ニ招カル。中央林業協力会・帝国森林会・大日本山林会・帝国土治山治水協会主腦者出席。鄭重ナル晚餐ヲ饗セラル。九時散会ス。

〔欄外〕

○石間信夫ハ重友ト共ニ貴族院本会議ヲ傍聴ス。

○要ハ武蔵高等学校ノ父兄会ニ出席ス。

一月二十三日(金)曇 寒和ク

○十時、三會堂ニ於ケル全國森林組合聯合會第一回總會ニ出席ス。佐藤會長式辭、農林大臣、帝室林野局長官及中央林業協力量長ノ祝辭アリテ式ヲ終リ、議事ニ入ル。予ハ後藤會長欠席ノ場合、祝辭代読ノ筈ナリシモ、會長出席（郷男葬儀ニ付遅刻）朗読ス。

○野口林野局監理部長ノ自動車ニ同乗、貴族院ニ出頭ス。
○十二時半頃、産業組合中央金庫ビル第五階職員談話室ニ於ケル、中央林業協力量會ノ南方林業対策委員會ニ出席ス。漆山、本多、白澤、村上、藤岡、山口、並木、赤木諸委員出席ス。後藤會長モ約一時間許リ出席ス。
○帰途、内田靴店ニテ短靴ヲ求ム。代価二十一元五十錢ナリ。

○石間信夫ハ本夕、重友ノ招キニ依リ夕食ヲ為シ、夜ハ山崎昇二郎方ニ投宿ス。興三モ會食ス。

一月二十四日（土）晴 寒和ク

○帰國ノ用意ヲ為シ出發ス。

○内田靴店ニ至リ、昨夕求メタル靴ヲ返シ、新ニ赤皮短靴ヲ買フ。代金二十二円六十六錢ナリ。

○日本俱樂部ニ立寄り取調ヘ物ヲ為ス。

○正午、産業組合中央金庫ビルナル中央農業協力量會、中央林業協力量會、及南方水産協力量會ノ聯合會ニ出席ス。

漆山常務モ出席ス。基本方策三則ヲ決定シ、之ヲ主務大臣ニ進言スルニ決ス。酒井伯、千石氏他ノ余才及野村子代某氏他ノ會ヲ代表ス。

○一時三十五分發急行列車ニ乗り歸村ス。静岡ニテ乗換ノ為待合セノ間、戸塚重一郎氏方ヘ電話ニテ、明後日午前九時頃、海野氏ヲ訪問スヘキ旨ヲ告ク。六時三十分掛川著、大村留吉ノ出迎ヲ受ケテ歸村ス。

○車中、高林兵衛氏ト出會フ。甘藷買上代金及配給制ノ不当ニ付正確ナル資料ヲ与ヘラル。

○夜、袴田銀藏氏來訪、明日ノ東遠朗會總會次第二付打合セヲナス。又、去二十日ヨリ開催セシ農事講師打合會ノ模様ヲ聴ク。

一月二十五日（日）晴 寒和ク

○早朝、小柳直吉氏來訪ス。

○九時、神宮寺墓所ニ參詣ス。昨日故父上ノ命日ナルヲ以テナリ。

○九時半、大日本報徳社ニ出頭シ、十時ヨリ開會ノ東遠朗會總會ニ出席ス。儀禮、詔書奉讀、會務報告ノ後、立稲品評會賞書授与ヲ行フ。審査成績報告ニ次キ賞書授与（賞品共）ヲ行フ。次テ予ハ告辭ヲ為シ、受賞者惣代ノ答辭アリ。正午休憩ス。

午後一時再会。丸山講師ノ講演アリ。ソレヨリ各町村
明朗会提出ノ諸案件ニ付討議ヲ行ヒ、四時予ノ挨拶ヲ
以テ散会ス。

○金五千円ヲ農事講師派遣費ノ立替金トシテ会計係戸塚
氏へ渡ス。又、其旨ヲ田辺、鷺山両理事ニ通ス。

一月二十六日(月)晴 寒和ク

○七時四十分發ニテ静岡へ赴ク。小柳直吉氏停車場迄同
行シ、審ニ南郷村治狀況ヲ報告ス。

○八時四十六分静岡駅下車。海野真岳氏ノ出迎ヲ受ケ、
平喜商店ニ同行ス。海野氏ニ天城山立木伐採地返還ノ
件、持越区へ寄附金ノコトヲ相談ス。支配人住喜七郎
氏ニモ面会ス。

○藤岡知事ヲ県庁ニ訪問シ、新任ニ対シ挨拶ヲ述へ、静
岡育英会及大日本報徳社ノコトニ付将来ノ配慮ヲ求ム。

又、甘藷増産運動ニ関シ協力ヲ乞フ。

○農務課ニ技手平谷竹一氏ヲ訪ヒ、知事ニ甘藷増産ノコ
トヲ申入レタル旨ヲ告ケ、助力ヲ求ム。

○静岡發十一時三十七分急行ニテ帰京ス。駅頭ニ海野真
岳氏見送ラル。三時四十分頃帰宅ス。

○五時ヨリ中央林業協力会晚餐会ヲ星ヶ岡茶寮ニ開カレ
シヲ以テ出席ス。顧問石黒、三矢両氏出席ス。評議員

ヲ招キ理事ト懇親セシム。

〔欄外〕

○子爵大河内正敏氏夫人逝去。告別式アリ、要、本願寺
ニ会葬ス。

○要ハ夜、隣組常会ニ出席ス。帰宅ノ頃ヨリ気分悪シ。
直ニ平臥セシム。

○山崎昇二郎カ南京ヨリ持来レル烏柏ノ種子百粒ヲ林業
試験場長藤岡博士へ提供ス。

一月二十七日(火)晴 寒

○十時、貴族院ニ登院シ、次田大三郎氏ニ戦時特別刑法
案委員会ノ経過ヲ問フ。委員会ノ大勢、各派ノ心構へ
甚不可解ナリ。

○内田明氏ヲ訪ヒ、井村豪氏栽培ノ甘藷写真二十枚ヲ依
頼ス。

○岸農政局長ヨリ本年甘藷増産目標、昨年ノ目標及実績
表ヲ受取ル。又、馬鈴薯ニ付同一表ヲ贈ラル。其一部
ヲ大日本報徳社袴田銀藏氏ニ送り、農事講師参考資料
ニ供ス。岸局長ニ面会シ謝意ヲ表ス。

○井出山林局長ヲ政府委員室ニ訪ヒ、赤木樟一氏ヲ中央
林業協力会理事兼主事トナス件ニ付同意ヲ求メ、之ヲ
得タリ。午後理事会ニテ面会ノ席、後藤会長ニ報告ス。

○中林協理事會ニ出席ス。日本勸業銀行理事齋藤馨之助氏ヨリ、同行ノ森林資金貸付ニ関スル説明ヲ聴ク。了テ南方林業対策委員會ヲ開催シ、其恒久策ヲ練ル。応急策ニ付テハ軍部ニテ既ニ実行中ナルヲ以テ、之ヲ中止ス。次回ハゴム、椰子等ノ特殊産物ニ付立案スルコトトス。

〔欄外〕

○赤木正雄氏ヲ事務所ニ訪ヒ、(1)貴族院予算委員集會方ニ付青木子ヲ訪ヒシ始末ヲ報告シ、之カ対策ヲ進言ス。

(2)貴族院議員ヲ顧問ニ推ス件ヲ相談シ人選ヲ為ス。

○夜、甘藷馬鈴薯産額及目標ニ付調査ヲ為ス。

一月二十八日(水)晴寒

○代議士星一氏ノ紹介ニ依リ、八時頃茨城県石城郡小名浜町大原箱崎平三郎氏來訪ス。甘藷栽培ノコトニ付相談ヲ受ク。依テ、近日大日本報徳社農事講師森谷博氏ヲ派スヘキコトヲ告ケ、之カ機會ヲ示ス。

○阿川新平氏、一昨日逝去ス。依テ今朝弔問焼香シ、香料ヲ供ス(五円)。

○十一時、貴族院ニ登院シ、戦時特別刑法案ノ委員會ヲ傍聴ス。次田大三郎氏ニ委員會ノ経過ヲ問フ。

○二時ヨリ、予算委員會ニテ臨時軍事費追加予算案ノ議

事ヲ傍聴ス。

○子爵北條雋八、田辺治通、下條康麿、田澤義鋪四氏ニ、全国治水砂防協會顧問タランコトヲ依頼シ同意ヲ得、之ヲ赤木幹事ニ報告ス。

○五時ヨリ、第七回末広會ヲ開催ス。田口、松村、田澤、赤池、岩田、澤田、古島、小原、塚本、次田、河井出席ス。八時頃散會ス。會費総額一〇〇円五八錢ナリ。

○山崎尠、明二十九日午前九時十二分東京駅發ニテ帰郷スルヲ以テ、要ハ告別ノ為山崎ヲ訪問ス。

○内田明氏ノ好意ニ依リ、井村豪氏栽培ノ甘藷写真二十枚ヲ受取ル。

一月二十九日(木)晴嚴寒

○山崎尠、午前九時十二分東京駅發列車ニテ大坂村へ帰ルニ付、重友ト共ニ見送ル。昇二郎夫妻、子供等一同モ見送ル。はま子ハ大坂へ同行ス。

○九時十五分登院ス。本會議アリ、臨時軍事費追加予算案ヲ全會一致ニテ可決ス。次テ法律案三件ヲ可決シ一時過散會ス。

○漆山雅喜氏來訪シ、中央林業協力會々務ニ付相談ス。

○塚本清治氏ト委員割當ニ付協議ス。

○茨城県多額納税者議員渡辺覺藏氏ヲ書記官長、書記官

ニ紹介ノ為案内シ、食堂、読書室、衆議院傍聴席等同道ス。

○男爵伊江朝助氏ヨリ、戦時特別刑法案ニ関聯シ、治安維持法改正案提出ニ関スル研究会対政府交渉ノ状況ヲ聴ク。又、甘藷栽培ニ付沖縄県会議員真榮城守行氏ニ面会スルコトヲ承諾ス。

○内務省ニ舘林三喜男ヲ訪ヒ、地方長官名簿ヲ受ク。

○赤木正雄技師ヲ訪ヒ、砂防協会顧問増加ノ件其他ニ付交話ス。

○故金杉英五郎氏ノ告別式（青松寺）ニ至リ拝礼焼香ス。

○神奈川県庁ニ近藤知事ヲ訪ヒ、甘藷栽培法普及ニ付依頼ス。又、社会教育課中津川主事ニ面会シ、丸山氏ノ所在ヲ問フ。

〔欄外〕

○横浜市役所ニ市長半井清氏ヲ訪フ。甘藷栽培法指導ニ付打合セヲ為ス。中津川主事（編註）ノ案内ニ依ル。又、丸山氏ノ栽培法ノ講演速記六部ヲ与ヘラル。

○横浜駅ヨリ偶然山県有道公爵ト同車ス。新橋マテ甘藷栽培法ニ付説明ス。又、公爵ヲ砂防協会顧問トスルノ同意ヲ得タリ。

○八時頃、舘林三喜男来訪ス。葉子感冒ニ罹リシヲ以テナリ。

葉子ハ堀先生ノ診察ヲ受ク。普通ノ感冒ナリ。

一月三十日（金）厳寒 晴天 北風強烈

○朝、直子ヨリ書状到着。近来健康ヲ害シ肺門淋巴腺炎ナリトノ報告アリ。大ニ心配ス。泰治、大坂へ出張シ来リ訪問セリト云フ。

○本会議アリ出席ス。

日本出版文化協会長鷹司公爵ニ面会シ、丸山氏ノ栽培法出版ニ付印刷用紙一万七千部分、特配ヲ配慮セラレシコトヲ乞フ。飯島幡司氏、田中四郎氏ヲ紹介セラル。

○男爵伊江朝助氏ノ紹介ニ依リ沖縄県町村会長、県議真榮城守行氏ト会見ス。男爵ヨリ華族会館ニ招待セラレ午餐ヲ饗セラル。了テ甘藷栽培法ニ付説明ス。又、沖縄県ノ方法ヲ聴ク。

○本会期中ノ同成会特別委員ノ割当ヲ了ス。

○農林省ニ坂田特産課長ヲ訪問シ、報徳社農事講師派遣方法及費用助成金受領方法ニ付相談ス。帝国農会幹事天明郁夫氏、松山信昭氏同伴ニテ来リ、協議ヲ了ス。

〔欄外〕

○伊東卓治氏等結婚届書ニ証人トシテ記名シ、届書ヲ弥恵治氏へ送ル。

○伊東弥恵治氏ヨリ甘藷ノ写真ヲ送来リ、之ニ記事ヲ求

メラレタルヲ以テ、夜記入ヲ了ス。

○榛葉孝平氏ヨリ書状到着。令嬢玲子、池袋□□□□□
□佐合貞吉郎氏ノ長男正雄氏ト婚約成リ、二月十一日
挙式ノ旨ヲ通知セラレ、披露会ニ出席スルヤウ案内セ
ラル。

一月三十一日(土) 晴 強風 厳寒

○午前十時半、東京営林局ニ中尾局長ヲ訪問ス。本日ヨ
リ同局ノ為講習ノ為来著セル丸山方作氏ト会见シ、十
二時迄ニ農事講師ノ府県出張割ヲ協議決定ス。

○一時、貴族院食堂ニ三善信房氏ノ訪問ヲ受ク。甘藷栽
培講師派遣日割ヲ示シ、打合セヲナス。

三善氏ノ希望ニ依リ、来月三日午後五時ヨリ中央亭ニ
開カルヘキ農政研究会ヘ丸山方作氏ヲ紹介スル為、丸
山氏旅館下仁田町常盤屋旅館ヘ照会ノ速達郵便ヲ發ス。

○三時、牛込区赤城元町清隆寺ニ至リ、故大森健三氏ノ
七回忌法会ニ出席ス。大森一家、二平、寛一兄、善一、
八木雅枝子、矢田部夫妻、山崎金五郎、同夫人、其他
多数出席ス。要、重友、興三モ来会ス。読経後焼香シ、
墓参シテ退出ス。

○一木男爵ヲ訪フ。甘藷増産ノ為農事講師派遣案ニ付報
告ス。大ニ満足セラル。

○五時半、鉄道ホテル菊の間ニテ開会セル、思想問題研
究会ニ出席ス。小山、小原、赤池、藤沼、松村、松本、
司法省池田局長、清原其他出席ス。戦時独乙事情ニ付
有益ナル報告ヲ聴ク。

〔欄外〕

○夜、矢田部夫人来泊ス。

二月一日(日) 大雪 寒冷

○早朝ヨリ降雪アリ、夜ニ入ルモ止マス。積ムコト六寸、
寒威強烈ナリ。

○午前中、昨夕起草セシ一木報徳社長ヨリ各府県知事ヘ
發送スヘキ依頼状及講師分担表ヲ写ス。

○十二時過、農林省政務委員室ニ岸農政局長ヲ訪問シ、
前記書状ヲ示シテ意見ヲ交換ス。尚、農林省ヨリ府県
ニ対シテ強キ勧誘状ヲ發シ、且、事務官又ハ技師ヲ特
派セラレンコトヲ求ム。又、局長ニ対シテ右書類写ヲ
提出スヘキヲ約ス。

○警務課ニ松本守衛長ヲ訪ヒ、市立大森女学校生徒貴族
院議事傍聴ノコトヲ打合ス。其結果ヲ中尾桂一郎氏ヘ
電話ス。

○警務課ニテ前記依頼書ヲ完備シ、速達便ニテ報徳社袴
田銀蔵氏ニ送付シ、明日中ニ府県知事ヘ發送(速達)

スヘキヲ依頼ス。

○伊澤多喜男氏ヲ往訪シ七時頃帰宅ス。降雪甚シ。

○夜、鈴木寛一氏、八木雅枝夫人ト共ニ来訪、一泊ス。

〔欄外〕

○鈴木〔空白〕氏四街道ヨリ出京セシモ、寛一氏及雅枝夫人千葉ニ帰り行違トナル。電話ニテ打合ハセシ結果、両国ニテ出會ヒ千葉へ赴ク。

○今晚、下痢アリ。終日腹工〔具合〕合悪シ。懐炉ニテ煖メ雪中各地ヲ狂奔ス。

二月二日（月）曇 寒和ク

○朝、伊澤、次田、其他諸氏ト電話ニテ重要打合セヲナス。

○本会議アリ、十時半登院ス。議席ヲ出テ、戦時特別刑法案委員会ニ出席傍聴ス。午後一時半ヨリ再ヒ傍聴ス。岩田、次田二氏ノ修正案ハ否決トナル。

○農林省政府委員室ニ岸農政局長ヲ訪ヒシモ不在ナリシ為、昨日報徳社へ送付セシ依頼書及講師分代表ヲ係員ニ託ス。

四時半頃、帝国農会ニ天明郁夫氏ヲ訪ヒ、前記書類ヲ渡ス。

○三時、日本倶楽部ニ横尾惣三郎氏ヲ訪ヒシニ、食糧營

団ノ組織及経営ニ関シ奇怪ナル事実ヲ報告セラル。又、氏ノ求ニ依リ甘藷増産方法普及運動ノ内容ヲ告ケシニ、大ニ協力ヲ約セラル。

○五時半ヨリ、錦水ニテ松平貴族院議長ノ招待会ニ出席ス。近衛公、佐々木侯、松平子、大塚氏、東久世男、宮田、水谷川男、長谷川氏、書記官長、書記官出席ス。八時散会ス。

〔欄外〕

○鈴木寛一兄土肥ヲ経テ岐阜ニ帰ル。

○直子ニ対シ「要、二三日後ニ往ク」ノ電報ヲ発ス。

二月三日（火）曇 寒和ク

○十時前登院ス。報徳社農事講師派出割ニ付検討シタル結果、誤謬ニケ所ヲ発見シ、岸局長及帝国農会ニ対シ訂正ヲ為シ、又報徳社ニ電報ヲ以テ訂正ス。

○十一時過、中央林業協力会漆山常務理事来院シ、会務ニ付打合セヲ為ス。又、後藤会長モ同席ス。

○甘藷増収法講習ニ関シ、坂野鉄次郎、米山梅吉、山口安憲氏へ割当ヲ示シ、協力ヲ求ム。

○十二時半、中央林業協力会理事会ニ出席ス。南方林業対策ニ付協議決定ス。其中、根本策ハ農林水産三団体ノ中、他ノ二団体ニ示シ、政府へ進言スルニ決ス。又、

護謨対策ニ付協議決定ス。

○全国治水砂防協会ニ赤木正雄氏ヲ訪ヒ、鷹司公、山県公、松平親義子、宮田氏、長氏、長谷川起夫氏ノ顧問トシテ入会ヲ報告ス。

○五時半、中央亭ニ至リ農政研究会總會ニ出席ス。六時五十分上野著ノ丸山方作氏ヲ東京駅ニ迎へ之ヲ農政研究会ニ紹介ス。八時退出、丸山氏ヲ東京駅ニ送届ケ帰宅ス。

〔欄外〕

○八木雅枝夫人、午後静岡へ帰ル。

○昇三郎、九時過來泊ス。

二月四日（水）晴 頗寒

○院内ニテ鷹司公ニ面会シ、甘藷栽培法印刷用紙増配ニ付尽力セラレタルヲ謝ス。

○松本勝太郎、田口弼一、内田重成、竹下豊次、洪澤金蔵、大谷五平、塩田団平諸氏ニ対シ農事講師出張日割ヲ示シ、配慮ヲ乞フ。

○宮田光雄氏ニ内山真龍翁贈位申請書ヲ贈ル。

○本会議アリ出席ス。賀屋蔵相ヨリ総予算案ノ説明アリ。又、米穀木炭関係三案ノ第一読会ニテ、予ハ特別委員ニ指名セラル。

○昨日、南方林業ニ対スル方策決定ニ伴ヒ、議事散会后中央農業協力会、南方水産協議会代表千石興太郎、野村子爵ニ対シ後藤会長ヨリ決意文ヲ示シテ協議ノ結果、三団体ノ連名ニテ政府其他へ提出スルニ決シ其手續ヲ取ル。

○故大久保立子ノ一周忌ニ当ルヲ以テ、寛一子ヨリ華族會館ニ招カレ焼香ス。鄭重ナル午餐ヲ饗セラル。

○故成瀬隆蔵氏ノ告別式ニ至リ焼香ス。

〔欄外〕

○徳川公爵家ニ宇佐美氏ヲ訪フ。石渡莊太郎氏モ來会ス。公爵邸ヲ東京府へ売却又ハ寄付ノ件ニ付意見ヲ問ハル。

○故福島甲子三氏未亡人ヨリ同氏伝記ヲ贈ラル。

○昇三郎ハ出勤ノ後伊澤氏方へ泊ル。

○矢田部夫人ハ松山知恵子ヲ訪フ。

○井戸管ヲ水道ニ切換工事ヲ為ス。松本、津守等モ來リ工事ヲ為ス。

二月五日（木）晴 暖

○朝、甘藷栽培法講習会ノ案内はかき十五枚ヲ認ム。

○十時登院ス。本会議アリシモ出席セス。食糧営団委員會ニ出席ス。午後三時マテ継続ス。

○食糧営団ノ性質ニ関シ後藤文夫氏ノ來訪ヲ受ク。相談

ノ結果次田、田澤、下條三氏ト研 究会ヲ開クニ決シ、明日午前九時内談室ニ集会ノ通告ヲ為ス。

○予算委員会ヲ傍聴ス。

○日本出版文化協会長鷹司公爵ノ配慮ニ依リ四時頃事務所ニ至リ、専務理事田中四郎氏、常務理事飯島幡司氏ヲ訪ヒシモ両氏不在ナリ。依テ用紙配給課長田中氏ニ面会シテ、丸山氏著甘藷栽培法印刷用紙一万七千部分増配ノコトヲ依頼ス。右増配ノ決定ハ情報局第二部第二課、商工省人造紙維課及警視庁検閲課ノ会議ニテ決定セラルヘラルヘキ由ヲ聞ク。

○東京駅ニ至リ、九日ノ寝台券ヲ求メントセシニ、明日正午ヨリ発売スト云フ。

○矢田部夫人、夕刻横浜松山氏方訪問ヲ終リ帰来ル。

〔欄外〕

○三島甫、今朝社用ニテ出張、東京ニ来ル。夕刻来訪ノ筈ナリシモ、新橋四丁目大橋博士（新橋内科医院）ニ直子ノ写真ヲ示シ診察ヲ求メ、其結果ヲ報告ス。

○松田卷平中将逝去。本日告別式ヲ行ハル、不参。他日ノ弔問ヲ期ス。弔辞ヲ呈ス。

二月六日（金）曇 暖

○九時登院。第一内談室ニ後藤文夫、次田大三郎、田澤

義鋪、下条康麿四氏ト会谈シ、食糧営団ニ関シ意見ヲ交換ス。予ハ明日帰国シ引続き九州へ旅行スヘキヲ以テ、特別委員辞任ノ手續ヲ為シ、次田氏ヲ後任トス。

○大分県知事ヨリ昨日講習会日ヲ愛媛県ト交換センコトヲ求メ来リシニ依リ、直接交渉セラレンコトヲ返電ス。又、愛媛県知事へ右ノ旨電報ヲ発ス。

○赤木正雄氏来訪。大河内子ノ来臨ヲ乞ヒテ、予算委員会ニ於ケル砂防関係ノ質疑ニ付テ打合セヲ為ス。研究会ノ独断専横遺憾ナリ。

○漆山雅喜氏来訪シ、農林水産三団体幹事会合ノ結果ヲ報告セラル。又全国一斉造林事業実行ニ付、予算委員会ニテ質疑者ヲ米原章三氏ト決シ、後藤会長ト共ニ同氏ニ依頼ス。

○講師派遣費ハ悉ク報徳社負担トスル旨ノ通知文ヲ、岸農政局長官、天明帝国農会幹事へ発ス。

○来九日、浜松ヨリ乗車、九州へ旅行スル為、日本電気会社ニ依頼シテ寝台券ヲ購入ス。夕、同社庶務課ニ河野氏ヲ訪ヒ乗車券ノ交付ヲ受ケントスルニ、未入手セスト云フ。

〔欄外〕

○鷹司公爵ニ書状ヲ送り、昨日、日本出版文化協会ニ田中氏訪問ノコトヲ報告シ謝意ヲ表ス。又、館林ニ対シ

テ尽力ヲ依頼ス。

○大野芳子刀自来援ス。当分滞在ノ筈ナリ。

○朝比奈アキ子、瑛子ヲ連レテ来訪ス。

○京都府ヨリ電話ヲ以テ、同府ニ於ケル講習会期ヲ三日トシ、兵庫県ノ次トセラレンコトヲ求メラル。

二月七日(土) 晴 暖

○本日帰村シ、明日報徳社ニテ事務ヲ処理シ九州へ旅行スルヲ以テ、不在中ノ甘藷講習会ニ関スル各地方ヨリノ照会ハ、総テ急速掛川本社ニ送付スルヤウ重友ニ依頼ス。

○朝、俵孫一、田中武雄、木桧三四郎、松本俊三等ノ諸氏へ講習会ニ付電話ス。

○正午頃、重友貴族院ニ来ル。明後日使用スヘキ寝台券ヲ渡ス。

○内務省ニ立寄り館林ニ甘藷栽培法ノ旧版ヲ託ス。

○午後一時三十五分東京駅発、静岡ニテ乗換へ六時三十分掛川ニ著ス。

車中山崎健太郎氏ノ帰国スルニ同車ス。

○夕、袴田銀蔵氏来訪シ、明日ノ農事講師打合会ニ付準備の相談ヲ為ス。

○小柳直吉氏モ来訪ス。

○要ハ直子ノ病氣見舞ノ為、午後〇時五分発ニテ帰宅ス。

五時三十七分掛川ニ著ス。女中一人ヲ伴フ。

二月八日(日) 晴 寒

○小柳直吉氏ニ長久院内ノ雑木伐採ヲ承諾ス。

○朝、大日本報徳社へ出頭ス。全国へ派遣スヘキ農事講師ニ対シ、今回ノ計画ノ意義ヲ徹底セシメ、且打合セヲ為サンカ為ナリ。

十時、鷺山、田辺両理事、袴田幹事ト共ニ講師全員(除藤田久蔵氏)ニ接ス。午後四時迄十分ナル打合ヲ遂ク。又、各種写真、図表、印刷物(栽培法、精農家体験談、調査資料、收穫表等)ヲ交付シ、又夫々旅費ヲ支給ス。又、講師ノ追加嘱託ヲ決定シ、寺田作市、近田儀一、大谷英一三氏ニ対シ其手續ヲ為ス。

最後ニ各講師ノ担任先府県ニ対シ電報又ハ書翰ヲ以テ、講習ノ日ノ午前十時ニハ其庁ニ到著スヘキコトヲ、社名ヲ以テ通告ス。

○朝、途上ニテ黒田吉郎、戸倉惣兵衛両氏ニ出会フ。

○森口淳三氏来社ス。立候補ノ意アル旨ヲ告ク。直ニ賛成ス。

○静岡県主催第一回市町村吏員講習会終了式アリ、招カレテ出席ス。

○水谷熊吉氏、南郷村明朗会ノ為ニ招カレテ来村シ、夕一泊ス。

○要ハ九時三十七分発ニテ大阪ニ向フ。女中ヲ同伴ス。

〔欄外〕

大日本報徳社農事講師

服部源太郎 (四五) 静岡市長沼町

山本福吉 (六三) 金谷町菊川

寺田美佐久 (五二) 坂部村坂部

松浦清三郎 (四〇) 西郷村五明

佐藤雅雄 (三四) 西郷村上西郷

戸倉儀作 (四七) 袋井町愛野

藤田久蔵 (五八) 中川村中川

井村豪 (三六) 〃 〃

石原民次郎 (五四) 井伊谷村花平

新野治 (四三) 井伊谷村坂田

高平勇 (四六) 三ヶ日町福長大福寺

田村勉作 (四九) 白須賀町境宿

小澤豊 (六二) 豊橋市飯村町東川

磯部幸一郎 (四六) 〃 〃 本郷

岩瀬八重二 (五八) 〃 岩田町

天野兼松 (四〇) 幡豆郡一色町大塚

近藤定一 (三八) 碧海郡六ツ美村正名

森谷博 (二八) 南設楽郡東郷村竹広

牧島忠夫 (四六) 下伊奈、下条村睦沢

近田儀一 (空白) 宝飯郡一宮村一宮

大谷英一 (空白) 井伊谷村

寺田作市 (空白) 坂部村坂部

二月九日(月) 晴 寒

○水谷熊吉氏、午前九時発ニテ中川村ニ去ル。駅マテ同車ス。

○午前中報徳社ニテ執務ス。東京宅ヨリモ格別ナル用務ナキ旨電報アリ。午前中ニテ全部ノ手配ヲ了ス。

○山崎常磐氏報徳社へ来訪ス。内山翁贈位請願ノ件報告アリ。

○掛川信用組合ニ鷺山理事ヲ訪問シ、不在中ノ事務指揮ヲ乞フ。

○掛川発一時二十二分ニテ浜松ニ至ル。浜松ニテ眼鏡蔓ノ取換ヲ為シ、二三ノ書籍ヲ求メ旅中ノ同伴ト為ス。

三時九分浜松発ニテ下関ニ向フ。車中暑クシテ燻殺セラレントス。淡窓詩話ヲ読ム。甚面白シ。

〔欄外〕

○皇軍シンガポール島ニ強行上陸シ、尋イテテンガー飛行場ヲ占領シタリトノ報アリ。

二月十日（火）晴 寒凜烈

○午前六時五十分下関ニ着ス。昨夜ハ相当ニ睡眠ス。泰治、駅頭ニ出迎フ。頗元気ナリ。直ニ山陽ホテルニ同伴シ朝食ヲ為ス。

門司ニ渡ルノ連絡船ニテ山本五郎氏ト邂逅ス。門司ニテ別ル。

泰治ハ八時三十分門司發ニテ小倉ニ去ル。

○九時發急行列車ニ乗り大分ニ向フ。車中ニテ中食ス。十一時五十四分大分著。徒歩ニテ県庁ニ至リ知事灘尾弘吉氏ヲ訪フ。経済部長和田貞臣氏モ同席ニテ甘藷講習会開催ノ趣旨ヲ説明シ、同県ニハ特ニ講師近田儀一ヲ派遣スヘキヲ以テ、日程ヲ作成シ本社ニ送付セラレシコトヲ求メ、知事、部長ノ同意ヲ得タリ。即時実施、必順必行、将来指導者タルヘキ人ノ数日同行等ノ意見ヲ提出ス。

○二時五十分大分發、八時四分宮崎ニ著、下車ス。農政課長碓井貞雄氏《事務官》、技師門口幸三郎氏駅頭ニ出迎へ、自動車ニテ神田橋旅館ニ送ラル。知事ノ挨拶ヲ伝ヘラル。旅館ニテ明日ノ打合せヲナス。

〔欄外〕

○大分ニテ弁当ヲ求メシニ量少ク質劣ルコト甚シ。空腹

ニ非サレハ食スル能ハス。

食堂アル列車ニ非サレハ旅行ハ困難ナリ。

○神田橋旅館ノ一夜ハ寒氣甚シ。第一等ノ旅館ト雖、火氣乏シキヲ以テ第一等ノ大室ニ入ルハ禁物ナルヲ知レリ。

二月十一日（水）晴 嚴寒

○皇祖肇國ノ地ニ来リテ紀元節ヲ迎フ。遙ニ東天ヲ拝シ、宝祚ノ無窮ヲ祝禱ス。

○本日ノ行動ハ総テ昨夜ノ打合せニ依レリ。十時半碓井事務官、門口技師十時三十分來訪ス。乃チ自動車ニテ宮崎神宮ニ至リ奉拝ス。十一時ヨリ十一時二十分迄八絃国柱ニ至リ悠遠ナル宏図ヲ思フ。

十一時二十五分、宮崎高等農林学校ニ至ル。教授池端栄氏ノ紹介ニテ校長吉田安喜雄氏、作物主任教授井上重陽博士ニ面会シ、甘藷栽培講習会ノ計画ヲ説明シ、同校ノ協力ヲ乞ヒ、熱心ナル賛同ヲ得タリ。校長ハ本日ノ記念式ニ參列ノ予定ナリシモ、竟ニ之ニ加ラズ、辞去スル時教授《生徒主事》幡野儀作氏ニ紹介セラル。氏ハ明徳寮最初ノ出身ニシテ静中卒業者ナリト云フ。○県庁前ノ俱樂部ニテ中食ヲ饗セラル。池端氏モ同席ス。門口技師主催ナリ。

○一時半ヨリ二時半迄、県庁ニテ長船知事ニ面会、挨拶及説明ス。

○旅館ニ還リ用意ヲ整へ、三時四十八分発鹿兒島ニ向フ。七時十三分著。宮崎県庁ヨリノ通知ニ依リ薄田知事自ラ駅頭ニ迎ヘラル。知事官舎ニ投宿ス。

〔欄外〕

○宮崎ノ旅館ノ一夜ハ只嚴冬ノ一語ニ尽キタリ。終夜睡眠ナラズ。

○宮崎県ニ於ケル甘藷栽培熱ノ旺盛ナル意表外ナリ。県当局ノ真摯ナル、高農校ノ熱心ナル、俱ニ驚喜ニ値ス。同校ハ校友会ノ開墾地ニ施作シ大量ヲ挙クヘシト云フ。

○出發ノ時、碓井、門口、池端三氏ノ外、吉田校長モ駅ニ見送ラル。

○門口技師ハ本県人ナリ。山崎昇二郎ノ時、試験場ニ入レリト云フ。米品種瑞宝ヲ作成シ、栽培面積全県ノ八割ニ及フト云フ。甘藷増産主任ナリ。

二月十二日(木)晴 嚴寒

○早朝、東天ヲ拝ス。薄田知事ノ案内ニテ官舎ヨリ鹿兒島灣ノ風景ヲ觀賞ス。又海軍航空隊ノ猛訓練ノコトヲ聴ク。

○九時前知事ト同車、県庁ニ至ル。庁前ニテ十五分ニ亘

ル朝礼ヲ看ル。了テ知事室ニテ、総務部長熊野周二、学務部長加藤精三、經濟部長乾武、警察部長猪股敬四郎ノ諸氏ニ紹介セラル。次ニ(農務)主任課長鈴木慶太郎氏ニ紹介セラレ、本日ノ行動ニ付打合セヲ為ス。

○知事ノ好意ニ依リ、史蹟主事安田尚義氏ノ案内ニテ午前中高等農林学校(長谷口熊之助氏不在、西力造教授面会)、農事試験場ヲ訪ヒ、ソレヨリ鍛冶屋町ニ西郷翁、大久保公、大山、東郷兩元帥ノ宅址ヲ見テ、安田氏ノ説明ヲ聴ク。十一時十分産業会館ナル県下農事関係代表者ノ會議ニ出席シ、県庁試験場、農会等ノ諸氏百三十名ニ対シ、甘藷栽培法ノ改善及貯蔵法ノ採用ヲ勸説ス。知事、經濟部長モ同席ス。

○一時、県庁ニ至リ各部長ト共ニ知事ニ招カレ中食ス。二時ヨリ三時迄高等官一同ニ対シテ最近ノ時局談ヲ為ス。

〔欄外〕

○午後四時、安田氏ノ案内ニテ加治木町ニ川上親晴氏ヲ訪問シ、氏ノ病氣ヲ見舞フ。氏ハ喘息ノ為上京ヲ禁セラレシト云フモ、昨今暖氣加ハルニ伴ヒ頗元氣ナリ。菓子及鶏卵ヲ呈ス。

○鹿兒島神宮ニ参拝ス。境内清浄ニシテ建築壯麗ナリ。境内木ノ保護ニ付卑見ヲ告ク。

○六時、知事ヨリ招カレテ風景樓方ニテ晚餐ヲ喫ス。各部長、農務課長、安田主事ノ外、農務課甘藷主任技師久保井正太郎氏、試験場長春日直人氏同席ス。宴了テ徒歩知事官舎ニ帰り宿泊ス。

二月十三日(金)晴 厳寒

○近來嚴寒再來、睡眠十分ナラス。

○午後七時、薄田知事ト同車、家人ニ謝意ヲ表シテ出發ス。

○七時三十分鹿兒島出發、一時二十五分熊本著下車ス。

薄田知事ノ配慮ニテ予ノ往訪ヲ通知セラレシヲ以テ、川尻駅ニテ甘藷栽培主任技師手森崎^{キヤマ}夸氏出迎へ、県庁へ案内セラル。

○熊本県知事雪澤千代治氏、經濟部長上塚弘氏ニ面会シテ説明ヲ為シ、即時全県実施ノコトヲ依頼ス。又、知事及部長ニ対シテ挙国造林ノ実現方ヲ依頼ス。

○自動車ニテ駅ニ送ラレ森崎技手ト別レ、三時五十三分發ニ乗り、七時十三分博多駅著、下車。直ニ駅前ノ博多ホテルニ投宿ス。食堂ハ八時迄ナリトノコトニテ多忙食事ス。夜、ヒーターノバキアムハンマー喧シ。

二月十四日(土)晴 嚴寒

○九時四十分福岡県庁ニ出頭、經濟部長達林正吉氏ニ面会ス。部長ノ紹介ニテ主任技師中原清氏ニ面談シ、詳細希望ヲ開陳ス。服部講師ノ取扱方ニ付打合せヲ為ス。○次ニ知事本間精氏ニ面会シテ説明及依頼ヲ為ス。又、立木伐採税ノ減廢ニ付希望ヲ述へ、更ニ全国一斉植林計画ノ実施ヲ勸説ス。

○博多十一時四十九分發ノ急行ニテ、佐賀○時五十九分下車ス。人車ニテ県庁ニ至リ、知事生悦住求馬氏ニ面会ス。甘藷増産講習会ハ同県ニテハ断リ来リシモ、是非共実行セラレンコトヲ望ミ、講師大谷英一ヲ特選シアル旨ヲ告ク。知事ハ大ニ予ノ説明ヲ諒トス。知事室ニテ警察部長毛利基氏ニ紹介セラル。

○右ノ結果本社へ打電シ、佐賀へ講師出發ノ用意ヲ勸告ス。

○知事ノ好意ニ依リ自動車ニテ駅へ送ラル。三時三十九分發急行ニ乗ル。七時十一分長崎著、人車ニテ上野屋方ニ投宿ス。

(欄外)

○汽車鹿島ヲ過クル時、途ニ鹿島中学校ヲ望ム。往事ヲ追懷シテ止マス。

又、鍋島子爵邸ヲ覓ム。故子爵ノ高風ヲ欽ス。

○生悦住知事ノ配慮ニ依リ、平長崎県知事上京ノコトヲ

知ル。又、旅館上野屋ニ投宿申入ヲ為ス。

○早岐駅ニテ泰治ニ対シ、明夕七時廿五分小倉通過ノ旨電報ヲ發ス（時間外扱）。

二月十五日（日）曇 昨夜小雪 嚴寒

○上野屋ハ客室宏大ニシテ火鉢小ク、戰慄禁セス。睡眠成ラス。

○朝、出發ニシテ先輩上野季三郎氏ノ靈位ニ向テ焼香ス。

○知事平敏孝氏ハ昨日上京セシ由、生悦住知事ノ配慮ニ知り得タルヲ以テ、九時五十分經濟部長菅澤肇氏ヲ官舎ニ往訪シ、十一時半迄会见シ説明及依頼ヲ為ス。

長崎市内ニテハ適當ナル中食ヲ得ス（肉無日ト云フ）。

已ムヲ得スシテ寿司ヲ食ヘリ。食糧事情甚切迫セルカ如シ（二合三勺ノ標準ニ拘ラス、二合トシテ実施中ナリ）。

○長崎發二時四十分急行ニ乗り門司ニ向フ。七時二十五分小倉ニ下車スレハ、泰治既ニ来迎ス。直ニ別ノ列車ニ同乗シ、九時頃下関ニ著ス。山陽ホテルニテ晚餐ヲ共ニセント欲セシモ時間過キタリトテ断ラル。依テ駅前ノ小店ニ入りテ小食ヲ喫ス。

○下関駅ノ混雜甚シク、東上ノ列車ノ寢台ハ悉ク売切ナリト云フ。十時泰治ト別ル。列中ニ入りテ改札ヲ待チ

テ立ツ。十時五十分ノ列車ニ入りシモ、乗客多キト岡山著時ノ早キトニ依リ十一時十分ニ乗換フ。列車給仕ニ申入レ、發車後寢台下段ヲ得テ寢ニ就ク。

〔欄外〕

○午後十一時車中ニ於テ、「シンガポール」島ノ英軍降伏セシ由ヲシオニテ發表アリシコトヲ聞ク。一同歎歎眉宇ニ現ハル。

二月十六日（月）晴 寒

○昨夜車中快眠ス。六時半岡山著下車ス。駅ノ食堂ニ入ル。

○岡山六時五十三分發、宇野ニ向フ。七時四十三分同著、八時十分發九時十分高松棧橋ニ著ス。直ニ人車ヲ僦ヒテ香川県庁ニ赴ク。

○香川県知事小菅芳次氏、經濟部長山口泉氏、技師多田直巳氏ニ面会ス。其結果、開催日ヲ徳島県ノ次トナサントトヲ求メラル。之ヲ承諾ス。且、其前提条件トシテ徳島県ノ都合如何ヲ電話ニテ照会セントヲ頼ム。

○山口經濟部長ノ依頼ニテ、県立農事試験場ニ開会中ノ県都市食糧増産協議会ニ至リ、甘藷増産方法実施要望ノ講話ヲ為ス。多田技師案内セラル。又、試験場ヨリ場長鹿又保氏、肥料主任園田音次郎技師、農産課主任

葉原慶三郎技師等二面会ス。

○徳島県トノ打合セ電話回答未著ニ付、明日高松棧橋ニテ之ヲ聞クコトヲ多田技師ニ託シ、高松棧橋発三時十分ニ乗リ松山ヘ向フ。八時三十二分著、刻ニ遅ルル三十分ニテ到着ス。電車ニテ道後温泉旅館鮎屋ニ至リ宿泊ス。夜、寒氣甚シ。入浴ノ帰途、道ニ迷ヒテ益寒シ。食糧事情深刻ニシテ泉水ノ鯉ヲ食フ。

〔欄外〕

○香川県ハ数年前ニ小澤豊氏来リ、三年計リ指導シタリ。其結果ノ良好ナルハ衆人ノ認ムル所ナリト云フ。

○昨年、丸山講師来県シ鎌田共済会ニテ講習ヲ行ヒ、大ニ普及ノ望ミアリト云フ。又、其講演速記ハ共済会ニテ印刷ニ付シ広く頒布スト云フ。依テ予ハ其印刷物ノ即時頒布ヲ懇願シタリ。

二月十七日（火）快晴 暖

○昨夜、寒冷甚シク睡眠十分ナラス。

○十時、県庁ニ知事畠田昌福氏ヲ訪フ。経済部長阿部邦一氏ハ上京不在中ナリ。農産^{農務課}属須山甫氏、甘藷技師高山義夫氏、同技手塩見伊三郎氏及試験場長三隅虎雄氏ト会见ノ結果、同県ノ特殊条件ニ鑑ミ、三月下旬又ハ四月上旬丸山講師ノ特派ヲ求メラル。依テ十分考慮ス

ヘキヲ約ス。

○県庁ニテ東宇和郡石城村国民学校長牧野元春氏ノ丸山先生甘藷栽培法ノ伝達ナルモノヲ聞ク。

○塩見伊三郎氏ノ案内ニテ、石手川畔相向寺ニ故加藤恒忠先生ノ墓ヲ弔フ。又、位牌、写真及手蹟般若經掛物ヲ拝ス。墓域ニ供ヘタル椿發育宜シカラス、低徊去ルニ忍ヒス。

○塩見氏ノ案内ニテ松山城（金亀城）天守台ニ登臨シ、又物産陳列館ヲ看ル。県庁ヨリ相向寺ニ至リ、金亀城下迄知事ノ自動車ヲ供セラル。

○帰途ボストンバグ修繕ノ為、針、錐、麻糸ヲ求ム。全程塩見氏案内ス。

○鮎屋方ニ滞泊ス。夕食後警察部長高村坂彦氏来訪ス。〔欄外〕

○本日シンガポール島占領祝賀会アリ、全国一斉ニ挙式セラル。

○貴族院本会議アリ、首相ノ帝国ノ態度宣明、陸海両相ノ戦争經過説明アリ。陸海軍ニ対スル感謝ノ決議ハ全会一致ヲ以テ可決セラル。

予、旅中ニ在リ、不幸之ニ列スル能ハス。

○愛媛県ニテハ一日一合七勺ノ割当ノ地方アリ。之ハ他ノ食物転用ヲ目的トスルモノナルモ、却テ容易ナラサ

ル事情ニ遭遇スヘシ。

二月十八日（水）快晴 寒

○松山九時五十分発列車ニ乗ル。二時八分高松棧橋著。

多田技師車中ニ来訪シ香川県ノ講習会日程確定ス。依テ直ニ之ヲ本社ニ打電ス。

○此日、各駅ノ混雑甚シク、旅館ニテ昼食弁当ヲ用意セシメシニ依リ、漸クニシテ欠食ノ災ヲ免レタリ。列車遅著三十分、連絡船亦從テ遅発ス。五時岡山著。

○県庁ニ横溝知事ヲ訪フ。知事ハ係官ト共ニ熱心ニ予ヲ迎ヘラレ、日程ヲ示シテ強力ナル実行ヲ期セラル。而シテ第一日ニハ知事親ラ臨席シテ激励セラルヘシト云フ。

知事室ニテ偶本日来著ノ農事講師寺田美佐久氏ニ面会ス。

○知事ノ好意ニテ自動車ニテ岡山駅ニ送ラレ、六時十八分發ニ乗リ九時二十五分三宮著、下車。阪神電車ニテ芦屋ニ至リ、十時昇三郎方ニ投宿ス。昇三郎八十時過帰宅ス。

二月十九日（木）半晴 寒

○昨夜快眠ス。連日累積ノ疲労大ニ和ク。

○十時、兵庫県庁ニ出頭シ知事坂千秋氏ヲ訪ヒシニ不在ナリ。經濟部長上京中ナリ。

農産課甘藷増産関係職員ハ、本日ヨリ五日ニ亘リテ県内各地ニ講習会ヲ開ク為、悉ク不在ナリ。只、技師伊元貞三郎氏アリテ其事ヲ告ケ、報徳社ニ対シテハ既ニ断状ヲ發シタリト云フ。

予ハ別ニ日程ヲ作りテ講師派遣ヲ要求セラレンコトヲ求メタリ。

○出發以來疲労連日加ハレルモノノ如ク、而シテ寒氣意外ニ強カリシヲ以テ、左腕ニ發シタル疼痛次第ニ加リ来レリ。依テ昇三郎ノ意見ニ從ヒ、紹介ヲ得テ神戸市上筒井町六丁目下車、野崎通三丁目神戸厚生館（蓮池氏）ニ至リ鍼治ヲ受ク。而シテ灸治三ヶ所ニ施用セラ（疼痛、風予防、三里）。

○三島甫ヲ訪ヒシニ、直子ハ病院へ赴ケリトテ不在ナリ。要ハ兩三日前帰京セリト云フ。依テ大阪ニ至リ瓦斯会社ニ片岡直方氏ヲ訪ヒシニ、亦不在ナリ。秘書部長西村七夫氏、体位向上係金井秀夫氏ニ面会シテ三島方へ帰ル。

○直子ニ面会ス。妊娠ノ兆アリト云フ。喜フヘシ。四十分許ニテ退出ス。

〔欄外〕

○夕六時、昇三郎方ニテ夕食ヲ饗セララル。芦屋ニテモ食糧事情日ニ急促ヲ告ケ、困難著シト云フ。

○神戸ニテモ、十二時ヲ過クルトキハ飲食店ニテ食ヲ得ル能ハサルヲ普通トスト云フ。依テ県庁退出ノ時、係官ニ其事ヲ問ヒシニ、速ニ食事ヲ済スヘシト勸告セラレ、県会議事堂内ノ小店ニ案内セラレ、十一時半食事ヲ得タリ。

○九時三十分大阪発鳥取ニ向フ。寝台ヲ得タリ。昇三郎駅ニ見送ル。

二月二十日(金) 雪 寒

○鳥取着ハ五時前ナルヲ以テ、給仕ニ依頼シテ上井ニ下車ス。七時十一分同発、八時十五分鳥取ニ下車ス。降雪盛ニシテ市中積雪四五尺アリ。車ナク、食事ナシ。漸クニシテ駅前ノ公衆食堂ニ入り牛鍋ヲ得タリ。

○九時半、徒歩三十分ニシテ県庁ニ達ス。知事土肥米之氏ニ面会ス。甘藷関係員ハ本日ヨリ四日間開催ノ増産講習会ニ出席ノ為、米子市ニ赴キタリトテ不在ナリ。而シテ其講師ハ愛知県篤農家石川実太郎氏ニシテ、日本甘藷会社大阪支店長之ニ加ハリ居ルト云フ。奇異ノ念ニ堪ヘス。依テ其事情ヲ問ヒシニ、単ニ報徳社ニ対シテハ断リタリト云フノミニテ要領ヲ得ス。知事モ亦

大ニ当惑セルモノノ如シ。依テ知事ニ対シ、本社講師藤田久蔵氏ノ島根県下終了後、更メテ日程ヲ定メテ実施セラレンコトヲ求ム。

○駅前ノ食堂ニ入り再ヒ牛肉ヲ食フ。十一時五十七分発、五時五十四分京都ニ著シ、バスニテ京都ホテルニ著ス。食堂ニテ天ぷらヲ飽食シ、バスニ入り暖房装置ノ下ニ安眠ス。

〔欄外〕

○京阪神地方最近ノ食糧事情ハ甚逼迫セリ。大阪ニテハ米ノ不足ノ為、一般ニ粥食ヲ用キ来リシト云フ。料理店、飲食店ニテモ料理ノ外ハ得難シト云フ。

○鳥取ヨリ京都迄、同車客ノ京都ニ於ケル食糧不足ノ状況ハ驚クヘキモノアリ。予ニ対シテ夕食ノ用意ヲ万全ナラシムルタメ、駅弁ヲ持行クヘシト注告シタリ。料亭ニテハ米飯ノ持参ヲ要求スルヲ常トス云々。

二月二十一日(土) 半晴 寒

○昨夜快眠ス。ホテルノ朝食甚貧弱ナリ。《土岐章氏、松村真一郎氏ニ出会フ。》

○九時、京都府庁ニ出頭ス。安藤知事ハ病中ナリ。經濟部長ハ上京中ニシテ不在ナリ。農水産課長事務官阪本寅雄氏、属川戸忠司氏ニ面会ス。十分ノ説明ヲ為セル

ニ、既ニ完全ナル開会用意アリ、殊ニ村上国吉代議士ノ配慮ニ依リテ一層完全トナリシヲ認メタリ。

○知事官舎ニ至リ安藤知事ノ病氣ヲ見舞フ。

○京大理学部ニ部長郡場寛博士ヲ訪問フ。博士大ニ喜フ。曰ク「諸ノ出来ル原理ハ未タ分ラヌ。然レトモ増産方法ハ確實ナリ。原理ハ学者カアトヨリ付ケレハ可ナリ。増産コソ一日モ忽セニスヘカラス」ト。大ニ我意ヲ得タリ。各地歴訪ノ所感ヲ述ヘテ去ル。

○京都ホテルニ帰り、天ぷらヲ食ヒテ帰途ニ就ク。

○昇二郎、今日頃南京ヘ帰任スヘシト聞キシヲ以テ大阪ニ昇三郎ヲ訪ヒ、昇二郎ニ面会セント欲シタルモ、事確實ナラサルヲ以テ断念ス。

○京都発二時九分浜松著。六時三十三分同乗換、六時五十九分発七時廿五分掛川著ニテ帰宅ス。京都ヨリ名古屋迄、城会計審査局事務官ト同車ス。

二月二十二日（日）晴 暖

○日曜日ナルモ特ニ執務ノ必要ヲ認メ、前日袴田銀藏氏ニ対シ出社ノ旨ヲ通シ置キ、十時出頭、午後四時迄執務ス。

各地ノ要求区々タリ。又、断リ来レルモノモアリ。講師割当ニモ相当ノ苦心ヲ要ス。而シテ特ニ静岡県内ニ

対シテハ特別ノ考慮ヲ加ヘ、西部、中部、東部ニ別チ割当案ヲ決定ス。

二月二十三日（月）晴 暖

○午前十時ヨリ報徳社役員会アリ、佐々井副社長、鷲山理事以下各理事、監事来集ス。役員ノ選挙準備、決算附議ノ説明等アリシモ、予ハ欠席ス。

○昨日ニ引続キ甘藷講習会事務ヲ処理ス。

○雑誌報徳ノ三月号ニ甘藷栽培ノ概要ヲ掲載スルニ付相談ヲ受ク。神奈川県ノ同意ヲ得テ転載スルコトヲ勸ム。

又、栽培法再版用紙不足分追加特配要求ニ付相談ス。

○十一時五十七分掛川発車、一時七分静岡ニ著。県庁ニ出頭シテ知事ヲ訪フ。二時頃マテ不在ナルヲ以テ学務部長伊能芳雄氏ニ面会シ、学校ニ於ケル甘藷栽培方法ノ採用及学校生徒ノ造林事業参加ニ付テ希望ヲ述フ。偶々高知県学務部長阿部源藏氏居合セタルヲ以テ、同県ニ於ケル甘藷講習会ノコトヲ告ケ協力ヲ求ム。

○二時頃、藤岡知事ニ面会シ、県内ヘハ特ニ多数ノ講師ヲ派出スヘキヲ以テ、十分ニ利用セラレンコトヲ求ム。経済部長上京中、農産関係諸官ハ悉ク出張中ナリ。平谷竹一氏ニ刺ヲ通シテ去ル。

〔欄外〕

○織部幸五郎氏ヲ静岡へ同行シ、知事往訪ノ結果ヲ掛川へ復命セシム。機宜ノ処置ヲ愆ラサラシメン為ナリ。
○知事官房ニテ青山於菟氏ニ面会ス。
○織部氏ト大東館ニテ夕食ヲ為シタル後、五時二十分發急行ニ乗り帰京ス。九時頃帰宅ス。

二月二十四日(火) 雨 冷

○午前八時新宿發ニテ甲府ニ赴ク。十時五十五分著、山梨県庁ニ知事高野源進氏ヲ訪問ス。經濟部長西岡太郎氏、農務課長芹澤丑丸氏ニモ面会シ陳情ス。知事以下熱心ニ賛成セラル。

○知事ヨリ談露館方ニ招カレ午餐ヲ饗セラル。

○知事ノ需ニ依リ、県庁高等官ノ為ニ食糧増産ニ関シ約一時間ニ亘リテ講演ス。

○甲府三時廿六分發ニテ帰京ス。新宿七時三分著。

○本日、見付報徳館ニテ報徳社ノ總會開催セラル。

○財団法人興農学園ニ対シ乙種農学校設置認可ノ指令アリタルヲ以テ、三時半ヨリ理事会ヲ神田YMCA方ニ開会セラレシモ、欠席ス。

二月二十五日(水) 晴 寒

○昨夜降雪七寸許リ。本日晴天ナリ。

○朝、漆山雅喜、中西四郎、横尾惣三郎、柴田善三郎其他諸氏ト電話ニテ談話ス。

○十時ヨリ同成会例会アリ出席ス。

○日本俱樂部ニテ昼食ス。

○一時過、東京府經濟部長ヲ訪問ス。之ヨリ先、府知事ニ面会シ甘藷講習会ノコトヲ依頼シ、同意ヲ得タリ。次ニ部長ニ面会シ同意ヲ得タルニ、技師加藤氏ハ既ニ断状ヲ發シタリト述へ之ヲ拒絶ス。依テ謝絶ノ理由ヲ問ヒ、遂ニ部長ノ斡旋ニテ予定ノ通り決行スルコトトナレリ。加藤氏ト日程ヲ協議セシモ、郡部へ照会ノ要アルヲ以テ明日ヲ期シテ別ル。

○中央林業協力会ニ出頭、漆山常務理事ト会務ヲ相談ス。

○四時過帰宅。五時四十分頃学士会館ニ至リ、伊澤紀氏トつねえ嬢トノ結婚披露会ニ臨ム。一同ヲ代表シテ祝辞ヲ述フ。

〔欄外〕

○和歌山県農会ヨリ会日変更ノ通知アリ。講師高平氏在京中ナルヲ以テ之ヲ電話シタル上、承諾ノ返電ヲ發ス。

○高知県農会ヨリ会日変更ノ通知アリ、承諾ノ電報ヲ發ス。

二月二十六日(木) 雪模様 厳寒 不快甚シ

○朝、横尾惣三郎、清水重喜中将、中西四郎諸氏及井上健彦氏ト電話ス。

○館林ヨリ電話アリ、甘藷栽培法著書出版用紙増配ニ付報告アリ。

○高知県農会ニ対シ、寺田講師ヲシテ高知ニ下車セシムヘシト依頼ノ為、電報ヲ発ス。

○二・二六日ニ付、牧野伯、鈴木男ヲ訪問ス。伯ハ今朝ヨリ神経痛ヲ発シタル由ニテ面会ヲ得ス。男ニ面会ス。

○一時ヨリ大東亜調査委員会ニ出席ス。委員長ニ酒井伯ヲ推シ、部員ヲ定メ幹事ヲ定メ、一時半散会ス。

○一時五十分頃新橋ヨリ乗車、浦和ニ至ル。県庁ニ經濟部長佐藤幸一氏ヲ訪ヒ、農務課長田山貢事務官、技師高澤五郎両氏立合ノ上、甘藷講習会ニ付配慮ヲ乞フ。

然ルニ同県ニテハ断リタリトノコトニ付強ヒテ依頼シ、遂ニ三月三、四、五ノ三日開催ニ決ス。

○帰宅後横尾惣三郎氏へ電話ニテ一、二両日ヲ同氏ノ与野ノ農民興道館ニテ行ハレンコトヲ依頼シ、承諾ヲ得

タリ。

〔欄外〕

○館林葉子風邪ニ罹リ発熱四十度三ニ上ル。堀先生来診ス。

二月二十七日(金) 小雨 曇 冷甚シ

○朝、報徳社へ電話ヲ以テ、(1)東京府、埼玉県ハ講習会開催ニ決シタルコト、其第一日ノ日割(埼玉ハ全日程)、

(2)右ヲ各講師へ通報依頼、(3)用紙配給内定ニ付申請書提出、但シ手数ハ後報ス、トノ旨ヲ通知ス。又(1)ニ関シテハ特ニ電報ヲ発ス。

○群馬県ヨリ日程ヲ送ラル。依テ之ヲ承認スル旨速達郵便ヲ発ス。右ニ基キ木檜三四郎代議士及深町経蔵氏へ通知ス。

○日本倶楽部ニ至リ、横尾惣三郎氏へ送ルヘキ甘藷栽培法要領ヲ託ス。又、同時ニ服部源太郎氏ニ渡スヘキ手紙ヲ横尾氏ニ託ス。

○一時半頃、千葉県庁ニ藤原知事ヲ訪問ス。甘藷栽培法講習会開催ニ付日程ヲ示サル。依テ深甚ノ謝意ヲ表ス。

○社会教育主事増田正直氏ヲ訪ヒシニ不在ナリ。
〔小開一夫〕
〔空白〕氏代テ面会ス。増田氏ヨリ、丸山氏ヲ招

キ講習会開催ノ件ニ付打合せヲ為ス。丸山氏出席困難ナルヲ以テ代人ヲ推薦ス。

○伊東博士ヲ医大病院ニ訪フ。令弟北京大学奉職ノコトヲ聴ク。又甘藷栽培法ノ実験ヲ行フヘキ由。松樹害虫妨害研究談アリ。

七時頃帰宅ス。

〔欄外〕

○岩瀬八重二氏富山、新潟ノ講習ヲ了リシ由ニテ帰県ノ途次来訪ス。予不在ナリ。

○館林葉子発熱甚シキヲ以テ堀先生来診ス。館林夫妻来リ見舞フ。

○大野芳子刀自雷へ帰ル。

○丸山方作氏ヨリ、明後一日ノ会場ニ付了承ノ旨電報ヲ受ク。

○小山谷蔵氏令嬢結婚ニ付案内ヲ受ケタルニ対シ、祝状ヲ呈ス。欠席ヲ謝ス。

二月二十八日(土) 晴 暖

○朝、報徳社ニ電報ヲ以テ、服部講師病氣ナルカ如シ、依テ代人トシテ山本福吉氏ヲ選定シ、所定ノ通派遣方ヲ求メ。之カ決定ニハ丸山氏ト相談スヘキコトヲ以テス。

○服部氏ニ電報ヲ以テ病氣見舞ヲ為シ、遠慮ナク講師代理ノ派遣ヲ本社ニ申出ツヘキヲ告ク。

○夕、返電アリ、(1)丸山、山本両氏明朝五時十六分東京著、(2)服部氏ヨリ快方ニ向ヒシヲ以テ安心セヨトノコトナリ。

○埼玉ニ於ケル講師ノ代替ヲ夜、横尾惣三郎氏ニ電話ス。

○深町経蔵氏ヨリ電話ニテ、服部講師ニ紹介ヲ求メラル。之ヲ諾ス。氏ハ講師ヲ同氏ノ農場ニ迎ヘントスト云フ。明朝来訪スル由。

○午後二時、鷹司公ヲ訪ヒ、出版文化協会長トシテ甘藷栽培法ノ印刷用紙特配ニ尽瘁セラレシヲ深謝ス。公、大阪ニ赴キ不在ナリ。

○三時、日本倶楽部ニテ楠幸平氏ニ面会ス。氏ハ中央林業協力会ニ入り活動スヘシト云フ。

○児玉九十氏ニ四谷駅ニテ出会フ。乃チ明日ノ講習会ニ誘引ス。

○農林省特産課長坂田英一氏ヲ電話ニテ、東村山へ出張ヲ乞フ。

〔欄外〕

○来六日、午前十一時参内セハ

皇后陛下御思召ヲ以テ拝謁ヲ賜フ由、小倉庶務課長ヨリ通知アリ。

○予ハ咽喉ヲ害ス。左腕ノ疼痛増加ス。今関秀雄氏ノ厚生館ニテ診療ヲ乞ハント電話セシニ不在トノコトナリ。

○マス子、成也モ感冒ニ罹リ、堀先生来診ス。

○関口蕃樹博士ノ逝去ヲ見舞フ。夫人ニ面会ス。

○名刺二百枚ヲ注文セシニ夕刻成ル。

三月一日(日)曇 冷

○朝五時十六分東京駅著ニテ丸山方作、山本福吉両氏来著ノ予定ナリシヲ以テ八時過マテ電話又ハ来訪ヲ待チシモ、竟ニ来ラス。

○八時前深町経蔵氏来訪ス。山本福吉氏ヲ招聘ニ付希望アリ。依テ同氏ニ対スル紹介名刺ヲ与フ。

○八時十五分頃出発、東村山国民学校へ赴ク。九時三十分著。東京府及郡農会技師、同技手来会ス。十時半頃丸山方作氏来著、十一時頃ヨリ講習会ヲ開催ス。聴衆七十名許リ。予ハ先ツ講習会開催ノ事由ヲ述ヘ丸山氏ヲ紹介、次テ丸山氏ノ講話ニ入ル。十二時半休憩、昼食ス。一時頃再会ス。当局ノ態度冷淡ナルニ反シ、農業者ノ熱意愈々熾ナリ。予ハ四時過辭去ス。丸山氏ハ今夕同村農会副会長宅ニ宿泊スト云フ。

○四時過、豊島町繁田武平氏ヲ訪ヒ、来三日入間川ニテ講習会アル旨ヲ告ケ、有志ノ参加ヲ求ム。七時半帰宅ス。

○大野芳子刀自帰来ル。

○徳田政信氏来訪ス。東洋大学ヲ退学スト云フ。将来ヲ戒ム。

○新ナル女中群馬県渋川町在ヨリ来ル。

三月二日(月)曇 雨 暖

○七時頃出発八時十五分浦和著下車。直ニ乗合自動車ニテ与野ニ至リ農民講道館ニ赴ク。山本福吉氏、昨日病氣ニテ来著セシ由ナルヲ以テ之ヲ見舞ヒ、必要ニ応シテ代理急派ヲ計ランカ為ナリ。

○山本氏ニ面会セシニ疲労甚シカリシカ、昨夜九時間計リ熟眠セシヲ以テ最早心配ナシト云フ。依テ群馬県ハ同氏ニ託シ、引続キ茨城県ノ講習ヲ依頼ス。而シテ群馬県ノ都合上、十日ノ出演ヲ要スルナラハ、石原氏又ハ田村氏ヲ煩ハサント欲ス。山本氏ノ為ニ旅費トシテ金五十円ヲ与フ。

講道館ノ好意ニ依リ国民車ニ乗リ与野駅ニ著ク。

○東京駅ニ下車。円タクニテ参内、清宮殿下ノ御誕辰奉賀ス。

○富士川金二氏ヲ訪ヒ、十一日三里塚ニ於ケル丸山氏ノ講習会ニ付打合ハス。

○丸ビルニテ中食シ、一時半頃全国砂防協会第三回総会ニ出席ス。

四時過総会散会、五時半ヨリ帝国ホテル晚餐会ニ出席ス。

食後末次会長ノ大東亞戦大捷ノ原因、戦局将来ノ見透シ等ノ講話アリ、了テ会員各自所見ヲ発表ス。九時散

会ス。

〔欄外〕

○秋田県ヨリ来レル女中でい子ヲ解雇ス。同人ハ近ク秋田ニ帰ルト云フ。

○大野よし子、朝比奈アキ子ヲ訪フ。

○館林成也感冒ニテ発熱甚シ。十一時頃頗重態ニ陥リシカ、堀医師来リ回復ス。

○要モ感冒ノ為発熱三十八度五分ニ上ル。

○夜、末松直次氏ニ対シ明日ノ甘藷栽培法講習会場及時刻ヲ通知シ、同志ノ参加ヲ乞フ。

三月三日（火）曇 夜晴 北風強 頗寒

○大谷五平氏ノ書状ニ依リ、内田隆氏ニ対シ甘藷増産方法講習会ノ千葉及群馬ニ於ケル開催日ヲ通知ス。九時過同氏来訪、参加方ニ付打合セヲ為ス。氏ノ為ニ講師山本福吉氏ニ対シ照会ノ名刺ヲ渡ス。

○群馬県農会ニ対シ、講師山本福吉ヲ派遣スルコト、栃木県経済部長ニ対シ、研究会日受諾ノ旨、千葉県庁増田正直氏ニ対シ、十二日以後ノ講習会ニ石原民次郎ヲ派遣スヘク、且同県ニ関宿方面ニテモ開催依頼、報徳社ニ対シテハ石原派遣、田村ヲ栃木ヘ派遣方ニ付交渉ノ上返電アルヤウ、何レモ電報ヲ発ス。

○明夕内閣書記官長ノ晚餐会ニ出席ヲ断ル。

○正午、中央林業協力会理事会ニ出席ス。後藤会長司会ノ下ニ重要事項ニヲ議ス。会長不在中、予之ヲ代理ス。四時前散会ス。

○山本信次郎少将薨去ニ付弔問ス。

○茨城県経済部長ニ対シ、明日午前中ニ往訪ノ旨ヲ電報ス。

○五時ヨリ中林協主催ニテ組織団体事務主任者招待会ニ出席ス。予ヨリ挨拶及開催ノ趣旨ヲ述ヘ、漆山理事ヨリ沿革事業ヲ説明ス。晚餐後懇談ヲ遂ケ、毎月第一月曜日ニ開催ノ旨ヲ決シ九時散会ス。

〔欄外〕

○要、成也ノ容体漸ク快方ニ向フ。

○柴田善三郎氏ヨリ培本塾理事就任承諾用書ヲ送来ル。明朝調印發送スヘシ。

三月四日（水）快晴 寒 昼暖

○見付磯部英一氏応召入営ノ昨夜石間たみヨリ通知アリ、依テ今朝、至急報電話ニテ壮行ノ辞ヲ述フ（代人）。

○上野発九時十分ニテ茨城県庁ニ出頭シ、経済部長池田欽三郎氏ニ面会ス。又部長ノ紹介ニテ農務課長事務牧福松氏、甘藷主任技師大澤忠次氏ニ面会ス。弁当ヲ饗

セラレ、会談二時間ニ及フ。茨城県ハ正確ニ日程ヲ用意シアリ、甚好都合ナリ。

○退庁ノ時、部長ノ厚意ニテ講道館ヲ案内セラル。農務課員齋藤氏同行、停車場マテ見送ラル。

○三時一分出發、東京ニ帰ル。

○千葉県庁増田正直氏來訪、甘藷講習会開催ニ付問合ハサル。

○夜、榛葉孝平氏女婿夫妻來訪ス。左合正雄氏、池袋〔番地削除〕。

〔欄外〕

○要、一也、成也輕快ナリ。

三月五日（木） 雨 暖

○上野発八時十分ニ赤羽ヨリ乗車、九時五十二分宇都宮著。徒歩栃木県庁ニ出頭ス。經濟部長岡本三良助氏ニ面会シ、甘藷増産方法講習会ニ付説明ヲ為シ希望ヲ述べ、部長ハ出京ノ時迫レルヲ以テ農務課長島田昇、農林技師鈴木誠一氏ニ紹介セラレ懇談ス。要スルニ時期未到ラス本年実検ヲ待ツヘシト云フ。十一時半辞去ス。○十二時過、東武バスニ乗リ宇都宮高等農林学校ニ出頭ス。校長上京中ノ由ニテ庶務主任小野春次氏ノ紹介ニ依リ甘藷主任教授渡辺龍雄、実験農場主任草野仙吾両

氏ニ面会シテ説明ヲ為シ、学校ノ協力ヲ求ム。両氏大ニ喜フ。二時退出、徒歩宇都宮駅ニ還ル。二時半馬方茶屋ニテ温飩一パイヲ食フ。

○宇都宮二時五十分發ニテ帰京ス。新宿下車。

○新宿泰華樓ニ於ケル静岳公伝記編纂顧問会ニ出席ス。九時散会。中村孝也氏、宇佐美氏、安井氏ノ外井野辺博士以下所員出席。

○三島甫出張出京ニ付、夜來泊ス。

〔欄外〕

○昨日未明敵機約三十、南鳥島ニ來集。我反撃ニ遇ヒ七機ヲ擊墜セラレテ逃去セリト云フ。此ノ為昨夜警戒警報發セラレ、今朝八時七分空襲警報ヲ發セラレ、一時間ニシテ解除セラル。

○沖縄県真栄城守行氏ヨリ黒砂糖ヲ贈ラル。

三月六日（金） 晴 暖

○朝、三島甫出勤、夜行九時四十分ニテ帰阪ス。

○十時、中央林業協力会ヨリ提供ノ自動車ニテ参内ス。皇后陛下ニ拝謁ヲ仰付ケラル。実ニ近来破天荒ノコトナリ。木下、黒田、本多、岡本、野口、加藤泰通諸氏ト此光榮ニ与カル。次テ別室ニテ茶菓ヲ賜ハル。御料理及御菓子ヲ頂戴、十一時四十分退出ス。

○千葉県農事試験場ナル甘藷増産方法講習会打合せニ出席ス。經濟部長、農務課長、県技術員、試験場員、各郡市技術指導員及篤農学約四十名集会シ、丸山氏ノ講演ヲ中心トシテ熱心ナル検討ヲ行ヒ、四時散会ス。先是予ハ食糧増産使命ノ必要ヲ強調シ、方法ノ如何ヲ問ヒ、学理的基礎決定要望ノ為時ヲ費スヲ許サスト述へ、増産目標ヲ反当千貫ニ掲ケテ熱誠一致ヲ要求シテ挨拶トセリ。

經濟部長ノ自動車ニ丸山氏ト同乗シ、千葉駅ヨリ帰ル
《四・五五―》。

○夜、前橋眞八郎氏来訪ス。夕食ヲ呈ス。夜、長野県下伊那郡下へ講演ニ赴クト云フ。恩賜ノ料理及御菓子ヲ頒ツ。

〔欄外〕

○海野真岳氏来訪ス。天城山立木伐採跡地ニ関シ野口監理部長ト宮中ニ会见シ、其結果ヲ電話ス。

○シヤバ島バタバヤハ昨夜我軍ノ占領ニ帰ス。

○興三午後來ル。今夕伊豆熱川温泉へ赴キ泊ルト云フ。

三月七日（土）曇 夜小雪 昼暖 夜寒

○朝、海野真岳氏ヨリ、昨日野口氏ト会见ノ内容ニ付電話ニテ問合セアリ。之ヲ説明ス。

○八時三十分上野発ニ乗り高崎市ニ赴ク。直ニ群馬郡農會事務所ニ出頭ス。講師山本福吉氏ノ外、県庁農務課新野水作技師、試験場山崎朝雄技師、日本甘藷馬鈴薯會社前橋出張所長渋谷澤實ニ面会ス。又、陸軍少将宮澤浩氏モ特ニ來聴セラル。山本講師ハ一昨五日深町經藏氏ノ農場ニ泊シテ今朝來著セリト云フ。本日ノ講習員ハ郡市指導者及篤農家ニシテ約百名ヲ超ユ。予ハ新野技師ニ紹介セラレテ本講習ノ性質、目的及報徳事業ノ一面ナルヲ説明シテ山本講師ヲ紹介シ、約四十分ニ亘リテ挨拶ヲ述フ。ソレヨリ山本氏ノ講話ニ入ル。正午休憩ス。

○中食ヲ饗セラレ一時四十四分發ニテ上野ニ帰ル。

○車中ニテ田村勉作、服部源太郎、石原民次郎、青森県經濟部長、新野治氏ニ対スル電報ヲ書キ、又袴田、溝口両氏ニ宛テタル書状ヲ作成ス。中央局ニテ発信ス。

〔欄外〕

○昨夜十二時前空襲サイレンアリ、其誤発ナリシコト判明ス。

○上野駅ニテ來十日午後八時三十四分發秋田行急行列車ノ寢台券ヲ求ム。

○夜六時、興林會ヨリ招カレ亜細亞方ノ晚餐會ニ出席ス。白沢博士ノ挨拶ニ対シ後藤文夫、村上富士太郎、田中

長茂諸氏演説ス。

三月八日(日) 快晴 頗寒

○朝、池之上国民学校会理事和田謙三氏来訪ス。音楽会ノ開否ニ付婦人側ノ意向ヲ伝へ、決定ヲ求メラル。

○岩手県下ニ於ケル甘藷講習会ヨリ帰来セル新野治氏来訪ス。具サニ同県ノ状況ヲ報告セラル。又、同氏ニ対シ青森県ノ講習ヲモ依頼シ、同意ヲ得タリ。

○故久宮殿下御命日ニ付豊島ヶ岡ニ至リ拝礼ス。

○目白駅脇ニ厚生館今関敏雄氏ヲ訪ヒ、針治ヲ受ク。

○江古田四ノ一四八八ニ薄田美朝氏ヲ訪ヒシニ不在ナリ。先般鹿兒島ニテ直話セラレシ厚意ヲ深謝ス。夫人不在。須藤亮作氏方ニ立寄り薄田氏へ案内ヲ乞フ。

○柴沼惣吉妻女二児ヲ伴ヒ来訪ス。漬物ヲ贈ラル。

○三時ヨリ五時半マテ臥床ス。心気快然タリ。

○夕、館林三喜男来訪ス。

三月九日(月) 曇 暖

○朝、甘藷増産講習会ニ付報徳社、田村勉作、石原、増田正直、栃木県農務課長等諸氏へ電報ヲ発シ、木檜三四郎、報徳社、増田正直、丸山、田村其他諸氏へ書状ヲ発ス。

○森口淳三氏ヨリ立候補ニ付来信アリ、返電ス(柴田氏へ其書状ヲ送ル)。

○午後一時半、貴族院東亜調査部第一部会ニ出席ス。

○堀田伯、木下道雄氏、本多猶一郎子、関屋貞三郎氏等へ電話ス。

○岡喜七郎氏へ電話ニテ芳澤謙吉氏末広会へ出席ノ都合ヲ問ヒシニ、岡氏病氣ニテ目的ヲ達セス。

○服部源太郎氏ヨリ蓮根ヲ贈ラル。

○漆山雅喜氏ト共ニ谷口大蔵次官、山崎内務次官、成田地方局長ヲ訪ヒ、立木税、林産物輸出税ノ撤廃ニ付林業協力会ノ意見書ヲ提出シテ説明ス。

○帰途、青森秋田両県經濟部長へ往訪ノ由発電ス。

○佐賀県農務課長ヨリ、廿一日丸山氏派遣ヲ依頼シ来ル。

〔欄外〕

○興三熱川ヨリ帰来ル。

三月十日(火) 曇 午後晴 暖

○佐賀県ノ講習会へ派遣スヘキ講師ノ選定ハ、最適切ナル方途ニ出ツヘキヲ以テ服部源太郎氏ヲ適当ト認め、其可否ヲ丸山氏ニ問フニ決シ、本多主馬頭ニ依頼シテ三里塚ニ明日出頭スヘキ丸山氏宛意見書ヲ送り、且同

氏ヨリ佐賀県及服部氏へ打電センコトヲ依頼ス。

○芳澤謙吉氏ノ都合ヲ問合セシニ、二十三日末広会ヲ開クニ決シ、午前中ニ通知書ヲ認メ之ヲ發送ス。

○正午、中央林業協力会理事会アリ、出席ス。田中八百八氏ヲ理事ニ推薦スル件等ニ付協議決定ス。

○農林水産聯合会アリシモ欠席ス。

○治水砂防協會例会ニハ二十分計リ出席ス。

○三時、徳川公爵家ノ家政相談人会ニ出席ス。決算ヲ議定ス。了テ東京府ヨリ交渉アリタル邸宅売却ノ件ニ付相談ス。

○八時四十三分上野發秋田行急行列車ニ赤羽駅ヨリ乗車シ、秋田へ赴ク。

三月十一日(水) 晴 暖

○昨夜睡眠十分ナリ。六時新庄駅ニテ覚眠起床ス。九時十分秋田著、直ニ徒歩県庁ヲ訪フ。

○産業課ニテ主事矢野忠一、主席技師栗原省吾氏、技師高橋茂氏、技手大内慎太郎氏ニ面会ス。同県ニテハ近ク日程ヲ定メ、講師派遣ヲ求ムルノ用意中ナリト云フ。経営方法、指導者養成方法等ニ付所見ヲ述ヘテ謝意ヲ表ス。

經濟部長鈴木栄二氏ニ挨拶ヲ述ヘテ去ル。

○部長ノ好意ニ依リ自動車ニテ秋田駅ニ送ラレ、十一時四十三分ニテ青森ニ向フ。四時五十五分著。五時十五分發ニ乗り五時四十三分浅虫駅著。南部屋旅館ニ投宿ス。

三月十二日(木) 快晴 暖

○本会議アリ、シヤバ島降伏并蘭貢攻略ニ付、首相ヨリ帝国ノ態度ヲ表明シ、陸海両大臣ヨリ戦争經過ノ報告アリ。之ニ對シ感謝決議ヲ行ヒタリ。旅行中ニ付欠席ス。

○八時、南部屋旅館ヲ出ツ。八時二十五分浅虫駅發ニテ青森へ赴ク。八時五十分著。九時過バスニテ青森県庁ニ出頭ス。

○經濟部長福島貞雄氏、農産課長山本四郎氏(事務官)及主任官技手折茂與四氏ニ面会シテ講習会ノコトヲ依頼ス。其結果、会期ヲ延長シテ決定次第本社へ電報スルコトトナレリ。部長ノ好意ニテサロン方ニ招カレ中食ヲ饗セラル。山本、折茂両氏モ同行ス。

○自動車ニテ青森駅ニ送ラル。折茂氏ニ謝シテ、零時五十五分發ニ乗ル。六時十五分盛岡ニ著ス。

○山内岩手県知事、駅ニ出迎ヘラレ直ニ花月方ニ案内セラレ、晚餐ヲ饗セラル。甘藷栽培ノ経営方ニ付所見ヲ

述へテ実行ヲ乞フ。山内知事大ニ喜ハル。

〔欄外〕

○福島青森県経済部長ヨリ、岩手県庁官房ニ対シ予ノ往訪ヲ電話ニテ告ケラレシヲ以テ、知事ノ出迎ヲ受ケシナリ。

尚又、旅館ヲ小田島方ニ用意シ置カレタリ。部長及岩手県知事ノ厚意感謝ニ堪ヘス。

三月十三日（金）晴 暖

○昨夜快眠ス。

○九時前、岩手県庁ニ山内知事ヲ訪ヒ、昨夜ノ好遇ニ対シ深謝ノ意ヲ表ス。又、和久田経済部長ニモ面会ス。

○帝室林野局盛岡出張所ヲ訪問ス。所長石川氏不在ナリ。

○小田島旅館ニテ宿料ヲ払ヒ、県庁ノ自動車ニテ停車場ニ赴ク。

○午前十時十二分出發、七時五十分赤羽著下車。省線電車ニテ八時四十分頃帰宅ス。

○朝比奈アキ子中耳炎ニ罹リシヲ以テ、要、一昨日来横浜ニ赴キ世話ス。木時十五分盛岡ニ著ス。

○山内岩手県知事、駅ニテ出迎ヘラル。「花用」方ニ招カレテ晚餐ヲ饗セラル。甘藷栽培ノ経當ニ付所見ヲ述ベテ実情ヲ告ガレ。

〔欄外〕

○栗田昇一氏今朝逝去ノ由電報ヲ受ク。

三月十四日（土）晴 暖

○南風吹キ暖氣大ニ加ハル。昨夜熟睡ス。

○十時過、三井報恩会ニ山口安憲氏ヲ訪問ス。氏ノ需ニ依リ甘藷増産運動ノ意義、効果及各地ノ之ニ対スル態度等ニ付説明ス。井上玄一氏（円了博士息）、米山会長モ同席ス。同会ニテハ予ノ行動ニ対シ、資金不足ノ場合ハ之ヲ援助セントノ意向ナリト伝ヘラル。感謝ノ至リニ堪ヘス。依テ謝意ヲ表シ、且其要ナキヲ以テ之ヲ謝絶ス。

○松山高四郎氏ヲ仁井田事務所ニ訪ヒシニ不在ナリ。

○日本俱樂部ニテ中食ス。

○農林省ニ湯河食糧局長官、石井農政局長ヲ訪フ。何レモ不在ナリ。又、岸馬政局長官ヲ訪、亦不在ナリ。石井、岸両氏ニ対シ挨拶ノ為名刺ヲ掛員ニ託ス。

○帰途、榛原方ニテ封筒二百枚及巻紙五本ヲ求メ、又丸善ニテアテナインクヲ買フ。

〔欄外〕

○朝比奈アキ子中耳炎再手術ヲ行ヒシ由電話アリ。心配ナリ。又、子供ハ百日咳ニ罹レリト云フ。要滞泊ス。

○夜二月七日ヨリ二十四日迄ノ日記ヲ認ム。十一時半了ル。

三月十五日(日) 小雨 寒冷

○朝、柴田善三郎氏ヲ訪問シ、(1)重友結婚期日ノコト、(2)培本塾評議員会ノコト、(3)衆議院総選挙ノコト等ニ付相談ス。

○朝比奈アキ子ノ病氣見舞ノ為横浜へ赴ク。十二時横浜下車、駅食堂ニテ昼食シ、電車ニテ朝比奈方ニ至ル。アキ子ハ昨日中耳炎第二回ノ手術ヲ受ケタル由ニテ、幾分軽快ナリ。又、由紀子モ百日咳ニ罹リ居リ稍軽快ナリ。家政婦昨日ヨリ来援セリト云フ。二時半、要ト共ニ辞去、帰宅ス。四時半著。

○久保春海氏、明德寮第一期出身河合三氏〔河合産業商事株式会社社長、神戸市葺合区磯辺通四ノ四〕ヲ同伴来訪ス。河合氏ヨリ蘭印ニ於ケル回収繊維工業ハ、遠州機業関係者ヲシテ経営セシメラレタシトノ意見ヲ聴ク。而シテ之カ実行ノ方法ニ付協力ヲ求メラル。依テ大塚惟精氏宛ノ名刺ヲ渡ス。

○夜、木下道雄氏ヨリ電話アリ、田村勉作氏明朝十時同家ヲ訪ヒ講習ヲ為スト云フ。依テ田村氏ノコトヲ説明シ聴講ノ要点ヲ注意ス。

○田村勉作氏ヨリ電話アリ、主トシテ栃木県ニ於ケル行動ニ付報告アリ。

○夜、婦人之友編輯部柿崎平四郎氏来訪ス。丸山氏ノ甘藷増産法ヲ同誌ニ掲載スル為紹介ヲ求ム。依テ必要ナル注意ヲ与へ紹介ノ名刺ヲ与フ。又、前提要件トシテ明日木下氏方ニテ田村氏ノ講習ヲ聴クコト、及雑誌報徳ノ栽培記事ヲ与フ。

〔欄外〕

○館林マス子ハ成也及女中ヲ連レ自宅へ帰ル。館林明後日ヨリ北海道へ出張スト云フ。

三月十六日(月) 雨 寒冷

○朝、森口淳三、袴田銀蔵、大村留吉三氏へ、電報ヲ以テ本日帰村ヲ報ス。

○十時半、帝国農会ニ松山信照氏ヲ訪問ス。同農会ヨリ報徳社ニ対シ、甘藷増産ノ為全国ニ講師ヲ派遣方依頼書、報徳社ノ受諾書及必要経費交付要求書、交付手続書等ノ確定案ヲ示サル。

依テ明日、報徳社ニ於テ正式ニ書面ニ調印スヘキヲ約ス。

○日本俱樂部ニテ丸山方作氏ニ対スル書状「(1)各地ノ概要報告、(2)丸山氏愛媛県へ出張ノ件、(3)山梨県ヨリノ

要求ニ対スル処置如何等」、山梨県知事ニ対スル返事ヲ認ム。

○二時ヨリ軍人会館ニ於ケル培本塾理事会ニ出席ス。(1)理事、監事互選ノ件ハ一同重任ト決シ、理事長ニ当選ス。(2)評議員二名ノ補欠選挙ヲ為シ、且一名ヲ補充ス(鈴木登氏)。(3)明年度予算案ヲ議決シ、評議員会ヲ三月二十九日開会ニ決定ス。(4)卒業式、入塾式ヲ三月二十九日決行ニ決定ス。

○東京駅三時四十分発急行ニテ帰村ス。静岡ニテ乗換ヘ八時四十六分著。袴田銀藏、西山口村鈴木義郎両氏及大村留吉出迎フ。

三月十七日(火)晴 暖

○田村勉作氏、朝五時十六分著ニテ東京ヨリ帰来ル。栃木県ニ於ケル講習ノ状況ニ付詳細ヲ報告セラル。

○石野元治郎、小柳直吉両氏来訪ス。藤田久蔵氏、夕刻来著。夜、南郷村明朗会ノ為ニ座談会ヲ催シ一泊スト云フ。

○森口淳三氏来訪ス。衆議院議員選挙ニ立候補ニ付相談アリ。

○十二時前、報徳社ニ出頭ス。(1)講習会ニ関スル諸般ノ処理ヲ為シ、(2)政府補助金ヲ帝国農会ヲ経テ受領ノ手

続等ヲ処理ス。又(3)栽培法著書代金ニ付相談ス。

○二時、袴田銀藏氏ノ案内ニ依リ西山口村成滝鈴木義郎氏方ヘ赴ク。三時ヨリ四時半マテ同家ニテ同村六字報徳社長等ト会談ス。五時過夕食トシテ寿司ヲ饗セラレ会食ス。

○七時過、国民学校ニ至リ、講堂ニ於テ同村民三百余名ニ対シテ時局ニ対スル講演ヲ為シ、報徳ノ積極的実践性ニ付強調シタリ。十時、鈴木氏方ニ帰り、同家ニ袴田氏ト共ニ宿泊ス。最良ノベッドニ寝ヌ。

三月十八日(水)晴 暖

○六時半起床。七時朝食ヲ饗セラル。鶏卵トースト、林檎煮物、鶏卵目タマ焼、馬鈴薯マッシュ、焼椎茸等アリ、牛乳、珈琲ヲ出サル。悉ク佳味ナリ。八時自動車ヲ供セラレテ帰宅ス。

○鈴木氏ノ需ニ依テ揮毫ス(四枚)。

○藤田久蔵氏ニ面会ス。同氏ヨリ島根県ニ於ケル講習会ノ状況ヲ聴ク。且、井戸神社縁由ノ談話アリ。

○九時三十分、藤田氏ニ別レテ停車場ニ赴ク。鈴木義郎氏態々見送ラル。九時五十六分發ニ乗ル。堀之内駅ニテ鷺山恭平氏ト同車ス。二時五十分新橋著、下車ス。

○三時十分、法曹会館ニ於ケル有志会ニ出席ス。時事ニ

関シ所見ヲ交換シ、五時過散会ス。小山松吉、小原直、松本学、松村義一及予ノ五名出席ス。

○七時頃帰宅ス。

○朝比奈アキ子本日三ヒ手術ヲ受ケタル由、電話アリ。心配ニ堪ヘス。堀先生ニ横浜ニ於ケル専門医ヲ問ヒ、朝比奈ニ之ヲ報告ス。

三月十九日(木) 晴 寒

○朝、西山口村成滝鈴木義郎氏ニ対シ謝状ヲ認メ、之ヲ發送ス。

○池ノ上ヨリ渋谷ニ至ルノ間鈴木幸作氏ト同車ス。令嗣敬三氏戦死セラレシ由ヲ聞キ、同情ニ堪ヘス。

○十時過、帝国農会ニ出頭シ、松山信昭氏ニ報徳社提出ノ請書ヲ提出ス。然ルニ文書番号及日附ヲ欠クヲ以テ、日本倶楽部ニ至リ速達書状ヲ認メ袴田氏ニ送り、電報ヲ以テ松山氏ニ返事ヲ命ス。

○十一時過湯河食糧局長官ヲ訪問ス。食糧事情ノ急迫ヲ述ヘ、至急対策ヲ講スヘキヲ力説ス。政府ノ措置ニ付説明アリ。尚、之ニ対シテ希望ヲ陳述ス。

○坂田特産課長ヲ訪ヒシニ不在ナリ。

○山林局ニ立寄り新任ノ監理課長、林政課長ニ挨拶ス。両氏不在ナリ。

○榛原方ニ立寄り巻紙及封筒ヲ求ム。又、中林協ニ託シテ買入レタル用紙二千枚ノ代金十四円ヲ支払フ。

○漆山雅喜氏ニ中林協ニテ面会シ、緊要ナル会務ニ付協議ス。

〔欄外〕

○館林三喜男ヲ内務省ニ訪問ス。館林ハ七時発北海道へ出張ス。

○警保局経済保安課事務官溝渕増己氏ニ面会シ、最近ノ食糧事情ニ関スル説明ヲ聴ク。

○赤木正雄氏ヲ其室ニ訪問ス。中井代議士モ同席ス。

○朝比奈アキ子病氣見舞ノ為、角替文子終日手伝フ。夕刻、要横浜へ赴ク。

三月二十日(金) 晴 暖

○朝、要ヨリ電話ニテアキ子ノ容体ヲ報告アリ。又、朝比奈ヨリモ相談アリ、発熱ノ原因ヲ調査ノ要ヲ認メ、専門医ノ大家ニ診察ヲ受クルヲ勸ム。

○十時過、農林大臣官舎ニ出頭ス。農業報國聯盟ノ実行ニ係ル全国食糧増産推進員代表者ノ会議ニ出頭セントセシモ、午前中ハ講演ニ止ルトノコトニ付出席セス。

○貴族院第八控室ニ至リ速記録ヲ整理ス。

○小林書記官長ニ面会シ、最近ノ議会ニ於ケル状勢ヲ聴

取ス。

- 一時ヨリ貴族院ノ大東亜調査委員会第一部会ニ出席ス。
- 一時半ヨリ調査会第三部会ニ出席シ、総選挙ニ関スル内務省当局ノ説明ヲ聴取ス。次官、地方局長、警保局長等出席ス。大体ニ於テ不満足ノ説明ナリ。
- 入江貫一氏ニ面会セシニ、同氏ノ所有地ヲ利用スル希望者ニ対スル件ニ付相談アリ。
- 夕、石原民次郎氏千葉群馬両県ノ講習ヲ了ヘ来リ、報告ス。

○夜、山本栄枝氏来訪。身上ニ付相談ヲ受ク。又、氏ノ著作シナリオノ原稿ヲ返却ス。

〔欄外〕

- 大日本報徳社ヨリ秋田県申入ノ講習会講師ハ、近藤定一氏トスヘキヤ大谷英一氏トスヘキヤノ照会アリ。近藤氏トストノ返電ヲ発ス。
- 夜、朝比奈ヨリ電話アリ、アキ子ハ十全病院医師ノ診察ヲ受ケシニ、発熱ノ原因ハ耳病ニ非ス、内科的原因ナリト云フ。

三月二十一日(土) 晴 暖

○朝、赤木正雄氏来訪ス。同氏一昨十九日退任ノ勧告ヲ受ケタリトテ、其実状ヲ報告セラル。予テ期セサルニ

アラサリシモ寔ニ遺憾ナリ。

- 十時、漆山雅喜氏ト後藤文夫氏ヲ往訪ス。(1)協力会会計報告、及農林省ヘ返還金ノ件、(2)五月十一日各団体聯合会ヲ上諏訪ニ開催ノ件、(3)役員年度末賞与ノ件、(4)役員退職贈与金積立ノ件、(5)明年度予算案編成ノ件等ヲ協議決定ス。後藤氏病氣ナリシモ殆快癒セリ。
- 十一時過、岡田忠彦氏ヲ訪問ス。赤木氏ノ進退ニ付山崎内務次官往訪ノ内容ヲ聴取シ、善後処置ニ付相談ス。
- 一時過、俵孫一氏ヲ訪ヒ、右件ノ報告ヲ為シ相談ス。

其結果、明後二十三日午前七時三十分末次会長帰京スヘキヲ以テ、八時半有志会ヲ開クニ決シ、其旨ヲ俵、河井ノ名ニテ大将ニ電報シ、且来会ヲ求ムヘキ者ヲ貴族院側大河内子、矢吹男、江口、河井、衆議院側俵、岡田、田中、植原トシタリ。

○治水砂防協会ニ至リ、右諸氏ヘノ通知状ヲ認め發送ス。但、植原氏ハ来会シ協議ス。

○小田原勇氏ニ対シ培本塾理事長就任ノ挨拶状ヲ発ス。

〔欄外〕

- 鳩居堂ニテ線香五束ヲ求ム。
- 一木男ヲ往訪ス。男ハ二月中旬ヨリ病臥中ニシテ、肺炎ニ罹リシモ、昨今殆全快セリト云フ。病床ニテ面会セラル。

○故夫人ノ靈位ニ対シテ焼香ス。

○夕、長谷川赳夫氏ノ紹介ニテ渡辺祐四郎氏来訪ス。金原舜二氏立候補ニ付推薦者タランコトヲ求メラル。暫ク猶予ヲ乞フ。

三月二十二日(日)晴 暖

○早朝、下関市山陽ホテルナル末次大将ヨリ電話アリ。赤木氏進退ニ関スル件ニ付打合セヲ為シ報告ス。大将ハ二十五日午後帰京スト云フ。

○俵孫一氏ヨリ電話アリ、今朝末次大将ヨリ受領セシ電報ヲ聴ク。

○朝、大河内子、矢吹男へ電話ニテ明朝砂防協会ニ集合ヲ乞ヒタル事情ヲ説明ス。江口氏ハ河津ニ赴キ不在ナリシヲ以テ、重友ヲシテ河津へ電話セシム。

○朝、日本米穀会社平又市氏来訪シ、甘藷栽培法ニ付説明ヲ為ス。

○十一時半頃、吉祥寺ナル故佐藤鐵太郎中将ノ宅ヲ訪ヒ、弔意ヲ表シ又焼香ヲ為ス。令嗣及未亡人ニ面会ス。

○帰途東横食堂ニテ中食シ、一時半三會堂ノ砂防協会ニ出席ス。

○赤木氏及俵孫一氏ニ面会シテ打合セヲ為ス。其結果、黒田長和男ヲ訪問シ、明朝ノ會議ニ出席ヲ求メ成行ヲ

説明ス。

○神経痛ノ為今関秀雄氏ヲ訪ヒシモ、不在ニテ治療ヲ受クル能ハス。

○海軍中将故吉田増次郎氏ヲ弔問ス。未亡人及故佐倉少将夫人ニ面会ス。

〔欄外〕

○午後、婦人之友編輯部柿崎平四郎氏ニ甘藷ノ写真八葉ヲ貸ス。

○成滝鈴木義郎氏ヨリ蜜柑二箱ヲ贈ラル。其一箱ヲ赤木正雄ニ呈ス。

○要ハ夕食後美弥子及瑛子ヲ送リテ横浜ニ赴ク。

夜十時頃、電話ニテアキ子ノ容体ヲ通知シ、速ニ内科医ノ診察ヲ受ケシメタシト述フ。依テ朝比奈ニ其事ヲ依頼ス。

三月二十三日(月)晴 暖

○午前八時三十分、全国砂防協会事務所ニ出頭ス。俵孫一、岡田忠彦、田中好、子大河内輝耕、男黒田長和、男矢吹省三、江口定條諸氏出席ス。赤木氏ヨリ同氏進退問題ノ経過、田中氏、河井、岡田氏、俵氏ヨリ其後ノ経過報告アリ、対策ヲ協議ス。其結果、取敢ヘス末次会長ノ使トシテ俵、河井兩名内相訪問、人事決定ヲ

二十五日マデ延期方懇請スルコトニ決シ、若シ事情不可能ナル場合ノコトヲ相談ス。尚今後ノ対策ニ付テモ研究ヲ為シ、二十五日午後四時再集会ニ決ス。

○農林省ニ坂田特産課長ヲ訪ヒ、(1)甘藷種子配給ノ件、(2)甘藷配給機構及其運営改善ノ件ニ付意見ヲ交換ス。又、石井農政局長ヲモ訪ヒ甘藷運動ニ付説明ヲ為シ、金員下付ニ付謝意ヲ表ス。

○正午、日本国際協会ノ午餐会ニ臨ム。十二時半退出、日本俱樂部ニ至ル。

○日本俱樂部ニテ俵、赤木両氏ト会見、赤木氏ヨリ廿五日マテ延期セストノコトヲ聴ク。

○一時二十分、俵氏ト共ニ官邸ニ内相ヲ訪問ス。俵氏ヨリノ懇請ニ対シ内相ハ承諾シ難キ由ヲ答フ。予ノ陳述ニ対シ赤木氏ニ対スル省内ノ雰囲気ヲ明ニスルヲ得タリ。協会ニ戻リ俵氏ヨリ右事情ヲ赤木氏ニ告ク。赤木氏直ニ内務省ニ出頭、国土局長ニ辞表ヲ提出ス。右ノ件、末次協会長ニ対シ電報ヲ発ス。

〔欄外〕

○六時、第八回末広会ヲ開キ出席ス。来会者十二名、田口、赤池、岩田、江口、澤田、小原、岡、大西、古島、芳澤、次田、河井。

○アキ子、昨夜顔面疼痛甚シク睡眠出来スト云フ。午後、

十全病院耳鼻科主任医来診シ、入院ノ手續ヲ取ルニ決定セリト云フ。

○重友風邪ニテ欠勤ス。

○大森夫人ヨリ魚乾物ヲ贈ラル。

○大谷五平氏ヨリ筍ヲ贈ラル。

三月二十四日(火)南風強 曇 夜雨 暖

○朝、徳田政信氏来訪ス。天照教々理ニ依リ、国教統一ノ為政府ニ建言セントスト云フ。静岡県学務部長伊能書記官ニ悦翁氏ヲ紹介ス(名刺)。

○十一時過、皇后宮職ニ出頭ス。

皇后陛下下拝謁ヲ賜ヒ、故父宮殿下薨去後十五年ニ及ヒタルヲ以テ、年々行ハセラレタル御雛祭ヲ廃止セラルル趣ニテ、其中一具ヲ御下賜アラセラル。恐懼拝受ス。陛下ニハ予カ必ス御墓参リヲ致シタルニ対シ優渥ナル御挨拶ヲ賜ヘリ。感涙ニ任ヘス。

○岡本官房主管ニ面会シ、宮内省ニテ入用ナル種藪調達方法ヲ述へ、至急取計方ヲ勧告ス。農林省特産課長ニ対スル名刺ヲ与フ。

○松平宮内大臣ト食糧問題ニ付所見ヲ交換ス。

○中央林業協力会理事会ニ出席ス。(1)五月十一日林業諸団体集会ノ件、(2)明年度予算案編成ノ件、(3)各団体醸

出金決定ノ件等ヲ協議ス。

○全国治水砂防協会ニ出席シ、赤木氏ノ進退問題ニ関シ経過ヲ報告ス。

○六時、錦水方ノ小林書記官長ノ晚餐会ニ出席ス。東久世、宮田、松平子、長谷川諸氏出席ス。

〔欄外〕

○渋谷駅ニテ偶然要ト出会ヒ帰宅ス。アキ子、本日十全病院ニ入院ス。明日午後手術ヲ受クル筈ナリト云フ。大野ヨシ子来援ス。ふみモ本日見舞ヘリト云フ。

○早朝、大瀧靖氏ヲ訪ヒ、明日ノ池ノ上国民学校修了式ニ出席シ難キヲ以テ、代理ヲ長谷川顧問ニ願度ト相談ス。其結果、長谷川氏ヲ訪問セシニ、先約アリト云フ。依テ再ヒ大滝氏ヲ訪ヒ、和田氏ト協議ノ上処理セラレシコトヲ依頼ス。

○帝都線池之上駅ニテ江松次郎氏ニ出会フ。演奏会見合セノ意向ヲ以テ了解ヲ得タリ。

三月二十五日（水）晴 暖

○九時過登院ス。十時开会、請願全部ヲ議了ス。衆議院議員ノ選挙ニ関シ大河内子ノ質問アリ、首相、内相之ニ答フ。

○十二時前、森口淳三氏来院ス。三橋氏ヲ加ヘ「亜細亜」

ニ招キ午餐ヲ喫ス。立候補ニ付聴取ス。柴田善三郎氏ニ宛紹介ス。

○目白厚生館ニ至リ、今関氏ノ治療ヲ受ク。

○四時前、全国治水砂防協会ニ出席ス。末次大将山口県ヨリ帰京、直ニ来会ス。赤木氏之ヲ東京駅ニ出迎フ。俵、岡田、植原、田中、木桧、大河内子、黒田男、矢吹男、江口諸氏出席ス。赤木氏ヨリ経過ヲ報告シタル後、俵氏大臣往訪ノ顛末ヲ発表シ、将来ノコトニ付意見ヲ交換ス。

○館林マス子ハ児童及荷物ヲ纏メ転居ス。

○要ハ早朝夜具ヲ横浜ヘ持行ク。朝比奈アキ子入院手術ヲ受クル為ナリ。

○興三八団教授ニ招カレテ蜜蜂見学ノ為三浦半島ヘ行ク。

○重友学士会館ニ赴キ打合セヲナス。

〔欄外〕

○昨日

皇后陛下ヨリ御下賜アラセラレタル雛（箱入）ハ午後送届ケラル。

三月二十六日（木）晴 暖

○朝、重友結婚ノ通知状数葉ヲ認ム。泰治ヘモ発状ス。

○館林マス子ノ求ニ依リ、一也、葉子ヲ返ス。一也ハ青

山師範附属国民学校へ入学試験ヲ受クト云フ。

○第七十九回議會閉院式参列ノ為、十時二十分登院ス。
十一時、東條首相謹テ勅語書ヲ捧読ス。

○十一時二十分参内ス。十二時、鳳凰間ニ於テ
天皇陛下ニ拝謁ス。次テ豊明殿ニテ賜饌ヲ頂戴ス。

○二時、築地本願寺ニ於ケル故川崎卓吉君第七周忌法要
ニ参列焼香ス。了テ茶菓ヲ饗セラル。小原直氏ノ挨拶、
伝記編纂ニ関スル次田大三郎氏ノ希望アリ、松平恒雄
氏ノ謝辞及編纂委員選定方發議アリ、散会ス。

○三時、首相官邸ニ至リ茶会ニ出席ス。

○歳費千四百十円ヲ受取ル。

〔欄外〕

○朝比奈アキ子經過良好ナリ。

要、夕刻横浜ヨリ歸来ル。

○桜花咲初ム。

三月二十七日（金）晴 東風強 寒

○朝、大瀧靖氏来訪。子息勲氏ノ為ニ国学院大学へ入学
取計ヲ得タシトノ相談アリ。依テ高柳光寿氏ノ配慮ヲ
乞フニ決シ、同氏ニ対シテ紹介ノ名刺ヲ渡ス。

○佐藤恒丸氏来訪ス。令息信雄氏帝大文学部ノ卒業論文
トシテ静岡県ニ於ケル青年自治的教育ノ事迹ヲ研究セ

ントスト云フ。依テ田澤義鋪氏ニ相談ヲ為シテ有益ナ
ル指針ヲ得、又大谷英一氏ニ紹介ス。

○要ハ銀行ニ至リ、又三越ニテ大森夫人ト出会フ。

○午後在宅、靴下ノ修理ヲ為ス。

○四時頃出發、横浜十全病院ニアキ子ヲ見舞フ。頗元氣
ナリ。昨日頂戴セシ洋菓及パンヲ与フ。六時辞去、七
時半帰宅ス。

○夜、鈴木正夫氏来泊ス。氏ハ本日夜戦砲兵科予備士官
学校ヲ卒業セシ由ニテ、明日帰隊ノ為西下スト云フ。

〔欄外〕

○昇三郎ヨリ天城山經理ノ件ニ付戸塚氏ト会見ノ内容ヲ
伝ヘラル。

三月二十八日（土）曇 冷

○朝、重友結婚式通知状ヲ整備ス。

○宮内省富士川属ヨリ電話ニテ丸山氏へノ謝礼ニ付問合
セアリ。

○朝、見習士官鈴木正夫氏ノ為ニ祝盃ヲ挙ク。同氏十時
四十五分発列車ニテ帰西ス。

○朝、栗本村水垂清水孫衛氏（朝鮮咸鏡南道德源駅長官
舍住）及西山口村榛葉（空白）氏来訪ス。清水氏令息
（二男）正俊氏陸軍予科士官学校へ入学許可ニ付、身

元保証人タルコトヲ承諾シ記名調印ス。

○十一時出發、帰国ノ途ニ就ク。培本塾卒業生ニ贈呈スヘキ報徳叢書十二部ヲ携帯ス。日本俱樂部ニテ中食ス。

○南洋農林水産開發ニ関シ三団体ノ意見ヲ企画院總裁ニ説明スル為、午後一時中産協事務所ニ集会スヘキ由、通知ニ從テ同時出頭セシニ、同時總裁往訪ノ手筈ナルヲ知り遂ニ参加セス。

○午後二時十五分東京駅發ニテ帰村ス。七時三十四分掛川著帰宅ス。

○小柳直吉氏來訪。甘藷栽培指導ニ付報告アリ。

〔欄外〕

○早朝柴田善三郎氏ヨリ電話ニテ、選挙肅正ノ為中央聯盟ヨリ田澤、丸山両氏ノ静岡県内講演ノコトヲ知事ニ照会セシニ、講師及日時ノ都合ヲ具スヘシトノ報告アリ。依テ直ニ田澤、丸山両氏ニ電話セシニ、両氏共昨夜旅行セリト云フ。而シテ田澤氏ハ夫人ニ出演ノ意ヲ通シアリ。依テ旅行先ニ電報シテ、都合ヲ直接ニ知事ニ報告アランコトヲ依頼ス。又、知事ニハ田澤氏ヨリ回電アルヘキヲ電報ス。

三月二十九日（日）曇 夕雨 冷

○午前七時四十分發ニテ藤枝ニ至リ、藤相線ニテ静波ニ

下車。培本塾ニ出頭ス。

十一時四十分第五回卒業証書授与式ヲ举行ス。式ハ小田原塾長ニ依リテ進メラレ、卒業生十四名研究生三名ニ対シテ夫々証書ヲ授与セラレ、又、卒業生ニハ仔豚一頭宛ヲ与ヘラル。塾長ノ告辞、予ノ祝辞、在寮生ノ送辞、卒業生ノ謝辞、父兄惣代ノ謝辞アリ。來賓ハ須原芳雄氏ノ外、榛原中学校教諭三四名、見習士官八木氏等出席ス。式後祝餐ヲ会食ス。

卒業生全員、渡辺氏《畜産主任トナルヘキ人》、田宮氏《卒業生ノ父》、其他ノ為ニ約二十枚ヲ揮毫ス。又、卒業生ヘハ報徳叢書一部宛ヲ呈ス。

三時評議員会ヲ開ク。評議員ハ一名モ出席セス。委任状ノミニテ昨年度予算案ヲ議定ス。

○四時九分發ニテ静波ヲ去ル。小田原塾長、加藤主事等見送ル。須原氏及卒業生ト其父兄等同車ス。超満員ナリ。六時過掛川著、帰宅ス。

○烏柏種子百個ヲ培本塾ヘ贈ル。

〔欄外〕

○早朝、平野金一郎氏來訪ス。甥清水正俊氏陸軍予科士官学校へ入学ニ付保証人依頼ノコトヲ挨拶ス。

○兩三日、山田未亡人來訪。惇元トまさトノ和解言渡書ノ写ヲ与ヘラル。（以下、略）

三月三十日(月)晴 曇 暖

○昨夜豪雨ナリシモ曉来晴天トナリ、西風強シ。桜花地ニ委スルコト多少。

○朝、石野元治郎氏来訪ス。一昨及昨、方廣寺館山寺参詣ノ由ヲ物語ル。矍^(矍)樂^(樂)斯人アリ。悦哉。十時掛川町ニテ斬髮シ、報徳社ニ出頭ス。

○鷺山、袴田、其他諸氏ニ面会ス。又袴田氏ヨリ、講習会進展状況ヲ聴ク。県内各地(見付中学、南御厨村等)、千葉県申込、新潟県牧村、茨城県置津村、群馬県ノ申込状況等ヲ聴ク。尚、松浦正造氏ヲ講師ニ囑託ノ件ヲ決定ス。磯部幸一郎氏ノ広島県立換旅費ハ、同県ニ対シテ本社ヨリ至急送金スヘキニ決定ス。

山本福吉氏ニ交付セシ私金五十円ヲ本経費ヨリ受領ス(《二月二日記事》)。

○十一時五十七分発ニテ帰東ス。静岡ニテ下車。伊能前学務部長ニ挨拶ヲ述フ。又、佐藤教育課長、五十川前庶務課長(《両氏不在》)ニモ挨拶シ、藤岡知事ニ面会シテ選挙肅正中央聯盟田澤氏来県ニ付打合せヲナシ、培本塾顧問ノ承諾ヲ受ケ、次ニ中村総務部長ニ面会シ選挙肅正ノコトヲ相談ス。

〔欄外〕

○鷺山恭平氏ニ去二十六日拝戴セシ煙草ヲ呈ス。

○掛川ヨリノ車中、高林兵衛、平野義太郎、齋藤義雄三氏ニ出会フ。三氏ハ代議士候補者ノ推薦委員トシテ本日其会議ニ出席スト云フ。

○知事室ニテ高林兵衛氏ニ出会フ。即時推薦決定スト云フ。

○総務部長室ニテ、選挙肅正運動事務担任属西尾栄次郎氏ニ面会ス。

三月三十一日(火)晴 寒

○培本塾長小田原勇氏へ、藤岡知事顧問就任受諾ニ付近日往訪セラレタキ旨通知ス。

○十一時半中央林業協力会ニ出席、漆山常務ト打合せヲ為ス。正午午餐ヲ共ニシ十二時半ヨリ理事会ヲ開ク。漆山常務、佐藤、白沢、菌部、村上、原、小林、小林、田中、諸氏ノ外、新任監理課長出席ス。(1)長野県ニ林業懇談会開催ノ件、(2)南洋開拓錬成所ヲ高等農林学校ニ附設ノ件、(3)青少年植林運動実施ノ件等ヲ議題トス。○事務員二年度末賞与ヲ渡ス。尚、岩崎氏ヲ主事補ニ登用シ、月俸二百円トスルノ口達ヲナス。辞令ハ四月一日交付ノ筈ナリ。

○帝国治山治水協会ニ於テ植林ノ紙芝居ヲ見ル。又、七

ツノ石ナル紙芝居ヲ看ル。

○全国治水砂防協会ニ赤木正雄氏ヲ訪問ス。

○夜七時、池之上国民学校会役員会ニ出席ス。予算ノコトヲ相談ス。

○館林一也、池之上国民学校ヲ退学ス。

〔欄外〕

○左腕神経痛漸次増強ノ気味アリ、五時過堀先生ノ診察ヲ受ク。水薬ザルソウヲ与ヘラル。

○興三八武蔵高等学校ノ寄宿寮ニ帰ル。

○市電気局及帝都高速度交通営団ヘ夫々パスヲ返却ス。

四月一日（水）晴 寒

○朝、田澤義鋪氏ヨリ電話アリ。同氏京都府舞鶴駅ニテ胸部及脚部ニ負傷セシ為、静岡県ヘ講演不能トナレリト云フ。氣ノ毒ニ堪ヘス。

但シ患部ハ軽傷ナルカ如ク自ラ電話セラレタリ。

取敢ヘス中村総務部長ヘ電報ヲ発シ、其旨ヲ通ス。

○朝、戸倉惣兵衛氏来訪ス。同氏ハ昭栄製絲会社ノ為、蚕種ヲ供給シタルニ安田銀行ヨリ不当ノ要求ヲ受ケタリトテ之カ対策ヲ協議セラル。依テ戸塚昌宏氏ニ依リ結城廣太郎氏ノカヲ藉ルヲ可トストノ意見ヲ述ヘ、戸塚氏ニ紹介ス。又、大塚伸次郎氏ノ助言ヲ受ク。

○池之上国民学校入学式ニ臨ミ同校会々長トシテ挨拶ヲ述ヘ、且父兄ニ対シ協力ヲ求ム。

○十二時、全国治水砂防協会例会ニ出席ス。末次、俵、松野、植原、小泉、真鍋、大河内子、赤木ノ諸氏出席ス。赤木氏ノ件、善後策ヲ講究ス。

○漆山雅喜氏ヨリ電話ニテ、中林協予算残余支出方法ニ付相談アリ。全森聯、日本社及治山治水会ヘ事業支出トスヘキヲ告ク。香坂氏ヘ電話ス。

〔欄外〕

○要ハ午後横浜ヘ行ク。一泊ス。

○午後三時ヨリ重友ノ結婚通知状十七通ヲ認ム。十一時發送ス。

○夕、山口國太郎先生来訪ス。令息二人海軍軍人トシテ勤務スル由ニテ勤務状況ヲ話サル。氏ノ需ニ依リ揮毫「以德報德」ヲ為ス。

四月二日（木）晴 暖

○朝、小林次郎氏来訪ス。

○十二時過、中央林業協力会ニ出頭ス。十六年度予算ノ使用方ニ付、漆山常務理事ト相談ス。同理事及白澤理事ト中食ス。

○一時半、貴族院ニ於ケル調査部第六部会ニ出席ス。海

務院長官原清氏ノ最近ノ海運対策ニ関スル講演ヲ聴ク。
了テ別室ニ大東亜調査委員会第二分科会アリ。原海務
院長官ヲ中心トシテ質疑応答アリ、傍聴ス。

○選挙肅正中央聯盟事務所ヲ訪問ス。

○五時半、如水会館内香邨寮ニ於ケル江口定條氏ノ赤木
正雄氏招待晚餐会アリテ出席ス。主客ノ外、俵、大河
内子、矢吹男、岩田宙造氏出席ス。末次大将ハ八時半
頃、翼賛議員推薦会ヲ終リテ出席ス。九時半散会ス。
○要、午後帰宅ス。アキ子ノ経過佳良ナリ。

〔欄外〕

○桜花満開。

四月三日（金）晴 暖

○八時四十分、小林書記官長ヲ官舎ニ訪問ス。書記官長
ノ好意ニ依リ自動車ニ同乗シ、神武天皇祭ニ参列ス。
○御祭儀ニハ聖上御拝、皇后宮、皇太后宮ノ御代拝、高
松宮、三笠宮、梨本宮、朝香宮、同若宮同妃、東久邇
宮、閑院宮若宮、李王各殿下御拝礼アラセラル。ソレ
ヨリ臣下拝礼。退去ニ際シ再ヒ小林書記官長ノ車ニ同
乗シ（佐藤元侍医頭モ同乗）、平河町ニテ下車シ、電車
（市電及帝都）ニテ十一時四十分帰宅ス。
○午後、田澤義鋪氏ヲ見舞フノ予定ナリシニ、帝都線出

札口附近ニテ同氏ニ出会ヒタルヲ以テ見舞ヲ述フ。

○朝、丸山鶴吉氏ニ電話ニテ静岡岡県ニ講演会ヲ開クコト
ヲ依頼セシニ、推薦ノ実況ニ鑑ミ講演ノ意思ナシト答
フ。同感ナリ。

○重友ハ武蔵嵐山方面ニ遠足ス。

○マス子ハ成也ノ腫物治療ノ為、堀先生ノ診察ヲ乞ヒ、
夜一泊ス。

○泰治ハ夜九時頃帰京ス。要ハ女中ヲ連レ品川駅ニテ出
迎フ。

〔欄外〕

○午後、伊澤夫人来訪ス。紀氏、同夫人及公ニヲ同伴ス。
重友ヘ祝儀ヲ贈ラル。

四月四日（土）晴 暖

○午前八時三十分、海軍省ニ出頭、大臣及次官ヲ訪フ。
大臣ヲ訪ヒシニ、大臣ノ計ヒニテ次官ヲ同席セシメラ
レタルナリ。
食糧輸送ニ付、全力ヲ尽サレタシトノ趣旨ニテ進言ス。
又、甘藷増産ノコトヲ説明ス。尚、木材増産ニ関シテ
モ所見ヲ述フ。
○中央林業協力会ニ立寄ル。
○全国治水砂防協会ニ赤木氏ヲ訪ヒ、同会ノ職制、予算

ニ付説明ヲ求メ、今後同会活動ノ為必要ナル職制、人事及之ニ伴フ予算更正ニ付、意見ヲ交換ス。

○一時三十五分発急行ニテ帰国ス。静岡ニテ乗換へ六時三十八分著、帰村ス。

四月五日（日）曇 夕雨 強風 寒冷

○朝、石野元治郎氏来訪ス。

○九時半頃、大日本報徳社ニ出頭ス。

先ツ祭典ヲ行ヒ表彰式ヲ行フ。出席会員全国ニ亙リ千二三百人、講堂ニ溢ルルノ盛況ナリ。十時ヨリ一時ニ至ル。文部大臣代理及知事代理ノ祝詞アリ。

午後二時ヨリ講演アリ、河井、佐々井講演ス。

○代議士選挙ニ当リ、立候補セシ社員ニ対スル応援ノ程度方法如何等ニ付、佐々井、鷺山諸氏ト相談ス。庵原村長片平七太郎氏推薦セラレテ候補者トナリタルヲ以テ、片平信通翁特ニ来社セラレタリ。

○直子、夕七時三十五分掛川著ニテ来宿ス。女中えいヲ伴フ。明日上京ノ予定ナリ。

○夕、鷺山恭平氏ト山口楼ニ於テ、新潟県ヨリ来会セル報徳社長某氏外一名ヲ招キ、晚餐ヲ饗ス。

四月六日（月）曇 夕雨 寒冷

○午前六時四十四分発、八時十八分金指ニ下車ス。石原民次郎、樽井虎一、河西凜衛、伊藤恒治四氏ヲ初メトシ、中川村石岡明朗会員約二十名ノ出迎ヲ受ク。

四氏ノ案内ニテ、伊藤氏ノ指導ニ係ル大麦多収穫栽培法実地成績ヲ見ル。伊藤氏ノ熱心ナル、会員ノ協同一致実行力ノ旺盛ナル、敬服ニ値ス。十一時頃、影山林二郎氏方ニテ小憩、撮影ス。又、同氏方ニテ伊藤氏ノ説明及講評ヲ聴ク。之ニテ明朗会員ハ帰宅シ、予等ハ簡単ナル昼食ヲ饗セラル。

○一時、金指町ナル引佐農学校ニ至リ、校長中山純一氏ノ求ニ応シテ二三年生及職員ノ為ニ約一時間二十分ニ亙リテ講演ス。了テ農場ヲ視察ス。井村豪氏中川部落ヨリ来会ス。

○森口淳三氏浜松ヨリ来校ス。

○四時四十九分金指発、六時二十二分掛川著、帰宅ス。

〔欄外〕

○直子ハ墓参ノ後、十時五十分発ニテ上京ス。

○丸山方作氏ヨリネーブル蜜柑一箱ヲ贈ラル。

○山口県農会ヨリ甘藷卜題スル紙芝居一本ヲ贈ラル。

○杉山遠征郎氏ヨリ筍十一本ヲ贈ラル。

○引佐農学校ヨリ生椎茸一箱（小）ヲ贈ラル。

四月七日（火）晴 暖

○午前九時五十六分発ニテ静岡ニ至リ県庁ニ出頭。中村
総務部長ニ面会シ、田澤、丸山、次田三氏等選挙肅正
運動ニ参加シテ来県シ難カルヘシト説明ス。

○大東館ニ至リ中食ヲ命シ、其間三橋氏ニ電話セシニ、
氏ハ三十五銀行ニ在リ中村頭取ト会谈中ニシテ、中村
氏ヲ招キ午餐会ヲ催ス由ニテ予ニモ出席ヲ求メラル。
又、中村氏ヨリモ勧誘アリ。喜ンテ出席ス。求友亭ニ
テ会食ス。意外千万ニシテ歓喜ニ堪ヘス。中村氏ト款
談スルヲ得タルハ三橋氏ニ対シテ万謝スル所ナリ。
高林兵衛氏ヨリ、県下ニ於ケル代議士候補者推薦会ノ
乱脈ト、対中央関係ノ不正調ナル狀況ヲ聴ク。

○高林氏ハ又、森口、加藤、中田三氏ニ対シ警戒スヘキ
旨ヲ注告セラル。

○夜、松井六郎、小柳直吉両氏来訪ス。引佐郡ニ於ケル
麦作視察談ヲ為シ、村明朗会員ノ奮起ヲ促ス。

〔欄外〕

○貴族院ノ北支慰問団ニ参加ヲ希望スル旨、同成会三浦
安蔵氏ニ対シ電報ヲ以テ申込ム。

○小林書記官長ニ電報ヲ以テ十日迄決定ノ猶予ヲ求ム。
中央林業協力会及全国治水砂防協会ノ用務関係ヲ顧慮
シタルヲ以テナリ。

○片平七太郎氏候補者ノ推薦ヲ辞退シ、庵原郡推進委員
総辞職ス。

○県推薦委員モ総辞職スト云フ。

四月八日（水）晴 暖

○朝、石野元治郎氏来訪ス。氏ノ案内ニテ溜池ヘ給水ノ
狀況ヲ見ル。又、杉谷ニ於ケル排水工事ヲ見ル。

○故兵長原田喜久男氏ノ宅ヲ弔問ス。養親ノミ寂シク残
リ、同情ニ堪ヘス。

○九時半、報徳社ニ出勤ス。今回各府県ヘ派出セル農事
講師二十名及丸山講師ヲ会同シ、各府県ニ於ケル講習
ノ狀況ニ付報告ヲ聴ク。先ツ予ハ本日ノ会合ヲ催シタ
ル趣旨ヲ明ニス。(1)報徳社独特ノ農業報國ノ実行ナル
コト、(2)少クトモ三年間ハ継続スルコト、(3)第二回ノ
出張ハ府県ノ要求ニ応シテ為スコト、(4)各講師ノ視察
又ハ聴取セル各地ノ特殊事項ニ付十分ナル検討ヲ行ヒ、
栽培法ノ一大進歩ヲ尽スヘキコト、(5)貯蔵方法（附、
収穫方法）ヲ詳細ニ記述シテ、速ニ之ヲ発表スルコト
（≒丸山氏原案ヲ作り数氏ノ意見ヲ加フルコト）等ニ
付テナリ。

各講師ノ報告ハ最有益ニシテ、五時ニ至ルモ尽キス。
遂ニ一名ヲ残シテ次回ニ譲リ、五時十分散会ス。

○夜、松浦清三郎、正造、佐藤雅雄、小柳直吉四氏来訪ス。本年秋季ニ於テ西郷村試作地ヲ全国有志ノ看覽ニ供スヘキコトヲ決定ス。

〔欄外〕

○片平氏ヨリ候補辞退ノ通知アリ。

○田村勉作氏ヨリ筭四本ヲ贈ラル。

○泰治ハ本日三時發特急ニテ小倉ニ帰ル。

○午後二時、日比谷公園ニ於テ海軍特別攻撃隊九勇士ノ葬儀アリ。

○米売却代金一五六・二四錢（南郷村産分端金）ヲ受取ル。

四月九日（木）晴 南風強 薄暑

○朝、出発ノ用意ヲ為シ、荷造及運搬ヲ留吉ニ命ス。

○九時、報徳社ニ出頭シ、袴田氏ニ依リテ講習関係ノ処理ヲ為シ、溝口氏ニ依リテ栽培法書籍印刷用紙特配ノコトヲ問ヒ、又去月二十九日培本塾卒業生十四名ニ贈与シタル報徳叢書ノ代金ヲ支払フ。

○九時五十六分發ニテ帰京ス。静岡マテ鈴木幸作氏ト同車ス。ソレヨリ同氏ノ二男、及長女（？）ト品川迄同車ス。

○小倉監督班附少尉近藤好夫氏滞在ス。

○鈴木幸作氏ノ宅ヲ見舞フ。夫人ニ面会シテ弔意ヲ表ス。

○西原龜三氏ニ対シ棉実約一升ヲ贈ル。

○夕、江口定條氏ヨリ、西田天香師ヲ招待セラレシニ付晚餐ニ招カレシモ、之ヲ断ル。

○夕、鈴木敬三氏ノ戦死ヲ悼ミ弔問ス。母堂及令弟ニ面会ス。

○重友ハ今夜会社ニ宿直ス。

四月十日（金）曇 午後雨 強風 暑 夕寒

○気温激変ノ日ナリ。終日強風。初メ南西、夕北東ニシテ、薄暑忽チ冷寒トナル。

○朝、富山県知事町村氏ノ書状ニ対シテ返書ヲ認ム。

○神谷文平氏ヨリ丸尾鈷六氏ヲ招待スヘシトノ希望ニ依リ、招電ヲ發ス。

○歩兵少尉近藤好夫氏、十時半ノ汽車ニテ小倉へ帰任ス（≪小倉市今村字清川田原徳一方≫）。

○小林貴族院書記官長ニ電話ヲ以テ北支慰問団出發ノ時期ヲ問ヒタル結果、参加不能トナリシヲ以テ、其旨ヲ以テ取消ヲ為ス。同成会三浦氏ニモ其事ヲ通シ、補充員ノ推薦ヲ依頼ス。

○十一時、全国治水砂防協会ニ赤木正雄氏ヲ訪ヒ、滋賀県へ旅行ニ付日程ノコトヲ問フ。

○中央林業協力会第二回組織団体事務打合会ヲ開ク。来五月十一日長野県ニ開会ノ林業懇談会ノ事業ニ関シ、各員ヨリ質問続出ス。三時散会ス。

○赤木氏ヲ訪問ス。偶マ在合セタル小泉又次郎氏ト会谈ス。ソレヨリ俵孫一氏ヲ翼賛議員倶楽部ニ訪問ス。小泉氏ト同車同行ナリ。両氏ニ対シ砂防協会ノ改組並赤木氏待遇案ニ付意見ヲ開陳シ、其同意ヲ得タリ。

〔欄外〕

○二時頃、柴田夫人ノ案内ニテ神谷夫人来訪ス。敏子来嫁ニ付荷物ヲ開キ其整理ヲ為ス。夕食ヲ呈ス。雨中徒歩ニテ帰宅セラル。重友之ヲ池之上駅マテ見送ル。

○三橋四郎次氏ヲ茶業組合ニ訪問ス。中支慰問団并総選挙ニ関シテ談話ス。

四月十一日(土) 晴 冷

○朝、杉本良氏ノ在否ヲ電話ニテ問フ。不在ノ答ヲ得タルヲ以テ、十四日午後三時日本倶楽部ニテ面会センコトヲ求ムルノ葉書ヲ呈ス。

○十時半、中央林業協力会へ出頭ス。漆山常務ト打合せ、共ニ農林省ニ出頭。山林局長、監理課長ヲ訪ヒシニ不在ナリ。午後、大澤事務官ニ面会シ、明年度ノ予算案ヲ呈示シ若干ノ説明ヲ為シテ去ル。

○台湾拓殖会社支店ニ長谷川重栄氏ヲ訪ヒ、甘藷栽培方法指導ノ為丸山方作氏派遣ノコトヲ打合ハス。加藤社長ニ面会ノ日時ヲ定ム。

○日本倶楽部ニテ中食シ、偶然田中都吉氏ニ出会フ。静岡県ニ於ケル候補者推薦ニ付説明ス。丸山鶴吉氏ニモ面談ス。

○後藤文夫氏ト中央林業協力会ノ明年度予算案^〇。内部組織充実案ニ付相談ス。其結果ヲ漆山常務ニ報告ス。

○東京府庁ニ知事ヲ訪ヒシニ不在ナリ。

○^〇。+ 万年筆ヲ求ム。代三円ナリ。茲ニ使用スルモノ是ナリ。

○全国治水砂防協会事務所ニ赤木氏ヲ訪フ。由利子へ顧問タランコトヲ乞フ。

○山口県農会及内田重成氏へ謝状ヲ呈ス(紙芝居受領ノコトヲ告ク)。

〔欄外〕

○山崎金五郎、山崎はま来訪ス。昇三郎夫妻モ来訪ス。

○要ハ午後横浜へ赴ク。アキ子ヲ見舞フ為ナリ。

○館林マス子、成也同伴来訪ス。

四月十二日(日) 曇 南風強 暖

○終日家居、明日ノ婚儀ノ用意ヲ為ス。石間たみ、磯部

き多両夫人ヨリ不参ノ通知ヲ受ク。又、大村留吉ヨリモ通知アリ。

○佐藤助九郎氏ヨリ電報ヲ以テ、北支慰問団参加ノ通知ヲ受ケタルモ、同成会ヨリ入江貫一氏参加セラルルヲ以テ辞退スヘキヤ如何トノ問合せアリ。近藤庶務課長ニ電話ニテ問合せタル結果「是非参加セラレタシ」トノ返電ヲ發ス。

○朝、小林書記官長ヨリ、入江氏北支へ参加ニ付、三橋氏ヲ中支ニ参加セシムルニ決定シタル旨電話ヲ受ク。

○二時頃、鈴木脩一氏来訪ス。東照宮三百年記念会ヨリ研究事項ニ対スル助成金ヲ交付スルノ辞令ヲ受ケタリトテ、謝意ヲ表セラル。

○片平信通翁ヨリモ右ニ関シ懇切ナル謝状ヲ受ク。

○夕、館林三喜男両児ヲ連レテ来訪ス。重友ニ祝意ヲ表ス。マス子モ来訪、一泊ス。

○大野芳子来訪ス。柴又ニ至リ於籠リスト云フ。

○夜、杉本良氏来訪ス。台湾ニ於ケル甘藷栽培法普及ニ関シ、有益ナル報告アリ。又、日坂村ノ愛育会指定村タリシ成績ニ付内話アリ。

四月十三日（月）快晴 暖

○昨夜未曾有ノ強風止ミテ無比ノ晴天トナリ、重友等ノ

結婚ヲ祝フカ如シ。一時頃マテ結婚式ニ関スル諸般ノ準備ヲ為ス。

○一時半、重友及要同伴、二時二十分学士会館ニ到着ス。三時迄ニ両家ノ親戚来集ス。神谷家ノ親戚ヨリ祝品料ヲ贈ラル。

○三時挙式。柴田善三郎氏、同令夫人ノ媒酌ニ依リ出雲神前ニテ滞リナク終了ス。鈴木二平ヨリ紅白餅一重、海老ノ大ナルモノ三ヲ贈ラレ、神前ニ捧ケタリ。又、神酒ハ館林ヨリ贈ラル。

○休憩室ニ入り、柴田氏ノ司会ノ下ニ家長ヨリ夫々紹介ヲ為ス。

○六時前、披露宴ヲ催ス。総員三十二名ナリ。柴田氏ノ披露ノ詞アリ、次テ伊澤氏来会者ヲ代表シテ祝詞ヲ述ヘラル。八時半散会ス。

柴田、伊澤両氏へハ自動車ヲ供シ、又別ニ重友敏子及要ノ為ニ一台ヲ雇ヒテ帰宅セシメタリ。予ハ直子、興三ト電車ニテ帰ル。

昇三郎ハ大阪へ、鈴木二平ハ沼津へ赴キ、鈴木寛一兄ハ館林方ニ帰ル。興三、一泊ス。婚姻届書ヲ神谷文平氏ニ渡ス。

〔欄外〕

○今回招待者及来客者左ノ如シ

〔以下、〇と抹消線は朱書〕
○柴田善三郎氏

○同令夫人

○重友

○敏子

○弥八

○要 泰治

○興三

○館林三喜男

○マス子

○朝比奈貞一

○オキ子

主島甫

○なほ子

山崎昇二郎

○はま

○河井昇三郎

○高子

布間タキ

南

○角替利策

○ふみ

○鈴木二平

みま

○鈴木寛一

大森夫人

串子

○伊澤多喜男

○令夫人

磯部きゑ

葉十

木村留吉

○神谷文平

○あい子

○神谷清五郎

○しを

○神谷茂子

○一郎

○大石蜂郎

丸尾武 故文雄妻

○文治。○神谷貞吉

○夫人久

子。○明石為次 丸尾鋳木

四月十四日（火）快晴 寒冷

○朝、野々村浩氏来訪ス。入江貫一氏ノ為盛岡市ヨリ買

入レ送付シタル桐苗三十本（二包、昨夕到着）植付方

ニ付相談アリ。氏ノ求ニ依リ貴族院ヨリ齋小使ヲ依頼

スルコトトシ、電話ニテ確約ス。

○鈴木寛一兄来訪ス。重友等結婚祝トシテ金〔空白〕ヲ

贈ラル。

○十時半頃、神谷文平氏及夫人来訪ス。打揃ヒ柴田氏ヲ

訪問スル為相談ス。昼食ヲ呈ス。鈴木寛一兄モ同席ナ

リ。

神谷夫妻ハ要及重友夫妻ト共ニ柴田氏ヲ訪ヒ、又伊澤

氏ヲ訪問ス。柴田氏へ謝礼トシテ金三百円ヲ呈ス〔外

ニ蝦二箇ヲ呈ス〕。

○鈴木兄ハ午後帰ル。土肥へ赴クト云フ。

○予ハ一時四十分頃中央林業協力会理事会ニ出席ス。後

藤会長欠席ノ為、大二事務ヲ阻害シタリ。(1)青少年植

林実行方ニ付協力会ノ為スヘキ件、(2)明年度予算案決

定ノ件、ヲ議定ス。三時散会ス。

○全国治水砂防協会事務所ニ赤木幹事ヲ訪ヒ、旅行ニ付

打合セヲナス。

○三時半、日本俱樂部ニ至リ八木元八、杉本良両氏ニ面会ス。八木氏立候補ニ付相談アリ。

〔欄外〕

○杉本良氏ヨリ、昨年台湾ニ於ケル丸山式甘藷栽培方法実施ノ結果ニ関スル報告ノ話ヲ聴ク。甚有望ナリ。

○昨今両日頭痛アリ。

四月十五日（水）晴 寒

○十時、台湾拓殖会社ニ於テ社長加藤恭平氏ニ面会ス。

今夏丸山方作氏ヲ同島ニ派遣スルニ付相談シ、同意ヲ得タリ。而シテ同社ニテ招聘シ、其日程ヲ作成シ旅行上ノ手配ヲ為シ、旅費ヲ支弁スルコトトナレリ。

○十一時前、同成会例会ニ出席ス。入江、次田、下條、

佐藤、小坂（梅）、熊谷六氏出席シ在リ、(1)川上親晴氏へ贈呈スヘキ記念品（雉子置物、真葛香山作）ヲ看ル。

(2)三浦書記川上氏往訪ニ付、旅費ノ補助トシテ百円ヲ支出スルニ決シ、会員二十五名ニ割当ルコトトス。即金四円ヲ支払フ。

○正午、日本俱樂部ノ午餐会ニ出席ス。食後、井野農相ノ食糧問題ニ関スル講演ヲ聴ク。二時散会ス。

○四時マテ赤木氏退官ノ件其他ノ事項ニ付取調ヲナス。

○四時四十分頃、柴田善三郎氏ヲ訪問シ、結婚媒酌ニ付

深甚ノ謝意ヲ表ス。同氏及夫人ハ不在ナリ。

○重友及敏子ハ午後横浜十全病院ニアキ子ヲ見舞ヒ、ソレヨリ伊豆古奈温泉へ旅行ス。二泊ノ予定ナリ。

○要ハ武蔵高等学校ニ興三ヲ訪フ。又、愛の家役員会ニ出席ス。

四月十六日（木）曇 夕雨 暖

○九時半頃、一木男爵ヲ往訪ス。男爵ハ病氣全快セラレシモ、歩行困難ナルヲ以テ歩行練習中ナリト云フ。三矢宮松氏来訪シ、根津美術館ニ関スル報告アリ。又、川井正宗ヲ看賞セシメラル。男爵大ニ悦フ。

○三井報恩会ニ米山梅吉氏ヲ訪ヒシモ、不在ナルヲ以テ山口安憲氏ニ面会ス。茨城県黒沢村ニ於ケル甘藷栽培指導ノコトヲ告ク。

○貴族院事務局ニ至リ、読書室ニテ取調ヲ為ス。

二時ヨリ調査部会第四部会ニ出席シ、海軍中佐〔空白〕氏ノ印度洋作戦ニ関スル講演ヲ聴ク。

○入江貫一氏ノ購入セル桐苗三十本ハ、今朝貴族院小使齋氏来リ夕刻迄ニ植付ヲ了ス。其頃ヨリ降雨アリ都合良シ。野々村浩氏来リ検分ヲ為ス。

○森口淳三氏ニ対スル投票依頼状葉書三十四枚ヲ認ム。

○要ハ三越ニ至リ買物ヲ為シ、夕六時過沼津ニ著、列車

ニ乗ル。今夕大森方ニ泊ル。明日重友等ト合シ、吉原、静岡ヲ経テ遠州ヘ赴ク筈。

四月十七日(金)曇 北風強 寒冷

○朝、応接室ノ裝飾ヲ平常ニ復ス。

○十一時過、横浜十全病院ニアキ子ヲ見舞フ。頗元氣宜シ。重友ノ結婚ニ付大ニ悦フ。帰ルトキ階段ノ上マテ見送ル。

○横浜地方裁判所検事局ニ一木検事正ヲ訪フ。検事正ヨリ銀行集会所ニ於テ午餐ヲ饗セラル。

○太田町三丁目伊勢勘方ニ至リ、朝比奈ヲ経テ修理ヲ依頼シ置キタル洋傘二本ヲ受取ル。一本ハ心棒取換ニシテ、一本ハ張換ナリ。又、外被一ヲ求ム。代十二円九十錢ナリ。

○三時、関屋貞三郎氏方ニ至リ晴光園療院ノ理事会ニ出席ス。関屋会長、関屋氏、杉浦氏、村尾、山口外一氏出席ス。

関屋氏ハ胃ヲ害シタリトテ憔悴甚シ。夫人ノ説明ヲ求めシニ、毎夜多量ノ睡眠薬ヲ服用シテ已マス。又、近來晩食ノ時ハ必ス三、四杯ノ酒ヲ用フト云フ。而シテ南博士及大阪菊地博士ノ診断ニ依レハ、一昨春患ヒタル胃潰瘍ノ痕迹存スト云フ。

○午後、貴族院ヨリ小使来リ桐植裁ノ整理ヲ了ス。

四月十八日(土)曇 午後晴 寒冷

○朝六時五十三分品川ヨリ乗車帰宅ス。十二時二分掛川著。直ニ報徳社ニ出頭ス。

掛川ヨリ森口淳三氏ニ対シ、電話ニテ選挙ノ状況ヲ問フ。

○八時半頃、突如トシテ警戒警報発令セラル。午後十二時半頃ヨリ三時頃迄空襲警報発セラル。東京、名古屋、神戸、四日市方面ニ被害アリシモノノ如シ。

○三時ヨリ、報徳社幹部諸氏ニ対シ最近ノ戦争進展ノ影響ニ付所感ヲ述フ。

○五時半帰宅ス。要ハ本日重友、敏子ト共ニ磯部英一氏、中津川長治氏及神谷家ヲ訪問ス。重友等ハ神谷方ニ泊リ、要ハ夕刻帰宅ス。

四月十九日(日)晴 冷

○朝、小柳直吉来訪ス。要、小柳氏ト共ニ出発ス。要ハ八時五十五分発ニテ島田ニ赴キ、石間たみヲ訪問シタル後重友等ト出会ヒ、夕刻一同帰京ス。

○予ハ報徳社ニ出頭ス。十時半ヨリ東遠明朗会大会ヲ開会ス。丸山方作氏モ出席ス。来会会員九十名ナリ。儀

- 礼ノ後、告辞ヲ為シ、昨年度ノ決算ヲ確定ス。次ニ麦作競進会ノ開否ヲ議題トシ、本年ハ之ヲ開カス而シテ九村ヨリ麦作成績ノ報告ヲ求ムルコトト決ス。最後ニ丸山方作氏ノ本年ノ苗代ノ作方ニ付講話アリ。中食後「甘藷」ナル山口県農会編纂ノ紙芝居ヲ看覽シタル後、丸山氏ノ講話ヲ聴キ三時散会ス。
- 午後一時ヨリ三時前マテ空襲警報ヲ発セララル。
- 山口県農会編纂ノ紙芝居「甘藷」ニ付、丸山氏ノ意見ニ依リテ校正ヲ為ス。
- 佐藤六平氏来訪ス。森口氏ノ形勢ヲ聴ク。
- 三時四十一分掛川発、静岡ニテ五時廿分発急行ニ乗換へ、九時頃帰京ス。

四月二十日(月) 雨 冷

- 昨夜警戒警報解除セララル。
- 午前中在宅、各種ノ用務ヲ処理ス。
- 来月四日開会セララルヘキ全国治水砂防協会臨時總會ニ附議セラルヘキ事項ニ付、希望意見ヲ起草ス。
- 十二時半出発、貴族院ニ赴ク。一時半ヨリ開催ノ調査部会第五部会ノ最近ノ食料品事情ニ関スル食品局長辻謹吾氏ノ講演ヲ聴ク。
- 調査課ニ立寄り、佐藤書記官ニ北支方面ニ於ケル甘藷

- 事情調査ヲ依頼ス。又、西村属ヨリ食糧管理法案委員会ニ提出セラレシ政府ノ参考書ヲ借入ル。
- 全国治水砂防協会ニ赤木正雄氏ヲ訪ヒ、今朝起草セル意見書ヲ示シ、之カ取扱方ニ付協議ス。
- 五時半頃、伊東卓治氏来訪ス。北京大学文学院副教授ニ就任ノコト確定セルヲ以テ、五月十八日神戸ヨリ乗船、大連ニ立寄り海路赴任スヘシト云フ。伊林事務官宛紹介名刺ヲ与フ。夕食トシテ美寿シヲ取寄せ之ヲ饗ス。

〔欄外〕

- 大本営ヨリ一昨日ノ空襲ニ関シ発表アリ。

四月二十一日(火) 曇 冷

- 正午、中央林業協力会理事会アリ出席ス。
- 午後、今夕出発来廿七日迄不在ニ付、要件ヲ処理ス。
- 八時二十分、砂防事業其他視察ノ為、東京駅発車滋賀県ニ向フ。赤木正雄氏案内セラレ江口定條氏ト同行ス。十時頃寢室ニ入ル。
- 出発ノ際直子ノ荷物ヲ託送ス。

四月二十二日(水) 晴 冷

- 午前六時廿五分大津著。県技師三宅秀太氏、技手大西

龍三氏、大阪土木出張所工務部長三島卯四郎氏及福田武三氏駅頭ニ迎ヘラル。自動車ニテ琵琶湖ホテルニ至ル。三宅氏等ト視察上ノ打合セヲナス。

○八時、自動車ニテホテルヲ發ス。先ツ下田上山ノ堂山ニ登リ、砂防工事及山腹工事ノ結果ヲ視察ス。森林ノ復旧ニ付一段ノ努力ノ必要ヲ感シタルヲ以テ、京大ノ演習林トセハ如何トノ意見ヲ述フ。次ニ南郷洗堰ヲ見、更ニ橋本ニ至リ山重方ニテ鰻飯ヲ食フ。

○一時出發。自動車ニテ野洲ヲ過キ三上山下ヲ經テ宇南桜ニテ下車シ、徒歩ニテ大山川即菩提寺蹟及周圍ノ砂防ノ結果ヲ見ル。ソレヨリ徒歩字菩提寺ニ出テ、自動車ニ乘リテ石部町ヲ過キ、三雲村ニテ下車、由良谷川ノ工事ヲ視ル。了テ乗車、歸路ニ就ク。

○膳所ニテ杉浦重剛先生ノ記念碑ヲ拝ス。五時半、琵琶湖ホテルニ歸ル。福田武三氏來訪ス。

○夕食ノ時、知事並川義隆氏ヨリホテルニ招カル。桐谷經濟部長、三宅技師其他出席接待ス。福田氏モ亦饗応セラル。

〔欄外〕

○午後約二十分間警戒警報アリシ由。何等徵候ナカリシト云フ。

四月二十三日（木）快晴 暖

○六時、江口、赤木両氏ト共ニホテルヲ出テ、近江神宮ニ参拝ス〔往復四十分〕。

○七時三十分出發。三宅技師、大西技手ノ案内ニ依ル。地方統計主事本原正利氏〔江口氏親戚〕來リ同車。知事官舎ニ至リ昨夕ノ恩遇ヲ謝シテ別ル。

車ハ草津ヨリ東海道ニ入り、石部ヲ過キ三雲ヨリ左折シ下田ヲ經テ鏡山村ニ入り、九時前祖父川砂防工事ノ現場〔大山咋神社ノ附近〕ニ至リ視察ス。村長小澤三郎氏來リ接待ス。ソレヨリ更ニ乗車小川部落ニテ下車、徒歩十町ニシテ、十時半善光寺川砂防工事現場ニ達ス。三宅、大西、小川氏等ノ案内ニテ各所ヲ詳細ニ見ル。記念撮影ノ後、鶏肉ヲ饗セラル。最上ノ米産地トテ頗美味ナリ。飽食ス。食後、村長、村技手、村有力者ノ為ニ甘藷栽培方法ヲ説明シ、之カ普及ヲ力説ス。村技手ノ態度不可解ナリ。又、麦増産ヲ勸奨ス。

○ソレヨリ中山道ニ出テ、一時四十分頃醒ヶ井ナル県立養鱒場ニ達シ、詳細視察ヲ遂ク。此所ニ山葵栽培ヲ勸メ、福井精平氏ヲ推薦ス。又、杉林ノ間伐実施ヲ勸ム。○三時前、伊吹村ニ達シ大富川〔伊吹山崩壊〕ノ砂防ヲ見ル。自動車ノ故障アリ、修理ノ為、砂防事務所ニテ休息永キニ亘ル。此間各種ノ困難事ヲ聴ク。

〔欄外〕

○自動車ノ運轉障礙ヲ生シ、漸ク長浜土木出張所ニ達ス。修繕一時間半、ガソリンヲ得テ五時半出發ス。更ニ木之本ニテ補給ヲ得、快速坦道ヲ駛リ夕闇ニ湖北ノ勝景ヲ掠メ去リ、七時半今津町著。福田屋ニ投宿ス。

○土木主事兼道路主事辰巳鼎氏、高島郡百瀬村長中川市三郎氏、川上村長前川源之氏等來訪晚餐ヲ共ニス。

○直子ハ本日西之宮へ帰ル。

四月二十四日（金）快晴 暖

○早朝、湖上ノ日出ヲ拝ス。

○七時三十分福田屋發。三宅、大西両氏案内シ百瀬川ヲ視ル。土砂ノ堆積頗多量ニシテ、荒廢ノ極ニ達ス。徒歩上流ニ於ケル堰堤工事成レルヲ見ル。此辺一帶森林ナシ。造林ノ急要ヲ当局及村長ニ勸ム。

○十時頃、青柳村上小川藤樹神社（≪県社≫）ニ參拝シ、更ニ先生ノ御墓ヲ拝シ藤樹書院ヲ訪フ。

○十一時頃、木戸川ニ達シ下車ス。土木技手小林住二郎氏及村長出迎フ。徒歩ニテ川添ニ登ルコト十五六町、砂防工事ノ現場ニ至リ説明ヲ聴ク。弁當ヲ喫ス。風光絶美ナルモ山ニ林木ナク、崩壞甚シキヲ奈何セン。一時發車、和邇ニテ三宅、大西両氏ト別レ、京都府庁出

迎ノ技師≪砂防課長≫長嶺要氏ノ案内ニテ途中越ニ向フ。

○大原三千院ノ前ニテ下車。大原陵及親王御墓ヲ拝シ、昭和十年ノ荒廢復旧工事成レルヲ見ル。守部某氏懇ニ案内ス。

○八瀬、岩倉ヲ經テ貴船ニ入り、貴船川ノ工事及森林（国有林、神社林ナリ）ヲ見、貴船神社ニ參拝ス。ソレヨリ終野ナル鴨川本流ニ施工セル大堰堤ヲ視察シ、四時京都ホテルニ投宿ス。

〔欄外〕

○京都ホテルニテ土木部長上井兼吉氏ノ來訪ヲ受ク。

○五時、安藤知事ヨリ岡崎つるや方ニ招カレ、鄭重ナル晚餐ヲ饗セラル。一同ハ都於どりニ招カル。予ハ夙クホテルニ帰ル。

○六時半、郡場寛博士及今村講師ノ來訪ヲ受ケ、ホテルニテ晚餐ヲ呈ス。食中、食後甘藷栽培ニ付談話ス。又、砂防事業ト林業、農業トノ相関性ノ重要ナル所以ヲ強調シ、京大ノ協力ヲ求ム。

○夜、高子ヨリ電話アリ、別子視察日程ノコトヲ促サル。

四月二十五日（土）晴 暖

○七時、ホテル食堂ニテ白柳秀湖氏ニ邂逅ス。氏ヲ江口、

赤木両氏ニ紹介ス。

○八時、ホテル出發、南桑田郡ニ向フ。篠村鶴ノ川ヲ視察ス。工事既ニ成リ功果顯著ナリ《視察ニケ所》。龜岡町八木町ヲ經テ三俣川砂防ヲ見ル。園部土木出張所長久保良三氏、南桑田郡旭村長川勝仁三郎氏、船井郡富本村長中西栄一氏説明セラル。帰途、豎谷、七谷川、愛宕谷川ヲ車上ヨリ視察シ、又丹波一ノ宮出雲神社ノ前ヲ過テ十一時半ホテルニ歸ル。此行、長嶺技師及府道路技師兼土木技師紙谷齊治氏案内セラル。

○一行ハホテルニテ中食ス。長嶺、紙谷両氏ト食卓ヲ同クス。

○ホテルニテ再ヒ白柳氏ニ出会フ。氏ハ之ヨリ小浜ニ赴キ安曇川ニ至ルト云フ。

○一時五十五分京都發、五時三十五分山田ニ著ス。龜山ヨリ三重県砂防課長技師松岡剛夫氏同車、津ヨリ県監理課長事務官葛原格氏同車ス。山田ニハ神宮關係施設造営所長枚田四郎右衛門（《内務事務官》）、山田徳四郎（《内務理事官》）、池田雄二（《内務技師》）、山田市助役等出迎ヘラル。直ニ古市ナル大安方ニ至リ投宿ス。夕、県、内務省諸氏ト会食ス。

四月二十六日（日）晴 暖

○八時半、大安方ヲ去ル。松岡、葛原、曾我平作《県山田出張所長、道路技師、土木技師》、枚田、山田、池田諸氏同行セラル。先ツ豊受大神宮ヲ拝シ、次ニ太神宮ヲ拝ス。ソレヨリ神路山溪谷ニ入り、約五キロヲ進ミ森林及住民ノ状況ヲ視ル。神宮技手山本重兵衛氏案内セラル。車不通ノ所ヨリ引返シ、神路川ヲ飛石伝ヒニ渡リ神域林ニ入り、島路川ヲ視察ス。太神宮御裏ヨリ自動車ヲ用フ。彦ヶ谷ニテ堰堤工事中ノモノ一、竣工ノモノ一ヲ見、更ニ進ンテ近ク著工セラルヘキ合流点堰堤工事事務所ニ達シ、中食ス。

○十二時半出發。神宮司庁ニ至リ大宮司高倉篤磨子及技師唐澤在民氏へ名刺ヲ呈シ、更ニ神宮司庁其他官舎建設予定地ノ工事中ナルヲ見、五十鈴川ノ現状ヲ視察シテ一時半視察ヲ終了ス。

○次テ松岡、曾我両氏ノ案内ニテ二見ニ至リ、又索道ニテ高所ニ登リ展望ヲ恣ニス。三時十分山田駅ニ著、三時三十四分發車。枚田氏初数氏ノ見送アリ。五時、四日市著。四日市土木出張所長松尾直三氏ノ出迎ヲ受ケ、自動車ニテ菰野町湯ノ山温泉寿亭ニ入り投宿ス。県土木技手城戸芳三郎氏、同木村正昭氏《菰野在勤、工学士》、町長黒澤隆吉氏出迎へ、一同晚餐ヲ同クス。

〔欄外〕

○城戸技手ハ砂防ニ従事スルコト長ク、監理ニ長シ操守甚固ク功勞甚多シト云フ。

○黒澤町長ハ信望高ク経営宜シキヲ得、砂防ニ熱心ナリ。菰野温泉ノ今日アルハ町長ノ力ニ俟ツコト多シ。昨年

高松宮殿下ヨリ御表彰ヲ賜レリ。

○湯ノ山温泉ノ今日アルハ主トシテ赤木氏ノ功勞ニ依ル。同氏ノ地方官民ヨリ信賴ヲ受クルノ状、景仰ニ堪ヘス。

○寿亭ノ眺望、新緑正ニ闌ニシテ絶佳。旅行ノ最終ヲ飾ルモノナリ。

四月二十七日(月)晴 薄暑

○湯ノ山寿亭ノ一夜ハ気分伸舒ノ語ニ尽ク。昨夜快眠ス。

○朝来天氣變調ヲ見ル。

○八時出發、自動車ニテ下ル。松岡技師、松尾出張所長、城戸、木村諸氏同行ス。先ツ菰野町ナル土木出張所ニ達ス。町長黒澤氏出来ル。氏ニ対シ謝意ヲ表ス。

○ソレヨリ出發。三滝川ノ荒廢狀況ヲ見ル。次ニ錫川ノ砂防地ヲ見、其隣地ナル猿田彦神社(県社椿神社)社司ノ宅ニテ小憩ス。此奥ニ築造セル大堰堤ニ付赤木氏苦心ノ計画ヲ傾聴ス。之カ為水災ヲ免レタル村長、社司等ノ歡喜諭フヘキモノナシ。次ニ自動車ニテ水澤村ニ入り内部川上流ノ大崩壊地ト之ニ構築セル特殊ノ堰

堤トヲ見、赤木氏ノ説明ヲ聴ク。此所ニテ昼食ス。出張所員ノ款待ヲ受ク。

○一時半、自動車ニテ出發。二時十分、四日市駅前著。茶店ニテ休憩ス。

○二時四十六分四日市發、三時廿八分名古屋著。県砂防課長松岡氏、四日市出張所長松尾直三氏、城戸技手等名古屋マテ見送ラル。

○三時四十五分名古屋發、九時東京駅著、帰宅ス。江口氏ト沼津ニテ別ル。

四月二十八日(火)曇 夕雨 薄暑

○朝、全国治水砂防協会ノ臨時總會ニ付、議スヘキ同協会組織改善強化案意見書ヲ起草ス。

○十一時、全国治水砂防協会ニ赤木氏ヲ訪ヒ、旅中ノ厚意ヲ謝シ実費ヲ支払フ。

○中央林業協力会事務所ニ出頭シ、漆山常務理事ト打合せヲ為ス。ソレヨリ「アジア」方ノ理事会ニ出席ス。重ナル議題ハ内部職制ノ改正及林業懇談会々議事項ナリ。井出、漆山、佐藤、白澤、菌部、村上、原各理事出席ス。二時散会ス。

○中央林業協力会事務所ニ帰り、林常夫氏、堀(空白)氏ニ辞令ヲ傳達ス。

○全国治水砂防協会ニテ江口氏ト共ニ末次会長ヲ訪ヒ、赤木氏ヲシテ将来砂防事業ノ為縦横ノ手腕ヲ振ハシムルニ必要ナル案ヲ具シテ説明ヲ為シ、意見書ヲ提出スヘキコトヲ述フ。提出者ハ江口、河井、俵、小泉四名トス。

○五時半、三信ビル東洋軒ニ於ケル菊影会ニ出席ス。出席者三十六名ナリ。侍従長、武官長、皇后宮大夫ハ出席セス。八時散会ス。

〔欄外〕

○特許局長官ヲ訪問シ、北遠天竜川方面ニ於ケル鉱産資源ノ調査ヲ依頼ス。

○興三及大野よし子病氣ニ付、堀医師ノ診察ヲ受ク。

○徳田義信氏、同夫人来訪ス。

四月二十九日（水）曇 夕晴 冷

○朝、旅行不在中ノ用務ヲ処弁ス。又入浴ス。

○天長節奉賀ノ為十一時半出發ス。東京駅ヨリ自動車ニテ坂下門ニ至リ、東御車寄ニテ奉賀ノ記帳ヲ為ス。

○一時、宮内省ニ於ケル旧奉仕者ノ奉祝会ニ出席ス。来会者二百六十余名。坂口鎮雄、加賀谷朝蔵両氏等ノ如ク遠隔ノ地ヨリモ来会者アリ。一時二十分開会。次官ノ挨拶、大臣発声ニテ万歳三唱、関屋氏ノ謝辞アリ、

茶菓ヲ饗セラル。

○一時五十分、侍従長ノ案内ニ依リテ大奥ニ参進ス。予ハ第三班トシテ（九条公、小笠原子、清水重喜中将、宇佐美興屋中将、河井、佐藤宮中顧問官、山県公、今村信次郎中将）拝謁ス。

陛下ヨリ、甘藷増産如何ニ付御下問ヲ蒙ル。即食糧増産ノ一要目トシテ甘藷増産運動ノ大要、増産目標、増産頭著ナルヘキ県名等ヲ奉答ス。清水中将、山県公ヨリモ申上ク。予ハ更ニ麦増産方ニ付テモ上奏ス。天機甚麗シ、恐懼感激ニ堪ヘス。退下ノ後別室ニテ茶菓ヲ拝戴ス。御盃及御菓子一札ヲ賜ハル。

○宮内省ニテ皇太子殿下ノ御近状ヲ活動写真ニテ拝見ス。御菓子ヲ賜ハル。

〔欄外〕

○寺本英二郎氏来訪ス。甘藷増産方法ニ付説明ス。

○赤木正雄氏来訪ス。来月四日ノ砂防協会ノ順序ニ付、相談ヲ受ク。

○大野芳子葛西へ帰ル。

○天長節奉祝ノ為、夕食ノ際賜盃ヲ以テ祝杯ス。

御下賜ノ御菓子ヲ一同ニテ頂戴ス。

○赤木正雄氏へ御菓子ヲ頒ツ。

○館林一也、菓子来ル。夕食後マス子ハ菓子、成也ヲ伴

ヒテ帰宅ス。一也留ル。

四月三十日(木)晴 冷

○終日気分宜シカラズ。午前中家居シ、不在中ノ日記ヲ認ム。

○午後一時頃、代沢国民学校ナル投票所ニ至リ、総選挙ノ投票ヲ行フ。ソレヨリ外出ノ予定ヲ変シテ帰宅ス。

○西南郷村結縁寺長谷川弥作氏ニ男整司氏、今般衆議院速記者養成所へ入学ヲ許可セラレタルニ付、親戚石野惣氏ノ依頼ニ依リ身元保証人トナリ、本日誓約書ヲ大木衆議院書記官長ニ郵送ス。右ノ件、昨日石野氏へ電報ス。

○午後、福田武三氏来訪セシモ、不在ニテ面会セス。

五月一日(金)晴 暖

○九時半、全国治水砂防協会ニ出頭ス。赤木氏ニ面会シテ、来四日臨時總會議事ノ問題トナルヘキ要件ニ付、提出シタル意見書ニ対シ附随ノ説明書ヲ認メ、之ヲ末次会長ニ内示シタル後、赤木氏ニ交付シ複製ヲ依頼ス。意見書ハ俵孫一、小泉又次郎、江口定條三氏へ送付ス。

○西原亀三氏来会ス。種々意見ヲ交換ス。

○帝国農会ニ松山信昭氏ヲ訪フ。交付金使用内訳ニ付袴

田氏へ指示案ヲ示サル。

○福田武三氏来訪ス。夕刻帰ル。今夕帰任スト云フ。

○衆議院速記者養成所ニ採用セラレタル長谷川整司氏、

叔父二人ト共ニ来リ挨拶ヲ述フ。《長谷川好石氏(本郷区真砂町□□) 山本泰氏(陸軍曹長、掛中教師、掛川町塩町)》

○佐藤康次郎氏《見付出身、芝白金三光町□□》来訪。食糧問題ニ付談話ス。氏ハ特殊ノ促効的肥料アリトテ若干ノ見本ヲ贈ラル。

○総選挙ノ結果続々発表セラル。森口、大村両氏ハ当選、八木氏ハ有望ナリ。俵、木檜、鈴木英雄、植原諸氏ハ落選ス。

〔欄外〕

○奈良武次大将肺炎ニ罹リ慶応病院ニ入院中ナルヲ以テ、往訪見舞ヲ為ス。経過良好、危険界ヲ脱シタリト云フ。

○興三疲労ノ為数日来帰臥シ居リ、夕刻、堀先生ノ診察ヲ乞フ。格別ノコトナシト云フ。

五月二日(土)晴 暖

○朝、衆議院議員選挙ノ結果ヲ注意深く検討ス。各種ノ感想湧起シテ止マズ。

○小林書記官長ヲ貴族院ニ訪問シ、(1)東京ヲ中心トスル

傷病兵慰問団参加ノ件、(2)四日泰国特派使節来院ニ付、出席接待ノ件ニ付打合せヲ為ス。其結果(1)ハ六、七、八ノ三日参加、(2)ハ砂防協会ト打合せヲ遂ケ出席ト決定ス。書記官長、書記官ト昼食ヲ為シ、総選挙ノラジオリヲ聴キタル後帰宅ス。

○午後、大野芳子ヨリ湯上リ桶二箇ヲ贈ラル。使ニ金二円ヲ呈ス。

○館林多久次夫人来訪ス。重友結婚ニ付祝意ヲ表シ祝品ヲ贈ラル。

○千葉徳田義信氏令嬢来訪、重友結婚ニ付祝意ヲ表シ祝品ヲ贈ラル。

○六時、徳川公爵ヨリ晚餐ヲ饗セラル。母堂、令夫人モ接待セラル。島田海相^(鴨)ヲ主賓トシ徳川達成伯^(鴨)海軍大佐^(鴨)、徳川武定子^(鴨)海軍少将^(鴨)、松平康昌侯、松平慶民子ノ外、井出、河井、石渡、成田、宇佐美出席ス。九時散会。有益ナル談話ヲ交フ。又、支那料理(維新号)佳味ナリ。

〔欄外〕

○総選挙当選者大村直、森口淳三両氏ニ対シ祝状ヲ呈ス。

五月三日(日) 小雨 曇 冷

○朝、伊澤多喜男氏ト電話ス。同氏近来過勞ノ為臥床セ

ラルト云フ。総選挙ノ結果ニ付所見ヲ述フ。又、近辺国ノ砂防及森林状況ニ付、有益ナル指導ヲ受ク。所贈ノ今津ノ鮎鮎ヲ喜ハル。

○柴田善三郎氏ト選挙ニ付、意見ヲ交換ス。

○総選挙当選者八木元八、北村又左衛門、黒澤西蔵三氏及鈴木八郎左衛門、佐藤六平両氏ニ対シ挨拶状ヲ発ス。又、落選者俵孫一、木檜三四郎、植原悦二郎、真鍋勝四氏ニ対シ同情ノ書状ヲ呈ス。

○石原民次郎氏父君逝去ニ付悔状ヲ呈ス。

○久保春海氏来訪。重友結婚ニ付祝意ヲ表セラル。十一時ヨリ四時マテ雑談ス。

○伊林初次郎氏来訪ス。北支ニ於ケル甘藷栽培計画ニ付、必要ナル事項ノ調査報告ヲ求ム。又、伊東卓治氏ノコトヲ頼ム。

○千葉増田正直氏ヨリ丸山氏ノ講演速記三部ヲ贈ラル。

○夜九時頃昇三郎来ル。一泊ス。

〔欄外〕

○興三八病氣回復セルヲ以テ午後帰寮ス。

○重友ハ小田原ノ禅寺ヘ行ク。

五月四日(月) 曇 冷

○朝、警戒警報発令セラル。夜ニ入ルモ解除セラレス。

○九時過、昇三郎ト共ニ出發ス。渋谷駅ニテ別レ全国治水砂防協会ニ出頭ス。

十時四十分頃、同会ノ總會〔臨時会〕ヲ開催、出席ス。午前中各府県代表ノ演説アリ、中食ノ後一時再会。江口顧問、西原顧問ノ演説アリ、役員改選ノ件ハ会長指名ニ一任シ、予算更正案ヲ可決シ、三時半頃散会ス。

○三時、貴族院ニ泰國特派使節一行來看スルヲ以テ、議長ヨリノ通知ニ依リ登院。接待ニ向ハル正副議長、書記官長ノ外、議員岡部長景、三島通陽、加藤泰通三子ノミ。泰側ハ首席者ハ来ラス。議場、委員室、便殿、両院協議室、議員控室、中央ホール等ヲ案内ス。ソレヨリ衆議院ヲ参看シ、了テ貴族院議長応接ニテ茶菓ノ接待ヲ受ク。

○七時半、池之上国民学校会アリ出席ス。ピヤノ購入ニ付代金支払方法、昨年度決算、明年度予算案ニ付相談シ、九時散会ス。

〔欄外〕

○三重県砂防技師松岡剛夫氏及菰野町長黒澤隆吉氏へ、甘藷栽培方法印刷物ヲ贈ル。

○増田正直氏ヨリ千葉県社会事業協会印刷ノ甘藷栽培法三部ヲ贈ラル。

○樽井虎一氏ヨリ去月六日中川村麦作視察ノ時ノ写真二

葉ヲ贈ラル。

五月五日（火）曇 冷

○朝、石原民次郎氏及樽井虎一氏ニ対シテ書状ヲ認メ、森口淳三氏ノ当選ヲ祝ス。又、樽井氏ニ対シテハ麦増産ノ実地視察計画アルヘキヲ告ケ、配慮ヲ求ム。

○井出謙治大将ニ対シ、中村円一郎氏令孫嬢ノ写真ヲ送ル。

○正午、丸ノ内常盤家ニ於ケル中央林業協力会理事会ニ出席ス。漆山、佐藤、白澤、菌部、香坂、田中、村上、小林諸氏出席ス。来十一日上諏訪ニ於ケル林業懇談会議事ニ付協議ス。

○赤木正雄氏ヲ全国治水砂防協会事務所ニ訪問シ、河田杰氏ノ別子視察勧誘ニ付相談ス。川田氏予定ノコトアリトテ応セラレス、依テ白澤博士ニ適任者ノ推薦ヲ依頼ス。其結果ハ悉ク都合悪シ。菌部、佐藤両博士モ白澤博士ノ議ニ与カル。菌部博士ヨリ其都合ヲ説明セラ

ル。然ルニ昇三郎ヨリ電話アリ、農林省トノ関係動キ来リシ故延期ヲ求メラル。依テ他日ヲ期スルコトトシ、其旨赤木氏ヲ訪ヒテ了解ヲ求ム。

〔欄外〕

- 二時半ヨリ中央林業協力会事務所ニテ執務ス。
- 昇三郎ハ今夕松本へ向フ。
- 夕刻、警戒警報解除セラル。

五月六日（水）晴 冷

- 朝八時頃、突然空襲警報ヲ発セラル。然ルニ高射砲ノ発射モナク、一時間ニ満たスシテ解除セラル。夕七時頃、警戒警報発令セラル。今朝ハ味方ノ飛行機ヲ敵ト誤リシニ由ル。

- 貴族院ノ傷病将士慰問団ニ加入ス。九時十五分高田馬場駅発、十時過所沢ニ下車シ所沢陸軍病院ヲ慰問ス。団長植村家治子、北小路三郎子ノ一行ニ加ハレルナリ。十一時病院ヲ辞シ、十一時半頃立川陸軍病院ニ到着シ慰問ヲ為ス。昼食（兵食）ヲ饗セラル。之ニテ本日ノ任ヲ終了、一時立川駅発車帰宅ス。
- 四時頃、戸倉惣兵衛氏来訪ス。対昭栄製糸会社ノ件ニ付報告アリ。

- 五時過、榛葉康子来訪ス。戸倉氏トモ会见ス。七時前辞去ス。

五月七日（木）雨 冷

- 昨夜不眠甚シク、終日不快ナリ。

- 傷病将兵慰問団ニ加ハリ、臨時東京第三陸軍病院ニ赴ク。九時三十分新宿発、十時二十分相模原下車。病院ヨリ出迎ヲ受ケ自動車二台ニ分乗ス。一行ハ団長植村子、北小路子ノ外黒田長禮侯ヲ加フ。院長陸軍軍医少将ヨリ病院ノ説明ヲ聴キタル上、代表者ノ集会室ニテ見舞ヲ述フ。又、北小路子モ一言挨拶ス。ソレヨリ各種治療機関ヲ見学シ、更ニ職業準備教育ノ状況ヲ案内セラル。昼食ヲ饗セラレタル上、職業準備教育及実施状況ヲ活動写真ニ依リテ示サル。一時半辞去ス。
- 次ニ相模原陸軍病院ニ至リ、院長ノ説明ヲ聴キ、マイクヲ通シテ団長ヨリ挨拶ヲ為ス。了テ病院ノ状況其他ニ付質疑応答ヲ為シ、二時二十分頃辞去。相模原大野駅二時三十分發ニテ帰宅ス。軍医大尉青樹吉兵衛氏ハ、震災ノ時貴族院ニ来リ約一週間診療ニ従事セリトテ、予ヲ知ル由ヲ述ヘラル。大尉ハ駅マテ見送ラル。
- 中村令嬢ヲ井出大将令息へ推薦セシニ、大将夫人ヨリ断ラル。

〔欄外〕

- 去五日午後十一時過コレヒドール島ニ強行上陸セシ我陸海軍ハ、本日完全ニ同島及附近ノ諸島ヲ占領セル由發表アリ。

五月八日（金）細雨 曇 冷

○傷病將兵慰問ノ為、六時半出發。兩國駅ニ至リ山県公爵ト出会ヒシニ、定時七時四十分ニ至ルモ团长等ヲ見サリシヲ以テ、公ト共ニ八時三分市川ニ至ル。团长植村子ノミ在リ、〔空白〕属ハ出迎ノ為兩國へ赴カシメタリト云フ。待ツコト二十分ニシテ帰來ル。出迎ノ自動車ニテ国府台陸軍病院ヲ見舞フ。院長ヨリ病院ノ狀況ヲ聴取シタル上、帰還病兵ノ席ニテ团长ヨリ見舞ヲ述へ、若干ノ病室及絵画室ヲ見舞ヒ更ニ旧病舎ニ至リ、江戸川ヲ俯瞰スル景勝ノ地点ニ至リ茶菓ヲ饗セラシ。更ニ元ノ病院ニ歸リ市川（京成）ニ送ラル。

○京成電車ニテ大久保ニ至リ、徒歩ニテ習志野陸軍病院ニ至ル。昼食ヲ饗セラレタル上、病兵ノ集会ニ臨ミ慰問辞ヲ述ヘテ、自動車ニテ營線幕張駅ニ送ラル。

○ソレヨリ省線電車ニテ千葉ニ至リ、駅長室ニテ汽車ヲ待チ、四街道ニ赴キ下志津陸軍病院ヲ見舞フ。五時十分四街道発千葉ニテ電車ニ乗換へ、七時十分頃帰宅ス。北小路子ハ病氣ノ為参加セス。

〔欄外〕

○昨七日、ニューギニア南東海（珊瑚海）ニテ米戦艦、航空母艦、甲巡各一隻ヲ撃沈シ、今八日、米母艦一隻ヲ撃沈、英戦艦、英甲巡各一隻ヲ大破セシメ、尚戦闘

進行中トノ発表アリ。

○緬甸遠征軍ハ長駆雲南省ニ入り〔空白〕ヲ占領シタリ。○帝国農會松山信昭氏ヨリ、繰越使用願ノ提出ハ不可能トノ通知アリ。之ヲ袴田銀藏氏へ送ルノ願書ヲ作ル。○赤木氏ヲ訪ヒ長野県ノ砂防狀況ヲ問フ。

五月九日（土）晴 暖和

○挙国造林実践大会及大日本山林會第四十九回大会ニ出席ノ為、十時二十六分新宿發甲府へ赴ク。白澤、漆山、村上諸理事、楠、岩崎、小口等諸氏同車ス。一時四十分五分甲府著、旅館こなやニ投ス。東久世男爵ハ夜遅ク來リ同宿ス。

○県庁ニ出頭、知事及經濟部長ニ刺ヲ通シテ挨拶ス。

○大日本山林會總裁梨本宮殿下四時七分御發、談話館ニ入ラセラレタルヲ以テ、御機嫌奉伺ノ為參館記帳ス。

○後藤會長ハ新政治機構創設委員長トナリシ關係上、來會セス。予ハ其代理ヲ為スコトニ決ス。

○武徳會、防空協會、消防協會等ノ大会モ明日開催セラルル由ニテ、藤沼、松井、佐上、石田等諸氏モ來著ス。館林モ一行中ニ在リ。

○夕、知事ヨリ八百竹方ニ招カル。來賓二十五六名。多久全森聯副會長ト同車帰宿ス。

五月十日（日）晴 薄暑

○午前八時旅館ヲ辞シ、自動車ニテ山梨県庁ニ案内セラ
ル。東久世男、多久安信氏ト同車ナリ。九時前、梨本
宮殿下ヨリ单独拝謁ヲ賜ハル。ソレヨリ県会議事堂ナ
ル挙国造林実践大会並大日本山林会第四十九回大会々
場ニ出席ス。殿下台臨アラセラル。佐藤会長ノ挨拶ア
リテ功労者表彰式アリ、殿下ヨリ表彰セラル。次ニ殿
下令旨ヲ御朗読遊ハサレ、受彰者惣代拝答ス。次ニ農
林大臣《代山林局長》告辞、帝室林野局長官《野口監
理部長代読》祝辞、中林協会長《河井代読》祝辞及全
森聯会長《多久代読》祝辞アリ。最後ニ井出山林局長
ノ演説アリテ式畢ル。殿下御退出ヲ了リテ一同散会ス。
○別室ニテ昼食ヲ饗セラレ、十二時四十分自動車ニテ植
樹地ニ向フ。途中武田神社ヲ参拝ス。殿下二時過植栽
現地ニ御到着。御小憩ノ上御自ラ檜苗四本ヲ御植栽遊
ハサル。参列者一同ノ感激比スヘキモノナシ。次テ一
同モ夫々植栽ス。

○殿下三時御下山、一同モ続イテ退去ス。一同ハ自動車
ニテ旧甲府城ニ登リ、恩賜林記念碑ヲ仰キ又四方ヲ眺
望ス。記念ノ撮影アリ。ソレヨリ一同ト別レ、四時二
十分甲府発ニテ上諏訪ニ向フ。

白澤博士ト同車ス。六時三十〔空白〕分上諏訪著、旅
館布半ニ投ス。

〔欄外〕

○七時、上諏訪湖やなき方ニテ、長野県側有力者ノ招キ
テ晚餐ヲ呈ス。九時散会ス。

五月十一日（月）晴 暖

○十時、上諏訪市役所ニ開会ノ第一回林業振興懇談会ニ
出席ス。後藤会長欠席ニ付座長トナル。開会辞（漆山）、
会長挨拶（《代河井》）、知事挨拶（《代八木経済部長》）、
山林局長挨拶（《代西澤林務課長》）アリ。ソレヨリ主
題目ニ付、白澤、菌部、田中、村上各理事ヲ初メトシ
総計二十八名ノ熱誠ナル発言アリ。又、昼食ノ後ニ学
校林ト題スル紙芝居、山ニ木ナカリセバト題スル指芝
居アリ。三時ノ休憩ヲ中止シ、五時前迄会議ヲ継続ス。
斯クテ所定ノ発言ヲ終リシヲ以テ、爰二十五分間ノ休
憩ヲ為シ、其間五分間演説者ノ通告ヲ求メ、五時ヨリ
六時迄十二名ノ発言アリ。六時散会ス。

五月十二日（火）曇 小雨 冷

○午前七時四十六分上諏訪発ニテ帰京ス。甲府迄佐藤、
菌部両博士及二氏ト同車ス。午後一時二十三分新宿著

帰宅ス。

漆山氏ハ居残り午後ノ汽車ニテ帰ル。清酢三瓶≒同地小平常夫氏醸≡ヲ贈ラル。

○袴田銀藏氏来訪ス。各地へ派遣セシ講師ニ対スル給与額決定ニ関シテ相談アリ。

○五時半、故湯浅男爵追悼記念会（上野、精養軒）ニ出席ス。来会者二百数十名、頗盛会ナリ。宴ニ入ラスシテ退出ス。

○七時前、赤坂、永楽ニ於ケル全国治水砂防協会長ノ晩餐会ニ出席ス。此会ハ西原亀三氏ノ来京ヲ機トシ、同氏ヲ中心トスル会合ニシテ、小泉、俵、青木子、黒田男、江口、河井ヲモ招カル。最心置キナキ会合ナリ。赤木氏ト帰宅ス。

五月十三日（水）曇 雨 暖

○十時、同成会例会アリ出席ス。次田大三郎氏ヨリ、翼賛政治体制結成委員会ノ経過ニ関スル報告ヲ聴ク。(1) 政治中心者ノナキコト、(2) 衆議院議員側委員ノ意向区々タルコト、(3) 政社届出後国民的立場ヲ欠クコト、(4) 大政翼賛会ノ支援ヲ受クルノ不合理ナルコト等不自然ノ点多シ。貴族院議員ノ態度ニモ種々異アルカ如シ。

○伊澤氏ヨリ電話アリ、来二十日ノ五葉会ニ次田氏ヲ出

席セシムルヤウ岩倉男ニ交渉セヨトノコトナリ。塚本氏ヲ煩ハスニ決ス。

○正午、貴族院午餐会アリ、建川大使ヲ招ク。食後、大使ヨリ最近ノソ聯ノ情勢ニ関スル講演アリ。甚有益ナリ。

○三時、帝国農会ニ松山信昭氏ヲ訪問ス。甘藷増産講習会費用受領方法ニ付、報徳社ノ実情ヲ説明シ、袴田氏及農林当局ト協議ノコトヲ依頼ス。

○四時二十分帰宅。袴田銀藏氏ト面談シ、帝国農会ノ意向ヲ伝へ、実費要求書作成ニ付相談ス。同氏今夜一泊、十二時マテ執務ス。

○七時半、池之上国民学校会評議員会アリ。十六年度決算及十七年度予算案ヲ決定シ、ピアノ購入費調達方法ヲ決定ス。

〔欄外〕

○同成会出席者左ノ如シ。

米山、塚本、次田、中川、柴田、下條、大谷、熊谷、小坂（梅）、佐藤、平沼、河井。

○川上親晴氏ニ書状ヲ呈シ、来廿五日召集ノ議會ニ出席セラルルヤウ懇ニ勧誘ス。

○第九回末広会ヲ来十九日開催ニ決シ、其旨ヲ會員ニ通知ス。

○池之上学校会ヨリ、ピアノ購入方寄附金募集方法ニ付
世田谷警察署ノ承認ヲ受クルノ要アルヲ認め、館林ニ
相談ス。

五月十四日(木)曇 冷

○朝、袴田氏ト相談シ、今日帝国農会松山氏及農林省係
官ト打合ヲナス方法ヲ研究ス。十時、帝国農会ニ出頭、
同氏ヲ松山氏ニ紹介シ万事ヲ依頼ス。

○十時半、中央林業協力会ニ出頭、後藤会長ニ面会シ長
野県ニ於ケル第一回林業促進懇談会ニ付報告ス。

○漆山トアジアニテ中食ス。ソレヨリ帰宅ス。

○五時中央亭ニ於ケル遠州学友会幹部会ニ出席ス。戸塚、
松井、伊藤、桜井、石川、高柳諸氏、外学生六、七名
出席ス。

(1)雑誌改編、名簿中心主義採用

(2)会費徴収方法

(3)例会ヲ有効ナラシムル方法

(4)講演会ハ当分見合せノ事

(5)有力会員募集増加、無縁会員ノ整理
等ヲ相談ス。

○戸倉氏対昭栄製糸ノ件ニ付、戸塚昌宏氏ヨリ安田銀行
菌部専務、浦部理事ト交渉ノ経過ニ付報告アリ、之カ

対策ヲ相談ス。

○夜、漆山常務理事ヨリ電話ニテ、明朝八時全森聯会長
以下後藤会長ヲ訪問ニ付、予ニモ同行スヘシトノ通告
アリ。後藤氏ト打合せ、不全ニ付同行ノ意ナキヲ答フ。

〔欄外〕

○去八日東支那海ニテ太平洋丸カ魚雷攻撃ヲ受ケタル結果
ヲ発表セラル。

○去月十八日帝都來襲ノ敵機ノ行動及企図ニ付、陸軍報道
部長談話発表セラル。

五月十五日(金)晴 冷

○早朝戸塚昌宏氏ニ電話シ、柴田氏へ戸倉氏ノ件依頼困
難ナルコト、戸倉氏三橋氏ヲ訪問シテ配慮ヲ依頼アリ
タキコトヲ告ク。

○三橋四郎次氏へ書状ヲ認め、右件ニ付万事ニ取次ヲ頼
ム。

○森口淳三氏へ電報ヲ発シ、表作視察旅行不能ニ付断リ
ヲ通知シ、且知事ノ視察ヲ乞ハレタキ旨ヲ以テス。

○早朝、佐藤全森聯会長及後藤中林協会长ニ電話ニテ、
今朝ノ会見ニ関シ都合ヲ問合ハス。其結果、明朝八時
会見ノコトナル。

○十二時、第三回金曜会午餐会アリ、帝国ホテルニ出席

ス。来会者四十名計リ。緬甸在住三十八年ノ山田秀蔵氏ノ談話ヲ聴ク。

○四時頃、日本俱樂部ニテ横尾惣三郎氏ト会見ス。農業振興財団法人組織ニ関シ、助力ヲ求メラル。

○五時、電氣俱樂部ニ於テ開会ノ静岡育英会理事会ニ出席ス。十六年度決算案ヲ審議ス。了テ夕食ヲ共ニシ、雑談ノ後八時四十分散会ス。

○要ハ午後白柳秀湖氏ヲ訪問ス。長男景吉氏結婚ヲ祝賀ス。

〔欄外〕

○朝、池之上国民学校ニ岸上校長ヲ訪ヒ、早朝館林ヨリノ報告ニ基キピアノ購入資金募集方法ニ付變更ノ要アル旨ヲ告ケ、十六日夕理事会召集ノ手續ヲ依頼ス。

又、三町ノ婦人宛依頼状ノ發送中止及予算案中文字ノ訂正ヲ求ム。

○重友ニ対シ第二補充兵教育召集令状下ル。

五月十六日(土) 晴 暖

○早朝、大瀧靖氏及渡辺亘氏ヲ訪ヒ、ピアノ購入金募集ノ件ニ付、今夕理事会開催ノ事由ヲ説明ス。

○八時、中央林業協力会ニ出頭ス。後藤会長、漆山常務ト共ニ佐藤全森聯会長、多久副会長、田中、小山其他

諸氏ト会見シ、パルプ材、坑木材ノ出伐ニ関スル農林省ノ通牒ハ、県森聯ヲ無視スルモノナルヲ以テ之力は正ヲ要ス、トノ意見ヲ聴取ス。後藤会長ノ計ヒニテ全会力更ニ進ンテ当局ニ要請アルヘキヲ告ケ、協力会研究題目トナスニ決定ス。

○後藤会長ト赤木樟一氏ヲ協力会ニ招徠スルヤニ付意見ヲ交換ス。本件ハ尚一層事情ヲ明ニスルノ要アリ。次ニ会長ヨリ、大政翼賛会事務総長受諾ノ不可已ニ至リシ由報告アリ。

○十一時、山林局長ノ招ニ依リ帝国ホテルニ於ケル南方林業対策案内示会ニ出席ス。本案ハ大体協力会ヨリ提出セシモノニ係リ、菌部、田中芳雄、三浦諸博士及村上富士太郎氏等ヨリ意見開陳アリ。昼餐ヲ喫シテ散会ス。

○日本俱樂部ニ至リ暫時休憩ス。

〔欄外〕

○二時、法曹会館ナル第五回松濤会ニ出席ス。慶大教授金原賢之助博士ノ、南方共栄圏ト帝国ノ地位ニ関スル講演アリ、次ニ予ハ会長ヨリ顧問トシテ紹介セラル。依テ食糧増産、殊ニ米、麦、甘藷増産ニ付説明ヲ為ス。

○七時半ヨリ池之上国民学校会幹事会ニ出席ス。渡辺、鈴木、大瀧三氏出席ス。ピアノ代金調達方法ニ付、協

議訂正ス。

五月十七日(日)曇 小雨 冷

○朝、戸塚昌宏氏ヨリ、戸倉氏ノ電報ニ依レハ三橋氏支那旅行中トノ電話アリ。依テ柴田氏ヲ煩ハシ藤岡知事ニ申入ヲナスニ決シ、同氏ニ電話セシニ、知事トハ深キ懇親ナシト云フ。之ヲ戸塚氏ニ通ス。

○朝、町村富山県知事及佐藤助九郎氏ニ書状ヲ呈シ、西遠明朗会ノ麦増収実績視察ノ勧誘ヲナス。

○樽井虎一氏、引佐農学校長中山氏ニ対シ、中村与資平氏紹介ノコトヲ通知ス。

○十時頃、農政局長石井英之助氏ヲ訪問ス。食糧増産ニ関シ、西遠明朗会ノ麦増産実地視察ノ為技師派遣ヲ依頼ス。同氏之ヲ諾ス。

○白金郵便局ニ至リ右ノコトヲ森口淳三氏ニ速達郵便ニテ通知ス。

○午後四時半、要ト共ニ久保春海氏夫人ノ追悼会ニ赴ク。五時半、丸ノ内会館ニ至ル。久保家親戚ノ外伊藤和三郎、飯田英作、太田博、熊谷年郎其他二十五六名出席ス。久保氏ノ挨拶ニ対シ予ハ答辞ヲ述フ。八時過散会ス。

○興三来帰ス。夕食前帰校ス。

五月十八日(月)曇 暖

○昨夜、角替文子ヨリ電話ニテ、青野文之丞氏夫人数日前危篤ノ電報アリシ由ヲ告ケ来ル。依テ今朝見舞状ヲ発ス。

○戸塚昌宏氏ト打合セノ結果、静岡県知事ヲ訪問ニ決シ、十時発急行列車ニテ静岡ニ赴ク。先是知事及戸倉氏ニ対シ電報ヲ以テ其旨ヲ通告ス。一時七分著、大東館ニテ戸倉氏ニ面会シテ、昼食中打合セヲ為ス。

県庁ニ藤岡知事ヲ訪ヒ、戸倉氏対昭榮及安田ノ件ノ概要ヲ述へ、仲裁案ノ要旨ヲ告ケ知事ノ配慮ヲ乞フ。次ニ引佐郡麦増産計画実地視察ノ件ヲ依頼ス。知事ハ試験場長其他ヲ派出スヘク、農林省ヨリモ技術官同行スヘシト答ヘラル。

○静岡駅ニテ戸倉氏ニ面会シテ報告ヲ為シ、県蚕種組合長大石健蔵氏ヲ訪問シテ同氏ノ知事訪問ヲナスヘキヲ勧め。三時三十一分発、品川ヲ経テ八時半帰宅ス。

○右ノ経過ヲ戸塚昌宏氏ニ報告(電話)ス。
〔欄外〕

○静岡行ニ付、三里塚御料牧場ノ視察及三七会出席ヲ中止ス。

○角替文子ヨリ電話ニテ、青野夫人今朝逝去ノ由通知ア

リ。今夜出發歸村スト云フ。

五月十九日（火）雨 冷

○朝、石井農政局長ニ電話ニテ問合ノ結果、大麦増産状況視察ノ為同局技師竹内氏ヲ派遣スルニ決シタル由ニ付、其旨ヲ森口淳三氏ヘ電報ス。尚本件ニ付伊藤恒治、河西凜衛、小柳直吉諸氏ヘモ発状ス。

○十一時過、全国治水砂防協会ニ出頭シ、同会ニ入会ヲ勧誘スヘキ人名表ヲ求ム。午後三時再出頭、俵、木檜、田中、大河内子等ト会谈ス。

○正午、中央林業協力会理事会ニ出席ス。後藤会長、白澤、佐藤、漆山、村上、原、小林諸理事出席ス。又、北村又左衛門氏モ出席ス。(1)第一回林業振興懇談会ノ報告ニ次キ、労力資材等不足補充問題調査小委員ノ組織ヲ決定ス。(2)第二回、第三回林業振興懇談会開会ノ件、(3)農林省補助金受領ノ為、予算并負担額更正ノ件ヲ議了ス。(4)廿三日林務課長会議ノ節、午餐会開催ノ件ヲ決定ス。

○午後六時、第九回末広会ヲ開ク。来会者ハ田口、松村、岩田、小原、岡、古島、大西、塚本、河井ノ九名ナリ。有益ナル談話ヲ交換ス。八時散会。

〔欄外〕

○青野氏へ宛、悔状ヲ発ス。

○大日本報徳社袴田銀蔵氏ヨリ、食糧増産指導費総額八、一三一円ニ決定ノ由通知アリ。此中予ノ分一、二五二円三八ニ対シテ田辺理事宛受領書封入シアリ。右ニ対シ返書ヲ認メ、予ノ分ニ付テハ記名調印ヲ為ス。

予ノ分ハ、此事業ノ為必要ナル費用ニ充当スルヤウ保管ヲ依頼ス。

五月二十日（水）雨 冷

○第十部隊今朝四時征途ニ上ルニ付、要ハ女中ヲ連レ往キテ見送ル。

○恩給外所得額ノ届出ヲ為ス。欄外記載ノ通ナリ。

○貴族院議長ヨリ内地傷病兵慰問団参加者ヲ官舎ニ招カレ、以テ十二時参趨ス。洋食ヲ饗セラル。議長ノ謝辞アリ、之ニ対シ富小路子一同ノ代表シテ謝意ヲ表ス。

○佐々木副議長ニ砂防協会顧問タランコトヲ乞ヒ、快諾ヲ得タリ。依テ直ニ其事ヲ赤木幹事ニ通知ス。

○枢密顧問官従一位大勲位伯爵金子堅太郎氏ノ告別式ニ至リ、焼香ス。貴族院書記官長ノ厚意ニ依リ其車ニ乗ル。

○三時、三会堂ナル帝国治山治水協会ノ總會ニ出席ス。午後五時ヨリ同会ニ招カレアジアノ晚餐会ニ臨ム。然

ルニ会長不在ニ付主人代理トシテ挨拶ヲ述ヘルコトヲ強ヒラレ、挨拶ヲ述へ、大分、佐賀、長崎、鹿児島四県ノ林務課長ニ紹介セラル。

○高橋正八氏除隊トナリシ由ニテ夕刻来訪ス。恩賜煙草ヲ呈ス。

○農産課長森肆郎氏ニ電話ヲ以テ打合ヲ為シタルニ、来二十三日ノ中ニ大麦視察ノ為竹内二郎技師ヲ派スト云フ。

〔欄外〕

○本日提出ノ届書

恩給外所得年額届

昭和十六年恩給外所得額左記ノ通ニ御座候間御届申上ク也

昭和十七年五月二十日

東京市世田谷区北沢二丁目一

宮内大臣松平恒雄殿

河井弥八

記

一、金六千八百二十九円九銭 総額

内訳 金二千八百二十円 貴族院議員歳費
金三千六十円

静岡県小笠郡南郷村、同郡上内田村所在ノ田畑宅地ヨリ生スル所得

金九百四十九円九銭

各種株式会社ヨリ受クル配当金

以上

九月二日^{〔朱〕}記事参照

五月二十一日(木)晴 夜雨 冷

○丸山方作氏ヨリ、長崎県発行ノ甘藷栽培法要項ヲ贈ラル。謝状ヲ呈ス。又、台湾用ノ要項、甘藷貯蔵法ノ原稿送付ヲ依頼ス。

○十時過、中央林業協力会ニ出頭。林業用勞力資材供給問題ノ小委員会ヲ開ク。白澤、田中、原、小林諸理事ノ外漆山常務理事、赤木樟一、松本俊雄(全森聯)、岡井(空白)諸氏モ出席ス。先ツ各員ヨリ勞力資材不足ノ現状及之カ原因ニ付詳細ノ報告アリ。之カ対策ハ次回ニ先チ、赤木、林(松本、岡井両氏参加)ニ於テ作成^{〔マ〕}コトヲ依頼シ、三時散会ス。

○農林省農産課竹内二郎氏ニ電話ヲ以テ、引佐郡視察ノ日時ヲ問合セ、其結果ヲ鎮玉村伊藤恒治氏及金指ナル引佐農学校河西教諭ヘ打電ス。竹内技師ハ、静岡県庁(空白)技師ノ案内ニテ明日引佐農学校ヘ赴ク筈ナリ。

○五時半帝国ホテルニテ、九州各県ノ林務課長ト会見ス。
熊本沖繩両県ノ課長ハ未上京セス。第二回、第三回林
業振興懇談会開催ニ付協力ヲ懇望シ、且中林協ノ組織
及事業ニ付説明ス。漆山常務理事ヨリ各課長へ晚餐ヲ
呈ス。

〔欄外〕

○五時半、帝国ホテルニ於テ、白柳秀湖氏令息景吉氏ト
齋藤昌二氏令嬢孝子嬢トノ結婚披露アリ、要ト共ニ出
席ス。媒酌人三宅雪嶺博士ノ披露辞ニ対シ、徳富蘇峰
翁、明石照男両氏ノ祝詞、乾杯辞アリ。白柳氏謝辞ヲ
述フ。来会者ハ九十名ニシテ、永井柳太郎、内ヶ崎作
三郎、田昌、同夫人、松本丞治、伊藤和三郎、中川勝
富氏等モアリ。角替利策夫婦ハ親戚トシテ儀式ニ列ス。

五月二十二日（金）快晴 涼

○培本塾決算書及財産目録ニ承認ノ捺印ヲナシ、加藤主
事ニ速達便ヲ発ス。又柴田氏ト打合セテ、理事会ニ代
フルニ書面ヲ以テスルコト、評議員会モ亦書面ニ依ル
コトトシ、其旨加藤主事ニ通告ス。

十六年度決算書及財産目録ハ榛葉理事ニ送付シ、承認
ヲ求ム。

○引佐郡下明朗会員ノ麦多収穫実地視察ノ為、農政局長

ヨリ特ニ技師竹内二郎氏ヲ派遣セラレタルヲ以テ、案
内ヲ兼ネ官民融合ヲ計ル為、十時発ニテ東京駅ヨリ金
指ニ向フ。

○二時廿七分浜松下車。竹内技師出迎ノ県技師古賀重寿、
県技手青森幸吉両氏ニ出合ヒタル上、竹内技師ヲ迎フ。
二時五十分奥山行《浜松電気鉄道》電車ニ乗ル。四時
前金指著。伊藤恒治、藤田久蔵、樽井虎一、石原民次
郎諸氏ノ出迎ヲ受ケ、県立引佐農学校ニ入ル。

○農学校ニテ視察行程、宿泊地ヲ決定シタル上、先ツ同
校実習地ニ入り、河西教諭ノ発見シタル小麦ノ試作ヲ
見ル。竹内技師ノ指導的講評アリ。次ニ以上諸氏ノ案
内ニテ、中川村石岡ナル作柄ヲ見ル。黒瀬恭一氏、影
山林二郎氏、影山一男氏ノ複条広播、黒瀬宣一氏ノ単
条広播ヲ見ル。最後ニ竹内技師ノ有益ナル講評ヲ聴ク
《黒瀬恭一氏ノ畑ニテ記念撮影ヲ為ス》。

〔欄外〕

○六時二十分、金指ヨリバスニ乗り渋川ニ向フ。中山校
長、郡農会技師某氏、伊藤、河西、石原、藤田、樽井
諸氏同行ス。

井伊谷村ニテ鎮玉村長伊藤市典氏出迎へ同車ス。

○八時頃渋川著、角松方ニ投ス。多数ノ明朗会員出迎フ。
夕食ニ引続キ座談会ヲ行フ。村長、学校長其他前記有

志会食シ熱心ナル質疑応答行ハル。十一時半散会ス。

五月二十三日(土) 快晴 涼

○五時前起床ス。天気晴朗。七時角松ヲ出ツ。村長及伊藤恒治氏ノ案内ニテ、国民学校下ノ革新稲作苗代ヲ見ル。〔藤田氏指導移植、二寸角〕。

宮ノ脇ニテ瀧下吉太多氏作裸麦白チンコヲ見ル。三畝、反収二十五六俵見込ト云フ。〔十一月八日蒔〕。竹内技師ノ批評ヲ聴ク。

次ニ、字儀光飯島重次郎氏ノ大麦磐田三徳ヲ見ル。三畝、反収三十俵ノ見込ト云フ。一同麦畑ニ入り記念ノ撮影ヲ為ス。

飯島氏方ニテ村民百名計リ集会ニ対シ、簡單ナル挨拶ヲ述ヘ大ニ食糧増産ノ為ニ報効ヲ期スヘキヲ望ム。コヽニ竹内技師一行ト別レ帰途ニ就ク。

○九時発バスニ乗ル。村長〔役場マデ〕、中山校長〔金指マデ〕、樽井虎一氏〔気賀へ〕、石原民次郎氏〔浜松マデ〕等ト同車ス。竹内技師一行ハコヽニテ講評ノ後、三ヶ日町鶴代ヲ視察シテ弁天島(?)ニ一泊、明日富岡村ナル県試験場甘藷小麦原種圃〔主任技手青森幸吉氏〕ヲ見テ帰京スル予定ナリ。

○十時五十分頃、浜松駅著。石原氏ニ送ラレテ十一時半

ノ富士ニ乗り、横浜ニテ普通車ニ乗換ヘ、品川、渋谷ヲ経テ四時帰宅ス。

○六時、全国治水砂防協会晩餐会ニ出席ス。会長ヨリ評議員委嘱ノ報告アリ。理事、監事、常務理事及理事長発表ノ後、晩餐ヲ饗セラル。

〔欄外〕

○宮ノ脇ヘノ途上河西教諭ヨリ、同教諭発見ノ小麦種ニ命名ヲ求メラレ、興國ト名ツク。

○引佐郡明朗会諸氏ノ熱心ハ驚嘆ニ堪ヘス。人和甚々鞏ク、成績急ニ大ニ挙ラン。

○西遠明朗会ノ浜松市及浜名郡ヘノ拡大強化ニ付、石原民次郎氏ニ意見ヲ述フ。

○竹内技師親切ニ指導セラレ、一同大ニ欣フ。就中伊藤、河西両氏ニハ無上ノ良師ナリ。両氏ノ啓発大ナルモノアラン。

○矢田部夫人、岐阜行ノ途次昨日来京、滞在ス。

○朝比奈アキ子来訪ス。

○伊東卓治氏夜九時十分発ニテ北京大学ヘ赴任ス。依テ要ト東京駅ニ見送ル。森口代議士モ亦見送ル。

五月二十四日(日) 晴 薄暑

○午前中ハ麦増収法視察記ノ整理ヲ為シ、又、伊藤恒治、

河西凜衛、伊藤市典、中山純一、石原民次郎、樽井虎一、藤田久蔵諸氏へ宛、謝状ヲ認ム。

○午後一時半、池之上学校会ニ出席ス。三町婦人有志ニ対シ、ピアノ購入費調達ニ関シ會員募集ノ配慮ヲ依頼ス。其方法ニ付打合セタル後最後ノ決定ヲ為シ、三時半散会ス。

ソレヨリ約三十分ニ亘リ甘藷増産方法ノ説明ヲ為ス。

○五時、満鉄ビルアジニアニ於ケル全国道府県林務課長招待会ニ出席ス。井出山林局長以下各課長モ列席ス。六時開会。食堂ニ於テ挨拶ヲ述フ。中林協ノ沿革、組織、使命ニ付説明ヲ為シ、更ニ林業振興懇談会ノ計画ヲ述ヘ協力ヲ求ム。ソレヨリ席ヲ白澤理事ニ譲リ退出ス。

○七時、森巖寺ニ於ケル清風会總會ニ出席ス。来会者十四名。十六年度決算、十七年予算ヲ議定シ、役員ノ改選ヲ行フ。其結果幹事ニハ「以下記載なし」

〔欄外〕

○要ハ岐阜、寛一兄二女ノ結婚式ニ臨ム為、矢田部昌子ト出発、沼津ヘ赴ク。今夕大森方ニ泊、明日岐阜ヘ赴ク予定ナリ。

五月二十五日(月) 晴 薄暑

○五時前起床。二、三ノ要務ヲ処理ス。

○中村円一郎氏令孫娘縁談ニ付、久保春海氏ニ依頼シ写真ヲ送ル。

○八時四十分、貴族院ニ登院ス。九時開議、直ニ成立散会ス。議席八百八十三番ニ移サレ、正面ヨリ議長席ニ向テ最右翼トナル。

○各派交渉会終了後非公式ノ公^マ渉会ニテ、古島一雄氏ヨリ選挙干渉ニ関スル質疑ヲ為サントテ了解ヲ求メラル。其結果各派ノ意向ヲ纏メ、交渉委員一名宛出席協議スルコトトナル。右ニ付、同成会ニテハ質疑ヲ許可スヘシトノ意見全会一致トナル。十時半ヨリノ交渉会ニテ協議セシモ、容易ニ纏ラサルカ如シ。

○十一時三十分、上野精養軒ニ開会セラレタル故中村弥六氏ノ追懐会ニ出席ス。来会者約百名頗盛会ナリ。食前、松井石根大将ノ挨拶アリ。終食ノ時、漆山雅喜氏、藤原銀次郎氏、陸軍大臣代理山本少将、塩澤幸一大将、内藤確介氏及木下信氏ノ追懐談アリ。二時過散会ス。比律賓協会編纂比律賓独立戦争秘聞ナル小冊子及中村翁伝ヲ贈ラル。

○帰途、丸善ニ立寄り「国土ヲ培フモノ」ト題スル金原明善翁伝ヲ求ム。

〔欄外〕

○衆議院ニテハ議長候補トシテ岡田忠彦氏、副議長候補

二内ヶ崎作三郎氏当選ス。

○午後、館林三喜男、マス子、成也来ル。三喜男及成也ハ堀医師ノ診察ヲ受ク。

○珊瑚海会戦ノ戦果更ニ偉大ナルモノアル旨、追加発表セラル。

○夜、金原翁伝記ヲ読ム。

五月二十六日(火)曇 薄暑

○朝、小林書記官長ヨリ電話アリ、故徳川家達公御墓前へ記念品献呈ノ件其他ニ付相談ヲ受ク。

○戸塚昌宏氏ヨリ電話ニテ、同氏明日ヨリ来月中旬マテ各地旅行ノ由ヲ通セラル。又、戸倉氏ニ関スル件、其後ノ状況ヲ報告セラル。

○静岡県蚕種組合長大石健藏氏ニ対シ、同氏カ戸倉氏ノ為配慮セラレタルヲ感謝状ヲ発ス。

○十時、中央林業協力会事務所ニ出頭ス。林業ニ必要ナル資材及労力ノ補給ニ関スル対策ニ付、小委員ノ立案ヲ審議検討シテ成案ヲ得。之力取扱方法ヲ相談シ、三時散会ス。

○農林省ニ石井農政局長及竹内技師ヲ訪ヒ、竹内技師ノ派遣ニ付謝意ヲ表シ、同技師ニ就キ批評ヲ求メ、将来ノ指導ヲ依頼ス。

○一木男爵ヲ訪問ス。病氣回復セラレ二階応接室ニテ接見セラル。(1)来廿九、三十日ノ報徳社会合ノ議題ニ関スル件、(2)甘藷増産ニ関スル御下問及奉答ノ報告、(3)農事講師派遣費ノ件等ヲ申上ク。

〔欄外〕

○高松宮殿下満洲国御差遣ノ命ヲ以テ、本日空路大連ニ御安著アラセラル。

○衆議院ハ本日成立ス。

五月二十七日(水)曇 驟雨 薄暑

○第八十回帝国議会開院式ニ参列ノ為、十時前登院ス。車駕十時四十分宮城発御、貴族院へ行幸アラセラレ優渥ナル勅語ヲ賜フ。両院議員感激、各報効ヲ期ス。式畢リ十一時二十分御発輦還幸遊ハサル。

○海軍記念日ナルヲ以テ、市中ニ海軍ノ行進アリ人氣昂ル。

○十二時、華族会館ニ於ケル五葉会ノ午餐会ニ出席ス。出席者ハ、島津忠重公、細川護立侯、井上三郎侯、安保清種男、黒田長和男、岩倉道俱男、岡喜七郎氏、古島一雄氏、塚本清治氏、次田大三郎氏、倉知鉄吉氏及河井ノ十二名ナリ。

○二時、本会議開カル。勅語奉答案議決ノ後、全院委員

長、常任委員選挙ニ入り（議場議決）、東条首相、東郷外相、東条陸相、島田海相ノ演説アリ。陸海軍ニ対スル感謝ノ決議案ヲ上程シ、發議者鷹司公ノ説明アリ、全会一致可決ス。之ニ対シ陸相、海相ノ謝辞アリテ散会ス。

○後藤文夫氏ニ面会シ、(1)十七年度中林協予算ニ付、山林局長へ交渉ノ件、(2)赤木樟一氏ノ件、(3)林業資材、労力補充ノ件、(4)九州ノ懇談会ニ会長ノ出席ヲ求ムル件等ヲ相談ス。

〔欄外〕

○午後六時、堀医師ニ付身体検査ヲ受ク。心臓異常ナシ、血圧最高百四十、最低八十、健康佳良ト云フ。

勅語

朕茲ニ帝国議會開院ノ式ヲ行ヒ、貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク。

朕カ外征ノ師ハ随所ニ敵兵ヲ擊破シ要地ヲ攻略シ大ニ威武ヲ中外ニ宣揚セリ。

而シテ友邦トノ締盟ハ愈々緊密ヲ加フ。朕深ク之ヲ欣フ。

朕ハ臣民ノ忠誠勇武ニ信倚シ速ニ征戦ノ目的ヲ達成セムコトヲ期ス。

朕ハ國務大臣ニ命シテ、特ニ時局ニ関シ緊急ナル予算

案及法律案ヲ帝国議會ニ提出セシム。卿等克ク朕カ意ヲ体シ和衷審議以テ協賛ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム。

五月二十八日（木）晴 薄暑

○朝、松本勝太郎氏ノ紹介ニ依リ、同氏令息野々上慶一氏来訪ス。甘藷ニ関シ各方面ヨリノ記載ヲ集メ、一書ヲ著述センコトヲ告ケ予ノ協力ヲ求メラル。予ノ関スル範圍ニ於テ助力スヘキヲ答フ。

○午後一時登院ス。衆議院ニ於ケル追加予算案並法律案ノ審議ハ午後一時四十五分ニ了リシヲ以テ、二時開会ス。勅語奉答ノ報告アリタル後、更ニ賜リタル勅語ヲ拝聴ス。次ニ大蔵大臣ノ演説アリ、ソレヨリ計画船舶建造ニ関スル法案二件ヲ上程シ、寺島通相ノ演説アリテ休憩ス。

○休憩中、予算委員会及特別委員会アリ、五時半迄審議ス。

○六時、本會議開会セラレ、各案ノ委員長報告アリテ可決ス。時ニ六時五十分ナリ。

○入江氏ノ自動車ニテ青山一丁目ニ来リ、地下鉄、帝都線ニテ帰宅ス。

○ケンパ、朝病氣重シ。医師ヲ呼ハントセシモ電話通セス、三時半斃死ス。

〔欄外〕

○予算委員会ニ於ケル、澤田委員ノ質疑ニ対スル首相ノ態度ハ遺憾ナリ。

○夕、舘林マス子成也ヲ連レ来リ、堀先生ノ診察ヲ求ム。少シク発熱アルヲ以テ一泊ス。

五月二十九日(金) 晴 薄暑

○九時、徳川公爵家ニ宇佐美中將ヲ訪ヒ、武徳殿敷地売却ニ付意見ヲ具陳ス。

○市ヶ谷駅ニ至リ専用バスニテ登院ス。

○森口淳三氏第八控室ニ来訪ス。依テ氏ヲ佐藤助九郎、塩田團平、大谷五平、丸山鶴吉、内田重成等諸氏ニ紹介ス。麦増産ノ実績ヲ説明シ写真ヲ示ス。

○十一時、閉院式ニ出席ス。東條首相勅語ヲ奉読ス。

○十一時半前、宮城ニ参入ス。十一時五十分頃、正殿ニ於テ拝謁ヲ賜ハル。誠ニ感激ニ堪ヘス。退出ノ時御菓子及御煙草ヲ頂戴ス。重ネノ恩寵ニ咽ブ。

○十二時十分頃、首相官邸ニ至リ午餐会ニ出席ス。

○貴族院ヨリ宮城ニ、宮城ヨリ首相官邸へ、小坂梅吉氏ノ厚意ニ依リ同車ス。首相邸ヨリ赤坂見附地下鉄マテ書記官長ノ車ニ便乗ス。

○三時四十分東京駅発列車ニテ帰ル。静岡ニテ普通車ニ

乗換へ、八時四十六分掛川著。大村留吉及小柳直吉氏ノ出迎ヲ受ク。荷物ハ大村ニ託シテ宅ニ送り、直ニ報徳社ノ座談会ニ出席。十時辞去ス。

〔欄外〕

○明日ハ天皇陛下報徳社行幸第十二回記念日ナルヲ以テ記念式ヲ行ヒ、又、本日十時ヨリ幹部ノミノ研究会ヲ行フヲ以テ、特ニ出席ス。

講義ハ佐々井氏ノ金毛録、鷺山氏ノ儒学ト報徳、予ノ最近ノ政治ト報徳アル筈ナリ。

座談会ニハ報徳学校設立ノ方法如何ヲ相談スルコトトナリ居レリ。

○恩賜ノ御菓子及ヒ御煙草ヲ小野仁輔氏ヲ経テ報徳社幹部諸氏ニ呈ス。

午前六時四十分、ケンパノ遺骸ヲ畑ノ柿ノ木ノ下ニ深ク葬ル。薔薇花ヲ供へ香ヲ焼ク。

五月三十日(土) 晴 薄暑

○昨夜殆不眠。二時過ヨリ約一時間半演説ノ原稿ヲ作ル。四時頃漸ク睡ニ入ル。七時前、石野氏来訪ノ為起サル。○石野元治郎氏ニ面会ス。農産ノコト村治ノコトナト話サル。

○昨夜、諸苗百本ノ調達ヲ依頼セシ小柳氏来リ、処弁ノ

旨返事ス。

○九時、報徳社ニ出頭ス。佐々井金毛録ニ付講義中ナリ。誠ニ有益ナル学説ナリ。

○鷲山理事、島根県出張先ヨリ帰来リ出頭セラル。

○十時半ヨリ十二時二十分迄、最近ノ政治ニ関シテ講義ス。昨夜不眠ノ為意ノ儘ニ出来ス。

○劈頭 天皇陛下ヨリ甘藷増産ニ付御下問ヲ蒙リシコトヲ報告ス。

○行幸第十二周年記念式ハ午後一時四十五分ナルヲ以テ退出ス。

○一時半ヨリ村校庭ニテ故陸軍兵長原田喜久男氏ノ村葬アリタルヲ以テ、会葬シ弔辞ヲ朗読ス。

○山田家ヨリ故元治氏遺物代リトシテ、絹織物一反ヲ贈ラル。原料絹ハ山田いく子丹精ニテ調製セシモノニシテ、京都へ送リテ織ラシメシモノト云フ。

〔欄外〕

○要ヨリ電報到着。今夕七時〔空白〕分掛川著ニテ帰り、泊スト云フ。

○四時四十六分発ニテ帰京ス。

○小柳氏ヨリ藪苗百本ヲ供給セラル。之ヲ東京ニ持帰ル。

○野々上慶一氏ヨリ文学界二月号ヲ贈ラル。其中ニ尾崎喜八氏ノ此の糧ト題スル甘藷愛讃ノ歌アリ。厚意多謝

スヘシ。乃チ携来レル丸山氏ノ栽培法一冊ヲ呈スルコトトス。

○山田淳元対まさノ和解ニ関スル書類ヲ読ム。

五月三十一日(日)曇 薄暑

○朝、電話ヲ以テ松平頼寿伯、曾我祐邦子及植原悦二郎氏ニ対シ藪苗分配方ニ付相談ス。

○九時半ヨリ池之上国民学校ニ音楽会アリ出席ス。学校ニテ中食ヲ為ス。午後一時半ヨリ四時マテ音楽会アリ是亦出席ス。畢竟同一ノモノヲ二回聴キタルナリ。是レ講堂ヲ有セサルニ由ル。音楽会終了後、学校会定時総会ヲ開キ挨拶。事業及会計報告、十六年度決算報告、十七年度予算ノ説明及報告ヲナス。此中ピアノ購入費調達ノ件ニ付テハ、従来ノ経過及今回ノ計画ヲ説明シ、百五十一人ノ婦人ニ対シ之カ実行ト会員募集トヲ依頼ス。最後ニ、役員ノ任期ハ本年九月末日ヲ以テ満了スルニ対シ、事業及会計年度ト合致セシムル為九月末ヨリ明年三月末迄ノ役員ノ選挙ヲ議題トセシニ、岸上校長ノ發議ニテ現在役員ノ重任ニ決定シ、四時二十分散会ス。

○学校ニテ買入レタル各種ノ設備ヲ見タル上、帰宅ス。

○阿川昌朝氏来訪ス。町会関係事項ニ付意見ヲ問ハル。

又、氏ト叔父某氏ノ建立セル小田原市外ノ高等女学校ノコトヲ話サル。

〔欄外〕

○夜、安間忠一氏来訪ス。氏ハ最近満洲拓殖会社ヲ罷メタリト云フ。就職ノコトニ付相談アリ。

六月一日(月)半晴 薄暑

○六時半、八幡神社ニ参詣ス。

○木村進、齋藤勝次郎、真島幸次郎(不在)三氏ヲ訪ヒ、清風会新旧幹事事務引継及打合会ヲ三日夕八時ト決シ、回章ヲ発ス。

○郷里ヨリ持来レル甘藷苗分配方ヲ決定シ準備ヲ為ス。十一時曾我子来訪、尋イテ松平頼寿伯使来リ、夫々交付ス。

○午後三時過、館林ヲ訪ヒ、赤六一本、沖繩百号三本ヲ与フ。又、池之上国民学校へ吉田二本ヲ贈ル。

○野々上慶一氏へ甘藷栽培法ヲ贈ル。

○山田淳元母しづ江子へ、山田まさニ対スル件調停書及故伯父上自筆ノ遺言書ヲ、書留郵便ニテ返戻ス。

○館林ヲ訪ヒタル後、木村通氏ヲ訪問ス。氏ハ今朝郷里へ帰レリトテ不在ナリ。夫人ニ面会シテ健康ヲ問フ。

○帰途、渋谷宮益坂ナル靴店ニ立寄り、修繕成レル靴ポストンパグヲ

受取ル。代料二円八十銭ナリ。

〔欄外〕

藪苗分配表

赤六	三〇	松平	曾我	植原	残
吉田	一五	10	3	—	2
沖繩百号	一五	10	3	—	2
源氏	一〇	—	3	7	
白飯郷	一〇	5	—	5	
岩手	五	—	—	5	
青筋	一〇	—	—	10	
計	九五	45	9	37	

六月二日(火)快晴 風強 涼

○午前九時、東京駅ニ至リ下関行寝台券ヲ求ム。明後四日午前十時発列車ニ乗ルコトヲ得タリ。

○台湾拓殖会社支社ニ久宗副社長ヲ訪ヒシニ、未出勤セス。支店長及長谷川重栄氏ニ面会ス。丸山氏渡台ニ付、飛行機使用ノ配慮ヲ求ム。

○帝国農会ニ松山信昭氏ヲ訪ヒ交付金ノコトヲ問フ。又、府農会ニ甘藷主任技師ヲ訪ヒ掛川本社視察団ニ付問フ。

知ル所ナシ。

○十一時半、中央林業協力会ニ出頭ス。十二時過ヨリ理事会ヲ開ク。会長モ出席ス。十七年予算決定ノ報告、資材、労力充足ニ関スル建議案再調、第二回第三回林業振興懇談会開催ニ付協議。林業懇話会提出議案（挙国造林）処理方《委員附託》ヲ議ス。

○協会ニテ植原悦二郎氏へ甘藷苗ヲ呈ス。又漆山、白澤両氏へモ贈呈ノコトヲ約ス。之カ為小柳直吉氏ニ書状ヲ以テ、三十本ヲ白澤氏へ送ル事ヲ頼ム。

○夜、土肥ナル要ニ電話ヲ以テ九州へ出発ノ日時ヲ告ク。
○夜、書齋ノ片付ヲ為ス。

〔欄外〕

○泰治へ来五日午前六時三十分下関著ノコトヲ通信ス。
○泰治ヨリ、近ク異動アルヘキカトノ希望的告知アリ。
○袴田銀蔵、小柳直吉、丸山方作諸氏へ発状ス。

六月三日（水）晴 冷

○昨夜睡眠甚タ困難ニシテ、四時ニ至ル。ソレヨリ奇夢、頭徳院殿ニ遇フ。

○九時前、植原悦二郎氏令弟石神井ヨリ来訪ス。諸苗ヲ受取ル為ナリ。植原氏ノ通知ニ、醋誤^{マダ}アリシナラン。
○十時、貴族院議長官舎ニ於ケル故徳川公記念事業計画

委員会ニ出席ス。松平伯、河田、宇佐美、河井、洪澤子代、赤十字社代、小林翰長ニテ、記念碑建設ニ決ス。尚、将来別ノ計画ヲ立ツルノ計画ナリ。月末頃發起人全員ヲ招集スルコト、ソレマテニ大熊博士ト打合セヲ為スコトトス。

○宇佐美中將ト会见シ、公爵家ニ関スル重要事項ニ付所見ヲ交換ス。

○上野寛永寺ニ至リ故公爵ノ御墓参リヲ為ス。

○丸善ニテ麦稈帽及鉛筆ヲ求ム（代、帽二六〇、鉛筆一九五）。

○夜八時、清風会新旧幹事ノ事務引継会アリ、前期二平山（《庶務》）、大島（《會計》）、後期二本田（《庶務》）、寺山（《會計》）就任ス。旧幹事ハ木村進、齋藤勝次郎、郷秀雄三氏出席。木村進一郎氏欠席ス。九時過散会ス。
〔欄外〕

○福岡市ノ旅館ハ天神町青木方ト決定ス。

○菌部一郎博士ヨリセコイアニ関スル調査録ヲ贈ラル。

六月四日（木）晴 冷

○午前九時五十分東京駅ニ至リ、十時発ノ急行列車ニ乗ル。沼津ニテ要、昌子ノ送迎ヲ受ケ、弁当トシテ土肥製ノすし及枇杷ヲ贈ラル。頗佳味ナリ。中食及夕食ニ

之ヲ賞味ス。

○園地與四松氏ト名古屋迄同車ス。

六月五日（金）晴 暖

○朝六時三十分下関ニ着ス。泰治出迎フ。頗元氣良シ。山陽ホテルニテ朝食ヲ喫ス。此時、泰治ニすし及枇杷ヲ頒ツ。

○八時三十分門司發ニテ福岡ニ向フ。小倉ニテ泰治ト別ル。但シ今夕旅館ニテ食事ヲ共ニセンコトヲ告ク。車中、金森聯理事小泉清氏ト出会ヒ同行ス。十時四十分博多著。大内氏ノ出迎ヲ受ケ旅館榮屋ニ入ル（青木ヲ変更シアリ）。漆山氏ニ面会ス。

○県庁ニ知事ヲ訪ヒ挨拶ヲ述フ。次ニ達林經濟部長ヲ訪フ。県ニテハ農林技師古園万吉氏ヲシテ万事ヲ世話セシメラル。又、澤口義隆氏モ種々斡旋セラル。

○博多食堂ニテ中食ス。ソレヨリ三時二分博多發、三時五十一分赤間著下車。バスニテ池野村池田ニ至リ村役場ニ村長ヲ訪フ。

役場員ノ案内ニテセコイア（赤杉）ノ植栽地ヲ見ル。成績甚良シ。又、役場ニテ村長等ニ対シ甘藷栽培法ヲ指導ス。

○池野村ヨリバスニテ東郷駅ニ達シ、七時五十八分博多

ニ帰ル。澤口技師大ニ斡旋セラル。

○泰治旅館ニ来リシモ、予ハ予定ノ汽車ニ乗ル能ハサリシヲ以テ単独ニテ夕食ヲ喫シテ歸倉ス。予ノ歸来ト榮屋ニテ出会フ。

〔欄外〕

○甘藷栽培ノ狀況ニ付、達林經濟部長及中原技師ニ就キ説明ヲ求ム。

○池野村リ長横山正蔵氏。

○仏国海岸松植栽地福岡町ニ在リ。八年生ニシテ七八haヲ占ム。汽車中ヨリ望ムニ成績甚佳良ナリ。既ニ松脂塊状ヲナシテ噴出スト云フ（澤口技師説明）。

六月六日（土）曇 夕ヨリ雨 蒸暑

○十時、福岡県教育会館ニ於テ第二回林業振興懇談会ヲ開キ、出席ス。国民儀礼、開会辞（漆山）、挨拶（河井副会長、本間知事、山林局長代）ノ後、議題ニ就キ発言ヲ求ム。来会者ハ中央側小山田監理課長、木村木炭課長、原理事（日木社）、小泉清（金森聯常務）、式部鶴（大日本青少年団主事）、植村恒三郎（九大名誉教授）、土井藤平、片山茂樹、西田屹二（以上九大）、福岡、佐賀、長崎三県ノ林業関係官、森林組合関係及木材生産者ニシテ、熊本営林局ヨリモ関重雄（事業部

長^シ、小野達道（^ニ販売課長^シ）之ニ加ハル。

○出席者九十一名中発言者総數三十一名ニシテ、五時灯火管制ノ為全員ノ發言ヲ終ラスシテ中止シ、晚餐会席上ニ於テ之ヲ為スコトトス。

○六時半、福岡觀光ホテルニ於テ晚餐会ヲ開キ一同ヲ招待ス。出席者ハ達林經濟部長ヲ初トシ植村名誉教授其他總計七十二名ナリ。予ハ本会ノ目的達成上多大ノ効果アリシヲ深謝シ、更ニ有志ノ發言ヲ求メシニ、中金銚三氏及対馬島石塚慶雲氏ノ發言アリシノミナリ。九時前散会ス。

○栄屋女主人ノ為ニ甘藷写真ヲ示ス。

六月七日（日）雨 蒸暑

○昨夜、南九州大雨アリ。南部ニ至ルニ從テ烈シク、川内川筋ノ如キ氾濫甚シキヲ見タリ。

○朝、栄屋女主人ニ甘藷写真二葉ヲ呈ス。又、需ニ応シテ甘藷行卜題スル拙歌三ヲ認ム。

○九時半出立、県庁ニ立寄り知事、經濟部長二名刺ヲ通シテ謝意ヲ表ス。又、河合林務課長、山田鹿児島県林務課長ニ挨拶ス。尚、予ハ古園、澤口両技師ニ対シテ謝意ヲ表ス。

○十時二十四分博多發急行列車ニテ鹿児島ニ向フ。植村

教授、漆山常務ト同車ス。又、原理事ハ熊本マテ同車ス。

川内ニテ鹿児島県林務課技師賀島政敏氏出迎ヘラル。予等ヲ案内シテ、吹上浜砂防林視察ノ便ヲ与ヘラル。即、楠、堀両主事ヲ鹿児島ニ直行セシメ、予等三名ハ四時三十六分伊集院ニ下車。南薩鉄道ニテ伊集院五時四十六分發、伊作六時三十六分著、バスニテ七時湯之浦著。福住方ニ投宿ス。鹿児島営林署（技師瀨見芳輔氏）技手今浦庸介、属宮田泉両氏川内ヨリ附添ヒ案内セラル。温泉心地甚佳ナリ。

六月八日（月）曇 午後晴 暑

○昨夜、蚊ニ襲ハレシモ熟眠ス。八時二十分、自動車ニテ福住ヲ發シ伊作駅ニ至ル。九時發、九時十分吹上浜駅ニ下車ス。直ニ海岸ニ向ヒ砂防林内ヲ視察ス。永年ニ亘リ苦心經營ノ經過ヲ聴キ実地ニ対ス。国土保安上深甚ナル敬意ト謝意トヲ表シタリ。此間ニ於ケル技術者ノ説明ト植村教授ノ指導トハ最有益ナリキ。行程一キロ半、海岸ニ至リ小屋ニ休憩ス（休憩ノ間、甘藷栽培法ノ実地指導ヲ為ス）。十時半ヨリ弁当ヲ喫ス。カールヲ供セラル。

○十一時四十三分吹上浜駅發、十二時三十二分伊集院著。

之ニテ植村、漆山両氏及案内係ト別レ、十二時五十四分伊集院発川内(一・四一)ニ至ル。林務課技師小原盛氏特ニ案内セラレ、川内ヨリ馬車ニテ可愛山陵ヲ参拝ス。先ツ新田神社ヲ拝シ、次ニ山陵ヲ拝ス。守長不在ニ付、山下茶店ニ名刺ヲ託シテ帰ル。途中自動車ヲ呼テ駅ニ至ル。四時二分川内発、五時四十四分鹿児島著。乾經濟部長ニ迎ヘラレ岩崎谷莊ニ投宿ス。

○六時半薄田知事ヨリ大門口玉むら方ニ招カレ、鄭重ナル晚餐ヲ饗セラル。

〔欄外〕

○鹿児島営林署属高渕吉五郎氏ノ經驗談有益ナリ。

○可愛山陵守長上村篤夫氏 川内市宮内町住

○陵印ハ川内営林署長ノ配慮ニ依リテ押捺セラル。

六月九日(火)晴 涼

○十時、第三回林業振興懇談会ハ県産業会館ニ開催セラレ、出席ス。出席者ハ中央側ハ前日ノ如ク、只九大ヨリハ植村博士ノミ加ハル。熊本営林局長太田勇次郎氏、同経営部長技師戸山寅雄氏及鹿児島高等農林校長谷口熊之助、教授山本光政、名誉教授川島明八ノ諸氏加ハリ、地方側ハ鹿児島県、熊本、宮崎、大分、沖縄ノ五県林務関係官、森林組合、木材薪炭関係者ニシテ、総

計八十名ナリ。

薄田鹿児島県知事出席、祝詞ヲ述ヘラル。発言者四十名、六時四十分散会ス。

○七時ヨリ鶴鳴館方ニ晚餐会ヲ催シ一同ヲ接待ス。知事、部長以下八十三名出席ス。席上挨拶ヲ述ヘ深甚ナル謝意ヲ表ス。

六月十日(水)晴 薄暑

○関屋貞三郎氏知事官舎ニ滞泊スルヲ以テ、九時過往訪ス。

○十時ヨリ県会議事堂ニ県農事関係者会議アリ、遅刻シテ出席ス。經濟部長座長トナリ、郡市ニ於ケル食糧増産実施状況ニ就キ説明ヲ聴取ス。谷口高等農林校長、県農会長中馬猪之吉氏モ亦出席ス。

予ハ知事ノ求ニ応シテ甘藷及大麦増産ニ付所見ヲ述ヘ、尚去四月二十九日拝謁ノ際賜リタル御下問ニ付謹話ス。○知事ヨリ午餐ヲ饗セラレ、一時出發。紫原ナル農事試験場甘藷苗圃ヲ見ル。場長春日直人氏、技師長谷川浩氏、技手田口忠義氏案内セラル。新種農林二号ノ苗ヲ頒タル。

○小原盛氏及社寺兵事課属阿野進氏ノ案内ニテ高屋山陵ヲ参拝ス。守長及溝辺村長植木松五郎氏ヲ永待チセシ

メタルノミナリシハ恐縮ナリ。役場ニ立寄り謝意ヲ表ス。

○川上親晴氏ヲ訪フ。元気宜シ。足ノ力弱ク歩行不自由ト云フ。

○知事ヨリ風景楼ニ招カレ晚餐ヲ饗セラル。関屋氏ト同席ナリ。大ニ快談シ又大ニ健啖ス。風景絶佳快適無比ナリ。

〔欄外〕

○漆山、植村両氏及堀、楠、大内氏等ハ夫々帰途ニ就ク。

○予ハ岩崎谷荘ニ滞泊ス。

○午後ノ行程ハ悉ク県ヨリ自動車ヲ供セラル。

六月十一日(木)晴 薄暑

○祭務官補林喜親氏ノ案内ニテ吾平山陵ヲ参拝ス。八時三十分鹿兒島港発、九時三十分垂水著。自動車ニテ吾平山陵ニ向フ。技師県立農民道場長大竹山森右衛門氏ハ、鹿兒島ヨリ同行ス。始良村長宮原與助氏ハ同役場ヨリ同行案内ス。十一時著、直ニ奉拝シ守長ノ説明ヲ聴キ、水害復旧工事ヲ視ル。ソレヨリ東岳部落ニ入り分水工事及堰堤ヲ視察ス。

村長ノ好意ニ依リ始良村ニテ中食ス。一時同所發。村長ト別レ大竹山技師ノ案内ニテ、肝属郡串良町方面ノ

甘藷栽培地ヲ視察ス。山陵周囲分水工事視察ノ為メ案外長ク手間取りシヲ以テ、同技師ノ農民道場内ヲ見ルヲ得ス。単ニ圃場ニ止メ車ヲ駛セテ鹿屋市ニ出テ、四時垂水港著。四時半出港、五時廿分帰着帰宿ス。

○知事及関屋氏ヲ岩崎谷荘ニ招キ粗餐ヲ呈ス。聊以テ知事ノ厚意ニ酬イントセシノミ。

〔欄外〕

○小原技師ニ対シ特産ユスノ杖ノ斡旋ヲ依頼セシニ、山田林務課長ヨリ二本ヲ寄セラレ、贈与ノ意ヲ表セラル。依テ関屋氏ト之ヲ頒チ且其代価ヲ受領セラレンコトヲ乞フ旨、書状ヲ発スルコトトス。

六月十二日(金)曇 冷

○早朝六時三十四分發ニテ鹿兒島ヲ發ス。十時二十二分宮崎著。直ニ県庁ニ門口幸三郎技師ヲ訪問ス。農政課長碓井貞雄氏ニモ面会ス。甘藷栽培法普及ノ状況ヲ問フ。又、大麦増産ノコトヲ希望シ、主任技師富田亀藏氏ニ紹介セラル。

知事ニモ面会シ甘藷栽培ニ付謝意ヲ述フ。

県庁前ノ俱樂部ニテ両氏ヨリ中食ヲ饗セラル。

門口技師ニ送ラレテ宮崎駅ニ至リ、一時廿五分發八時五十五分門司著。

○出迎ノ泰治ニ会ヒ山陽ホテルニ同行ス。ホテル泊。泰治ト別ル。

○早朝、山田林務課長ニ対シ書面ヲ呈シ、ユス杖代金ノ明示ヲ乞フ。

六月十三日(土)曇 午後三時ヨリ雨 蒸暑

○昨夜睡眠十分ナラス、五時半起床ス。

○七時四十分発ニテ山口ニ向フ。小月駅ニテ内田重成氏同車シ来リ、予ヲ案内セラル。十時五分山口駅著、下車。

駅ニテ今夕九時四十二分小郡ヨリ富士ニ乗込ムタメ特急券及寝台券ヲ求ム。下関発列車車掌ノ尽力多キニ由ル。

○十一時頃、山口県庁ニ出頭ス。経済部長郡祐一氏ニ面会シ、甘藷増産ニ関シ従来ノ尽力ヲ深謝ス。又、同県ニ於ケル栽培状況ヲ問ヒ、更ニ麦ノ増産ニ付説明ス。

○次ニ知事佐々木芳遠氏ヲ訪ヒ同上ノコトヲ説明ス。又、知事、経済部長ニ対シ四月二十九日内謁ノ時御下問ヲ蒙リシコト及奉答ノ内容ヲ談話シ、山口県ヲ増産確実に奏上シタル次第ヲ告ク。

○知事ノ室ニテ弁当(スシ)ヲ饗セラル。ソレヨリ経済部長室ニテ農務課長事務官福岡友仁氏ニ面会ス。水稻

ノ指導ノ為、丸山氏ヲ招カンコトヲ請求セラル。丸山氏ト相談スヘシト答フ。

○湯田ナル山水荘ニ至リ、内田氏ト休憩入浴ス。知事ヨリ夕食ヲ饗セラル。内田氏、経済部長ト四人ナリ。知事ノ自動車ニテ小郡駅ニ送ラレ、九時四十二分発ニ乗ル。

六月十四日(日)雨 蒸暑

○朝六時、岡山ニテ覚眠起床ス。定刻ヨリ遅ルルコト二時間半、二時頃浜松駅ニ下車ス。小郡ヨリノ急行料金ノ払戻ヲ受ク。二時四十四分浜松発、三時二十五分掛川ニ著。自動車ヲ雇ヒテ大日本報徳社ニ出頭ス。予定ヨリ遅ルルコト二時間半、大阪ヨリ打電セル時刻ニ遅ルルコト一時間半ナリ。

○報徳社ニテハ甘藷貯蔵法并收穫取扱方ニ関スル研究会アリ、丸山方作、磯部幸一郎、田村勉作、井村豪、戸倉儀作、千葉県石井信、六氏出席、検討ス。原案ハ丸山氏ノ作製ニ係リ、田辺理事、袴田主事、小柳直吉氏モ参加シ、予ノ出頭前ニ大体ヲ終了ス。

予ハ鹿児島、宮崎、山口ニ於ケル甘藷増産実行状況ヲ報告シ、輸送力不足ノ影響ノ増産障碍トシテ患フヘキコトヲ詳報ス。丸山、石井氏ハ今夕報徳社ニ泊ル。

○予ハ六時頃、小柳氏ト共ニ帰ル。藤田久蔵氏ヨリ枇杷ヲ贈ラル。

六月十五日(月)朝強風雨 午後晴 薄暑

○昨夜熟睡長眠ス。

○風雨烈シキヲ以テ自動車ヲ呼ヒテ出発ス。先ツ報徳社ニ立寄り、昨日託シ置キタル鞆ヲ受取りテ停車場ニ至ル。九時五十六分ニ乗ル。

○停車場ニテ丸山方作、石井信両氏ト出会フ。丸山氏ハ郷里ヘ帰ル。石井氏ト同車帰京ス。静岡ニテ石井氏ニ新茶ヲ呈ス。品川ニテ別ル。

○品川ニテ敏子等ノ出迎ヲ受ケテ帰宅ス。

○四時半頃、市会議員選挙場(代沢国民学校)ニ至リ投票ス。

○不在中ノ各種ノ滞務ヲ処理ス。

六月十六日(火)晴 涼

○朝、大塚小一郎氏ノ宅ヲ弔問ス。嗣子一也氏ニ面会ス。西村金三郎氏在リ万事ヲ斡旋ス。

○薄田美朝、乾武、山田丈右衛門、碓井貞雄、門口幸三郎、藤田久蔵、樽井虎一諸氏ヘ礼状ヲ認ム。

○正午、中央林業協力会理事会ニ出席ス。第二第三林業

振興懇談会ノ報告ヲ為シ、次ニ林業用資材、労力確保ニ関スル建議ニ付検討ス。後藤会長モ出席ス。五時散会ス。

○後藤文夫氏ヨリ、館林ヲ大政翼賛会総務課長ニ採用希望ノ申出アリ。

○水野伊太郎氏夫人及母堂来訪ス。重友等及なほ子ニ対シ結婚ヲ祝ヒ、祝品ヲ贈ラル。

○夜、山口県知事佐々木芳遠氏、経済部長郡祐次氏、内田重成氏ヘ謝状ヲ、又関義寿男ヘ夫人逝去ニ付悔状ヲ、土田莊助氏ヘ殿君万助氏死去ニ付悔状ヲ認ム。

○松平頼寿伯及鎌田共済会ヘ夫々謝状ヲ認ム。

六月十七日(水)晴 薄暑

○朝、戸塚昌宏氏ト電話ス。九一郎氏北海道庁長官退官ノコト、戸倉氏対昭栄製糸ノコトニ付問フ。

○十時發ニテ静岡ニ赴ク。大東館ニテ中食後、両替町ニ戸塚重一郎氏ヲ訪問ス。氏ハ酒造業ヲ縮小シ海野氏初メ多数ノ退職者ヲ出シタルヲ以テ、之ヲ見舞ハンカ為ナリ。氏ハ掛川ヘ赴キ不在ナリ。

○静岡商工会議所ニ片岡要氏ヲ訪ス。片岡氏ノ配慮ニテ市役所ヨリ田中秀雄氏モ来リ会ス。田中氏ハ収入役ナリト云フ。

○尾崎元次郎氏来り面会ス。氏ハ赤沢山ニ甘藷栽培ノ希望アリ、指導者ヲ求ム。依テ服部源太郎氏ニ紹介葉書ヲ発ス。

○静岡県庁ニ出頭シ学務部ニ飯田氏ヲ訪ヒ、中村総務部長兼学務部長神奈川県へ榮転ニ付祝意ヲ表シ、且謝意ヲ述フ為名刺ヲ託ス。新任総務部長へモ名刺ヲ託ス。

○五時二十五分静岡発急行列車ニテ帰京ス。八時過帰宅ス。

○要ハ愛の家ニ赴キ、又興三ヲ訪問ス。

六月十八日(木)曇 夕雨 蒸暑

○朝、国民貯蓄強行方法ニ付取調ヲ為ス。大政翼賛会ニテ発言ノ用意成ル。

○八木代議士ヨリ漫筆旧雨ヲ贈ラレシニ対シ謝状ヲ発ス。

○十一時、中央林業協力会事務所ニ出頭ス。一昨日理事会決定ニ係ル林業用資材及労力ノ確保ニ関スル建議ニ付、進行ノ状況ヲ検ス。

○台湾拓殖会社長谷川重榮氏及多田登氏来訪ス。丸山方作氏台湾出張ノ時期方法等ニ付協議ス。

○福岡県林務課長河合慎二氏、同県木社長中金鎬三氏、常務塩川茂氏来訪ス。

○日本倶楽部ニ至リ中食ス。柴田善三郎氏ニ面会ス。

○一時、大東亜会館ニ開会セル大政翼賛会ノ戦時貯蓄動員中央協議会ニ出席ス。儀礼、詔書捧読(安藤副総裁)ノ後開会辞(後藤事務総長)、挨拶東条首相、賀屋蔵相、運動趣旨説明相川実践局長、貯蓄奨励局次長説明、氏家武ヨリ後藤総長議長トナリ各員發言ス。大口、小日山、三輪三氏ノ演説マテニテ退出ス。

〔欄外〕

○渡辺周氏去十五日急逝、三時ヨリ四時迄雑司ヶ谷本教寺ニテ葬儀ヲ行ハレタルヲ以テ、会葬焼香ス。

○九大名誉教授植村恒三郎氏ヨリ「千代の松原」及林業経済ナル二論文ヲ贈ラレシヲ以テ、直ニ謝状ヲ呈ス。

六月十九日(金)曇 蒸暑

○三時迄家居。丸山方作、海野真岳、大竹山森右衛門、澤口義隆、小原成二、宮原與助諸氏へ書状ヲ、上村篤夫、阿野進、林喜親諸氏ニ葉書ヲ呈ス。又、報徳社ニ対シ来二十三日ノ理事会欠席ノ旨ヲ通知ス。

○食後一時間許リ八木氏随筆旧雨ヲ読ム。

○三時半出發、関義寿男ヲ訪ヒ夫人ノ喪ヲ弔フ。男爵ヨリ夫人ノコトヲ聴ク。同情ニ堪へス。中島資朋氏ヲ弔問ス。夫人ト併セテ焼香ス。

○五時半、軍人会館ニ開会ノ遠州学友会ニ出席ス。伊藤

和三郎、杉村七太郎、伊東弥恵治、垣内幸太郎、戸塚昌宏、桜井栄一、松井三郎、八木力三、其他諸氏及学生約二十名出席ス。食後、戸塚氏ノ木材統制ニ関スル談話アリ、八時半散会ス。

○瀬古保次氏ヨリ蝦ヲ贈ラル。

〔欄外〕

○今夜ヨリ蚊帳ヲ用フ。

六月二十日（土）曇 蒸暑

○十時半、中央林業協力会ニ出勤ス。

漆山常務理事ト共ニ山林局長ヲ訪フ。農林省及大臣官舎ニ至リシニ、都合悪クシテ面会ヲ得ス。一時ヲ約ス。

○アジアニテ中食ノ後、再局長ヲ訪問ス。林業用資材、労力確保ニ関スル建議ヲ示シ、其内容ヲ説明シ局長ノ了解ヲ求メ、且之カ徹底ノ為政府各省へ運動ノ方法ヲ相談ス。

又、山林局関係ニ於テ所要ノ数量及割当ヲ得タル数量ノ提出ヲ求ム。局長ハ来二十三日ノ理事会ニ於テ提出スヘシト約セラル。

○大政翼賛会ニ後藤会長ヲ訪フ。局長往訪ノ内容ヲ報告シ、会長自ラ農林大臣ヲ訪問セラレンコトヲ求ム。同意ヲ得タリ。

○赤木正雄氏ヲ訪ヒ内務省国土局関係事業ニ対スル十七年度セメント割当量ヲ問フ。又、吾平河分流工事視察ノ概要ヲ述ヘテ氏ノ意見ヲ問フ。

○帰途、池ノ上駅脇ロダン方ニテ斬髪ス。

〔欄外〕

○磯部きゑ子、片山嘉太郎氏夫人、石間全吉氏来訪ス。

○塚本末子、伊藤いさ子来訪ス。

六月二十一日（日）曇 蒸暑

○終日家居、読書及書類ノ整理ヲ為ス。

○十一時頃、角替利策来訪ス。要ヨリ依頼シタル書面鑑定ノ結果ヲ告ケラル。又、予ハ養子選択ニ付、太田氏二男ノコト、鈴木陳平氏二男ノコト等ヲ告ク。昼食ヲ共ニス。

○安間忠一氏来訪ス。三菱東山開発会社へ就職ヲ申入レ、既ニ採用試験ヲ受ケタル由報告セラル。又、南洋方面へ司政官トシテ奉職シタキ由希望ニ基キ、求ニ依リ氏ヲ小栗一雄氏へ紹介ス。

○要ハ館林ヲ訪ヒ、又、木村通氏ヲ見舞フ。

○夜、鈴木幸作氏夫人ト共ニ来訪ス。今般故敬三氏ト婚約ヲ結ヒタル永野新作氏令嬢高子娘トノ約束ヲ解消シ、更メテ二男寛氏ノ為ニ同娘ヲ迎フルコトト決シタルヲ

以テ、予等ニ媒酌人タランコトヲ求メラル。之ヲ即諾ス。続イテ明後日結納交換ノ申出アリ、承諾ス。
〔欄外〕

○本日十七年分所得金額決定通知書（二十日付）ヲ受ク。
左ノ如シ。

本人

分類所得

不動産所得 二、五九〇

分類所得ヨリ控除セララル

扶養家族控除金額 二四円

生命保険控除金額 四円

綜合所得

其ノ他ノ所得 九、三九〇

重友

綜合所得

其ノ他ノ所得 二、一二〇

○住友伸鋼所ヨリ泰治ノ身分等ニ付問合セヲ受ク。依テ直チニ速達郵便ニテ報告ヲ発ス。

六月二十二日（月）細雨 蒸暑

○朝、静岡中学校在京同窓者会幹事志村正一氏（≒日本鋼管営業部 大森上池上町□□□）来訪シ、七月十日同

窓会開会ニ付協議ス。氏ヲ小栗一雄氏ニ紹介ス。

○岩井豊治氏来訪。隣組長ヲ予ニ承諾セシメタルニ付、氏ハ副組長トナルヘシトテ挨拶ヲ述フ。

○十時半、後藤、漆山両氏ト井野農林大臣ヲ官邸ニ訪問シ、林業用資材、労力ノ確保ニ関スル意見書ヲ提出シ、之カ必要ヲ強調シ、農相ノ強力ナル措置ヲ求ム。

○貴族院ニ小林書記官長ヲ訪問ス。又、佐藤書記官ニ就キ北支ニ於ケル甘藷生産ノ実況ニ付取調ヲ為ス。

六月二十三日（火）晴 雨 曇 蒸暑

○昨夜十二時眠覚ム。蚤ニ襲ハレ四時マテ眠ル能ハス。

○鈴木幸作氏令息寛氏ト永野新作氏二女高子嬢ト婚約進ミシヲ以テ結納交換ヲ為ス。十時三十分、要ト共ニ鈴木氏ヲ訪ヒ結納品ヲ受取り、永野氏ヲ訪ヒ之ヲ渡シ、更ニ永野家ノ結納品ヲ受取り鈴木家ニ渡セリ。往復ノ自動車ハ永野家ヨリ配慮セララル。

○正午、中央林業協力会理事会アリ出席ス。漆山、白澤、菌部、村上、佐藤、田中各理事出席ス。山林局長モ亦出席ス。林業用資材、労力確保ニ関スル建議ノ取扱ニ付報告ヲ為シ、議題数件ヲ審議ス。三時半散会ス。

○赤木正雄氏ヲ訪ヒ、(1)麦栽培方法ヲ木檜三四郎氏へ交付ヲ依頼ス。(2)松平議長ノ砂防事業視察ヲ七月八、九

両日ト仮定シ、之カ日程ノ作成ヲ頼ス。白澤博士ニモ同行ヲ勸ム。

○五時半、幸楽方ニ於ケル鈴木幸作氏ノ晚餐会ニ出席ス。要、鈴木夫妻、寛氏、永野氏夫人令息二娘、長尾氏小娘同伴、飯田氏出席ス。

六月二十四日(水)晴 雨 不定 蒸暑

○昨夜モ十二時覚眠ス。四時頃ヨリ睡ル。七時半起床ス。
○八時半頃、鈴木幸作氏来訪、謝意ヲ表ス。午後五時頃答訪ス。

○十時過、同成会例会ニ出席ス。塚本、次田、入江、中川、片倉諸氏出席ス。

○入江氏ノ車ニ同乗シ日本俱樂部ニ至ル。食後、亜阿吽阿教ニ付説明ヲ聴ク。

○子爵仙石久英氏来訪ス。日本俱樂部ニテ約一時間計リ談話ス。帰途同車、池ノ上ニテ別ル。

六月二十五日(木)雨 蒸 冷

○八時半頃、木檜三四郎氏来訪ス。西遠明朗会ノ麦増産法ニ付説明ス。

○十時頃、□□氏来訪ス。令息□□氏来九月東大政治学科卒業ノ上、正金銀行へ奉職志願ニ付、依頼方申出

テラル。之ヲ諾ス。夕、大久保利賢、三矢宮松両氏ニ依頼書ヲ認ム。

○皇太后陛下御誕辰日ナルヲ以テ大宮御所ニ伺候、奉賀ス。

○秩父宮邸へ伺候、殿下ノ御誕辰ヲ奉賀ス。

○北御車寄ニ至リ天機并御機嫌ヲ奉伺ス。

○大宮御所ニテ岡本参事官ニ出会ヒ、同氏ノ車ニ同乗シテ宮中ニ参入シ、更ニ東京駅マテ送ラル。甚好都合ナリ。

○日本俱樂部ニテ中食シ貴族院ニ出頭、小林書記官長ヲ訪フ。(1)松平議長ノ砂防視察ニ付、打合せヲ為ス。(2)貴族院調査部会ノ農事調査加入ヲ申入ル。

○貴族院調査部会ニ於テ、本田正次博士ノ仏印ノ植物調査報告ヲ聴ク。

○中央林業協力会ニ出頭シ、(1)中元手当ノコト、(2)緑川書記退職ノコト、(3)仙台ニ於ケル林業振興懇談会開催ノコトヲ処理ス。

○朝比奈貞一來訪ス。(1)真野博士ノ命ニ依リ大塚惟精氏訪問ノ話アリ。(2)貞一身上ニ付報告アリ。

〔欄外〕

○重友ハ本日玉川工場ノ労務係へ転勤ヲ命セラル。

○夜、赤木正雄氏来訪シ、松平議長ノ砂防視察日程ヲ贈

ラル。又、吾平山陵付近河川改修工事図ヲ贈ラル。

○夜、大瀧靖、小池光太両氏来訪。飛行機献納金割当一六・六九銭ヲ収金ス。

○松平頼寿伯ヨリ鱒子ヲ贈ラル。

六月二十六日(金)雨 冷

○朝、静中在京同窓会幹事志村正一氏来訪ス。会務ニ付相談アリ。就中、収支整理ノ件ハ重要ナリ。意見ヲ述フ。

○一時、農林大臣官舎ニ於ケル農業報國聯盟常務理事会ニ出席ス。一時半、貴族院ニ於ケル用務ノ為退出ス。手当金ヲ贈ラル。次回ヨリ之ヲ固辞ス。

○一時半、貴族院調査部第二部会ニ出席ス。安藤欧亜局長ノ最近ノ欧州ノ情勢ニ関スル講話アリ。有益ナリ。

○関屋貞三郎氏ニ面会ス。宇治碾茶ヲ呈ス。

○小林書記官長ヨリ、議長ヨリ八九両日甲州旅行同意ノ電報アリシ由ヲ告ケラル。依テ赤木氏ヨリ受取りタル旅行計画三案ヲ渡シ、参考ニ供ス。

○帰途、小林方ニテ地図ヲ求ム。

○河西凜衛氏ヨリ小麦新種興國ノ写真及記事ト鶴代ニ於ケル大麦作写真二葉トヲ贈ラル。

○一條秀美氏来訪ス。要代テ面会ス。

〔欄外〕

○台拓社長谷川重榮氏ニ対シ、丸山氏ノ出張時期ニ付希望ノ点ヲ報告シ、配慮ヲ求ム。

○朝、伊藤恒次、河西凜衛両氏ニ対シ書状ヲ発シ、麦作成績ノ報告ヲ求ム。

六月二十七日(土)晴 冷

○昨夜モ睡眠不全ナリ。

○奈良男爵病氣平癒、二十五日ニ退院セシ由ニテ挨拶状ヲ寄セラル。依テ賀状ヲ呈ス。山内長崎県知事、横溝熊本県知事へ榮転ノ賀状ヲ、又、内田重成氏ニ対シ、来月中旬農事調査ノ為出張スヘキ旨依頼状ヲ呈ス。

○朝、白澤保美博士ヲ訪問ス。山梨県へ松平議長ヲ案内スルニ付、打合セヲ為ス。了テ森林組合ニ付意見ヲ聴ク。

○十一時、貴族院ニ於テ志村正一氏ノ来訪ヲ受ク。静中同窓会基本金募集ノコトヲ相談シ、募集帳ヲ作ル。

○佐藤書記官ニ面会シ、山口島根両県農事調査旅行ノコトヲ相談ス。李事務官、荒井属ヲ紹介セラル。

○服部時計店ニ至リ懷中時計ノ硝子ノ破レヲ取換フ。

○銀座オリンピックニテ中食ス。

○日本甘藷馬鈴薯会社ニ井上副社長ヲ訪フ。不在ナリ。

○四時頃、角替吉平氏夫人来訪ス。鮭ヲ贈ラル。

〔欄外〕

○重友ハ午後七時ヨリ池之上国民学校ニ於ケル訓練ニ出席ス。

○要ハ三越ヘ行ク。アキ子ト出会フ。夜八時半過、帰来ル。

六月二十八日(日) 晴 薄暑

○朝快晴ナリ。午後驟雨アリ。熱海ハ晴天ナリキ。

○朝、電話ニテ米山梅吉氏ノ病氣ヲ見舞フ。熱海山王ホテルニ静養中ナルヲ知ル。植原悦二郎氏ニ電話ス。熱海山王ホテルニ在リト云フ。依テ兩氏ヲ訪問スルニ決ス。但シ植原氏訪問ハ甘藷栽培状況視察ノ為ナリ。

○朝、堀巖氏来訪ス。林業ノ談話ヲ聴ク。又、山陵要覽ヲ貸ス。

○午後一時十五分品川発ニテ、熱海ニ赴ク。三時二十八分著。バスヲ利用シ山王ホテルニ赴ク。米山氏ヲ見舞ヒ、植原氏ニ面会ス。米山氏ハ病氣回復セシモ元氣衰フ。切ニ加養ヲ祈ル。植原氏ノ案内ニテ同氏栽培ノ甘藷ヲ見ル。又、曾我子ノ藪ヲ見ル。

○ホテルニテ夕食シ六時四十分発急行列車ニテ帰京ス。九時頃帰宅ス。午後、東京ハ大雷雨ナリシト云フ。

六月二十九日(月) 雨 冷

○朝、杉本良氏来訪ス。報徳社ノ学校設立ニ関スル意見ヲ陳ヘラル。之カ具体案ノ作成ヲ依頼ス。

○□□氏令息□□氏ノ正金銀行就職ニ付、同行人事部長平井勇氏ヨリ手続上通知アリシ件ヲ告ク。□□氏ノ答ニ依リ直ニ返書ヲ發ス。

○伊澤多喜男氏ヲ訪フ。時事ニ付種々意見ヲ交換ス。

○三時、貴族院ニ出頭ス。農業事項調査班ノ編成及任務ニ付、第五部会協議会アリ。事務局立案ニ付相談ス。

了テ各班ニ於テ実行上ノ打合セヲ為ス。予ハ田口弼一氏ト十六日出発、島根山口兩県ニ出張スルコトナレリ。田口氏及同行ノ李事務官等ト協議ヲ為シ、四時散会ス。

○静中同窓会幹事志村正一氏貴族院ニ来訪ス。事務ノ打合セヲ為ス。

○夜、高井孝藏氏、令夫人ト共ニ来訪ス。隣組長引受ニ付事務ノ引継ヲ受ク。

○重友疲労ノ為欠勤ス。

六月三十日(火) 曇 驟雨 冷

○朝、□□□□氏来訪ス。就職ノ件ニ付テナリ。

○十時、中央林業協力会ニ出勤ス。同時ヨリ開会ノ財団法人日本木材協会ノ総会ニ出席ス。

○井出山林局長ト会見ス。局長ヨリ、中林協代表トシテ木材統制委員会委員タルノ交渉ヲ受ク。後藤会長ト協議ノ上回答スヘシト返事ス。

○正午、中林協理事会ヲ常盤家ニテ開会ス。漆山、白澤、佐藤、井出、原、小林、赤木諸氏出席ス。第四回林業振興懇談会開催ノコト其他ニ付相談ス。

○理事会ノ結果ハ後藤会長ヲ訪問シテ報告ス。又、井出局長ヨリ交渉ノ件及楠主事ニ関スル件ヲ内話ス。

○台拓支店ニ久宗副社長ヲ訪ヒ、丸山氏台湾行ニ付相談ス。

○樽井虎一氏ヨリ強酸性肥料ノ効果ニ付報告アリ。

○河西凜衛氏ヨリ鶴代表作ニ関スル報告ヲ受ク。

○伊藤恒治氏ヨリ渋川ノ麦作ニ関スル報告ヲ受領ス。

〔欄外〕

○夜、池之上国民学校へ寄附ノピアノ会費ハ総計四千五百余円ニ上リシ由、田中氏ヨリ報告アリ。又、立替金利子ニ付相談ヲ受ク。

七月一日（水）晴 暑

○朝、八幡神社ニ参拝ス。要ト同道ナリ。

○十時、小林準一郎氏ヲ王子製紙会社ニ訪フ。木材増産ノ困難ニ付、其真相及原因ノ説明ヲ聴ク。東洋軒ニテ午餐ヲ饗セラル。最近仏印ノ森林ヲ視察シタル林学士〔空白〕氏ニ紹介セラル。

○一時、中央林業協力会ニ出頭ス。漆山理事ニ面会シ、昨日後藤会長ト会見シタル内容ヲ報告ス。(1)評議員選任ノ方針ニ関スル件、(2)楠主事ニ関スル件、ニ付テナリ。

○三時過、榛葉康子来訪ス。来九月辞職シ修道院ニ入ルト云フ。夕食ヲ供ス。

○館林マス子三兄ヲ伴ヒ来訪ス。夕食後帰宅ス。

○七時半、北沢二丁目隣組長常会ニ出席ス。九時過散会ス。

七月二日（木）曇 小暑

○朝、小林書記官長ト松平議長ノ山梨県下砂防及林業視察ニ付、電話ニテ打合セヲ為ス。其結果ハ赤木正雄氏ニ面会シテ決定ス。

○朝、大久保利賢、平井勇両氏ニ謝状ヲ発ス。□□□□氏、横浜正金銀行ニ入社決定ニ付テナリ。増田正直、石井信両氏へ書状ヲ発ス。

○十時前、黒須病院ニ庵地氏三男ヲ見舞フ。経過佳良ナ

リ。

○中央林業協力会ニ出席シ、林道網ノ完成及之カ助成ニ関スル建議案ニ付、委員会ニ於テ検討ス。成案ヲ得タリ。

○大政翼賛会実践局長相川勝六氏ヲ訪ヒ、全国一斉植林実施方法ニ付協議ス。漆山常務、白澤理事同行ス。

○三浦安蔵氏ヨリ電話ニテ、片倉兼太郎氏母堂病氣ニ付、明日上諏訪行旅行ヲ延期スル旨通知アリ。

○要ハ武蔵高等学校父兄会ニ出席ス。

○台拓社長谷川氏ヨリ、丸山氏渡台時日撰定ニ付相談アリ。直ニ丸山氏へ書状ヲ發シテ都合ヲ問フ。

○伊藤恒治、河西凜衛両氏へ書状ヲ呈ス。麦作報告ヲ謝スル為ナリ。

〔欄外〕

○重友ハ五時半兵役ノ為身体検査ヲ受ク。甲種ナリト云フ。

○長谷川一郎氏ヨリ雑誌武蔵野ヲ贈ラル。其中ニ同氏寄稿ノ津久井郡ニ於ケル二百八年前ノ甘藷栽培ニ関スル古文書アリ。甚有益ニシテ且興味アリ。謝状ヲ呈ス。

七月三日（金）曇 小暑

○石原民次郎氏ヨリメロンヲ贈ラレシニ付、謝状ヲ呈ス。

○東京日々新聞社ニ対シ、写真及履歷書要略ヲ送付ス。

○十時、中央林業協力会ニ出頭ス。漆山常務ノ指図ニ依リ、林道網整備及助成ノ意見書ヲ携ヘテ山林局長ヲ訪フ。次テ農林次官ニ面会シテ陳情ス。ソレヨリ大蔵省ニ谷口次官ヲ訪ヒ同様陳情ス。

白澤保美博士同行セラル。

○新橋駅東洋軒ニテ中食シ、貴族院事務局ニ出頭ス。

○一時半、貴族院調査部第二部会ニ出席ス。南洋ノ各種資源ニ関スル講演ヲ聴ク。甚有益ナリ（講演者ハ技術院第三部第四課長海軍機關大佐長嶺公固氏ナリ）。

○四時ヨリ大東亜調査会政治部会アリ。企画院第三課長海軍大佐上原義雄氏ノ南洋資源開発対策ニ付テ講話アリ。五時半散会ス。

○高山書記官ヨリ、松平議長来九日午後二時迄ニ帰京ヲ要スルニ付、日程変更ノ通告アリ。研究ノ結果、森村男ノ山林視察ノ為朝七時出發案ヲ作ル。書記官長ヨリ同意ヲ得、之ヲ白澤、赤木両氏ニ通告ス。

〔欄外〕

○夕七時十分、南関東地区以東以北ニ警戒警報發令セラ

ル。
七月四日（土）曇 夕晴 薄暑

○朝、内田重成、佐藤助九郎両氏ヨリ書状ヲ受ク。直ニ返書ヲ呈ス。

○鈴木寛一兄二女美代子及夫君山口文造氏ノ挨拶ニ返書ス。

○丸山方作氏ニ打電シ、廿五日以後ニテ台湾行日取ヲ定メタシト照会ス。委細一任ノ返電ヲ受ク。依テ此事ヲ台拓支社長谷川重栄氏ニ電話シ、飛行機ノ配慮ヲ頼ム。
○昇三郎正午来訪ス。昼食ヲ共ニス。一時過帰ル。有楽町駅マテ同車ス。

○日本倶楽部ニ横尾惣三郎氏ヲ訪フ。氏ノ求ニ依リ、日本農道同盟ノ財団法人設立願ニ連署ス。但シ同氏ニ対シテハ(1)積極的ニ事業遂行ノ任ニ当ラサルコト、(2)報酬ヲ受ケサルコト、ヲ条件トシテ承認ス。

○帰途パイロット万年筆(代四二〇)ヲ求ム。

○夕、角替利策氏来訪ス。女婿ノ選定ニ付テナリ。

○夜八時ヨリ第三隣組常会ヲ催ス。永村氏ノ外全員出席ス。九時半散会ス。

〔欄外〕

○町会事務所ヲ訪ヒ打合セヲ為ス。

○午後、興三帰来ル。住友生命保険ニ対シ二万五千円ノ契約ヲ為ス。

○館林二兒来遊ス。葉子ハ一泊ス。

○静中同窓会幹事志村氏ヨリ、来十日同窓会開否ニ付問合セアリ。明朝確答ヲ約ス。

○池之上学校ニ至リ岸上校長ヲ訪フ。ピアノ購入資金募集ニ関シテナリ。又、同一件ニ付和田真氏ヲ訪フ。

七月五日(日)晴 暑

○早朝、静中同窓会延期ノ件ニ関シ柴田善三郎氏及館林ノ意見ヲ問フ。其結果志村正一氏ニ延期ノ通知ヲ發セシコトヲ求ム。

○九時四分両国駅ヨリ乗車ス。日本甘藷馬鈴薯会社副社長井上健彦氏ノ案内ニテ、甘藷栽培視察ニ赴ケルナリ。
○千葉ヨリ増田正直《甘藷会社千葉出張所長》、池澤勇両氏同車ス。之ニテ東京ヨリ同車セル本社技師西田悦夫氏ト合セテ一行五人トナル。

○十時五十六分茂原著下車ス。有力者佐川四郎氏、署長永田為喜氏出迎フ。署長ヨリ館林ノ伝言ヲ聴ク。直ニ電話ニテ返事ノ取次ヲ頼ム。茂原農学校ニ至リ校長嶋原篤二氏ニ面会ス。ソレヨリ同校ノ開墾農場ニ赴キ、会社委託ノ甘藷試作地(《一町歩》)ヲ視ル。〔空白〕ホテルニテ中食ス《一行ノ外校長佐川氏モ加ハル。校長ニ表作甘藷作ノ説明ヲナス》。

○二時二十二分茂原発、三・四四旭町下車。自動車ニテ

神代村ニ赴ク。同行五人ナリ。四時半、神代村国民学校ノ開墾地《一反歩余》ニ甘藷試作ヲ見ル《校長木内正毅氏》。次ニ石井信氏ヲ訪フ。氏ノ外ニ村長吉田知三氏、農会長向後省三氏、木内校長及《匝瑳郡椿海村椿》佐藤武夫氏、《香取郡橋村石出》清水利一氏ニモ面会ス。苗圃、圃場ヲ視察ス。ソレヨリ村長吉田知三氏ニ招カレテ茶菓ヲ饗セラル。六時半出發六時四十分笹川著。七時五分發ニテ七時三十四分佐原ニ著ス。コレニテ増田氏ト別レ駅前金田樓ニ投宿ス。

〔欄外〕

○神代村平山石井信氏方へ記念ノ植樹（樺）ヲ為ス。

七月六日（月）晴 頗暑

○五時半起床。昨夜快眠ス。七時五十分自動車ニテ出發ス。此自動車ハ今朝四時半水戸發、大澤忠次技師ノ出迎ニ係ルモノナリ。

手堀、潮来町ヲ經テ鹿島ニ至リ、神宮ニ参拝シ皇軍勇士ノ武運長久ヲ祈ル。ソレヨリ鹿島郡ノ甘藷大産地ヲ縦走シ、十時銚田町ノ地方事務所及郡農会ヲ訪フ。技師磯山贇氏及総務課長下河辺良亮氏ニ面会ス《甘藷増産、麦増産ヲ主題トス》。ソレヨリ再ヒ同郡海岸ニ沿ヒテ北上、甘藷ノ畑中ヲ駛走シ大貫、磯浜両町ヲ經テ十

一時半水戸ニ入り、環翠館ニ著、中食ス。水戸出張所長檜山平三郎氏、所員石川政氏出迎へ幹旋ス。環翠館ニハ農務課長牧福松氏、県農会幹事有馬重一氏モ出席ス。

○一時水戸發、一時三十分菅谷村ナル那賀郡^ニ地方事務所及農会ニ出頭ス。農会長平野研吉氏、技師白土松吉氏ニ面会ス。両氏ヨリ那珂郡ニ於ケル甘藷増産經過及方法ニ付、説明ヲ聴ク。甚有益ナリ。会见約一時、其間麦類ノ増産ニ付説明ヲナス。ソレヨリ自動車ニテ前渡村役場ニ至リ、村長磯崎忠五郎、助役大和田耕造氏ニ面会ス。了テ栽培中心地ヲ過キ磯崎ニ出テ、平磯、湊町ヲ經、那珂川ヲ渡リ磯浜街道ヲ水戸駅ニ帰ル。時ニ午後五時ナリ。五時三十八分發車ス。大濱、白土、檜山、石川諸氏ニ見送ラル。

八時十五分上野著。地下鉄ニテ渋谷ニテ井上、西田両氏ト別ル。

〔欄外〕

○警戒警報ハ十二時二分解除セラル。

○其結果、静中同窓会延期ノ通知書未成ナリシヲ以テ、十日開催ノコトニ決定ス。

七月七日（火）晴 頗蒸暑

○朝、□□□氏来訪ス。長男□氏浦賀ドック会社就職ノコトニ付相談アリ。重光常務理事ニ依頼スルコトヲ約ス。夜往訪、不在ナリ。

○子爵仙石久英氏来訪ス。砂防協会入会ノ件其他ニ付談話ス。子爵有志者入会ノ為、青木子ヲ煩ハシ勧誘スルコトトス。

○徳川公爵ヨリ服地料三百円及品物ヲ頂戴ス。

○志村正一氏来訪。来十日夕ノ静中同窓会ニ付、打合せヲ為ス。

○住友生命保険会社員宮城良雄氏来訪ス。興三及重友ニ保険ヲ付スルコトニ付相談ス。重友一万円、興三一万五千円ト決定ス。

○斎藤啓造氏来訪。甘藷会社ヨリ鶏卵、甘藷及味噌ヲ持来ル。

○志賀信秀氏、同夫人及子息来訪ス。

○十二時過、砂防協会ニ出席ス。食後、松野鶴平氏ヨリ遭難談ヲ聴ク。又、小山氏其他ノ需ニ依リ麦増産方法ヲ説明ス。

末次大将ニ面会シ、食糧増産及砂防ニ付意見ヲ述フ。

又、研究会少壮議員入会勧誘方法ニ付赤木氏ト相談ス。

○伊藤良次氏ヲ見舞フ。

〔欄外〕

○静中同窓会基金トシテ金五十円ヲ醸出ス。

○丸山方作氏渡台ニ付、飛行機乗用方ヲ台拓社ヨリ陸軍省へ交渉セシニ、二十七日羽田発ニ許可セラレシ由、長谷川重栄氏ヨリ電話ヲ受ク。

七月八日（水）晴 大暑

○午前八時発ニテ新宿ヨリ出發ス。十時三十四分塩山著ニテ、山梨県下ノ砂防事業視察ノ貴族院議長松平伯爵ノ案内ヲ為ス。小林書記官長、高山書記官随行。又、砂防協会ヨリ赤木常務理事案内ス。白澤林学博士モ亦同行ス。山梨県総務部長兼経済部長宮田為益氏ト同車ス。

○県庁差廻シノ自動車二台ニ分乗シ、勝沼町日川ニテ視察ニケ所。十一時五十分甲府談露館ニ著。知事ヨリ昼食ヲ饗セララル。

○午後一時出發韮崎ニ至リ、県砂防協会長杉山幸男氏ヨリ、明治年間同地水害ノ状況ト砂防ノ結果トヲ聴取ス。メロンヲ饗セララル。《町長小林觀寿郎氏大ニ斡旋セララル。》

ソレヨリ御勅使川大堰堤ニ至リ赤木氏ノ説明ヲ聴キ、更ニ旭村地内ニ入り工事ノ実況ヲ視察ス。菓子、西瓜等ヲ饗セララル。四時半出發、下部ニ向フ。

途中車上ヨリ坪川（未施工）、利根川（≒隧道トナリ居リ視察セス）、戸川（未施工）、大柳川（未施工）、手打沢川（同上）等ヲ視察シ、飯富ニテ富士川ヲ渡リ、共和村ノ山路ヲ経テ六時半頃富里村下部温泉湯元ホテルニ投宿ス。

○県砂防協会長杉山氏ヨリ夕食ヲ饗セラル。

○夜、高山書記官ヨリ食糧事情ヲ聴取ス。又、村長其他有志者へ甘藷及麦栽培方法及成績ヲ展覧セシム。

〔欄外〕

○知事高野源進氏陸軍司政長官ニ任セラレ、部長其他更迭アリ。

新知事多湖実夫

≒総務部長兼経済部長≒宮田為益

土木課長高良末綱

七月九日（木）晴 大暑

○七時、湯元ホテルヲ出發ス。昨日ノ自動車ニ乗ル。昨日ノ道ヲ戻リ、富士川ヲ渡リテ飯富ニ出テ、ソレヨリ早川ヲ視、身延町豊岡村ヲ経、八時睦合村船山川ニ達ス。川上ノ橋ニテントヲ張り茶菓ヲ饗セラル。村長芦澤辨作氏ヨリ水害及砂防後ノ状況ヲ聴ク。又、赤木氏ヨリ詳細ナル説明ヲ聴ク。九時同所ヲ出發、森村山林

ニ向フ。此時白澤博士代ツテ議長ノ車ニ同乗ス。

○富河村役場前ニテ整列出迎ノ村長山本盛一氏及村会議員一同ニ挨拶シ、十時、石合ナル森村山林事務所ノ製材工場ニ著シ、製材ノ状況ヲ見ル。ソレヨリ事務所ニ入り所長池田乙次郎氏ノ挨拶ヲ受ク。一行ハ池田氏及山本村長ノ案内ニテ樽峠ニ向フ。路上七、八町ヲ往復シ植栽林ノ実況ヲ視察ス。十一時事務所ニ帰り中食ヲ喫シ、松平議長ハ記念ノ植樹ヲ為シ、十一時四十分発車内船ニ向フ。議長一行及赤木氏ハ夕五時三十三分東京ノ筈ナリ。

○予ハ白澤博士ト共ニ滞泊ス。午睡ノ後三時半ヨリ白澤、池田両氏ノ案内ニテ、夫婦小屋マテノ間ヲ視察ス。ソレヨリ山本村長ニ案内セラレテ樽峠ニ登リ、更ニ別路ヲ経テ夫婦小屋ノ下ニ帰り、七時帰著ス。

〔欄外〕

○夕食後、森村山林関係諸氏ニ対シテ甘藷及大麦栽培ノ成績ヲ示ス。

七月十日（金）晴 大暑

○早朝事務前ノ溪流ニ嗽ク。清流透徹ス。
○九時、白澤博士ト別レトラックニテ發ス。車、福士川ノ架橋上ニテ動カス。依テ池田氏ニ伴ハレテ下車徒歩

ス。氏ハ予ノ荷物ヲ自転車ニ結ヒテ同行セラル。行ク
コト十五分、トラックノ修理成リテ来ル。依テ再乗車
ス。富士川渡船場ニテ車ヲ下ル。十時井出駅ニ著ス。
池田氏ト別ル。

○自動車ハ川原ノ砂中ニ陥リ回転スル能ハス、大ニ困難
ス。其状、井出駅ヨリ指点スヘシ。池田氏乃チ急キ現
地ニ赴ク。氏ノ力ニ依リテ漸ク離砂スルヲ得タリ。此
自動車ハ本日富河、睦合、栄、万沢四村ノ森林代表者
ヲ乗セ森村事務所ニ運ヒ、白澤博士ヨリ森林組合ノ結
成及事業ニ付協議スル筈ナリ。

○十時四十八分井出発、十一時四十五分富士著。駅前ニ
テ中食シ、○・一四発二・四二品川著。

○五時半、三信ビル東洋軒ニテ在京静中同窓会ヲ開ク。
出席者百五名。西村現校長、江崎前校長、富澤、石川
両教諭亦臨席セラル。副会長、評議員ノ指名ヲ行ヒ、
幹事指名ノ委任ヲ受ク。又、名簿作成、事務所設置ニ
付報告シ、基金ヲ募集ス。海軍少将西尾秀彦氏講話ス。
又、落合信篤氏ノ大東亜戦争詩吟アリ、九時散会ス。

七月十一日(土) 晴 暑

○朝、森村山林事務所ニ宛、甘藷栽培法指導書ヲ贈ル(≒所
員望月正氏)。

○十時、中林協ニ出頭ス。人事其他要務ヲ処理ス。
○全国治水砂防協会ニ赤木常務理事ヲ訪フ。旅費六円ヲ
支払フ。

○農業報國聯盟ニ田中常務理事ヲ訪フ。規約改正ニ付反
対意見ヲ述ヘ、其取扱ヲ田中氏ニ一任ス。

○湯河食糧局長官ヲ訪ヒシモ面会ヲ果サス。

○日本甘藷馬鈴薯会社ニテ岩瀬社長ニ面会ス。久次米氏
ノ馬鈴薯栽培実施ヲ勸ム。又、甘藷買上代金決定ニ付
内話アリ。井上副社長、西田技師ニ要談ス。西田技師
ハ明後日ノ甘藷講師打合会ヲ傍聴スト云フ。

○徳川公御伝記編纂所ニ出頭スル為所長ノ在否ヲ問ヒシ
ニ、不在ノ為中止ス。

○二時、文部省ニ於ケル第六十一回報徳経済学研究会ニ
出席ス。加藤仁平氏ノ朝鮮ノ農村、大阪ノ貧民窟、東
京ノ学園ニ於ケル報徳教育ニ付テノ講演ヲ聴ク。甚有
益ナリ。

○志田収氏夫人来京ス。庵地氏ノ為ニ女中ヲ連来ル。要、
之ヲ送届ク。

○楠目令嬢来訪ス。

〔欄外〕

○貴族院小使齋氏来リ畑ヲ作ル。

○革靴ノ修繕成ル。

七月十二日(日)晴 暑

○早朝、高柳暉氏来訪ス。氏ノ経営ニ係ル聾啞教育事業ニ対シ意外ナル篡奪者アルヲ認メ、之カ対策ヲ勸ム。即刻柴田善三郎氏ヲ訪問スヘキヲ告ク。

○静中同窓会基金トシテ西尾銈次郎氏ヨリ五十円ヲ贈ラル。依テ直ニ謝状ヲ呈ス。正午過、之ヲ志村正一氏ニ渡ス。

○北沢二丁目群長ノ防空訓練アリ、池之上国民学校ニ出席ス。八時半開会、六時散会ス。十四、十五両日ノ中隣組常会ヲ開クニ決シ、都合ヲ問フ為回状ヲ発ス。

○吉田知三、石井信両氏ニ対シ謝状ヲ認ム。

○小使齋氏来リ終日劳作ス。入江氏ノ桐畑大ニ侵害セラレシヲ以テ、鉄条ヲ修理シ且立札ヲ為ス。

七月十三日(月)曇 午後驟雨 雷 暑

○四時半起床五時出發、品川駅へ赴ク。女中一人荷物ヲ持チテ品川迄来ル(蒲田ノ親戚へ行く途中ナリ)。五時四十五分発列車ニ乗後ル。依テ東京駅ニ至リ同所ヨリ六時四十分発ニ乗り、十二時二分掛川著。大日本報徳社ニ出頭ス。

○朝食ヲ得ス、沼津ニテ漸ク弁当ヲ買ヘリ。

○農事講師二十三名来集シ、去四月八日開会セル第一回

ニ引続キ各地ノ報告及研究討議ヲ為ス。十時過開会四時散会ス。良苗仕立方法ニ付各自意見ヲ本社ニ提出シ、特別委員ニ於テ審議決定ノ上印行スルコトトス。

○農事講師ニ対スル報酬、旅費等ハ本社講師ト相違甚シトテ、本社講師側ヨリ非難アリ。依テ鷲山、田辺両理事及袴田主事ト対策ヲ相談ス。結局、一時的事業トシテ已ムヲ得サルモノト認ムルニ決ス。

○石原民次郎氏ヨリノ麦増産方法ノ出版計画談アリ、予ニ序文ヲ求メラル。之ヲ諾ス。又、其研究者ヲ本社ニ於テ講師トシテ囑託スルヲ可トスルノ意見ヲ述ヘシニ、同氏之ヲ欣諾ス。

〔欄外〕

○千葉県石井信氏ヲ農事講師ニ推薦ス。

○磯部幸一郎氏ヨリ鶏卵一箱ヲ贈ラル。

七月十四日(火)曇 夕晴 暑

○三時四十分頃、用便ノ為起出シニ眩暈甚シ。用後一時間半許リ平臥ス。終日多少ノ眩暈アリ。昨今両日大便不通ナリ。

○六時十五分發歸京ス。十一時半新橋下車、中林協ニ出頭ス。

ソレヨリ常盤家ニ赴キ理事会ヲ主管ス。東久世男モ出席ス。又、各理事ニ車馬料ヲ頒ツ。火曜ノ定例日ヲ金曜日ニ改ム。

○貴族院ニ出頭ス。田口弼一氏ト会見、島根、山口へ旅行ニ付、打合セヲ為ス。李事務官、海保雇トモ打合セヲ為ス。

○砂防協会ニ赤木氏ヲ訪ヒ、島根山口両県ニ於ケル砂防実施ニ付調査ヲ乞フ。既ニ昨日宅へ届ラレシト云フ。

○末次会長ニ面会シ、白澤保美、白柳秀湖両氏ヲ顧問ニ推薦ス。

○台拓長谷川重榮氏ニ電話シ、昨日丸山氏ヨリ示サレタル台湾總督府殖産局長ノ電報ノ内容ト、丸山氏ノ答電ノ内容トヲ告ケ、丸山氏来京ノ時手続等ニ付取調方ヲ依頼ス。

〔欄外〕

○山本良吉先生一昨夜狭心症ニテ長逝セラレシ由、新聞紙ニテ知ル。

○興三归来ル。

○大森健一郎来泊ス。

○小柳直吉氏同車ニテ上京ス。娘ノ入院ヲ見舞ヒタル上、原町田ニ甘藷成績ヲ見、更ニ福岡県伊連^(達力)町へ赴クト云フ。

○伊林初次郎氏ヨリ、北支食糧問題解決策トシテノ甘藷栽培ニ関スル資料ヲ送ラル。

○堀医師ニ就キ健康診断ヲ求ム。血压一五八ノ外異状ナシ。疲労ノ為ナラント云フ。

〔朱筆〕大村芳次凱旋スルマテ毎年金百円ヲ留吉ニ与フルコトトシ、五十円ヲ交付ス。但シ例年ノ手当ト合算シテ百円トスルモノナリ。

七月十五日（水）曇 蒸暑

○十時、徳川公爵ヲ訪問シ、過日ノ賜品ニ付拝謝ス。

○静岳公伝記編纂所ニテ井野辺博士ニ面会ス。博士ノ質問ニ応シテ貴族院ニ於ケル御事跡調査ノ方法ニ付所見ヲ述フ。又、伊澤、南、竹越、青木子、前田子、水野等ノ諸氏へ書状ヲ発シ、伝記編纂ニ付談話ヲ乞フ。

○中央林業協力会ニ出頭ス。堀主事解任ニ付、後任〔空白〕氏ニ主事補（一八〇）ノ辞令ヲ渡ス。仙台ニ於ケル懇談会用務ヲ処理ス。漆山氏ハ大蔵省ニ出頭ス。

○館林ヲ内務省ニ訪問ス。振興課長郡祐一氏ニ面会ス。山口県ニ於ケル出張用務及丸山氏派遣ニ付、打合セ方ヲ依頼ス。

○日本俱樂部ニテ中食ノ後、大日本航空会社ニ出頭シ、丸山氏ノ渡台ニ付、飛行機乗用ノ手続ヲ問フ。

○八時、隣組常会ヲ催シ、来二十四五六日ニ執行セラルヘキ防火演習ニ付協議シ、十時前散会ス。〔高井、佐藤、大島、郷、永村出席。岩井、金久保欠席。〕

〔欄外〕

○大森健一郎沼津へ帰ル。

○今朝便通ハ灌腸及昨夜ノ服薬ヲ以テス。心地宜シ。

○十時ヨリ五時半迄外出セシニ、身体大ニ回復ス。

夜、堀先生ニ就キ血圧ヲ計ル。百四十ナリ。昨日ノ異常ハ疲労ヨリ来リシナラントノ診断ナリ。

七月十六日(木) 小雨 午後晴 冷

○朝、大日本生活協会常務理事丸本彰造氏代理主事加藤善徳氏来訪。八月二十一日ヨリ三日間筑波村ニ開会ノ農事講習会ニ丸山氏ノ出演ヲ求メラル。出席困難ナルヲ告ケ、田村勉作氏ヲ推ス。

○久保春海氏来訪ス。同氏明年春退官後ノコトニ付相談アリ。

○小林書記官長来訪ス。貴族院調査会館設置ノ件ニ付相談アリ。卑見ヲ述フ。

○戸倉惣兵衛氏来訪ス。同氏対安田関係ノ報告アリ。午餐ヲ呈ス。

○岡本参事官ニ恩給交付ノコトヲ問フ。吾平川改修箇所

破損ノ報告アリ。

○台拓社長谷川重栄氏ニ電話ヲ以テ、丸山氏渡台ノ件ニ付打合ヲナス。

○中央林業協力会主催第一回林業振興懇談会速記録中、予ノ演説ヲ校正書直ス。林氏へ送付ノコトトス。

○六月受領分恩給交付請求書ヲ内蔵寮へ郵送ス。

○四時頃館林マス子、葉子及成也ヲ伴ヒ来訪ス。

○六時半出発。貴族院調査部中国班トシテ、島根山口両県ニ向テ出発ス。田口弼一氏ト同行、事務官李燧煤氏、雇新井英夫氏同車、八時出発ス。

七月十七日(金) 晴 頗暑

○昨夜、車中涼シク睡眠十分ナリ。七時十分大阪著下車ス。直ニ山陰線大社行歩廊ニ移ル。七時五十七分大阪発大社ニ直行ス。二時五十分米子駅ニテ島根県企画課〔地方農林主事〕山田愛二氏、日本甘藷馬鈴薯会社松江出張所長本田万三郎氏出迎へ、世話セラル。松江駅ニテハ男爵北島貴孝、多額議員田部長右衛門両氏出迎ヘラレ、北島男ハ大社へ同行、世話セラル。

○四時二十分大社著。北島男ノ好意ニ依リテ用意セラレタル自動車ニテ大社ニ赴キ、特別ノ待遇ヲ以テ正式参拝ヲ取計ハル。次ニ建築ニ関スル説明アリ、又宝物殿

ヲ拝観ス。了テ男爵邸ヲ訪ヒ謝意ヲ述ヘテ退出ス。男爵ハ再ヒ駅マテ自動車ヲ供セラレ、且発車マテ見送ラル。六時発車ス。

○今市駅ヨリ知事小泉梧郎氏ノ帰庁セラルルニ遇ヒ同車、松江ニ至ル。七時十二分松江著下車ス。ソレヨリ田口氏ト共ニ直ニ知事官舎ヲ訪ヒ、旅館皆美館ニ投宿ス（風景絶佳ニシテ涼風清爽タリ）。

○貴族院属海保勇三氏ハ昨日午後三時廿七分松江ニ来リ、各種ノ打合及準備ヲ為シ、本日ハ松江ヨリ大社詣ヲ同シクシタリ。

七月十八日（土）快晴 頗暑

○全森聯会長佐藤振五郎博士ハ皆美館ニ投宿、予ノ隣室ニ在リ刺ヲ通セラル。乃チ田口氏ニ紹介シ朝食ヲ共ニス。

○八時半、県庁ニ出頭ス。小泉知事ニ面会ス。経済部長由雄又次郎氏ハ上京中ニテ不在ナリ。農林主事東梅良太郎氏、企画課長ニ代リテ会議ヲ世話セラル。九時過、経済部長室ニテ県庁関係官ト懇談会ヲ開ク。知事モ臨席セラル。田口氏ハ調査部ノ性質ヲ明ニシテ各員ノ協力ヲ求ム。県ニテハ地方事情実地調査資料ノ外、肥料状況、価格統制状況ヲ印刷用意セラル。各課長及係官

ヨリ順次説明ヲ聴取ス。

○中食ノ時、甘藷及麦増産方法ニ付、簡單ナル説明ヲ為ス。

○午後一時半ヨリ県農会、産業組合聯合会、農器具工業組合、漁業組合、米商聯、商工会議所、木材会社、木炭同業組合、優良村長、篤農者其他ノ意見ヲ聴ク。五時四十分散会ス。

七月十九日（日）快晴 頗暑

○午前九時、皆美館ヲ発シ、菅田庵（不昧公茶室）ヲ訪フ。ソレヨリ松江城天守閣ニ登リ展望ヲ擅ニス。

○十一時三分松江駅発、十一時五十八分今市著。出雲市長岡田秀勝、助役椋木為一、《県会議長前市長》山田金右衛門、市会議長山田美治、市農会長萬代信造諸氏ノ出迎ヲ受ケ、片岡別館方ニテ中食ヲ饗セラル。食後焼土器工場（《採土場トモ》）、軍人遺家族副業組合配給所、共同炊事所、大和紡績会社出雲工場《桑皮パルプヨリ織布製造マテ》（長、飯國壯三郎氏）及四纏産業組合出荷温純工場（《農村小麦加工》）ヲ視察ス。

○四時八分今市発、四時四十八分湯町著。特発自動車ニテ玉造温泉保性館ニ投宿ス。

○夕、知事小泉梧郎氏来訪、鄭重ナル晚餐ヲ饗セラル。

警察部長大貫元氏、経済部長由雄又次郎氏及田部長右衛門氏モ同席セラル。

七月二十日（月）晴 大暑

○八時十七分発バスニテ湯町ニ至ル。八時四十分同所発山田主事案内セラル。今市ニテ乗換へ十時五十分仁万著ニテ、田口氏ハ迄摩郡農会ノ懇談会ニ臨ミ、三時十分同所発浜田ニ向フ。

○予八十時二十二分大田著（田口氏ト別ル）。代議士恒松於菟二氏及大森町長岩竹雄弼氏ノ出迎ヲ受ケ、甘藷会社支店長本田万三郎氏ト同車大森町ニ至リ、県社井戸神社ニ参拝ス。社務所ニテ少憩、茶菓ヲ饗セラル。ソレヨリ正式ニ参拝ス。大森警察所長樋野善太郎氏ノ使者ノ来訪ヲ受ク。社司ヨリ井戸明府ナル伝記ヲ受ク。辞去ニ際シ岩竹町長ト別ル。大田町恒松代議士ノ宅ニ請セラレ簡素ニシテ懇切ナル午餐ヲ饗セラル。

○恒松代議士ニ送ラレテ大田ヨリ乗車。二時四十九分発、三時十一分迄摩ニテ田口氏一行ト合シ、四時二十六分浜田著。那賀地方事務所長事務官柳樂義雄氏、浜田港修築事務所長土木工師佐々木齊治氏、市長山崎義一氏、助役田代篤郎氏等ノ出迎ヲ受ケ、旅館亀山館ニ入ル。

○県立女子師範学校教諭田原幸三氏、校長渡辺平三郎氏ノ紹介ニテ来訪ス（亀山館へ）。

〔欄外〕

○迄摩郡農会懇談会出席者左ノ如シ

郡農会長 樋野脩常

郡農会技師 清水秋作

県農会技師 仁万町 竹下俊亮

久和^利村農会長、〃産業組合長 藤田忠信

井田村長 長尾仟

〃篤農 川島義規

五十猛村篤農家 田中市太郎

七月二十一日（火）晴 大暑

○早朝、県主事山田愛二氏ハ松江ニ帰ル。

○早朝、浜田ニテ斬髪ス。又、茶釜二箇ヲ購フ（代一円五十銭）。

○九時、旅館ヲ出テ護国神社ニ参詣ス。正式参拝ヲ許サル。柳樂事務官、佐々木工師、浜田土木管区事務所長今井好二郎氏、那賀出張所水産技手某氏、市役所長浜出張所長主事小川清一郎、漁業協同組合事務長佐藤三作氏等ノ案内ニテ、漁港ヲ視察ス（参拝後本田氏ト別

ル)。ソレヨリ汽艇ニテ長浜ニ於ケル築港計画及実行ノ
状況ヲ視察ス。小川主事等ノ説明ヲ聴ク。帰路ハ馬島
ヲ週リテ漁港ニ入ル。

○次ニ浜田合同缶詰株式会社工場（取締役会長戸津川善
吉氏）ヲ見、更ニ漁業協同組合事務所ニ入りテ漁業ノ
説明ヲ聴キ、了テ階上ノ大広間ニテ午餐ヲ饗セラル（≡手
料理ニシテ魚鮮美多量）。

○二時三十二分浜田発、三時四十一分益田ニ着。此所ニ
テ連日世話セラレタル属妹尾泰次郎氏ト別レ、山口行
列車ニ乗り三時五十四分発車ス。美濃郡豊田村長牛尾
宗太郎氏来迎へ、氏ノ経営ニ係ル豊田報徳村ノコトヲ
説明シ、豊田ニテ別ル。六時十二分山口著。経済部長
渡辺男二郎、農務課長福岡友仁、特高課長関口八太郎
氏等ノ出迎ヲ受ク。先発ノ海保属、夕刻到着ノ丸山方
作氏モ出迎ヘラル。湯田山水園ニ泊ス。

〔欄外〕

○内田重成氏東京ヨリ電報ヲ寄セラレ、用務ノ為来会出
来サル旨ヲ断ラル。

七月二十二日（水）晴 頗暑

○八時三十分、福岡農務課長ノ案内ニテ旅館出發。豊栄
神社及野田神社（別格官幣社）ヲ参拝ス。宮司杉村馨

氏ハ農産熱心家ナリ。

○九時十分、山口県庁ニ出頭ス。総務部長井田完二氏、
経済部長渡辺男二郎氏ト会見ス。又、多数ノ農業関係
課長及係員ニ紹介セラル。

○九時三十分ヨリ県庁各課長及係官ト会見ス。県ニテハ
地方事情ト題スル印刷物ヲ用意セラル。又、十七年度
農産関係施設概要ヲ与ヘラル。昼食トシテ温飴ヲ饗セ
ラル。

○一時ヨリ県会議事堂ニテ農会、産業組合、商工会議所、
畜産組合、篤農家等ノ有力代表者ト会谈ス。予ハ貴族
院調査会ニ付説明シテ挨拶ヲ為ス。会見ハ各種ニ亘リ
五時半迄続行ス。甚有益ナリ。経済部長、総務部長モ
出席ス。知事佐々木芳遠氏ハ上京中ナリ。

○夕、総務経済両部長ヨリ菜香亭方ニ招カレ、鄭重ナル
晚餐ヲ饗セラル。九時半頃湯田山水園ニ帰ル。席上ニ
ハ特高課長関口八太郎氏、山口市長高橋忠治氏モ来ル。

〔欄外〕

○丸山方作氏ハ昨夜山水園ニ宿泊、今朝七時農林技手中
井清氏、甘藷会社出張所長山口繁氏ノ案内ニテ吉敷郡
秋穂町ニ赴ク。同地ニテ徳久技手ノ世話ヲ受ケ稲作指
導ヲ為シ、今夕川棚村泊ノ予定ナリ。

明日ハ八時出發、豊浦郡黒井村ニ至リ村山技手ノ世話

ニテ稲作指導ヲ行ヒ、夕八時三十分下関発ニテ豊橋へ
帰ル予定ナリ。

○二十五日夕、予ヲ東京ニ訪ヒ宿泊スルコトヲ約ス。

七月二十三日（木）晴 最暑

○八時、山水園ヲ発ス。農務課技師佐々木章氏ノ案内ニ
テ防府市役所ニ向フ。車中県庁ノ農村指導方針、農業
者ノ厭業傾向、鮮人農業者ノ実情等ニ付有益ナル説明
ヲ聴ク。八時四十分市役所著。市長、陸軍少将山本芳
輔氏ニ面会シ、市会議事堂ニテ市産業組合長、農事實
行組合長、市農会長、振興課長等ノ意見ヲ聴ク。予ハ
甘藷及麦増産ノコトヲ説明シ、十一時三田尻駅ニ著ス。
市長見送ラル（鶏卵ヲ贈ラル）。

○汽車四十分遅著ス。其間駅長喜多寛治氏ニ甘藷増産方
法ヲ説明ス。十一時五十分三田尻発一時宇部ニ下車ス。
市主事属本式氏出迎フ。自動車ニテ市工業倶楽部ニ入
リ、市長伊藤勘助氏、宇部興産株式会社専務名和田哲
郎氏、宇部鉄工所々々長西野吉蔵氏、代議士紀藤常亮氏、
警察署長川本勉（警視）氏、県商工技師川上壯五郎氏
等ニ面会ス。市長ヨリ昼食ヲ饗セラレ、宇部市ノ特異
性ノ説明ヲ聴ク。又、属主事ヨリ食糧其他ノ配給状況
ヲ説明セラル（佐々木技師ト小郡駅ニテ別ル）。次テ宇

部鉄工所内ヲ見学シ、四時二十二分発五時廿七分下関
著。市助役吉田耕造氏経済課長谷井力氏ニ迎ヘラレ春
帆楼ニ入ル。

〔欄外〕

○夕、下関市長松井信助氏ヨリ春帆楼ニテ鄭重ナル饗応
ヲ受ク。

○朝、泰治へ打電。春帆楼泊ノコトヲ通セシニ、七時頃
来訪ス。夕食ヲ与フ。十時頃小倉へ帰ル。

七月二十四日（金）晴 大暑

○七時五十分春帆楼ヲ発シ、八時下関中央青果会社ニ到
ル。専務取締役山本友一氏、取締役川島清氏等ヨリ現
場ニテ説明ヲ聴ク。次ニ自動車ニテ彦島埋立地ニ至リ、
下関漁港事務所長県主事平岡丈一氏ノ実地案内及説明
ヲ受ク。此所ニテ市鮮魚介出荷統制組合副組長渡會縮
三郎氏、同専務理事関壯二氏、株式会社林兼商店副社
長中部兼市氏等ノ出迎ヲ受ケ、魚類出荷状況、鮮度保
持至難事情、包装箱入手難及価格騰貴ノ実情、魚価及
運賃ニ因ル配給不円滑等ノ説明ヲ聴ク。又、上屋上ヨ
リ漁港状況、下関築港、栈橋、停車場配置状況、漁船
修理工場、石油不足ノ為繋船状況、林兼商店ノ冷凍庫
等ヲ視察ス。ソレヨリ汽艇ニテ小瀬戸ヲ出テ西北ヨリ

彦島ヲ一周ス。其間彦島ノ林兼造船所鉄工所ヲ見、又海底隧道ノ所在、海峡ノ船舶通過状況等ヲ見、一時阿弥陀寺町山口方ニ上陸中食ヲ饗セラル(林兼主催)。

○五時岡崎方ニテ晚餐ヲ饗セラル。林兼、鮮魚介出荷統制組合、中央青果会社ノ主催ナリ。七時半辞去シ帰東ノ途ニ就ク。

〔欄外〕

○田口氏、李事務官、新井属(十時四十分發、帰東)ト別レ、八時三十分發富士ニテ帰ル。海保属同行ス。

○泰治ハ六時頃近藤好夫少尉、西本俊雄航技少尉ト共ニ山陽ホテルニ在リ。依テ同所ニ立寄りシニ、晚餐ヲ了リタレハ更ニ簡單ナル食事ヲ饗ス。出発ノ時三人見送ル。恰モ同車ノ大河内正敏子ニ三人ヲ紹介ス。

○発車ノ時市助役吉田耕造、經濟課長谷井力両氏及春帆楼老母見送ル。

○鳥取因久山焼ノ茶碗破損ス。永年苦樂ヲ共ニセル者ヲ喪ヘルカ如シ。

七月二十五日(土)晴 酷暑

○昨夜熟睡、六時七分神戸著車ノ時覺ム。上段ノ乗客ノ去リシヲ知ラス。午後二時五十九分横浜著。普通列車ニ乗換ヘ四時頃帰宅ス。

○車中ニテ大河内正敏子、吉野信次氏及下郷傳平氏ニ甘藷栽培ノ必要ヲ説明ス。又、下郷氏ニ対シテハ滋賀県ノ山ニ全植林ヲ勸ム。

○夕、昇三郎來訪ス。昇二郎モ來京セリトテ訪問ス。種々面白キ談話ヲ聴ク。

○五時頃、台湾拓殖会社東京支店勤務長谷川重榮氏來訪ス。丸山氏乗用ノ飛行機ハ軍ノ都合ニ依リ二十七日ニ乗用出來スト伝フ。又、成ルヘク最近ノ機会ニ便宜アルヘシト伝ヘラル。其他渡台ニ関シ種々打合せヲ為ス。長谷川氏ヨリ、丸山氏ノ旅費トシテ金五百円ヲ提供セラル。同氏ノ代理トシテ之ヲ受領シ受取書ヲ呈ス。

○六時半頃、丸山氏來訪ス。依テ長谷川氏ヨリ聞キタル所ヲ告ケ、金五百円ヲ渡ス。氏及昇三郎、重友ト夕食ヲ共ニス。食後昇二郎モ來リ、頗有益ナル意見ノ交換アリ。丸山氏滞泊ニ決ス。

〔欄外〕

○今朝、車中ニテ下関ヨリノ乗客、埼玉県警察部長神崎廣氏ニ面会ス。氏ハ敵君ノ重患ヲ福岡ニ見舞ヒシガ、少康ヲ得ラレシヲ以テ帰任スト云フ。館林ノ親友ナリ。

七月二十六日(日)晴 酷暑

○防空演習ノ第三日ニ当リ、要等甚忙シ。

○朝、丸山氏ノ為ニ台湾總督府總務長官齋藤氏、殖産局長、台拓社長加藤氏、大日本航空会社總裁中川氏、台拓副社長久宗氏、同社理事高山氏ニ宛テタル紹介名刺ヲ作り、氏ニ交付ス。

○朝鮮ニ於ケル甘藷栽培普及ノ必要ヲ認め、講師派遣ノ時期、人員ヲ丸山氏ト相談シ、候補者ヲ丸山、田村、磯部、服部、石原、天野、山本諸氏ト内定ス。又、朝鮮実業株式会社ノ実行状況ヲ聴ク。

○十一時四十分出發上野駅ニ至リ、東北本線仙台行急行一時三十分發列車ニ乗ル。黒磯マテ谷川浩一氏及夫人ト同車ス。谷川氏等ハ同行ノ三井總元方常務理事小池正彪氏方ニ兩三日滯泊スト云フ。福島ヨリ同車ノ寺尾博博士ノ來談ヲ受ク。正言相補フモノアリ、甚有益ナリ。

車中甚暑キヲ以テ、短袖シャツニパンツヲ着、チョッキヲ著クルノミ。汽車八時五分仙台著。出迎諸氏大ニ驚ク。徒歩針久別館ニ泊ス。

○漆山、佐藤、白澤、金谷隆（《日本社主計中將》）既ニ在リ。

〔欄外〕

○恩給金六百九円交付書ヲ受領ス。

七月二十七日（月）晴 酷暑

○八時、知事官舎ニ林信夫氏ヲ訪ヒ、挨拶ヲ述フ。

○第四回林業振興懇談会ヲ九時ヨリ齋藤報恩会館ニテ開催ス。出席者ハ中央方面（農林省山林局、東京秋田青森営林局、馬政局、帝室林野局東京支局八名、中林協九名、青少年団勤労作業部一名）十八名。地方官庁、学校十一名。民間代表六十八名。計九十七名ナリ。

国民儀礼、開会ノ辞（漆山）、会長挨拶（代河井）、知事挨拶（林）、山林局長所見（《代並木課長》）、営林局長演説（《岩崎秋田、矢部青森》）二次キ、第一木材増産対策《並木木材統制課長、金谷日本社理事》外五名發言、第二薪炭増産対策《並木課長外》五名發言、第三森林組合ニ関スル事項《佐藤理事ノ外》五名發言、第四林業用物資並勞力確保ニ関スル事項《白澤理事ノ外》三名發言、第五挙国造林促進策、（一）森林愛護及資源育成思想振興ニ関スル事項《評議員徳川伯ノ外》三名發言、（二）大東亞戦争記念林設定ニ関スル事項三名發言、（三）民有林造林振興対策及林業馬産調整対策《菌部理事、井上馬政課長、山内東京営林局部長》ノ外四名發言、其他一名發言、計三十八名ノ發言アリ。最後ニ委員附託事項ヲ、第一木材薪炭増産対策、第二森林組

合ニ関スル件、第三林業用物資并勞力ノ確保、第四
国造林振興対策トシ、委員長及委員ヲ指名シ、審査期
限ヲ明日午前九時ヨリ十一時迄ト定メ、七時四十分散
会ス。

〔欄外〕

○八時、ブラザー軒ニ於テ全出席員ニ対シテ晚餐ヲ呈ス。
予ノ挨拶ニ対シ有松宮城県経済部長ノ謝辞アリ。九時
二十分頃散会ス。

○徒歩ニテ帰宿ス。時二十時ナリ。頗疲ル。

七月二十八日（火）晴 酷暑

○山形県最上郡金山町十日町岸三郎兵衛氏ヨリ、明日同
氏ノ森林視察ノ案内ヲ受ケシモ、昨日ノ疲労甚シキニ
由リ之ヲ謝絶ス。

○九時、齋藤報恩会館ニ出頭ス。四箇ノ委員会ハ予定ノ
如ク開催セラル。

十一時開会。劈頭漆山常務ヨリ立木伐採税、立木売却
代金ニテ国債買入、林道開設助成金増額運動ニ関スル
報告アリ。次テ第一、木材薪炭増産対策ニ付小林委員
長、第二、森林組合ニ関スル件ニ付佐藤委員長、第三、
林業用勞力并物資ノ確保ニ付白澤委員長、第四、举
国造林対策ニ付テ菌部委員長ノ報告アリ。

最後ニ会長ノ謝辞ヲ述ヘ、十一時四十分散会ス。

○出席諸氏ニ弁当ヲ呈ス。

○二時仙台台発三時四十一分石巻著。東北振興パルプ会社
常務石上林二郎、取締役石井亮二両氏ニ案内セラレ、
同社工場ヲ見ル。工場長仁木席一氏ノ説明ヲ聴ク。場
内ヲ視察ス。ソレヨリ同市ツ、ジ園方ニ夕食ニ招カル。
八時十二分發、十時頃仙台ニ帰ル。針久別館ニ泊ス。

〔欄外〕

○齋藤報恩会館理事長ニ面会シ、同館使用ノ便宜ヲ与ヘ
ラレタルコトヲ感謝ス。

○石巻市東北振興パルプ工場視察ノ主ナル人名

佐藤銀五郎博士 白澤保美博士 徳川伯爵

漆山常務理事

金谷主計中將 秋田営林局業務部長小寺農夫氏

林常夫氏 河井等ナリ。

小林準一郎氏ハ主人側トシテ同行案内セラル。

○丸山方作氏ヨリ、台湾へ出發ハ二十九日又ハ三十日ナ
ラントノ通知ヲ受領ス。

七月二十九日（水）晴 酷暑

○早朝、徳川公、井出、本間、小林、瀬古、角替、三島、
赤木氏へ葉書ヲ發ス。

○八時旅館出發。有松經濟部長（不在）及知事林氏ヲ訪問シテ謝意ヲ表ス。

○九時五分發海岸線ヲ經テ帰京ス。上野著五時三十八分。佐藤振五郎、白澤保美、徳川宗敬伯、林常夫諸氏ト同車ス。車中ニテ徳川伯ヘ甘藷栽培法ノ説明ヲ為ス。

水戸ヨリ乗車セル東大教授野口弥吉氏ニ、甘藷ノ説明ヲナス。氏ノ意見ハ多クノ点ニ於テ予ト一致ヲ見タリ。地下鉄ニテ帰宅ス。

○七時半頃、丸山方作氏來訪ス。明早朝台湾ニ向テ出發スト云フ。晚餐ヲ共ニス。氏ハ今夜水明館方ニ止宿スト云フ。九時頃旅館ヘ赴ク。

○漆山氏ハ小林準一郎氏ト共ニ七時四十分出發。山形県金山町岸三郎兵衛氏ノ招ニ依リ、同氏ノ林業視察ニ赴ク。

七月三十日（木）晴 最暑

○明治天皇三十年式年祭ニ付、御儀ニ列シ奉拝ス。

聖上御親拝、皇太后宮御代拝アリ。参列者多シ。

小林貴族院書記官長ノ自動車ニ便乗ス。

○小林氏令嬢（十一才）脳結核ニテ互助会病院ニ入院加養中ナリ。帰途見舞フ。主治医小田正暁氏不在（出張中）ニシテ面会ヲ得ス。帰宅ノ後、院長ニ電話ニテ配

慮ヲ頼ム。

○終日在宅。仙台出張中ノ日記ヨリ始め、島根山口両県ノ記事ヲ誌ス。夜十時ニ至リテ終ラズ。勞ヲ覺ユ。

○旱天ニ旬草木枯レントス。夜八時過小雨來ル。

○丸山方作氏今朝羽田飛行場出發、空路台北ヘ赴ク。午後四時頃到着ノ筈ナリ。同島甘藷ノ増産驚異ニ値セン。齋藤総務長官及加藤台拓社長ヘ電報ニテ挨拶ス。

〔欄外〕

丸山氏旅行日程摘要

第一日	空路來着
第二日	会社、總督府訪問
第三日	農事試験所訪問
第四日	嘉義支所訪問
第五日	屏東ニテ講演（午後）
第六日	高雄ニテ講演（午後）
第七日	台南
第八日	嘉義
第九日	北港
第十日	台中講演
第十一日	新竹
第十二日	台北
第十三日	台北

第十四日
第十五日

七月三十一日(金) 晴 蒸暑

○朝、佐々木山口県知事、井田総務部長、渡辺経済部長、恒松代議士及北島男爵ニ宛謝状ヲ認ム。両県食糧事情調査書類ヲ整理ス。島根県知事小泉梧郎氏ニモ謝状ヲ呈ス。

○終日家居。臥床休養ス。

○五時半、町内勇士功六級勲七等和田喜代〔記〕氏及長谷川氏応召ニ付、八幡神社ニ至リ欲送ス。

○要ハ小林次郎氏方ヲ訪問シ、令娘病氣見舞ヲ為ス。

○夕昇三郎来訪ス。昨夕軽井沢ヨリ帰京、本日日本電気会社ノ重役会ニ出席セリト云フ。九時廿五分発ニテ帰西ス。

八月一日(土) 晴 頗暑

○下代田町八百屋息子入営ニ付、早朝、要見送ル。

○河野博通氏ヨリ羊羹ヲ贈ラル。依テ謝状ヲ呈ス。

○八時半頃、要ト共ニ八幡神社ニ参詣ス。

○貴族院調査課ニ李事務官ヲ訪ヒ、報告書提出等ニ付打合ヲナス。

○三信ビル王子製紙会社ニ小林準一郎氏ヲ訪ヒ、石巻東北振興パルプ会社見学ニ付謝意ヲ表ス。

○東北振興パルプ会社石上常務ヲ訪ヒシニ不在ナリ。謝意ヲ表ス。

○大日本航空会社ニ中川総裁ヲ訪フ。丸山氏渡台ニ付配慮ヲ謝ス。

○日本倶楽部ニ至リ会費及諸費ヲ支払ヒ、中食ヲ為ス。○台拓支店ニ久宗副社長ヲ訪ヒシニ、一昨日帰台セリト云フ。長谷川氏ヲ訪フ。不在ナリ。

○帝室林野局ニ三浦長官ヲ訪フ。仙台へ大久保技師派遣ノコトヲ謝ス。又、同技師ニモ面会シテ挨拶ヲ述フ。

○日本甘藷馬鈴薯会社ニ井上副社長ヲ訪フ。本田万三郎ノ世話ヲ謝ス。

○三越ニ草ノ利用展覧会ヲ見ル。

○一木男爵ヲ往訪ス。健康ヲ回復セラレタリ。緩々談話ス。

〔欄外〕

○台湾拓殖会社ヨリ丸山氏無事到着ノ由電報ヲ受ク。

○服部源太郎氏ヨリ、来二十日頃筑波村ニ開会ノ食糧増産講師承諾ノ通知ヲ受ク。依テ其旨ヲ前橋真八郎氏ニ報告シ、今後ハ直接交渉アランコトヲ求ム。又服部氏ニ対シ今後前橋氏側ヨリ直接交渉アルヘキヲ通ス。

○小林次郎氏令娘午後二時半死去ノ由通知アリ。
○貴族院小使齋氏来リ仕事ヲ為ス。

八月二日(日)晴 酷暑

○昇三郎及直子ニ小林氏令娘ノ逝去ヲ通知ス。
○九時頃、要ト共ニ小林氏ヲ弔問、焼香ス。

○本年度木材製産ニ付研究ヲ為ス。

○夕七時、鈴木梅太郎博士ヲ往訪ス。完全食糧ノ成分トシテ甘藷ノ用ハ米、小麦ニ優ルコトヲ聴ク。而シテ甘藷粉末94%、魚粉5%、海藻粉1%ニテ完全食物ヲ得ヘシト云フ。又、甘藷ノ代リニ米ヲ用フルトキハ、栄養価直ヲ減スト云フ。

甘藷増産方法ノ普及ニ関スル予ノ希望ト実行トヲ告ケ、丸山氏ヲ中心トスル栽培方法ヲ説明ス。

博士ハ七月五日腸捻転ヲ発シ入院ニ週間ニシテ平癒セリト云フ。

○要ハ敏子ヲ伴ヒ、夕食後山崎昇二郎ヲ訪問ス。

○重友ハ九時上野発ニテ富山ヘ赴ク。立山方面ヲ旅行スト云フ。

八月三日(月)晴 頗暑

○終日半曇ノ如クニシテ晴、暑気堪ヘ難シ。夕、小雷ア

リ小雨ヲ催ス。八時頃電光熾烈、降雨少量一時間半ニ亘ル。

○男爵若王子文健氏、工学博士中川吉造氏逝去ノ通知アリ、弔状ヲ呈ス。

○朝、篠田治策氏方ヲ訪フ。夫人ヨリ京城篠田氏ノ健康狀況ヲ聴ク。夫人ハ今月中ハ滞京スヘシト云フ。

○終日家居。白柳氏ノ日本民族史ヲ読ム。夜読了。

○要ハ午後、横浜朝比奈方ヘ赴ク。館林葉子同地ニ在リテ発熱甚シト云フ。

○夕、赤木正雄氏来訪ス。去月九日船山川砂防事業視察ノ時撮影セル記念写真ヲ贈ラル。

○夜、山口県ニ於ケル農産及食糧事情材料ヲ調査ス。

○神谷文平氏ヨリ鱒干物ヲ贈ラル。蛆虫生シタルモ鮮度アリ美味ナリ。

○榎谷孝典氏ヨリ魚ノ缶詰ヲ贈ラル。

八月四日(火)晴 午前中涼 午後暑

○今朝ハ晴天ナルモ、涼氣蘇ル。午後ハ暑シ。午後五時頃ヨリ雷鳴アリ、驟雨少許掠メテ去ル。

○朝、木村通氏来訪ス。近来左眼ノ視力著シク回復セリト云フ。京大服部博士、森博士、千葉医大伊東博士診察ノ意見ヲ聴ク。旧友ハ懐シキカナ。

○朝、要ヨリ館林葉子ノ容体輕快ノ由ヲ伝へ來ル。乃チ之ヲ館林ニ電話ス。

○十二時、渋谷第一銀行支店ニ立寄り、預金係川島氏ヨリ預置キタル預金帳ヲ受取ル。

○一時、貴族院調査部第五部会ニ出席ス。地方食糧事情調査報告ノ時期、方法ニ付協議ス。

○王子製紙会社ニ小林準一郎氏ヲ訪フ。

○内務省地方局振興課長郡祐一氏ヲ訪ヒ、山口県視察ノコトヲ話ス。

○館林ヲ業務課長室ニ訪フ。館林ノ帰途渋谷マテ同行ス。○夜、志村正一氏來訪ス。静中同窓会事務ニ付協議ス。

八月五日（水）午前曇 午後晴 朝涼、午後暑

○今晩降雨一時間半、涼氣大ニ加ハル。

○朝、山崎覚次郎博士ヲ往訪ス。山崎健太郎氏夫人男児分娩、「良太郎」ト命名セラルト云フ。祝賀ノ至ナリ。

○岡田分平氏ヲ訪問ス。農村改良、林業振興等ニ付意見ヲ求メラル。

○帰途腹痛甚シク下痢ヲ催ス。依テ学士会館ニ入り所用ヲ弁ス。昼食ノ後中央氣象台ニ大後技師ヲ訪ヒ、朝鮮ニ於ケル早魃ノ狀況ヲ問ヒシニ、予報課長大谷東平氏ニ紹介セラレ、更ニ大谷技師ヨリ調査課長荒川秀俊（≒理

博）氏ニ紹介セララル。両課長ヨリ長期予報及本年ノ氣象ノ特徴ニ付説明セララル。

○帰途再腹痛アリ、辻便所ニテ用便ス。

○夕、山崎昇二郎、角替利策來訪ス。夕食ヲ共ニス。款談十時ニ及フ。

○要ハ朝比奈方ニ滞在ス。

〔欄外〕

○角替ヨリ洗濯石鹼若干ヲ贈ラル。

○繁田武平氏ヨリ茶ヲ贈ラル。

○愛知県小坂井町酒井惣作氏ヨリ野菜一箱ヲ贈ラル。

○繁田、酒井両氏へ謝状ヲ呈ス。

○丸山方作氏無事着台ノ由ヲ留守宅へ通ス。

○静岡県教育課長佐藤忠雄氏ニ宛、興農学園設立ノ乙種農学校々舎建設願ニ対シ、速ニ認可セラレンコトヲ求ムル書状ヲ出ス。

○右ノ旨ヲ大谷英一氏ニ通知ス。

八月六日（木）曇 蒸暑

○庵地ノ小兒病氣ニ付、山崎昇二郎ノ依頼ニ依リ侍医小山武夫氏ニ診療ヲ乞ヒシニ、旅中ナリ。明朝ヲ期ス。

○九時、糖業会館ニ農村有志者農業報國懇談会アリ。農業報國聯盟理事トシテ出席ス。農村有志ノ出席十五名、

悉ク実情意見等ヲ發言セラル。四時ヨリ会場ヲ星ヶ岡
茶寮ニ移シテ続行、九時散会ス。

予ハ貴族院調査部第五部会へ有志者懇談会トシテ出席
ヲ希望シタルニ、七名ノ快諾ヲ得タリ。其氏名左ノ如
シ。

石川県石川郡富奥村々長 中島榮治 山形県東田川

郡新堀村 産聯会長 山木武夫 滋賀県大津市東浦

代議士 松原五百蔵 青森県上北郡天間林村 篤

農 中島信 新潟県西蒲原郡国上村 大地主 森山

耕田 岐阜県安八郡仁木村 産聯会長 國枝敬二

愛媛県温泉郡石井村々長 元帝農幹事元代議士 岡

田温

其他ノ有志左ノ如シ。

山口県阿武郡野木村々長 瀧口吉繼 愛知県北設楽

郡本郷町々長 県木社長 原田清 富山県東砺波郡

北般若村 大地主 嚮導隊参加者 福澤安明 兵庫

県印南郡上荘村 農村振興施設者 大西甚一平 宮

崎県 貴族院議員 竹下豊次 福井県丹生郡立待村

県農会長 高島一郎 奈良県添上郡治道村 代議

士 越智太兵衛 秋田県平廉郡横手町 帝農副会長

元代議士 片野重修 香川県香川郡上笠居村 県推

進隊長 徳田源一(欠)

八月七日(金)曇 冷

○朝、庵地氏小児ノ診察ヲ受クル為小山武夫氏ニ依頼シ、
之ヲ山崎昇二郎へ電話ス。

○中央气象台大後技師ヨリ、予カ遺忘セル甘藷写真ヲ送
ラル。

○九時、貴族院ニ出頭。調査部第五部会調査班議員ト農
業報國談話会ニ出席ノ為来京者有志トノ懇談会ニ出席
ス。

石川県中島榮治氏 岐阜県國枝敬二氏 愛媛県岡田温
氏 滋賀県松原五百蔵氏 青森県中島信氏 新潟県森
山耕田氏ノ報告、所見、希望等ヲ聴取ス。十二時二十
分頃食堂ニ入ル。予ハ之ニテ退出セシモ、富山県福澤
安明氏来駕、食堂ニ於テ談話セラル。

○十二時四十分、第三十四回中林協理事会ニ出席、後藤
会長ノ代理ヲ為ス。第四回林業振興懇談会ノ報告、森
林売却代ノ八割ヲ貯蓄スヘキヤノ件等ノ外、二件ヲ議
ス。

○夕、興三日光ヨリ帰京ス。

○夜、重友立山方面登山旅行ヨリ帰ル。

○要ハ横浜ニ滞泊ス。

八月八日(土)曇 蒸暑

○朝、佐藤助九郎氏、北岸外良吉氏ニ対シ書状ヲ、藤田久蔵、赤沼千尋、高田覚三、河西凜衛諸氏へ葉書ヲ呈ス。又、袴田銀蔵氏ヨリノ病氣見舞ニ対シテハ謝状ヲ發ス。

○午後三時頃、神谷貞吉氏來訪ス。最近、日本發送電會社試験部ニ転職シタリト云フ。

○五時半、大東亞會館ニ於ケル中央林業協力會ノ中国六県林務課長招待會ニ出席ス。漆山常務理事、堀主事モ出席、來九月廿八九日開カルヘキ第五回林業振興懇談會ニ付協力ヲ求ム。八時散會ス。

○要ハ夕刻横浜ヨリ歸來ル。館林葉子ハ横浜ニテ病氣ノ処全快シ、本日帰宅セリト云フ。

○山崎昇二郎午前十時半發ニテ歸任ノ途ニ就ク。

○吳鎮守府法務長海軍法務大佐樋口芳包氏ヨリ、明治四十年鹿島中学校整理ノ時五学年ニ在リ、剣道部委員トシテ予ヲ護衛セシ由ノ懇切ナル書状ヲ寄セ來ル。回顧感慨ニ勝ヘス(吳鎮守府宮原海軍官舎甲第六号住)。

八月九日(日)曇 蒸暑

○朝、海軍法務大佐樋口芳包氏ニ返書ヲ發ス。同時ニ氏ノ書状ヲ伊藤保三郎氏ニ送り、懐旧ノ資ト為ス。

○十一時頃、漆山雅喜氏來訪ス。熊本県肥後一勝地焼ノ茶碗一箇ヲ贈ラル。感謝ニ堪ヘス。氏ニ胡筆七本、碾茶一缶及茶釜一箇ヲ呈ス。

○午後、山口県ノ食糧及配給事情ニ付取調ヲ為ス。材料多クシテ纏メ難シ。

○六時頃、渡辺史郎氏來訪ス。近ク軍属ニ転シ緬甸へ赴任スト云フ。夕食ヲ呈ス。又、餞別金二十円ヲ贈ル。

○一昨七日、海軍部隊ハソロモン群島海ニ於テ有力ナル米英輸送船団ヲ發見シ、敵戰艦一、甲巡四、巡三、驅逐艦三、輸送船九ヲ擊沈シ、甲巡三、驅逐艦一、輸送船一ヲ大破シ、飛行機四十一以上ヲ擊墜セシ由ニテ、戰鬪ハ今尚繼續中、而シテ我ノ損失ハ飛行機自爆七、巡洋艦輕傷二ト發表セラル。

八月十日(月)朝驟雨 午後晴 涼

○早朝、赤木正雄氏ヲ訪フ。月末頃別子方面視察旅行ニ同行セラレンコトヲ請フ。九月三日ヨリ視察ヲ諾セララル。次ニ中国及四国ノ砂防事業成績ニ付調査ヲ乞フ。赤木氏ヨリ地方支部長選任ノ方法ニ付相談アリ。西瓜ヲ贈ラル。

○終日家居。山口県ニ於ケル農水産需給等ノコトヲ調査ス。

○松江市殿町本田万三郎氏ヨリ同市名産中筆一本及団扇五枚ヲ贈ラル。直ニ謝状ヲ呈ス。

○袴田銀藏氏ヨリ甘藷貯蔵法ナル印刷物成レリトテ七部ヲ送ラル。配付先ニ付意見ヲ問ハル。

○和田謙三氏来訪。池之上国民学校会役員会ハ九月開催ノ希望ナル由ヲ告ケラル。

○漆山雅喜氏へ電話ニテ、(1)今夕ノ四国四県林務課長招待会ニ欠席ニ付、代テ応接アランコトヲ乞フ、(2)赤木氏ノ都合ヲ告ケ、之ニ基イテ視察日程ノ作成ヲ乞フ、(3)十二日ノ大政翼賛会ノ調査会開設披露晩餐会ニ代テ出席ヲ乞フ。

八月十一日(火)晴 朝夕涼 昼暑

○九時、貴族院ニ出頭ス。調査部第五部会ニ於ケル地方事情調査班ノ報告ヲ聴ク。北海道(西尾子)、青森、山形(吉田茂氏)、茨城、群馬、埼玉(大河内輝耕子)、長野、新潟、富山(坊城男)ノ報告ニテ午餐トナリ、散会ス。

○中央林業協力会ニテハ今夕四国ノ林務課長ヲ招待セシカ、漆山常務理事ニ代理ヲ頼ミ欠席ス。

○四時ヨリ山口県ニ関スル報告書ヲ認ム。十二時完了ス。
○中央林業協力会ヨリ仙台産胡瓜及茄子ヲ贈ラル。又、

貨車便ニテ南瓜ヲ贈ラルト云フ。

八月十二日(水)曇 午後晴 蒸暑

○朝、矢部貞夫氏来訪ス。満洲赴任後ノ談話アリ。

○貴族院調査部第五部地方事情調査班報告会ニ出席ス。
徳島、香川(下条氏)、滋賀、大阪(安井氏)、島根(田口氏)、山口(河井)、福岡、長崎、鹿児島(松本氏)ノ報告アリ、一時前散会ス。了テ一同会食ス。

○三時、日本倶楽部ニ於テ静中同窓会副会長田代寿徳氏、幹事志村正一氏ヲ待受ケ、面会ス。同窓会ノ為評議員及幹事ノ人選ヲ為ス。尚其他ニ付打合セヲ行フ。

○三時前、警戒警報発令セラル。

○茨城県息栖町松本賢一氏ヨリ西瓜二箇ヲ贈ラル。

八月十三日(木)晴 暑

○松本賢一氏ニ対シ西瓜ノ礼状ヲ呈シ、甘藷貯蔵法一部ヲ送ル。

○出雲市長岡田秀勝氏ヨリ同氏先人功労者ノ伝ヲ送ラル。
○終日家居。西遠明朗会発行ノ麦栽培法ニ掲載スヘキ序文ヲ草ス。夕刻速達便ニテ發送ス。且、其旨森口淳三氏へ電報ニテ通知ス。

○台拓支店長谷川重栄氏ヨリ電話ヲ以テ、丸山方作氏無

事講習ヲ終リ、昨十二日海路帰東ノ途ニ就キタル旨、本社ヨリ電報アリシ由報告セラル。又、其旨ヲ丸山氏宅へ電報スル旨ヲ告ケラル。予モ丸山氏令息秀夫氏へ其旨通知ス。

○朝、井ノ中ニ落チタル鶏卵、バタ、チーズヲ拾揚ク。
○夜、井上健彦氏ニ電話ニテ甘藷成分分析表ヲ送ラレンコトヲ求ム。又、同氏へ貯蔵法二部ヲ呈ス。

八月十四日(金)晴 暑

○七時四十分大政翼賛会ニ至ル。漆山常務理事ト後藤會長ニ面会ス。(1)第四回懇談会ノ報告。(2)第五第六回開催ノ予定計画ヲ報告ス。(3)大戦記念トシテ造林ニ付、協力会ヲ中心トシテ二十三両日各方面ト折衝セルノ案ヲ報告ス。會長ハ此時相川実践局長ヲ呼ヒ意見ヲ交換シ、遂ニ文部大臣ニ交渉ス。之ニテ大体ノ用務ヲ了リ、十七日理事会開催ノコトヲ相談ス。

○九時ヨリ貴族院第五部調査会ノ地方事情調査班ノ打合会アリ、遅レテ出席ス。来十八日首相、農相及企画院總裁ト会见ニ付、各種ノ項目ニ付検討ヲ遂ク。十二時半散会ス。

○一時過、日本倶楽部ニ至リ堤康次郎氏ト会见ス。堤氏ハ徳川公爵邸ヲ即金ニテ買入レタシト申入ル。先決問

題アリ直チニ応スルコト能ハスト信スルモ、家令ニ通告スヘキ旨ヲ答フ。

○三時半帰宅ス。前橋真八郎氏来訪シ在リ、来二十一日同地ニ開催ノ生活会ノ甘藷増産講習会講師ノコトヲ話サル。

○角替文子来訪ス。養子ノ調査選択ニ付相談アリ。
○高柳暉氏来訪ス。同氏ノ事業ニ対スル各種ノ迫害ニ付談話アリ。依テ之カ対策ニ付所見ヲ述フ。

〔欄外〕

○今朝一時過、渋谷区久邇宮御本邸ヨリ出火アリ、表御殿ノ大部分ヲ焼失ス。依テ二時半参邸御見舞ヲ為ス。

○警戒警報午前八時二十分頃解除セラル。

○女中みや幼弟病氣ノ電報ニ接シ、見舞ノ為帰国ス。

○丸山方作氏ヨリ今夕六時門司發電「アスヒル神戸ニ著ク」トノ報告ヲ得タリ。

○夜十時、此事ヲ長谷川重栄氏ニ電話ス。

八月十五日(土)晴 頗暑

○朝、早起シ昇三郎宛ノ書状ヲ認ム。来月三日、住友ノ山林見学希望ニ付申込ヲ為セルナリ。

○六時四十分東京駅ヨリ乗車、十時四十八分静岡著。大東館ニテ更衣ノ上、県教育会館ニ於ケル静岡育英会ノ

支部学生大会ニ出席ス。東京ヨリ久保、飯田、篠田、宇佐美各理事、塩島主事、支部ヨリ渡辺学務部長、佐藤教育課長、学校ハ静岡高校、浜松高工、各中学就中小田原校長等出席ス。

三時散会ス。

○一旦大東館ニ帰り、五時静岡倶楽部ニ至ル。知事ヨリ一行ヲ晚餐会ニ招カル。八時四十六分掛川著。大村留吉駅ニ出迎フ。

○財団法人興農学園設立ノ乙種農学校々舎建築認可願ニ対シ促進ヲ計ル為、校長大谷英一氏ト教育会館ニ出會ヒ、佐藤教育課長ト協議ス。其結果經濟部長往訪ニ決シ、高橋部長ニ面会ス。部長ノ好意アル取計ニ依リ山林課長、商工課長等ニ大谷氏ヲ紹介セラル。

八月十六日(日) 驟雨 晴 頗暑

○昨夜十時過、大驟雨アリ、今暁四時ヨリ六時迄再来ス。農家蘇生ス。

○九時半報徳社ニ出頭ス。佐々井、田辺、小野、袴田等諸氏ニ面会ス。

○甘藷貯蔵法小冊子頒布ノ方法ニ付協議シ、頒布趣意書ヲ起草ス。印刷ニ付シ一般ニ普及セシムル為ナリ。

○杉本良氏来社ス。氏ヨリ報徳中学設立計画ニ付説明ヲ

聴ク。

○午後一時、中川村ニ村明朗会総会アリ。山本福吉、田村勉作両氏出講ノ由ナルニ付、之ニ赴ク。杉本良氏同行セラル。本社ヨリ織部幸五郎氏同行ス。

一時過、中川国民学校ニ到着ス。藤田、樽井、井村其他諸氏ニ面会ス。開会ノ劈頭簡單ナル挨拶ヲ述フ。次ニ杉本氏モ有益ナル挨拶アリ。山本氏ノ講演ニ入り、予等ハ井村豪氏ノ案内ニテ同氏及藤田氏ノ稲作ヲ実地ニ視察ス。四時四十三分気賀発ニテ帰宅ス。

○八時頃、石野福松、小柳直吉両氏来訪ス。

〔欄外〕

○九時過、松井六郎氏来訪。本夕警防団幹部ノ集会アリ、一同予ノ談話ヲ聴キタシト申入アリ。依テ一同ノ来宅ヲ求メ約三十分間談話ス。一同ノ人員十三名ナリ。

八月十七日(月) 晴 午後大雷雨 蒸暑 涼

○六時十五分掛川発ニテ帰京ス。十一時三十分新橋駅下車。烏龍茶一缶ヲ一時預ケトナシ、直ニ中央林業協力会ニ出頭ス。

○十二時半ヨリ中林協臨時理事会アリ、後藤会長欠席ニ付代理ス。(1)大東亞戦争記念学校林設定ニ関スル件ニ付、漆山理事ヨリ報告アリ。次ニ白澤博士ヲ委員長ト

シテ作成セル実行案ニ付審議ス。(2)第五第六回林業振興懇談会開催ノ件ヲ相談ス。三時散会ス。

○二時頃ヨリ大雷雨トナル。白澤博士ノ好意ニ依リ林業試験場ノ自動車ニ乗リテ帰ル。東久世男、白澤博士同車ス。

○夕、昇三郎来ル。夕食ヲ共ニス。一泊ス。

○興三八本日、帝大理学部ニ至リ身体検査ヲ受ク。明日明後日、学科試験ヲ受ク。

○館林一也来ル。一泊ス。

八月十八日(火) 雨 曇 冷

○朝、世田谷警察署情報係巡查添野隆鐵氏来訪ス。食糧事情調査ノ結果ニ付所見ヲ問ハル。

○十一時過、全国治水砂防協会役員会ニ出席ス。小泉理事長、松平、柴山、矢吹三男、木檜氏出席ス。赤木氏ヨリ明年度砂防費決定ノ模様ニ付報告アリ。

○十二時五十分、首相官邸ニ至ル。貴族院ノ調査部ノ地方事情調査ノ結果ヲ首相、農相、企画院総裁(及内閣三長官)ニ報告ノ為ナリ。吉田茂氏ヨリ全体ニ亘ル説明アリ。次テ松本氏、下條氏、西尾子、河井、安井氏、竹下氏、大河内子、田口氏ヨリ附加説明アリ。最後ニ井野農相ノ説明アリ。三時散会ス。

○新橋駅ニ立寄り、昨日一時預置キタル茶ヲ受取り帰ル。○夕、昇三郎来訪ス。角替家養子ノ件ニ付、本日柴田善三郎氏往訪ノ経過ヲ話サル。予ハ又、別子森林視察ニ付昇三郎ノ配慮ヲ求ム。

八月十九日(水) 曇 冷

○昨夜、興三眠ラレスト来リ訴フ。依テ下ノ間ニ臥セシメ、予ハ代リテ興三ノ室ニ入りテ臥ス。蚤軍襲来ス。

○午前九時、大政翼賛会ニ出頭、農林文部内務三省及帝室林野局代表者ノ会合ニ列席ス(漆山常務理事同席)。学校林ヲ大東亜戦争記念トシテ造成スル計画ニ関シテナリ。後藤事務総長ノ挨拶、相川実践局長ノ説明アリ。文部、農林、帝室林野局代表ヨリ意見ヲ陳述シ、小委員ヲ選シテ具体案作成ヲ急クニ決ス。十一時散会ス。○三会堂ニ赤木正雄氏ヲ訪ヒテ、別子山林視察ニ付日程ノ打合セヲ為ス。

○森永日比谷食堂ニテ中食ス。

○農政局長及坂田特産課長ヲ訪ヒ、甘藷栽培指導者ニ対スル補助金交付ヲ求ム。又、貯蔵法ノ普及ニ付依頼ス。○帝室林野局ニ高尾事務官ヲ訪ヒ、(1)天城拝借地買収ノ件、金時山御料地払下ノ件ニ付問フ。野口監理部長ニモ面会ス。

〔欄外〕

○台拓支店ニ長谷川重栄氏ヲ訪ヒ、丸山氏渡台ニ付配慮ヲ謝ス。又、社長加藤恭平氏ニ面会シ謝意ヲ表シ、併セテ将来派遣ノコトヲ希望ス。

○頭痛甚シキヲ以テ早く寝ヌ。

○興三入学試験終了ス。大ニ結果ヲ心配ス。氣ノ毒ナリ。

八月二十日（木）晴 冷

○早朝下痢三回ニ及フ。午前中ニ平癒ス。

○終日家居。甘藷貯蔵法（小冊子）發送先三百余名ヲ記上シ、發送文案ト共ニ之ヲ袴田銀蔵氏へ速達郵便ヲ呈ス。

又、別ニ高尾亮一、富士川金二両氏へ一部ツ、ヲ呈ス。

○下関市鮮魚介出荷統制組合渡会縮三郎氏ヨリ、意見書ヲ送ラル。返書ヲ呈ス。

○内田重成氏出京ノ由電話アリ。依テ近日会见センコトヲ申入ル。

○大森夫人、久美子同伴來訪ス。夕食前下谷へ去ル。

○館林マス子、一也、成也ノ二児ヲ伴ヒ來訪ス。成也ハ一泊ス。

○森口淳三氏、昇三郎、河田杰氏へ書状ヲ發ス。後二者ハ住友林業視察ノ件ニ付テナリ。

〔欄外〕

○堀先生ニ健康診断ヲ乞フ。血圧一三八―七六

八月二十一日（金）晴 涼

○終日家居。山口県ノ食糧事情調査報告ノ速記録ヲ檢閱ス。午後五時終了ス。

○館林成也受取リノ為ニマス子十一時過來ル。葉子ヲ同伴ス。成也ハ堀先生ノ健康診断ヲ受ク。夕、一同帰還ス。

○興三八午前八時上野發ニテ日光湯本旅館へ赴ク。友人ト同所ニ出会フ計画ナリ。

○角替文子四時過來訪ス。養子選定ノ件ニ付相談アリ。其結果、柴田善三郎氏ニ電話シテ、(1)不離不即ノ態度ヲ乞フ、(2)家系ニ付柴田氏生家ニテ取調ヘタル内容ヲ示サレンコトヲ依頼ス。

〔欄外〕

○木材統制委員会委員被仰付（二十一日附）（内閣）。

八月二十二日（土）晴 暑

○朝、柴田善三郎氏ヨリ電話ニテ、飯田氏ノ家系ニ付取調ヘラレタル事項ヲ報告セラル。乃之ヲ書取リ角替へ送ル。

○戸塚昌宏氏ニ対シ、戸倉氏対昭栄製糸問題解決ニ付謝意ヲ表スル為、書状ヲ熱海海光台別荘ヘ呈ス。

○貴族院事務局ニ李事務官ヲ訪ヒ、山口県視察ノ速記録ヲ提出ス。報告書提出ニ付打合セヲ為ス。

○帝国農會ニ天明郁夫氏ヲ訪ヒ、甘藷貯蔵方法ノ小冊子ヲ呈シ、同會發行ノ定期印刷物ヘ登載ヲ乞フ。又、天明氏ノ案内ニテ府農會ヲ訪ヒ依頼ス。府農會報ニ載スト云フ。

○農業報國聯盟ニ田中長茂氏ヲ訪ヒ、同様依頼ス。内原道場ヘ紹介スルコトヲ約セラル。

○日本俱樂部ニテ中食ス。深尾隆太郎男ニ栽培法及貯蔵法印刷物ヲ呈スルコトヲ約ス。夕、發送ノ用意ヲナス。

○第一高等学校ニ安倍校長ヲ訪ヒ、金時山御料地ニ植林計画再考ヲ乞フ。教頭亀井高孝氏、某教授ニモ面會ス。校長ノ案内ニテ学校内ヲ一覽ス。

〔欄外〕

○泰治公用ヲ以テ来京ス。二十五日迄滞在スト云フ。

○夕、横田進氏来訪ス。氏ハ文官試験ニ合格セリト云フ。

○渡辺史郎氏、本日二十五日付辞令受領、陸軍々属拜命緬甸在勤トナルトノ報告アリ。

○大石三郎氏ヲ訪問シ、高柳暉氏ノ事業ニ付所見ヲ質ス。大ニ将来ヲ依頼ス。

○夜、伊佐勇松氏来訪ス。

八月二十三日(日)晴 朝夕涼 日中暑

○朝、服部源太郎氏来訪ス。一昨日栃木県筑波村ニテ甘藷増産講習ヲ行ヒタル状況ヲ報告セラル。又、静岡方面ニ明朗會設置ノ件ニ付相談ヲ受ク。會長ノ選任ヲ主トス。

○朝比奈アキ子三児及女中ヲ連レテ来ル。夕、女中ヲ帰ラシム。

○館林マス子午後一也及葉子ヲ伴ヒ来ル。夕帰ル。

○八木まさえ夫人日光ヨリ帰岡ノ途次来訪ス。夕、ミ鱒ヲ贈ラル。

○農村問題ニ付取調ヲ為ス。

○樽井虎一氏ヨリ小梨一箱ヲ贈ラル。形小ナルモ味甘美ナリ。

○財団法人糧食研究会(杉並区下高井戸町四ノ一〇五一)ヨリ梨酒三瓶ヲ贈ラル。之ハ白澤博士ノ配慮ニ依ルモノナリ。同會及博士ニ対シ謝状ヲ呈ス。

○河田杰博士ヨリ、住友林業視察ハ公務上ノ予定アルヲ以テ同行セストノ断状ニ接ス。依テ挨拶状ヲ呈ス。

○袴田銀藏氏ヨリ、(1)東遠明朗會役員會ヲ三十日ニ決定セシ由通知アリ。(2)甘藷貯蔵法發送中ノ由報告セラル。

之ニ対シ更ニ發送先ヲ追加依頼ス。

八月二十四日(月)晴 朝夕涼 日中大暑

○朝、貴族院ヨリ送付セラレタル山口県農業事情視察速記録ヲ検閲シタル上、十一時貴族院ニ李事務官ヲ訪ヒ返却ス。尚一部ノ写シヲ求ム。

十二時、李事務官及海保属ヲ帝国ホテルニ誘ヒ中食ス。○夜、渡辺史郎氏来訪ス。二十五日附ニテ陸軍々属ヲ拝命スト云フ。

八月二十五日(火)晴 朝夕涼 昼大暑

○早朝、赤木正雄氏御宅ヲ訪ヒ、同氏京都宿泊先ヲ問ヒ、来月一日別子山林視察日程ニ付通知ス(速達便)。

○敏子ノ妹綾子矢部進氏ト結婚ニ付、式ニ参列ノ為一時五分發ニテ中泉へ帰ル。

○大森健一郎来訪一泊ス。

○松本學氏ヨリ電話ニテ、農村事情視察ノ結果如何ニ取運フヘキヤニ付、面会ヲ求メラル。依テ同氏ノ事務所タル大阪ビル新館八階八五七号日本文化聯盟へ訪問ス。○土方久徴氏今午前一時半逝去ノ由、徳川家宇佐美興屋氏ヨリ通知アリ。依テ夕刻弔問焼香ス。

○七時、池之上国民学校会幹事会ニ出席ス。ピアノ購入

費醸金成績ニ付報告アリ。之カ請入レノ件、謝状及出金額發送ノ件、追加予算編成ノ件等ヲ相談ス。

○興三、帝大理学部へ入学ス。夕、日光ヨリ帰来ル。

○泰治ハ夜十一時二十五分發ニテ名古屋ニ向フ。
〔欄外〕

○午前中ニ斬髮ス。

○陸軍少尉近藤好夫氏ニ報徳叢書ヲ贈ル。之ヲ泰治ニ託ス。

○戸倉惣兵衛氏来訪、謝意ヲ表セラル。予不在ニテ面会セス。

○岡山県御津郡馬屋上村藤井静一氏ヨリ、水蜜桃一箱ヲ贈ラル。

八月二十六日(水)晴 暑

○朝、久宗薫、丸山方作、海野真岳、藤井静一諸氏へ發状ス。

○昇三郎ヨリ書状到着。一日漆山氏新居浜著列車ノ時刻ヲ別子鉱業所上野益男氏へ打電セヨトアリシヲ以テ、同氏出張先高知県及愛媛県林務課氣付ニテ通告ス(中林協ヨリ發送)。

○中林協ニ至リ種々打合セヲ為ス。

○農林省ニ三浦次官(石患)ヲ訪フ。不在ナリ。井出局長ヲ訪ヒ

木材統制委員会委員拜命ニ付挨拶ヲ述フ。尚、林材業
關係及山口県出材命令ニ付意見ヲ述フ。

○日本俱樂部ニテ中食ス。偶マ田口彌一氏ト食卓ヲ共ニ
スルヲ得テ、打合セヲ為シ好都合ナリ。

○貴族院読書室ニ内田重成氏ト会见ス。山口県調査報告
書ノ一覽ヲ乞ヒ、意見ヲ交換ス。

○飯田俊徳翁事蹟ニ付テハ内田氏ノ紹介ニ依リ、毛利公
爵家ノ調査事務所ニ調査ヲ依頼ス。所長野村盛康氏ニ
電話ニテ依頼セシニ、郵便ニテ報告ヲ諾セラル。

〔欄外〕

○興三八今日猪苗代方面ヘノ旅行ヲ止メ、故山本先生、
加藤先生其他及関根先生ヲ歴訪シ、理学部入学ノ挨拶
ヲ述フ。

○大森健一郎ハ朝出發、沼津ヘ帰ル。

○興三及直子ニ金百円ツ、ヲ与フ。

八月二十七日（水）晴曇 不定 蒸暑

○西田悦夫氏ヨリ白土松吉氏著甘藷作論及栽培法ナル一
書ヲ贈ラル。依テ謝状ヲ發シ、又白土氏ヘモ挨拶状ヲ
呈ス。

○故土方久徴氏ノ葬儀（青山斎場）ニ列席ス。尚告別式
ニモ列立ス。

○宇佐美興屋氏ヨリ公爵邸売却ニ付交渉アリシ件、相続

税額交渉ノ件、松平直國伯夫人ニ関スル件、内話アリ。

○三時頃、千葉伊東弥恵治博士來訪ス。卓治氏夫人近状、

卓治氏ノ狀況ヲ告ケラル。江口夫人、木村通氏等診断

ノ件、高柳暉氏ノ聾啞教育ニ対スル件等ニ付談話ス。

五時發千葉ニ帰ラル。

○夕、杉本良氏來訪ス。報徳学校設立ノ件ニ付相談ス。

○館林成也後頭部ニ腫物ヲ發シ居タル処、急ニ腫張シ發

熱三十九度ヲ超エシヲ以テ、近所ノ医師ノ診断ヲ受ケ、

更ニ堀先生ノ診断ヲ乞ヒシニ蜂窩狀腫物又ハ丹毒ナラ

ンカトテ入院ヲ勸メラル。依テ飯田英作氏ニ電話シテ

聖路加病院入院ノ許諾ヲ得、三喜男及マス子同院ヘ同

伴ス（九時半頃入院ス）。

〔欄外〕

○二十四日、ソロモン海ニ於テ第二回ノ海戦アリ。敵新

大母艦一隻大破、中母艦一隻及戦艦一隻中破、我方小

型母艦大破、駆逐艦一隻沈没ノ由發表セラル。

○明二十八日、関東及中部地区ハ暴風襲來ノ虞アルヘキ

旨、氣象特報ヲ發セラル。

八月二十八日（金）暴風雨 夕晴 蒸暑

○佐藤助九郎氏ヨリ、來月一日又ハ二日同志招待ノ為出

席ヲ求メラル。旅行中ナルヲ以テ之ヲ断ル。

○丸山方作氏ニ千葉医大伊東博士ノ診療ヲ受クヘシトノ書状ヲ呈ス。今朝、石原民次郎氏ヨリ病状ノ報告アリシニ由ル。

○成也病氣ニ付テハ、昨夜十一時飯田英作氏態々病院ニ見舞ハレシ由ニテ、所見ヲ電話セラル。尚緒方、杉村両博士ト治療上ノ相談ヲ為スヘシト告ケラル。一切ヲ託ス。誠ニ欣幸ノ至ナリ。

右ノ旨要ヲシテ館林ニ電話セシム。夕館林ヨリ電話アリ。本日杉村博士ト共ニ膿ヲ去ラントシ、少量ノ排出アリ。体温夕刻三十八度程度ニ下降スルナラント云フ。

○朝、吉田善佐氏来訪ス。甘藷貯蔵、麦増産、山林濫伐等ニ付談話ス。

○高柳暉氏来訪ス。速ニ学校建築ニ着手センコトヲ勧め、且相談役トシテ山崎次郎氏ヲ中心トシ速ニ有志会ヲ召集スヘシト告ク。中食ヲ呈ス。

○午後、第二回林業振興懇談会ノ速記録ヲ校閲シ、速達ニテ返送ス。

八月二十九日(土) 晴 甚暑

○十時ノ急行ニテ帰国ス。三時十分豊橋著下車。吉田ヨリ東新町ニ至リ四時二十分頃丸山方作氏ヲ見舞フ。然

ルニ氏ハ本日初メテ外出シ豊橋へ墓参ニ赴ケリト云フ。欣喜ニ堪ヘス。会谈三十分ニシテ辞去ス。新城東町駅ニテ丸山氏ノ下車シ来レルニ会フ。依テ再ヒ同氏宅ニ至リ見舞ヲ述ヘ、千葉伊東博士ノ診療ヲ受ケンコトヲ勧め。又、甘藷実験状況、台湾ニ於ケル講習状況等ヲ見聞ス。

丸山氏、夫人、令息夫妻ニ送ラレテ東新町発七時二分、豊橋発八時三十八分、掛川著帰宅ス。大村留吉出迎フ。○敏子本日中泉ヨリ帰来リ墓参ス。

八月三十日(日) 雨 冷

○朝、石野元治郎氏来訪ス。

○八木雅夫氏来訪ス。同氏邸宅附近ニ住友金属会社工場設置セラルヘシトテ、土地収用方ニ付相談アリ。市役所ノ配慮ヲ求ムヘシト勧め。明後一日、静岡駅頭ニテ会见ヲ約ス。

○村軍人会分会長石野弥三郎氏来訪ス。掛川町町会議員鈴木啓一郎氏、同町軍人分会副会長鈴木一氏モ共ニ来ル。軍人分会事務ノ多端ナルヲ陳ヘ、南郷村ヲ掛川町ニ合併スルノ要ヲ力説シ、進ンテ予ニ積極的行動ニ出テンコトヲ求メラル。考慮ヲ約ス。

○一時、掛川報徳館ニ於ケル東遠明朗会役員会ニ出席ス。

米麦及甘藷品評会開催ノ件ヲ議決ス。又、来月中旬麦作講習会ヲ開キ、伊藤恒治氏ノ講演ヲ乞フニ決ス。四時散会ス。

○小柳直吉氏ト同車帰宅ス。ソレヨリ同氏ニ対シ今朝石野弥三郎氏来訪ノ状況ヲ告ケ、同志ト協議スヘキヲ勧告ス。

八月三十一日(月)晴 蒸暑

○夜来大雨アリ、五時半歇ム。ソレヨリ少シツ、霽ル。

○西郷村笹本陸夫氏海軍ニ入営ニ付、七時頃掛川駅ニ見送ル。大村留吉モ同行ス。駅ニテ松浦清三郎、松浦正造其他諸氏ニ出会フ。培本塾加藤主事、塾生二人、卒業生某(広瀬村)ニモ出会フ。笹本氏八時頃発臨時列車ニテ東上ス。

加藤主事ハ塾生一人ト来訪ス。塾経営ニ付報告アリ。

○石野元治郎氏来訪ス。村将来ノコトニ付談話ス。

○九時五十六分発帰京ス。藤枝迄加藤主事ト同車ス。塾生ハ静岡ニテ下車ス。

○中村円一郎氏、松山ちゑ子、富田氏夫妻二児ト藤枝ヨリ静岡迄同車ス。

○昨日、住友ヨリ寝台券ヲ送届ケラル。依テ其一ヲ赤木氏ニ送ル。

○七時半、池之上国民学校会評議員会アリ、出席ス(石田、清水両氏外幹事出席)。
感謝ノ決議、感謝状ノ決議、報告方法ヲ定メ、九時散会ス。

九月一日(火)晴 蒸暑

○朝、要、興三ト八幡神社ニ参詣ス。

○朝、千葉医大病院長伊東博士ニ電話ヲ以テ、丸山方作氏本日郷里ヨリ参院スヘキヲ以テ、診療ノコトヲ依頼ス。

○故杉山大尉命日ナルヲ以テ、追懷ノ為書状ヲ八平氏へ呈ス。

鎌田勝太郎氏追悼詠「淡翁」ヲ贈ラレシニ対シ、嗣憲夫氏へ謝状ヲ呈ス。

○高原佐吉氏、本間俊平先生ノ紹介ニ依リ来訪ス。岐阜県木社ト地区木社トノ関係、両社ト帝室林野局トノ関係、両社ト県森聯トノ関係ニ付陳情アリ。依テ氏ヲ井出山林局長、並木木材統制課長、野口林野局監理部長、佐藤全森聯会長、村上日木社長へ紹介ス。

○旅装ヲ備ヘテ全国治水砂防協会役員会ニ出席ス。末次会長、小泉理事長、赤木常務、俵、植原、八角、小山、大河内、江口、松平、中井、澤田諸氏出席ス。

○貴族院ニ李事務官ヲ訪ヒ、山口県調査報告ノ書直シ提出ヲ依頼シ、材料ヲ渡ス。

○三時東京駅發、特急富士ニテ別子へ向フ。赤木正雄氏同行セラル。十時四十五分京都著。直ニ宇野行普通車ニ乗換へ寢台ニ入ル。

〔欄外〕

○敏子、中泉ヨリ帰来ル。

○興三八武蔵高校寄宿舎へ戻ル。

○静岡駅ニ八木雅夫氏夫妻ト対談ス。

九月二日（水）晴 頗暑

○五時頃、岡山駅ニテ覺眠ス。六時宇野著、直ニ連絡船ニ乗ル。六時廿五分發七時二十五分高松棧橋著。七時五十五分同發十時四十五分新居浜著下車ス。

○住友鋳業所農林課長猿谷嘉吉氏出迎ヘラル。自動車ニテ鋳業所ニ入り所長荒川英二氏ニ面会ス。庶務課長田中外次、上野益男、機械工業会社取締役南部直正、高橋又次郎同上、化学工業会社新居浜製造所研究部長竹内亥三吉、アルミニウム製錬会社業務部長松野清巧、四国中央電力業務部長平岩準一等ノ諸氏ニ紹介セラル。又、別子ニ於ケル住友事業ノ大要ヲ聴ク。

此処ニテ先著ノ漆山雅喜氏ト出会フ。又、山本亮博士トモ出会ヘリ。

○正午、鋳業所俱樂部ニ招カレ上記諸氏ト午餐ヲ共ニス。○一時半、漆山、赤木、山本三氏ト共ニ五良津森林ノ見学ニ赴ク。猿谷課長案内シ、説明セラル。此一団地ハ千二百町歩アリ、植栽林五十年ニ垂ントシ、杉二千石ニ達スル箇所アリト云フ。二条ノ沢通リヲ往復シテ視察ス。成績甚佳ナリ。五時半帰着、泉寿亭ニ泊ル。

○夜、泉寿亭ニ於テ荒川所長ヨリ晚餐ヲ饗セラル。以上諸氏ノ外機械工業会社研究部長早川幸市氏、化学工業工作部長津上雄三氏、愛媛県林務課主事三宅宗八氏モ加ハル。

〔欄外〕

○興三八武蔵高校寄宿舎ヨリ帰来ル。

○十七年度ノ恩給外所得ノ決定額及恩給年額ノ一部停止額通知

九月二日 大臣官房主管岡本愛祐

記

恩給外所得決定額 金六千八百二十九円

停止年額 金六百六十円

実支給年額 二千六百四十円

停止期間 自昭和十七年四月一日至 十八年三月卅

一日

五月二十日^朱記事参照^一

九月三日（木）晴 曇 雨 蒸暑

○六時五十分泉寿亭発徒歩昭和橋駅著、鉦業及林業ノ視察ヲ為ス。六時五十七分同駅発車、七時三十四分端出場著。採鉦課坑務係長上垣堅一氏ヨリ、採鉦ノ実況ニ付詳細ナル説明ヲ聴ク。新居浜ヨリハ猿谷課長、同課員林学氏《林業試験場員タリシ人、石川県人、静岡市民》、上野益男氏同行案内セラル。八時半坑内ニ入ル。電車水平走四キロニシテ二千尺上昇、更ニ水平走二キロ銅山川上流日浦ニ達ス。ソレヨリ手押トコロニ乗リ中七番ニ向フ。途中発電水量調整ノ為構築セル貯水池ヲ見、更ニ進ンテ国有地内ノ造林地ヲ視察シ、十一時半中七番著、事務所ニ入ル。休憩、中食ヲ為シ、又淡茶ヲ喫ス。時々降雨アリ。

○二時頃中七番発、三時半日浦ヨリ入坑、水平駛走四キロ四時東平著。同所休泊所ニ入り一泊ス。

○夕食ノ後、赤木博士ノ砂防意見、山本博士ノ栄養食論アリ、何レモ甚有益ナリ。赤木博士ノ砂防意見ハ国土保全、万民楽業ノ根本要件ナリ。予モ約一時間半ニ亘リ甘藷増産ノ説明ヲ為ス。

九月四日（金）晴 曇 蒸暑

○東平ハ海拔七百五十米、実眺望絶佳ニシテ暑熱ヲ知ラス。快適ノ一夜ヲ過シタリ。出発前需ニ依リ悪筆ヲ揮フ。

○七時半出発、徒歩二十八町大永^{ダイエイ}ニ向フ。檜杉ノ植栽林ヲ見ル。成績甚佳良、住友経営林中第二位ニ在リ、五良津ヲ凌駕スト云フ。又、残存天然林ヲ製炭材トシテ伐出中ノ箇所ヲ見ル。地勢急峻、他日崩壊ノ虞多シ。大永ニテ小憩。八時半手押トコロ乗下ゲニテ端出場十時著。同所ニテ選鉦場ノ作業ヲ見、十時半発車、十一時星越^{ホシゴエ}著。自動車ニテ星越山ニ登リ別子ノ全体ヲ瞰得ス。

○赤木博士ハ之ヨリ新居浜駅ニ向ヒ、十一時五十四分発ニテ帰京ス。

○予等ハ再ヒ荒川所長ヨリ鉦業所倶楽部ニ招カル。前日ノ諸氏ノ外本社理事ニ陞任《アルミ会社社長、化学工業社長》吉田貞吉氏ト同席ス。山本博士ハ食後九州へ向フ。

○一時半、機械工業会社視察。案内者、取締役高橋又次郎、^カ南部直正、研究部長早川幸市諸氏。

二時二十分、化学工業会社視察。案内者、工作部長機械課長津上雄三氏。

四時半、アルミニウム製錬会社視察。製造部副長射場恒三氏案内。

電錬工場ハ時間少キ為視察セス。

〔欄外〕

○五時半泉寿亭著。今朝四阪島出發出迎へラレタル製錬部長重野宗廣氏ヲモ加へ、同所ニテ夕食ヲ饗セラル。猿谷、上野両氏接待セラル。

○七時二十分、別子港棧橋發御代島丸ニテ四阪島ニ向フ。前記三氏同船世話セラル。八時三十分著、接待館（旧別邸）ニ入り宿泊ス。

○夜、再甘藷栽培ノ説明ヲ為ス。

九月五日（土）晴 涼

○昨夜モ快眠ス。食前散歩。島ノ頂ニ登リ神社ヲ拝ス。四顧濶大、説明ヲ聴ク。

○八時半帰館。朝食ヲ為シ、又喫茶ス。

○九時半製錬所ヲ訪フ。重野製錬部長ヨリ同所ノ事業ト之力経営ノ沿革トヲ聴取ス。敬服ニ堪ヘス。次テ銅製錬工場、硫酸工場、セメント試験場ヲ見ル。ニツケル製錬工場ハ時間切迫ニ付省略ス。又、記念ノ撮影ヲ為ス。

○十一時過、接待館ニ帰り中食ス。十二時二十五分重野

部長ノ見送ヲ受ケ、御代島丸ニテ發船。二時四十分尾道著。猿谷、上野両氏同行世話セラル。尾道駅附近喫茶店ニテ少憩ス。

○三時三十四分、尾道駅發東帰ス。水害ノ為戸田以西不通ニシテ、汽車乗客少シ。

〔欄外〕

○甘藷貯蔵設備ノ指導ヲ受クル為、猿谷氏ヲ田村勉作氏ニ紹介ス（名刺ヲ渡ス）。

九月六日（日）曇 冷

○午前五時頃覚眠ス。帰京後ノ事務処理方ニ付漆山氏ト相談ス。七時十六分品川ニテ下車シ直ニ乗換ヘテ帰宅ス。

○館林ヨリ電話ニテ、山林文学集出版ニ付其後ノ進行状況ヲ報告セラル。即チ情報局第五部第三課長井上司朗氏ヨリ、出版文化協会業務局長田中四郎氏ニ協議シ、同氏ヨリ適當ノ出版業者ニ渡スコトト決定セシ由ナリ。依テ其旨ヲ漆山氏ニ電話シ、協会又ハ出版業者ト著者上原敬二氏トノ間ニ、齟齬ヲ生セサルヤウ配慮ヲ求ム。漆山氏ハ之ヲ白澤博士ニ通セシニ、博士ノ意見アリシ由ニテ之ヲ電話セラル。依テ再ヒ其事ヲ館林ニ電話ニテ返答ス。

○午後三時、馮國彬氏東京工業大学電気科ヲ卒業シ近ク
帰国スル由ニテ、國光氏ト共ニ來訪ス。依テ両氏ヲ帝
国ホテルニ招キ送別晚餐会ヲ催ス。要及興三モ同席ス。
食後銀座ニ出テ四丁目角ニテ別ル。電車ニテ帰宅ス。
○重友ハ社用ニテ秩父へ旅行中ナリシカ、夕刻帰宅ス。

〔欄外〕

○館林成也ハ病氣回復シ、一昨四日退院セリト云フ。
○丸山方作氏ハ入院以來經過佳良ニシテ、近ク退院スル
ナラントテ、自筆ノ挨拶状ヲ送来レリ。

九月七日（月）晴 暑

○朝、大阪住友本社清水清三氏、別子猿谷嘉吉氏、上野
益男氏、上垣堅一氏ニ対シ謝状ヲ発ス。猿谷氏へ甘藷
栽培法及香川県鎌田甘濟会發行冊子ヲ呈ス。

○八時過、飯田英作氏ヲ訪フ。館林成也治療ニ付深謝ス。
○十時半、千葉医大病院ニ伊東博士ヲ訪フ。丸山方作氏
治療ノ經過ヲ聞クニ、甚良好ナリ。博士ノ室ニテ丸山
氏ニ面会ス。十一時ヨリ丸山氏ノ病室ニ移リ、台湾ニ
於ケル指導状況ヲ聴ク。又、健苗養成委員会ヲ來二十
日開会ニ決定シ、委員ヲ選定ス（丸山、田村、磯部、
藤田、戸倉、山本、服部、石井九氏）。其他京都野田鏐
五郎氏ニ面会ノコトヲ相談ス。十二時辞去ス。

○千葉県庁社会課ニ佐藤氏ヲ訪フ。増田正直氏ハ不在ナ
リ。学務課長及織田經濟部長ニ面会ス。部長ニハ栽培
成績ノ発表ヲ約ス。知事不在ニ付名刺ヲ部長ニ託ス。

○天野兼松氏來訪ス。不在ノ為面会セス。

○館林成也全快ニ付、マス子連レ來ル。夕帰宅ス。

〔欄外〕

○田村勉作氏へ葉書ヲ送り、猿谷氏指導ノコトヲ依頼ス。

○神戸商工会議所 野田鏐五郎氏

京都市左京区一乗寺竹内町□□

芦屋市開森□□□

○丸山氏ヨリ天谷虎之助氏著現代農村ノ傑出人物ヲ贈ラ
ル。

○袴田銀藏氏ヨリ、麦作講習会ハ來十二三日ニ決定セ
シ由ヲ通セラル。依テ当日欠席ノ旨ヲ報シ、培本塾加
藤主事ノ参加取扱ヲ求ム。又、其事ヲ加藤氏ニ通知ス。
○午後ヨリ眩暈甚シ。夕刻ニ至リ愈々加ハル。堀医師ノ
診察ヲ受ケシニ異状ナシ。血圧一四〇―一八〇。

九月八日（火）晴 暑甚シ

○六七兩日便通ナシ。依テ朝灌腸ス。多量ノ排出アリ。
九時半頃出發、十時過同成会例会ニ出席ス。入江、下
条、平沼、渡辺、塩田、諸氏出席ス。入江氏ヨリ海軍

ノ招キニ依ル南方皇軍慰問団派遣ニ関スル各派交渉会
ノ経過報告アリ。

○十二時前、全国砂防協会役員会ニ出席ス。山県公、大
河内子、保科子、松平男、澤田、小泉、俵、木檜、森
下國雄等諸氏在リ。内務技師水谷氏ヨリ、去二十七日
夜ノ山口、広島、福岡、鹿児島、宮崎、熊本等ノ風潮
害ノ報告アリ。

○香坂昌康氏ヲ訪ヒ、不日、顧問理事監事評議員ノ晚餐
会ヲ催スニ付、同氏ノ出席ヲ求メ南方視察談ヲ聴カン
コトヲ申入ル。十五日夜星ヶ岡茶寮ト決定ス。又、氏
ニ対シ車馬賃ヲ呈ス。

○再ヒ砂防協会ニ至リ、小泉幹事長、赤木常任幹事ニ面
会ス。

○夜七時半ヨリ第三組常会ヲ開ク。

九月九日（水）晴 暑

○朝、住友別子鉱業所長荒川英二氏、四阪島主任重野宗
廣氏ニ対シテ謝状ヲ認ム。

○藤井静一氏夫人先般死去セシ由ニ付、弔状及線香（十
二円）ヲ呈ス。

○塩田團平氏へ甘藷栽培法及拔萃小冊子ヲ贈ル。

○静岡中学在京同窓会副会長田代寿雄氏ノ母堂、過日逝

去セラレシ由、志村正一氏ヨリ電話アリシヲ以テ、会
ヲ代表シテ弔問ス。

○豊橋市岩瀬八重二氏ヨリ、丸山氏ノ病状ヲ尋ネラル。
之ニ返書ス。

○内田重成氏ニ対シ風潮害見舞状ヲ発ス。

九月十日（木）晴 頗暑

○朝、米山梅吉氏ト電話ス。氏ハ近来頗健康ナリト云フ。

○館林ヨリ電話ニテ森林文学ノ発行所ハ情報局第五部第
三課長井上氏ノ配慮ニテ新潮社ニ命シタルヲ以テ、近
ク同社ヨリ交渉アルヘシトノ通知ヲ受ク。依テ其事ヲ
漆山氏ニ報告シ手配ヲ為ス。

○天野兼松氏ヨリ電話ニテ、丸山方作氏ノ病状ヲ問ハル。
詳細之ニ答フ。

○小山谷蔵氏ヨリ電話ニテ、同氏昨日千葉医大病院ニ丸
山氏ヲ見舞ヒタルニ、丸山氏ト共ニ予ヲ和歌山県へ招
聘セントテ都合ヲ問ハル。依テ十月六七日ヲ以テスヘ
シト答フ。

○漆山氏今朝後藤文夫氏ヲ訪問セシニ、明日ノ理事会ニ
於テ林政機構統一ニ関スル建議速進ヲ議スルコトトセ
リト報告アリ、之カ取扱方ニテ意見ヲ交換ス。午後、
事務所ニ立寄り具体案ヲ議ス。

○十時四十分頃角替利策来訪ス。養子飯田氏ヲ迎フルコトヲ依頼セラル。

帝室博物館ニ至リ満洲国宝展覽会ヲ看ル。秋山氏、溝口氏等ヨリ有益ナル説明ヲ聴ク。

○小山田監理課長、早尾業務課長ト中林協ニテ会见ス。両氏ヨリ明日ノ理事会ニ上程セラルヘキ林政機構統一ノ件取扱方ニ付、井出山林局長ノ希望ヲ伝ヘラル。所見ヲ述ヘテ之ヲ諾ス。

〔欄外〕

○要ハ明日興三ト共ニ帰郷墓参シ、伊勢、岐阜、西之宮、芦屋等ヘ赴ク為、用意ヲ為ス。

○館林成也耳ニ腫物ヲ発シタルヲ以テ、マス子同伴堀先生ノ診察ヲ受ク。一也、葉子モ来ル。

九月十一日(金)晴 南風強 暑甚シ

○丸山方作氏ヨリ、眼底ニ少翳アルヲ以テ尚暫ク在院、徹底的ニ治療ヲ受クヘシトノ書信アリ。又、天野兼松氏ヨリ本日見舞ノ結果、右ト同一ノ伝言ヲ電話ニテ通セラル。

○要ハ興三ヲ伴ヒ午前九時十二分東京駅発ニテ帰郷ス。途中島田ニ下車シ石間たみヲ訪問スル筈ナリ。

○正午、中央林業協力会理事会ヲ開催ス。一時半ヨリ三

時迄後藤会長臨席ス。林政機構統一ニ関スル建議ノ取扱方ヲ相談ス。其結果会長、副会長ニ一任セラル。後藤会長ハ既ニ農林大臣ニ面会シ在リトテ、其大要ヲ報告セラル。香坂理事ヨリ学校林造成ニ付治山治水協会ノ立場ニ付テ主張アリ。又、第五回第六回林業振興懇談会ニ付打合セヲ為ス。三時半散会ス。

○全国治水砂防協会ニ赤木氏ヲ訪ヒシニ不在ナリキ。

〔欄外〕

○重友齒痛ノ為欠勤ス。

九月十二日(土)晴 頗暑

○今朝ノ新聞紙ニ大東亜省ノ組織、権限及之ニ伴ヒテ改正セラルヘキ官庁所管事項ノ発表アリ。林政統一ニ関スル事項ハ如何ナルヘキカ不明ナリ。依テ大政翼賛会ニ後藤中林協会長ヲ訪問ス。会長ハ農林ト電話ニテ交話シ、其内容ヲ伝ヘラル。序ヲ以テ木材供出ニ関スル不合理ノ事実、中林協ノ仕事、住友事業視察所感等ヲ談話ス。

○新潮社出版部齋藤氏ヨリ電話ニテ、山林文学書出版ニ付会见ヲ申入レラル。依テ漆山氏ニ報告シ、同氏及白澤博士ノ折衝ヲ求ム。漆山氏、博士ト相談ノ結果、上原博士直接ニ齋藤氏ト交渉ヲ開始スルコトトナル。

○中林協事務所ニ出頭シ事務ヲ処理ス。漆山氏トアジアニテ中食ス。

○内務省ニ館林ヲ見舞フ。小野田市ノ水害ニ付伯野氏方ノ模様ヲ問フ。又、一杉氏ノ來書ニ付館林ノ意見ヲ問フ。夜返事ヲ認ム。

○二時、内務省會議室ニ開会セル第六十二回報徳経済学研究会ニ出席シ、石川県立師範学校教諭飯塚銀次氏ノ、二宮尊徳ノ教学思想ト題スル研究ヲ聴ク。有益ナリ。帰途上浦種一氏ニ出会フ。氏ハ近ク遠山信一郎氏ト滿洲国ニ赴キ、各地ニテ講演ヲ行フト云フ。

〔欄外〕

○帝室博物館事務官河野勝彦氏ヨリ、欽定四庫全書史部南方草木状ノ、甘藷記事ノ末文ヲ写シ送付セラル。謝状ヲ呈ス。

○成瀬達氏令息逝去ノ由、育英会ヨリ通知アリ。直ニ悔状ヲ發ス。又、育英会取計ノ香資釀出ニ加入ス。

○片岡直方氏令嗣死去ニ付吊詞ヲ呈ス。

○館林成也耳ニ腫物出来タリトテマス子連れ来リ堀医師ノ診断ヲ受ク。

九月十三日(日)晴 蒸暑

○朝、鈴木梅太郎博士ヲ訪問ス。(1)甘藷ヲ原料トスル完

全食ノ製造及普及ノ件、甘藷生産者売出價格増加ノ件(麦モ同様)、四庫全書中ノ南方草木状説明等、(2)篠田治策博士ノ古稀祝賀ニ付、榛葉氏ノ求ニ依リ資料トシテ少年時代ノコトヲ問フ。

○一木男爵ヲ往訪ス。男爵ヨリ文部省ノ育英会統合計画ニ対スル御心配ヲ聴ク。全然同感ナリ。近ク文部次官ニ質問セント欲ス。(1)翼賛政治会へ入会セサル件、(2)甘藷増産ノ件(附)南方草木状記事、(3)報徳中学校設立意見等ヲ提出ス。偶々伊澤多喜男氏來訪セシヲ以テ、須臾ニシテ辞去ス。

○午後ハ在宅。京都帝大郡場寛博士及野田鏤五郎氏ヲ二十三日都ホテルへ招クノ件ヲ決シ、両氏及ホテルへ案内状ヲ發ス。又ソレ等ノコトヲ丸山方作氏へ通知ス。

○小山谷藏氏ニ対シ、和歌山行キハ八日頃ナラテハ都合出来サル旨電話ニテ了解ヲ求ム。故穂積先生追悼会アルカ為ナリ。

〔欄外〕

○杉村七太郎氏ヲ訪問シテ成也ノ治療ヲ謝スルノ予定ナリシモ、不能トナリシヲ以テ書状ヲ呈ス。

○愛知県八名郡大和村豊沢市川藤五郎氏ヨリ鮎二連ヲ贈ラル。豊川産ニシテ發育良好ナリ。謝状ヲ呈ス。

○夜、井戸正明公ノ伝ヲ写ス。

九月十四日(月)晴 南風強 頗暑

○午前中書齋ノ整理ヲ為ス。甘藷関係ノ文書及書状ノ多量ナルニ驚ク。

○大河内輝耕子爵令夫人一昨日逝去、本日十時ヨリ青山齋場ニテ告別式ヲ行ハレシヲ以テ、参拝焼香ス。

○午後モ書齋ノ整理ヲ続行ス。

○三時ヨリ徳川公爵家家政相談人会ニ出席ス。井出、石渡、成田、井出、宇佐美諸氏出席ス。公爵ヨリ開会ノ御挨拶アリ。宇佐美相談人ヨリ(1)邸宅売却ノ件報告、

(2)相続税調査ノ件報告アリ。了テ茶菓ヲ饗セラル。五時頃散会ス。

○公爵へ烏龍茶一缶ヲ呈ス。

九月十五日(火)雨 冷

○久シ振ニテ降雨アリ、冷氣大ニ加ハル。

○十二時頃、全国治水砂防協会ニ出席ス。植原悦二郎氏、男松平外與麿氏及西原亀三氏来会ス。

○二時、貴族院調査部第三部会ニ出席ス。山西省天然資源調査班ノ調査報告アリ。班長土岐子爵、班員地理学部東大助教授多田理学士、動物学部資源科学研究所清棲伯爵、植物学部東大助教授佐藤博士及地理学部(陸

士予科学学校教授理博)吉村信吉氏ノ報告アリ。五時散会ス。

○五時半、星ヶ岡茶寮ニ開会ノ中央林業協力会顧問理事評議員招待晚餐会ニ司会者トシテ出席ス。来賓伊澤、三矢両顧問以下二十二三名アリ。食後香坂理事ノ南方視察談ヲ聴ク。甚有益ナリ。九時散会ス。

〔欄外〕

○満洲国建国十周年記念日ニシテ、新京ニ於テ大祝典ヲ挙行セラル。東京ニテモ亦盛典ヲ挙ケラル。

○本年食糧増産、林業、砂防等ニ付各地旅行里程表ノ作成ヲ始ム。

山西省ノ水ノ硬度

住民ハ苦水、甜水ノ別ヲ為ス。前者ハ五十度ヲ超ユルモノ、後者ハ之ニ充タサルモノヲ云フ。

运城ノ河東ホテルノ浴用水ハ二百度アリ、此地方最高ノモノハ三百度ニ達ス。大原^(太原)ニテモ二百度ノモノヲ普通トス。農業ニハ百度マテ差支ナシ。

備考 東京ノ水道ノ水一度、玉泉山水十五度、黄河ノ水 包頭ニテ十度、蒲州ニテ十二度、揚子江ノ水五度、黑竜江ノ水四五度、内地河水二度位。

説明¹ハCaO 10 mg 1ltr 中ニ含ムモノヲ云フ。

九月十六日（水）晴 冷

○秋冷ノ候トナル。心身緊張ヲ覚ユ。

○朝、丸山方作氏ヨリ十四日午後七時東京駅ニテ認メタル葉書到著ス。乃チ同氏、同日十一時退院ヲ申渡サレシヲ以テ、千葉県庁佐藤氏夫婦ノ世話ニナリテ退院、東京駅ニ来リ之ヨリ帰郷スト云フ。而シテ眼中ノ織翳ハ是迄ノ如ク急速ニハ治シ難キモ、今後ハ豊橋市朝田眼科医ノ診療ヲ受クルコトトナレリト報セララル。

○右ニ付、直ニ伊東博士ヘ謝状ヲ、丸山氏ヘ祝辞ヲ呈ス。

○京城帝大総長篠田博士ノ事蹟ニ付、松本喜作翁伝ヲ取調フ。

○二時ヨリ貴族院調査部第三部会ニ於テ、陸軍顧問村田省藏氏ノ「フィリッピン」ノ現状ニ関スル報告アリ。甚有益ナリ。

○貴族院ニテ柴田善三郎氏ト出会ヒ、角替家養子トシテ飯田氏令息ヲ迎ヘタキニ付、氏ノ斡旋ヲ依頼ス。

○吉村氏妻女来訪。松山弁護士外一名ヲ依頼セリト報告アリ。

○徳田悦翁氏ヨリ二十世紀梨一箱ヲ贈ラル。其中若干ヲ堀先生ヘ呈ス。

○鈴木幸作氏来訪ス。令息結婚式ハ故敬三氏一週忌後ニ

於テセントノ意向ヲ告ケラル。

〔欄外〕

○去七日、日本飛行機オレゴン州ヲ襲撃セシ由外電ノ発表アリ。

九月十七日（木）曇 冷

○朝、帝室博物館事務官ヨリ、南方草木状ノ著者、年代等ノ調査報告ヲ受ク。又、午後同館所蔵南方草木状ヲ郵送セララル。夜一覽、要部ヲ書写ス。

○別子猿谷嘉吉氏ヨリ挨拶状ヲ受ク。

○野田鏐五郎氏ヨリ速達書状到著。来二十三日夕刻差支アリト云フ。

○午後二時、貴族院調査部会第三部会ニ於テ、九州中国方面ニ於ケル風害状況報告会アリ、新井^(尾)国土局長ノ説明ヲ聴ク。被害意外ニ多シ。

○文部次官ヲ訪ヒシニ面会出来ス。秘書官有光次郎氏代テ面接ス。育英事業統合計画ノ趣旨内容ヲ質問ス。

○朝鮮総督府出張所ニ田中総務長官ヲ訪ヒシニ、昨日帰任セリト云フ。

○五時半、砂防協会ニテ西原氏歓迎晩餐会ヲ星ヶ岡ニ開催ス。出席者二十人ナリ。砂防促進ニ付政府ニ要請スルコトヲ決ス。

○ 静中校長西村博雄氏逝去ノ由、田代寿雄氏ヨリ通報ヲ受ク。葬儀へ代理者出席、弔詞、花環ヲ呈スルコト手筈成レル由ヲ報セラル。

〔欄外〕

○ 鈴木幸作氏来訪ス。令息敬三君戦死ニ付報告アリ。

○ 外務大臣谷正之氏拜命。又、青木一男氏無任所大臣ヲ拜命ス。

九月十八日（金）晴 冷

○ 朝、帝室博物館河野事務官ヨリ送ラレタル「左氏百川学海」第二十四冊ヲ検読シ、其形体ヲ測リ、又甘藷記事ヲ写ス。

○ 朝、世田谷署情報係添野隆鐵氏来訪ス。

○ 長谷川一郎氏ヨリ雑誌武蔵野八九両月号ヲ贈ラル。

○ 十二時、中央林業協力会理事会ニ出席ス。漆山、白澤、本多、菌部、小林準、須山、林、諸氏出席ス。第五回及第六回林業振興懇談会開催ノ件ヲ主ナル議題トス。

又、西部方面ノ風害地へ木材供給ノコトヲ議ス。

林業文学出版ニ付、漆山白澤両理事ト相談ス。

○ 帝室博物館ニ至リ、河野事務官ニ面会シテ借用ノ左氏百川学海第二十四巻ヲ返却シ、謝意ヲ表ス。

○ 渡辺艶子ヨリ書状ヲ以テ、伝馬町□□速水九郎次氏住

宅ニ付、困難ノコトヲ懇へ来ル。依テ田中秀夫氏ニ依頼状ヲ発シ、同氏ニ速水氏ヲ紹介ス。

○ 野田鑄五郎氏ヨリ二十三日九時頃ナラデハ都合悪シト通知アリ。依テ他日ヲ期スルコトヲ返書ス。又、郡場博士ニ対シ今村講師ノ同伴ヲ乞フ。

〔欄外〕

○ 夜、白澤博士ヨリ借用ノ武蔵野六月号中ノ甘藷本邦伝来記事ヲ写ス。

九月十九日（土）驟雨 頻来 蒸暑

○ 七時三十九分品川発ニテ静岡へ赴ク。十二時八分著。

大東館ニテ昼食シ戸塚重一郎氏ニ電話セシニ、掛川へ赴ケリト云フ。依テ海野真岳氏ニ面会ス。

○ 静中校長西村博雄氏ノ校葬アリ、片岡録朗氏予ヲ停車場ニ出迎へ会葬ヲ勸メラレシモ、戸塚氏トノ会见ヲ急キシ為遂ニ出席セス。東京静岡同窓会ノ弔辞代読ヲ依頼ス。

○ 一時五十一分発、三時掛川著。直ニ戸塚氏ヲ訪ヒシニ、浜松ニ赴キ今夕静岡ニ帰ルトノコトナリ。依テ報徳社ニ出頭ス。

○ 袴田銀蔵氏ニ面会シテ明日ノ会合ノ準備ヲ為ス。其他要務ニ付協議ス。

○驟雨甚シキヲ以テ自動車ニテ帰宅ス。

○帰宅ノ時小柳直吉氏来訪ス。村治及農産増進ニ関シテ夜八時半マテ談話ス。

〔欄外〕

○静岡ヨリ掛川迄森口代議士ト同車ス。麦増産ノ件、講習会開催ノ件、朝鮮へ甘藷指導者派遣ニ付人選ノ件、甘藷献上ノ件等ヲ相談ス。

九月二十日(日) 驟雨 蒸暑

○九時三十分自動車ニテ出発、掛川報徳社ニ出頭ス。

十時ヨリ甘藷健苗養成指導書編纂委員会ヲ開ク。丸山方作、田村勉作、磯部幸一郎、藤田久蔵、戸倉儀作、山本福吉、服部源太郎、石井信、八氏出席ス。袴田幹事ヨリ意見書ヲ寄セラレタル分ノ朗読アリ。ソレヨリ各重要項目ニ付協議決定シ、之カ成案作成ヲ丸山氏ニ委託ス。二時終了ス。

丸山氏全快ヲ祝スル為聊カ粗食(すし)ヲ呈シ、一同ニテ祝フ。又、同氏ニ対シ見舞金ヲ呈ス。

○丸山氏ト今秋甘藷栽培成績発表ノ方法ニ付相談ス。其結果本社。丸山氏、田村氏、磯部氏、引佐郡。各府県ニテ発表スルコトトス。又、和歌山県へ講演旅行ノ件ヲ打合ハス。

○帰途神宮寺ニ立寄り墓参ス。

○夜、小柳氏ノ案内ニテ石野聡、石野福松、石野〔空白〕、松井七郎四村会議員来訪ス。村治ノ将来ニ付意見ヲ交換ス。

〔欄外〕

○夕、要、興三岐阜ヨリ帰り来ル。

○戸塚重一郎氏ヨリ電報ニテ、二十一日ハ在宅セス東京ニテ面会セント申来ル。依テ二十二日在宅ノコト及明朝七時四十分発ニテ帰京ノコトヲ返電ス。

○高林兵衛氏ヨリ電話ニテ、中村氏ノ将来ニ付深切ナル申出アリ。大体同感ナルヲ以テ考慮センコトヲ答フ。

九月二十一日(月) 驟雨 南風強シ 蒸暑

○早朝、故陸軍兵長原田喜久男氏ノ為ニ墓標ニ戒名鳳嶽義勇居士ト大書ス。

○七時四十分発ニテ帰京ス。掛川ニテ山崎好知氏ニ出会フ。藤枝ヨリ静岡迄中村円一郎氏ト同車ス。又、尾崎元次郎氏ト同車、新橋ニテ別ル。中村氏ニハ大ニ自愛ヲ乞フ。尾崎氏ニハ静岡明朗会々長トナル人ナキヤヲ尋ヌ。

○一時過、丸ノ内常盤家ナル中林協組織団体役員懇話会ニ出席ス。漆山理事ヨリ第五第六林業振興懇談会ノ内

容ニ付説明ス。各員ヨリ種々質問及意見ノ提出アリ。最後ニ林囑託ヨリ神宮御萱場奉仕団講習状況ノ報告アリ、二時散会ス。

○東京駅ヨリ省線電車ニテ帰宅ス。

○中村氏ノ件ニ付、高林氏ノ言ニ依リ三橋四郎次氏ト電話ス。

○夜、館林ヨリ利根川鮎九尾ヲ贈ラル。尚、七尾ハ館林ヨリ堀医学士ヘ贈呈ス。

〔欄外〕

○夜十一時頃、要、興三帰京ス。

○重友、笈博士ノ診察ヲ受ク。

九月二十二日（火）雨 蒸暑

○昨夜ヨリ今暁ニ亘リ風雨強シ。終日天気不定、時ニ驟雨アリ。

○早朝高柳暉氏来訪ス。学校々舎建築ノコトニ付相談アリ。依テ速ニ後援者会ヲ結成スルコトヲ勧告ス。山崎次郎氏、柴田善三郎氏ニ電話ニテ依頼セシニ、両氏共熱心ニ非ス。西村金三郎氏ニ高柳氏ヲ紹介ス。

○明日ヨリ四国中国方面ヘ旅行ニ付、文書ノ用意ヲナス。

○四時頃、三番町□□ニ戸塚重一郎氏ヲ訪フ。既ニ静岡ヘ帰レリト云フ。依テ来訪ノ事由ヲ告ケ、戸塚氏ハ

通セラレンコトヲ求ム。夕、同氏宅ヨリ電話アリ、十月中旬会合ヲ約ス。

○九州帝大名誉教授植村恒三郎博士ヨリ新体制ト林業ナル新著書ヲ贈ラル。

九月二十三日（水）晴 暑

○中央林業協力会主催ノ第五回林業振興懇談会ニ出席ノ為、西下ス。九時発、午後四時二十五分京都著。直ニ都ホテルニ入ル。車中植村恒三郎氏著新体制下ニ於ケル林業ヲ読ム。又、名古屋ヨリ洪澤敬三子ト同車ス。

○ホテルニテ、京大理学部長郡場寛博士及今村鑑一郎講師ヲ迎ヘテ晩食ヲ呈ス。

甘藷ニ関シ意見ヲ交換ス。郡場先生ハ近々停年ヲ以テ退職セラレ、昭南島ノ植物園ヘ赴カルト云フ。又、今村氏ハ近ク学位ヲ得ラルヘシト云フ。

○ホテルニテ篠田博士ノ立志談ヲ草シ、榛葉孝平氏ヘ郵送ス。

○十一時四分宇野行ニ乗ル。漆山、白澤、菌部、森川、北村諸氏ト同行トナル。北村氏ノ御配慮ニ依リ、寝台ニ入ルコトヲ得タリ。

九月二十四日（木）快晴 暑

○五時、岡山ニテ覺眠ス。七時二十五分高松棧橋著。香

川県林務課長山本貞藏、農林主事武内元善両氏ハ一行ヲ岡山ニ出迎へ案内ス。棧橋ニハ教育課長山本幸雄氏、石丸、津森、永峰各県技師、県森聯会長上原準一、専

務田村義男両氏、県木社藤澤、河合、新田諸氏、高知営林局計画部長瀧田周三、同属宮内琢両氏、高松営林署長横光事務官等出迎フ。栗林公園ニ案内ヲ受ケ、掬月方ニテ朝食ヲ饗セラル。經濟部長山泉氏挨拶ヲ述フ。ソレヨリ一行ハ屋島ニ登リ詳細ナル説明ヲ聴キ屋島寺ニ参詣シ、屋島館ニテ中食シ森林組合、県木社等ノ説明ヲ聴ク。小林文之助理事モ来会ス。

○下山ノ後、檀ノ浦ニテ専売局技師三代川清造氏ノ製塩ニ関スル説明ヲ聴キ、且製塩工場ヲ視察ス。三時三十六分屋島駅ヨリ乗車ス。

○山本、武内、永峰三氏、徳島県境マテ見送ル。瀧田、宮内両氏ハ徳島へ同行ス。徳島県林務課長小坂夏太氏大宮駅ニ出迎へ、五時二十七分徳島著。旅館平亀方ニ投宿ス。

○夜、県經濟部、県森聯、県木社ヨリ一同ヲ越後亭ニ招カル。經濟部長三谷重忠氏挨拶ヲ述フ。明月皎々感興尽キス。

九月二十五日(金) 快晴 暑

○朝八時半旅館ヲ去リ、県庁ニ三谷經濟部長ヲ訪ヒ昨夜ノ恩遇ヲ謝ス。知事ハ上京中ナルヲ以テ名刺ヲ託シテ敬意ヲ表ス。

○小坂課長ノ案内ニテ市内重要木材地区ヲ巡視シ、九時二十分小松川著。陸海軍用材貯木場ヲ見ル。十時同所發、十時二十分羽ノ浦町古庄ナル那賀川流域ノ木材製板所ヲ見テ、当務者ノ説明ヲ聴ク。了テ再ヒ小松島ニ来リ、万野方ニテ中食ス。

○一時四十八分小松島發、徳島ヲ經テ四時二十分池田著。高知県林務課長佐々木堅一氏、技師武内可典氏及県森聯常務中越義幸氏(代議士)ノ出迎ヲ受ケ、四時五十六分同地發、七時二十八分高知著。直ニ旅館大松閣ニ投宿ス。

○中越氏ハ報徳ノ熱心家ナリ。氏ノ居村高岡郡禰原村ハ全村結社ニシテ、成績頗佳良ナリ。氏ハ刑人ヲ用キテ植林ヲ為シ大ナル感化力ヲ發揚ス。予ハ甘藷栽培ノコトヲ説明セシニ、大ニ共鳴シ今後行動ヲ同ウセンコトヲ約セラル。

九月二十六日(土) 晴 涼

○高知営林局長吉田(空白)氏ノ好意ニ依リ、室戸岬及

魚梁瀬国有林視察ヲ為ス。

○七時十五分大松閣発。此時日本社顧問森川助三郎氏モ来リ加ハル。十時室戸岬著、十一時半マテ逍遙ス。天氣晴朗、海上平穩ニシテ漁船多シ。

○十一時三十分室戸岬ヲ発ス（漆山常務令息ト別ル）。○時三十分田野著。営林署事務所ニ於テ中食ヲ喫シ、而ル後ニ土場ニテ榎立テアル榎、榎ノ大材ヲ見ル。

○一時三十分田野発三時馬路営林署著、休憩。三時半発車、魚梁瀬、仙石^{石也}ヲ経テ八時中川事業所ニ入り宿泊ス。

仙石^{石也}ヲ出テタル後汽缶車ニ故障ヲ生ス。依テ已ムヲ得ス汽缶車ヲ取換ヘテ前進ス。之カ為ニ遅延スルコト一時間ナリ。

○本月初旬、住友本社理事ニ榮転シタル元四国電力取締役吉田貞吉氏、偶マ大松閣ニ宿泊シ在ルヲ聞キ、名刺ヲ通ス。

〔欄外〕

○室戸岬行ハ漆山、白澤、佐藤、北村、小林（文）、森川諸氏ナリ。小林氏ハ室戸ヨリ帰り其他ハ魚梁瀬ヘ赴ク。

九月二十七日（日）晴 薄暑

○山中仮眠快適ナシ。朝食ニハ昨夕ト同シクヤマメヲ饗セラル。珍美昨夕ノ鮭ヲ以テ最トス。七時十五分中

川出發、徒歩二十町ニシテ字千本山ノ美林ニ達ス（杉ヲ主トス。樹齡二百四十五年、町当六千石、十一町歩アリ）。俯仰感歎ニ堪ヘス。更ニ徒歩西川ニ至リ、十時十分林鉄ニ乗ル。

十一時石^{石也}仙^{石也}著。事務所ニテ中食ス。鮎及マルタノ一塩焼物最佳味ナリ。十一時四十分石^{石也}仙^{石也}發十二時五十分馬路著。一時十分同發二時四十分田野著。三時同發、自動車ニ依リ四時四十五分高知ニ著シ、大松閣ニ入ル。

○入浴、更衣シテ知事沖野悟氏ヲ官舎ニ訪ヒ、敬意ヲ表ス。

○六時ヨリ知事、営林局長、県森聯会長、県木社長主催ノ歓迎会ヲ得月方ニ開カレ、一同出席ス。知事ノ挨拶アリテ、予ハ謝辞ヲ述フ。九時過旅館ニ還ル。

○魚梁瀬営林署長技師杉原亨三氏ヨリ、報徳ノ原理ヲ尋ネラル。依テ之カ根本觀念ヲ説明シ報徳鍊成会ニ参加ヲ勸ム。報徳叢書ヲ贈ル。

九月二十八日（月）晴 冷

○朝、杉本良氏ヨリ電報ヲ以テ、静岡県大政翼賛会事務局長就任ノ諾否ニ関シ意見ヲ問ハル。受諾セラルヘシト答電ス。

○第五回林業振興懇談会ヲ午前九時ヨリ高知県会議事堂

ニテ開催ス。知事挨拶、西澤業務課長、小山田監理課長、吉田営林局長ノ演説アリ。四国四県ノ代表的人物九十名計リ来集ス。林業協力会ヨリハ漆山、白澤、佐藤、菌部、北村、小林(文)、藤岡、森川、須山等諸氏出席ス。五時三十分委員附託ヲ発表シテ散会ス。

○六時三十分ヨリ得月方ニ晚餐会ヲ開キ、知事以下来会者、関係者一同ヲ招待ス。九時散会ス。

九月二十九日(火)晴 夕雨 冷

○第五回林業振興懇談会第二日ハ、午前九時ヨリ委員会ヲ県会議事堂ニテ開催ス。正午委員会ヲ了リ、一時ヨリ総会ヲ開ク。各委員長ヨリ委員会ノ意見ヲ報告アリ。最後ニ予ハ食糧問題ノ具体的説明ヲナス。斯クテ会議終了ノ挨拶ヲ述ヘ、三時十五分散会ス。

○中野知事及中越代議士ノ希望ニ依リ、三時半ヨリ県公会堂ニ於テ、林業講習生其他有志計百名ノ為ニ甘藷増産ニ関スル講話ヲ為ス。五時半終了。旅館ニ還ル。此講話ハ相当ニ影響アリシモノノ如シ。

○白澤、菌部、北村、森川四氏ハ散会后別子ヘ向フ。住友鉱業所農林課長猿谷嘉吉氏、会議ヨリノ途次同行案内ス。

○藤岡光長博士ハ林業試験場分場大正試験地ヘ赴ク。佐

藤理事ハ留リテ木炭増産推進運動ヲ為ス。

○堀主事ハ九時四十分発列車ニテ広島ニ向フ。
〔欄外〕

○明日ハ孝宮殿下御誕辰ニ付、藤井御養育掛長ヘ電報ヲ發シ御祝辞言上ノコトヲ依頼ス。

○速記者氏原盛豊氏来訪、發言理事ノ原稿借入ヲ申入ル。会場ニテ漆山氏ト相談ノ結果之ヲ断ル。理事發言ノ速記ハ正確ナラサルモ差支ナキカ故ナリ。

九月三十日(水)晴 暑

○朝、営林局ニ吉田局長ヲ訪ヒ謝意ヲ表シ、且告別ノ挨拶ヲ為ス。次ニ知事官舎及經濟部長官舎ヲ訪フ。更ニ県庁林務課ニ至リ挨拶ヲ述フ。

○九時四十分高知駅發ニテ出發ス。県ニテハ予メ旭駅マテ人ヲ派シ、車中ノ席ヲ占メ置カル。又、駅頭ニハ知事、經濟部長、営林局長等見送ラレ、池田駅マテ佐々木林務課長同車見送ラル。一行ハ漆山、小林(文)両氏ニシテ、徳島県林務課長小坂氏、大阪市清水土地植林会社竹越万里氏モ之ニ加ハル。車中清水氏ノ世話ニナル。又、氏ノ意見ハ甚有益ナリ。

○四時三十一分、漆山氏ト岡山ニテ下列車ニ乗り、五時三十五分笠岡著。旅館伏源方ニ投ス。

○夜斬髪ス。

十月一日（木）小雨 蒸暑

○朝食後、漆山氏ト共ニ威徳寺ニ至リ住職長田曉玄師ニ面シ、乞フテ芋代官泰雲院義岳良忠居士ノ墓ヲ拝シ、読経ヲ捧ク。寺ニ入り位牌ニ向テ焼香シ、参詣ノ事由ヲ述ヘ甘藷写真二葉（丸山氏産紅赤種、磯部氏大株作）ヲ供フ。

○井戸代官ノ陣屋ハ国民学校所在地ニ当リ、今表門ヲ存スルノミナリトノ説明ヲ得、寺ヨリノ帰途旅館ニ寄りテ支払ヲ為シタル上、学校ヲ訪ヒ表門ヲ見テ停車場ニ至リ、九時八分發ニ乗車ス。

○正午吳着。駅前ニテ昼食シ、鎮守府軍法會議ニ電話ヲ以テ法務大佐樋口芳包氏ノ都合ヲ問ヒシニ、上京中ナリト云フ。依テ市役所ニ赴キ鈴木市長ヲ訪フ。同氏ヨリ吳市長トシテノ政治方針ヲ聴ク。又食糧配給問題、水害実状ヲ問フ。

○四時四十分吳發ニ乗ル。白澤、藪部、香坂、森川諸氏及北村氏ト同車ス。此夕広島市羽田別荘ニ於テ知事ノ招宴アリシヲ以テ、一同下車臨席ス。知事宮村氏ハ他ニ出張中ナリシヲ以テ、総務部長、經濟部長、警察部長接待セラル。八時四十六分己斐發、九時八分宮島口

駅下車ニテ宮島ニ渡リ、岩惣方ニ投宿ス。

〔欄外〕

○興三八本日東京帝大理学部地質学科ニ入学ス。

○鈴木吳市長ヨリ、就職シタル顛末ニ付談話アリ。又、市政進行ノ方針ニ付説明ヲ聴ク。市ノ人口問題、食糧其他物資ノ問題等モ出ツ。

○勤王志士宇都宮黙霖ノ事蹟ヲ聞ク。伝記二種ヲ贈ラル。○北村総務部長ハ懇談会后水害地視察ノ便ヲ与フルコトヲ約セラル。

十月二日（金）晴 涼

○第六回林業進行懇談会開催ノ為広島ヘ赴ク。六時二十分一同ハ予ノ室ニ集リテ朝食シ、七時岩惣發。七時三十一分波止場發、七時五十三分宮島口發、八時五十一分己斐ニ下車ス。

○予ハ香坂、白澤兩理事ト知事官舎ヲ訪ヒタル上、会場県農會ニ出頭ス。

○中国六県官民代表、農林省、營林局、鳥取高等農林校等ヨリ集會者九十名。九時二十分開會ス。国民儀礼、開會辞、挨拶（會長代）（知事）（山林局長代）ノ後、（一）木材増産ノ現況及増産対策、（二）薪炭増産対策、（三）挙国造林促進対策、（四）森林組合、（五）其他林業ニ関スル一

般事項所見及質問ノ目次ニ依リ發言アリ。又、以上五種ノ委員長及委員ヲ指名依託シ、二人ノ發言者ヲ剩シ六時三十五分散会ス。

○七時ヨリ精養軒ニ於テ晚餐会ヲ開キ、来会者一同ヲ招待ス。

○八時四十六分己斐駅發、九時八分宮島口著、岩惣方ニ歸ル。

○北村理事ハ会議ニ出席セスシテ歸東シ、香坂理事ハ會議ニテ發言ヲ了リタル後歸京ス。又、田中理事ハ朝鮮竜岩浦ニ在ル令嬢病氣ノ為欠席ノコトトナリシモ、経過良好ナリシタメ来会出席ス。

十月三日(土) 晴 涼

○第六回林業振興懇談会第二日ニ臨ムタメ、昨日ノ如ク出發ス。

○九時半頃、県庁ニ出頭シ經濟部長鈴木直人氏ニ面会シ、八月二十七日ノ風潮害ノ実況、被害ノ地方及狀況並対策等ノ説明ヲ聴ク。又、土木、耕地、農産、水産關係ノ被害ニ付テハ夫々課長ヲシテ説明セシメラル。尚、予ハ食糧増産ニ付特別ノ配慮ヲ依頼ス。

○次ニ宮村知事ヲ訪ヒ挨拶ヲ述フ。又、北村総務部長ヲ訪ヒ食糧増産ニ付依頼ス。

○林業振興懇談会ハ午前中ニテ委員会ヲ終了ス。一時ヨリ総会開会、昨日未了ノ發言ヲ許シタル後、各委員長ヨリ委員会ノ報告ヲ受ク。次ニ予ハ食糧増産ニ付二十分許發言シ、之ニテ會議ノ成果ヲ述ヘテ閉会ノ挨拶ヲ為シ、三時散会ス。

○三時、県庁ヨリ廻サレタル自動車ニ乘リ災害地ヲ視察ス。經理課長事務官石井桂一氏案内セラル。築港及工業ノ為メ埋立地、草津町、井口新街、観音村、宮内村ヲ視察ス。

○五時、宮島口ニテ石井事務官ト別ル。属官一人宮島迄同行案内セラル。依テ岩惣方ニテ晚餐ヲ呈ス。

十月四日(日) 晴 蒸暑

○山口県下風潮害狀況視察ノ程ニ上ル。

○早朝、山口県技師横幕捨次郎氏岩惣ニ来リ案内ス。宮島口九時十八分發、林務課長和田尹氏モ同車シ車中ヨリ説明セラル。

九時四十六分岩国著。山陽パルプ白井四方氏、吉川子爵家安田鐵三氏来リ幹旋セラル。市役所ニ立寄りタル後、被害地ヲ視察ス。海岸堤防ハ本日締切工事成ルト云フ。途上ニテ市長西村茂生氏、市會議長森重半治氏ニ出会ヒテ見舞ノ辞ヲ述フ。

○白井氏ノ好意ニ依リ岩国市錦水軒ニテ西洋料理ノ昼食ヲ為ス。和田課長、横幕技師、安田氏、白井氏同席ス。
○岩国○時十七分發一時三十七分徳山著。富田町長道源権治氏出迎へ直ニ徒歩ニテ潮雲閣ニ至リ、道源氏ノ饗応ヲ受ク。其間被害、救済及善後処置ニ付説明ヲ受ク。
○徳山四時四十五分發車中ヨリ鉄道被害、防府市惨状等ヲ見、五時四十六分小郡著。県庁ノ自動車ニテ湯田山水園ニ投ス。森下長男氏（農林主事）小郡ニ出迎フ。
○夜、和田、横幕、森下三氏ヨリ晚餐ヲ饗セラル。

十月五日（月）快晴 午後雨 冷

○八時四十五分横幕技師来迎ス。乃同車県庁ニ至リ、佐々木知事、渡辺経済部長ニ面会シテ見舞ヲ述へ、被害状況、救済及善後ノ処置ヲ問フ。九時四十分県庁發（自
動車、横幕氏案内）。

○十時五十分小郡發、電車ニテ被害地ヲ通過ス。十一時五十五分宇部市琴芝駅下車。市役所員ニ迎へラレテ市役所ニ入り、市長伊藤勘助氏ニ面会シ見舞ヲ述へ、各種ノ説明ヲ聴ク。市長ヨリ工業倶楽部ニ招カレ昼食ヲ饗セラル。食後市長親ラ港内ノ船舶沈没ノ状況ヲ案内セラル。ソレヨリ市役所ニ立寄り市長ト別レ、自動車ヲ供セラレテ小野田市ニ向フ。被害地ノ中心ヲ通過ス。

○二時、小野田市役所著。市長細迫兼光氏ヨリ詳細ナル説明ヲ聴ク。被害ノ激甚ナル酸鼻ニ堪へス。市役所ハ数日前警察署ヨリ旧庁舎ニ復帰セシトコロニシテ、万事狼藉ヲ極ム。助役小野正助氏ノ案内ニテ千代町伯野次郎氏ヲ見舞フ。惨状名状スヘカラス。慰問ノ辞ナキニ苦シム。此時降雨甚急ナリ。自動車ヲ供セラレテ小野田駅ニ去ル。三時四十二分小野田發、四時四十分下関著。山陽ホテルニ泊ス。

○横幕技師ニ夕食ヲ呈シテ謝意ヲ述フ。氏ハ山口へ帰ル。
〔欄外〕

○林務課長、農務課長福岡友仁氏ニモ面会ス。
○午後七時頃、泰治来訪ス。夕食ヲ供ス。九時三十五分ホテル出發、小倉へ還ル。

十月六日（火）晴 涼

○早朝、ホテルヲ出テ青果市場ニ至リ、果物ヲ索ム。行列買ニ入ラントセシモ忽チ売尽サル。悄悄帰宿ス。
○午前九時二十分發ニテ芦屋ニ向フ。展望車上ヨリ被害地ヲ仔細ニ視察ス。小郡ニ停車中横幕技師態々駅頭ニ送迎セラル。尾道ヨリ牧野良三、鵜澤聰明両氏ト同車ス。七時二十五分三宮駅著下車。阪神電車ニテ芦屋ニ至リ、昇三郎方ニ投ス。昇三郎ハ別子ニ旅行中ニシテ

不在ナリ。

十月七日（水）晴曇 不定 冷

○昇三郎早朝帰宅ス。

○九時過、郷之本ナル安保親王御墓ヲ拝ス。

住友縫之助氏ヲ訪フ。不在ナリ。ソレヨリ芦屋駅ニ出テ三宮駅ニ赴キ、神戸商工会議所ニ至リ野田鏝五郎氏ヲ訪フ。氏ハ正午役員会ニ出席ノ予定ナレハ、食事ヲ為シ二時マテ待チタルモ竟ニ来ラス。已ムヲ得スシテ去ル。家人来リテ大ニ謝罪ス。

○三時頃、三島甫方ヲ訪フ。御両親、直子ニ面会ス。妹モ学校ヨリ帰来リテ面会ス。約四十分ニシテ辞去、芦屋ニ帰ル。

十月八日（木）晴 冷

○朝、荷物ヲ纏メ出発ノ用意ヲ為ス。此時警戒警報発令セラル。三十分ニシテ解除セラル。

○十一時頃芦屋ヲ辞ス。大阪へ向フノ電車ニ故障アリ、打出ニテ折返シ運転ヲ行フ。依テ三ノ宮ニ引返ス。

○三宮駅ヨリ大阪ニ汽車ニテ出ツ。一時半発車、四時十五分岐阜ニ著ス。鈴木寛一兄、技師原二郎氏、名古屋木炭事務所長松尾勉氏、同岐阜出張所長藤岡厲一氏、

属高橋進一氏出迎フ。自動車ニテ長良川ホテルニ入ル。

○農林省ヨリ技師加納秀雄氏来著。山林課長栗原吉雄氏モ来リ打合せヲ為ス。

○一同ニテ夕食ス。

○八時半、鵜飼ヲ見ル。鵜飼ハ十五日ヲ以テ終了シ、同日ヨリツグミ狩開始セラルト云フ。

十月九日（金）雨 冷

○九時三十分、県庁へ出頭。知事野善敦氏ニ面会ス。経済部長ハ病氣ニテ欠席ナリ。部長ノ室ニテ午前中各方面ノ係員ヲ集メ会議ヲ開ク。土木課長、農務課長成長一郎氏、名古屋鉄道局岐阜県駐在員水谷益三氏等之ニ加ハル。

○ホテルニ帰りテ中食ス。十二時半出発、二時根尾村国民学校著。根尾村外二村ノ指導者、製炭者、組合員等二十余名ニ対シテ懇談ス。一同感極リテ異論ヲ発スル者ナシ。大ニ来訪ヲ謝ス。只緑橋ノ修繕ノ速ナルヲ望ム。之ヲ知事ニ通スルコトヲ答フ。

○五時出発、六時四十分ホテルニ帰ル。

○支那料理ヲ饗セラル。会場ホテル附属建物ニシテ阿房宮ト云フ。

〔欄外〕

○中野知事ノ配慮ニ依リ、富山県庁ニ電話シ町村知事ノ都合ヲ問合セタル結果、高山ヨリ十二日富山県往訪ヲ決定ス。

十月十日(土) 晴 冷

○鈴木寛一兄、朝来訪ス。県庁迄同車ニテ別ル。

○九時十分、県庁ニ知事野善敦氏ヲ訪問ス。昨日根尾村ノ状況ヲ報告シ、美登里橋ノ急速修理ヲ依頼ス。「空白」經濟部長ニモ面会ス。又保安課長佐藤薫二氏ヨリ経済事情ヲ聴ク。

○九時五十二分岐阜発、太田ニテ乗換へ、十二時十三分郡上八幡著。バス及徒歩ニテ地方事務所ニ入ル。所長加藤貫一氏、経済課長安藤伊佐雄氏、林産物検査所八幡支所長加藤銈一氏等、大ニ幹旋ス。一行ハ加納、栗原、原、松尾、藤岡諸氏等ナリ。事務所ニテ弁当ヲ食フ。

○一時半ヨリ郡上郡外二村ノ木炭製産指導者、産業組合関係者、運輸業代表者等約五十名ノ集会ニテ会議ヲ開ク。予ハ事務所長ノ紹介ニテ説明ヲ為シ、各員ノ率直ナル発言ヲ求ム。加納、松尾両氏亦説明ス。ソレヨリ各員ノ希望開陳アリ、最後ニ予ハ食糧増産トシテ甘藷増産ノコトヲ説明ス。五時散会ス。

○ソレヨリ中島屋旅館ニ投宿ス。

十月十一日(日) 晴 夕降雨 冷甚

○郡上八幡八・一六発、太田一〇・〇四。同発一〇・〇六、高山一二・四八著。高山営林署長黒柳恒吉氏、御料高山出張所長小池武夫氏、飛驒支庁長代理瀨木孫一郎氏、高原佐吉氏、高原佐太郎氏等出迎フ。

○市内角正方ニテ関係諸官ヲ招キ、精進料理ノ中食ヲ饗ス。

○旅具ハ旅館長瀨方ニ送り一時三十分発車、大野郡丹生川村大洞ナル製炭地ニ向フ。加納、栗原、原、松尾、藤岡、黒柳、小池諸氏同行。林産物検査所高山支所長可児敏郎氏、瀨木属、国府村森林組合技術員峠範次氏案内ス。

○途中国府村蓑輪ニテシドニ強襲ノ勇士海軍二等兵曹都竹正雄氏ノ宅ニ依リ、弔慰ノ意ヲ表ス。帰途同行ノ自動車ヲ捉へ供物ナル栗、柿、棗、枝豆ヲ贈ラレ、留名帳ヲ託セラル。

○製炭地ハ高山ヲ距ル七里許、国府村石川与次郎氏ノ経営ニ係リ、製炭夫三十名アリ。之等ノ人々五十名ヲ集メ推進的講演ヲ為ス。加納技師、松尾技師モ亦講話ス。次ニ予ノ携来レル煙草十箱ヲ頒ツ。五時退出、六時四

十分旅館長瀬方ニ投宿ス。

〔欄外〕

○国府村蓑輪都竹市左氏ヨリ託セラレタル留名録ニ、忠烈照古今ト題シテ、同行諸氏ト共ニ氏名ヲ署ス。又、金十円ヲ香料トシテ贈ル。

十月十二日（月）朝晴 夕曇 冷

○高山ノ一夜ハ寒冷意外ニ烈シ。

○朝、県瓦斯用木炭株式会社々長小林汎氏来訪。瓦斯用木炭ノ製産者ニ対シテハ普通木炭製造者ノ如ク特典ナキヲ懇フ。

○九時十二分高山発富山ニ向フ。技師原二郎氏同車ス。加納技師、栗原課長、梶尾名古屋木炭事務所長、藤岡同岐阜出張所長等ハ岐阜ニ向フ。駅ニハ小池林野局出張所長、黒柳高山営林署長、高原佐吉氏、高原佐太郎氏見送ル。高原氏ヨリ林檎ヲ贈ラル。

○十一時三十三分富山著。県秘書課長金山寛介氏出迎へ県庁ニ案内セラル。原技師ト共ニ町村知事ニ面会ス。知事ニ甘藷栽培ノ状況ヲ問ヒ、且増産ニ関スル希望ヲ述フ。知事室ニテ經濟部長枡本輝義、学務部長井口正夫、警察部長田中唯重、土木部長上田柳一、農産課長阿部春夫氏ニ面会シ、中食ヲ共ニス。

○知事ノ好意ニ依リ技手野手敬二氏案内、射水郡小杉町下条、婦負郡池多村ニ至リ、栽培及収穫成績ヲ見ル。成績千三百貫ニ達スヘシ。

○五時半、富山ホテルニ帰ル。佐藤助九郎氏来訪シ夕食ヲ共ニス。知事モ後レテ来訪セラレ、産業上ノ意見ヲ交換ス。佐藤氏ノ勸ニ依リ、明日出町ノ園芸試験場ヲ見学スルニ決ス。同氏案内ヲ約セラル。

〔欄外〕

○早朝富山県庁ヨリ電話アリ、打合セノ結果明夕ノ寝台車ニ乗ルコトヲ得タリ。

十月十三日（火）快晴 午後曇 冷

○昨夜快眠ス。九時県庁ヨリ廻サレタル自動車ニテ旅館富山ホテルヲ発ス。

○県庁ニ町村知事ヲ訪ヒ、甘藷栽培法改善ノ結果著大ナルモノアルヲ告ケ、品評会開催ノコト知事主催諸掘会実施ノコト、及苗ノ規格ヲ県令ニテ定ムルコト、ヲ依頼シテ挨拶ヲ述フ。又、經濟部長枡本氏ニ同様ノコトヲ依頼ス。

秘書課長金山寛介氏ノ需ニ依リ揮毫ス。又、寝台料ヲ支払フ。

○富山駅ニテ佐藤助九郎氏ト出会ヒ、九・二八発、同五

六高岡著。直ニ城端行ニ乗換ヘ十時二十七分出町著下車。県農事試験場園芸試験分場長松原茂樹氏ノ出迎ヲ受ケ、同車シテ同場ニ至リ、甘藷栽培法実施ノ結果ヲ收穫ニ依テ見学ス。林檎畑ヲモ一覽ス（林檎及葡萄ヲ贈ラル）。

○出町ニ帰り佐藤氏ヨリ水月方ニテ中食ヲ饗セラル。松原場長モ同席ス。

○十二時三十五分出町發。自動車ニテ石動ニ至リ、一時三分發急行ニ乗り、同三十七分金沢著。県庁ニ知事ヲ訪フ。病氣ノ為不在ナリ。經濟部長亦不在ノ為、農産課長の場慎一氏ニ面会シテ、甘藷栽培ニ付依頼ス。農会ニテ技師荒木與逸氏、北岸外良松氏等ニ面会ス。

〔欄外〕

○佐藤氏ノ案内ニテ兼六公園ヲ逍遙見物ス。園内三芳亭ニテ利休茶室ニテ淡茶ヲ饗セラレ、更ニ池畔ノ一室ニテ夕食ヲ饗セラル。連日ノ旅塵立所ニ消散ス（谷村庄平氏世話セラル）。

○八時九分金沢發ニテ東上ス。富山ニテ佐藤氏ト別レ寢台ニ入ル。富山ニテハ佐藤氏ノ分家某氏ト同車東上ス。

十月十四日（水）晴 冷

○昨夜睡眠不足ス。七時四十分上野著。地下鉄ニテ帰宅

ス（九時）。

○終日、不在中堆積セル手紙ヲ見テ返書ヲ認め、又各種ノ用務ヲ処分ス。

○重友ハ健康漸次回復スト雖、今尚欠勤ス。本日モ寛博士ノ診療ヲ受ク。

○要ハ二丁目ノ日本婦人会分會長ニ推サレシト云フ。

○興三八夕刻大学ヨリ帰来ル。

○夕、榛葉康子来訪ス。去六日出仕、拝命（月四五円）、辞任セリトテ挨拶ヲ述フ。又、皇后陛下ヨリ恩賜ノ手筥及硯箱、金二万疋ヲ示サル。要ト夕食ヲ供ニス。

十月十五日（木）晴 冷

○昨夜快眠ス。

○要ハ靖国神社合祀祭ニ付上京ノ遺族案内ノ為、六時前出動、夕帰ル。

○徳川公爵邸ヲ訪ヒ、大夫人ヨリ歌ヲ賜ハリタルヲ拝謝ス。

○十時四十分頃、帝国ホテルニ野田鏤五郎氏ヲ訪問ス。甘藷問題ニ付意見ヲ交換ス。

○正午、中央林業協力会理事会ニ出席ス。後藤會長、漆山、白澤、佐藤、村上、原、田中、小林、マ小林、マ東久世、香坂代須山、本多、井出局長等会合ス。先ツ第七

回林業振興懇談会開催ノ期日、場所及議題ヲ決定ス。
ソレヨリ各種ノ問題ヲ審議シ、最後ニ第五第六回ノ懇
談会ノ状況ヲ報告ス。

○井出局長ニ岐阜県ニ於ケル木炭増産推進状況及所見ヲ
報告ス。

○加納技師ニ電話ニテ謝意ヲ表シ、重要書類ノ紛失ニ付
問合ハス。

○館林ニ電話ニテ、伯野氏方ノ見舞ヲ述フ。又、書類紛
失ニ付岐阜県下調査ノコトヲ依頼ス。

○夕、伊佐勇松氏来訪ス。要、応接ス。

十月十六日(金)晴 冷

○要ハ早朝、靖国神社合祀祭神遺族ヲ見舞フ。

○靖国神社臨時大祭ニ参列拝礼ス。八時四十五分出発、
省線市ヶ谷駅ヨリ徒歩九時三十分社前ニ入ル。

天皇陛下十時御出門行幸アラセラル。次テ 皇后陛下
十時三十分御出門御拝アラセラル。皇族、王公族ノ
拝礼ヲ了リ、参拝シテ退出。市ヶ谷駅ヨリ省線電車ニ
テ帰宅ス。十二時廿分ナリ。

○食後要、敏子ヲ伴ヒ文部省美術展覧会ヲ看覧ス。二時
半ヨリ五時ニ至ル。六時二十分頃帰宅ス。

○興三八浅川方面へ修学旅行ヲ為ス。今夜一泊ノ予定ナ

リ。

○靖国神社ニテ尾崎元次郎氏ニ面会ス。氏ハ去〔空白〕
日静岡市長ニ当選就職シタリト云フ。

○夜、杉本良氏ヨリ電話アリ。同氏本日上京、明日来訪
スヘシト云フ。

○夕、郷秀雄氏ヨリ烏賊ヲ贈ラル。
〔欄外〕

○靖国神社ノ参集所ニ於テ農林大臣ニ面会シ、甘藷收穫
実況ノ視察ヲ求メ同意ヲ得タリ。

十月十七日(土)雨 冷

○朝、貴族院書記官長ノ厚意ニ依リ、九時前東横脇ヨリ
自動車ニ石橋書記官ト同車シ、神嘗祭ニ参列ス。

○宇佐美中将ヨリ、松平直国伯ニ関スル要件ヲ聴ク。

○帰途、青山一丁目郵便局ニテ石橋書記官ト別レ、丸山
方作氏ニ対シ「農林大臣視察セラル。日時場所後トヨ
リ」ト打電ス。

○要ハ遺族諸氏接待ノ為伊佐勇松氏ニ寿司ヲ作ラシメ、
伊佐氏同伴宿舍ニ至リ之ヲ頒ツ。

○鈴木二平日光行ノ途、蝦ヲ山崎方ニ託シ贈ラル。重友
受ケ来ル。

○午後二時頃、杉本良氏来訪ス。同氏今般大政翼賛会静岡支部局長就任ニ付、挨拶ヲ述フ。静岡市長選任ノ件、助役問題ニ付、是迄ノ経緯ヲ話サル（同氏ニ麦作講習会推薦書二枚ヲ呈ス）。

○三島淳三郎氏来訪ス。近日東部第七部隊ニ入営スト云フ。

十月十八日（日）曇 午後晴 冷

○朝、第五回、第六回林業振興懇談会要項筆記ノ整理ヲ為ス。

○終日、今回ノ旅行ニ付世話セラレタル諸氏ニ対スル謝状ヲ認ム。加納技師、町村知事、佐藤議員、松原場長、野手技手、栗原課長、原技師、松尾木炭事務所長、藤岡出張所長、鈴木市長、北村総務部長、鈴木経済部長、石井事務官、白井万里、道源権治等ノ諸氏ナリ。

○朝、世田谷警察署情報係有松厚司氏来訪ス。

○午後、館林三喜男及一也来訪ス。

○久保春海氏来訪。同氏及令息夫妻ノ為ニ揮毫ヲ求メラル。

○遠州学友会幹事鈴木氏《帝大経済》来訪ス。

○夕、角替利策来訪ス。

○要ハ早朝ヨリ英霊遺族ノ為ニ外出斡旋ス。

○栗林新吉氏ヨリ林檎一箱ヲ、名川侃市氏ヨリ梨一箱ヲ贈ラル。

十月十九日（月）曇 午後晴 冷

○朝、井野農相ニ対シ電話ヲ以テ、甘藷栽培実地視察ノ日程作成方ニ付都合ヲ問ヒシニ、今回ハ枢密院ニ於ケル大東亜省官制審議ノ為視察困難ナルヘシト答フ。依テ姑ク機ヲ待ツコトトス。

○武蔵高等学校校長故山本良吉先生百日忌追悼会ヲ同校ニ行ハレシヲ以テ、参会ス。経歴朗読ノ後読経アリ、遺族及学校長等焼香ノ後、追憶談アリ。一木名誉校長、山川校長、和田教授、生徒惣代五百木茂、同窓会代表三井進午、父兄会代表佐野利器、友人鈴木大拙、旧門弟竹内薫兵諸氏演述ス。之ニ対シ遺族代表横井教授挨拶ヲ述ヘテ閉会ス。一同ハ壇下ニ進ミ焼香ヲ為シテ退散ス。時ニ午後一時三十分ナリ。二時帰宅ス。

○水野伊太郎氏母堂来訪ス。要、面接ス。

○農林技師加納秀雄氏ニ対シテ、書類発見ノコトヲ告ケ配慮ヲ謝ス。

○夜、岐阜県ニ於ケル木炭増産推進運動ニ付事実ノ取纏メヲ為シ、且政府ニ提出スヘキ意見ノ内容ヲ検討ス。

〔欄外〕

○三島甫ヨリ電報アリ、直子男児分娩母子共ニ元氣良シト。

○要ハ軍人遺族ノ送別会ヲ宿舍ニテ行フ。

故山本先生遺墨

又遊瀝畔柳光亭 遠燭漂波光耀汀

新柳依々窺宴席 先驚白髮照丹楹

柳光五遊曲 七十二翁

十月二十日(火)晴 冷

○朝、名川侃市氏(梨)、栗林新吉氏(林檎)、石井信氏(甘藷)ノ礼状ヲ發ス。

○文部省東洋文化研究所ニ西信忠氏ヲ訪ヒ、宮下九太郎氏へ贈ルヘキ記念品料金五円ヲ渡ス。

○中央林業協力会ノ臨時理事会ニ出頭ス。漆山、白澤、菌部、香坂、須山、花田技師、岩塚翼賛会実践局副部長、上田全森聯主事、林囑託等参集。(1)大東亜戦争記念林造成費国库支出ノ為、農林省提出ノ林業振興費ヲ承認センコトヲ大蔵省ニ交渉スル件、(2)右造林奨励ノ為本会ニ三班ヲ設ケ委員ヲ指名シ、之ニ対シ政府、翼賛会及全森聯ノ連絡ヲ求ムル件ヲ決定ス。

○右ノ結果、二時ヨリ大蔵省ニ次官、主計局長及第四課長ヲ訪問シタリ。漆山、菌部、香坂三理事同行セラル。

ソレヨリ農林次官ヲ訪ヒシニ不在ナリ。依テ山林局長ニ此事ヲ告ケ、農林次官ヨリ強硬ニ主張セラレンコトヲ求ム(同行漆山、菌部両氏)。

○河西豊太郎氏ヨリ葡萄一籠ヲ贈ラル。
〔欄外〕

○全国治水砂防協会ノ午餐会ニ出席シ、森林伐採ノ極端ナル事実ヲ説明シ、砂防ノ緊急ヲ強調ス。

○三時半ヨリ神田Y・M・C・Aナル興農学園ノ評議員会ニ出席シ、決算及予算ヲ承認シ、且事業ノ説明ヲ聴取ス。

○和田謙三氏来訪。池之上学校ノ為感謝状ノ揮毫ヲ求めラル。

○夜、塩島金一郎氏来訪シ、静岡育英会県費補助ノ要求ニ付知事ニ説明スヘキ材料ヲ渡サル。

十月二十一日(水)快晴 暖

○午前十時三十分發急行ニ新橋ヨリ乗込ミ、静岡へ赴ク。一時四十六分著。県庁ニ出頭藤岡知事ヲ訪フ。不在ナリ。学務部長モ亦不在ナリ。依テ西井総務部長ニ面会シテ、静岡育英会補助金ヲ削減セサルコト、培本塾補助据置ノコト、及西浦農学校へ補助金交付ノコトヲ依頼シテ詳細説明ス。部長ハ快ク了解セラレタリ。次テ

教育課長佐藤忠雄氏ニモ其事ヲ頼ミ、併セテ学務部長
ヘ伝言ヲ依頼ス。

○大政翼賛会支部局長杉本良氏ヲ訪ヒシニ、上京中ナリ。

○静岡市役所ニ尾崎市長ヲ訪ヒシニ不在ナリ。収入役田
中秀夫氏ニ面会ス。

○静岡五・二五―六・三七掛川ニテ帰ル。大村留吉駅へ
出迎フ。

○夜、小柳直吉氏来訪ス。南郷村明朗会ノ状況ヲ報告ス。

十月二十二日(木) 晴 冷

○八時、石野元治郎氏ノ案内ニテ杉谷ナル同氏ノ諸畑ヲ
見ル。小柳氏、石野福松氏、同・氏モ来会ス。成績良
好ナリ。而シテ其中ニ一株二個重量一^(百)七百匁ナルア
リ。之ヲ請受ケテ報徳社へ持来ラシム。

○杉谷部落ノ稲作ヲ視察ス。亦頗佳良ナリ。

○九時四十分、報徳社ニ出頭ス。恰モ第十回自治常会指
導者錬成会アリ。依テ休憩中ニ甘藷及稲ノ成績ヲ示ス。

○十二時二分掛川発ニテ豊橋へ赴ク。恰モ藤岡知事ノ浜
松へ赴クト同車ス。石野氏ヨリ譲受ケタル甘藷ヲ知事
ニ呈ス。又携フル所ノ藪弁当ヲ知事及随員数氏ニ頒ツ。
知事ニ対シテハ、育英会、培本塾、西浦農学校助成ノ
コトヲ依頼ス。又西浦農学校ノ顧問タランコトヲ乞フ。

○一時五十分豊橋ニ下車、二時十一分発ニテ東新町ニ至
リ丸山方作氏ヲ訪フ。丸山氏駅ニ出迎フ。ソレヨリ氏
ノ宅ニ至リ更ニ圃場ヲ視察ス。四時十六分東新町發、
豊橋、浜松ヲ経テ七時三十五分掛川著。

○大日本報徳社ノ講習会ニ至リ、九時十五分迄講演ス。

十月二十三日(金) 晴 午後曇 冷

○八時五十五分発ニテ静岡へ赴ク。一時著、直ニ戸塚重
一郎氏ヲ訪ヒシニ、上京不在ナリ。夫人ニ面会シテ辞
去ス。

○県庁ニ杉本氏ヲ訪ヒ、又市役所ニ杉本氏ト共ニ尾崎氏
ヲ訪フ。麦作講習ノ件、甘藷收穫ノ件及駿河明朗会結
成ノコトヲ話ス。○時十五分発ニテ掛川ニ帰ル。

○一時ヨリ報徳社ニ東遠明朗会立稲品評会審査委員会ア
リ、出席ス。三時半終了ス。

○三時過ヨリ新体制下第十回自治振興常会指導者錬成会
修了式アリ、社長代理トシテ一切ノ事ヲ行フ。

○中央林業協力会理事会ニ欠席ノ旨ヲ打電ス。

○中林協常務漆山氏ヨリ山林局長面会希望ノ由打電アリ。
依テ明朝七時四十分発ニテ上京、中林協ニ出頭ノ上局
長ヲ訪問スヘキ旨返電ス。

○原田喜久男兵長ノ為ニ、碑面戒名ヲ揮毫ス。

十月二十四日(土)曇 午後雨 寒冷

○朝石野元治郎、小柳直吉両氏来訪ス。石野氏ニ対シテハ甘藷ヲ藤岡知事ニ贈呈セシコトヲ報告ス。小柳氏ヨリ、明二十五日東遠明朗会主催甘藷収穫会手配ノ報告ヲ聴ク。

○七時四十分掛川発ニテ上京ス。大村留吉ヨリ野菜一籠、種油一瓶、小麦粉一袋ヲ贈ラル。一時新橋著下車。直ニ中林協事務所ニ出頭ス。漆山氏不在ナリ。

○二時、井出山林局長ヲ訪問ス。林業新聞紙発行ノ件ニ付相談アリ。一応意見ヲ交換スルニ止メテ退出ス。

○山口市横幕捨次郎氏ヨリ松茸一籠ヲ贈ラル。

十月二十五日(日)快晴 寒冷

○朝、静岡県知事、総務部長、教育課長訪問ノ内容ヲ電話ニテ白澤保美氏へ報告ス。又学務部長渡辺信男氏ニハ面会セサリシヲ以テ、依頼状ヲ認め之ヲ発送ス。

○十時、後藤文夫氏ヲ往訪シ、中央林業協力会ノ要務ニ付相談ス。其中ニ林業新聞発刊ノコトアリ、近ク同氏ヨリ直接農林大臣ノ意見ヲ問フコトトス。尚木材供出不振ノ原因、木炭生産量割当ノ不当ニ付テモ所見ヲ交換ス。

○正午、小高秀夫氏ト小坂登代子嬢トノ結婚披露式ニ小坂梅吉氏ヨリ招カレテ出席ス。来会者百六、七十名、盛会ヲ極ム。荒木大将ノ媒酌辞、永井柳太郎氏、岡田忠彦氏、慶大医学部長ノ祝辞、塩澤海軍大将ノ聖寿奉頌、浅野総一郎氏ノ両家及新夫婦万歳三唱アリ、三時散会ス。

○角替太郎市氏ヨリ松茸一籠、石間タミヨリ納豆柿、新居浜市惣開猿谷嘉吉ヨリ松茸一籠ヲ贈ラル。

○男爵稲田昌植氏ヨリ顔兄弟ヲ贈ラル。
〔欄外〕

○朝木檜三四郎氏ヨリ電話アリ、今朝同氏外一名ハ、気賀町西遠明朗会ノ講習会へ赴クト云フ。又、小山谷蔵氏モ同行スト云フ。

十月二十六日(月)快晴 寒冷

○昨夜不眠甚シ。

○漆山常務理事ノ求ニ依リ、十一時半中央林業協力会ニ出頭シ会務ノ相談ヲ受ク。山王ホテルニ至リ中食ス。

○三時過、農林大臣官邸ニ大臣ヲ訪問ス。丸山氏ノ農場視察ノ件ヲ懇請ス。大臣ハ、寸暇ナキモ閣議進捗可能ナラハ十一月八日視察スヘシト約セラル。

○中込香苗氏《青島昌邑路二号華北東亜煙草会社取締役》

去十一日来訪。帝国ホテルニ滞在中ナル由ナルヲ以テ
往訪セシモ、既ニ一昨二十四日出立セリト云フ。

○日本俱樂部ニ至リ会費食料等十九円五錢ヲ支払フ。

○要ハ大日本婦人会北沢二丁目班副班長ヲ集メ、協議会
ヲ為ス。

○町会長阿川昌朝氏、東部第七部隊へ入隊命令ヲ受ケ、
来月一日入隊ノ由ニ付往訪ス。

十月二十七日(火) 快晴 寒冷

○午前九時三十分、徳川公爵家内静岳公御伝記編纂所ニ
出頭シ、井野辺博士等ニ面会シ編纂ニ関シ手伝ヲ為ス。
伊澤多喜男氏、津久井利行氏、中村藤兵衛氏、田口彌
一氏ヲ訪フコトトス。

○十二時、全国治水砂防協会午餐会ニ出頭ス。小泉幹事
長、俵、植原、池田秀雄、大河内子諸氏出席ス。

○一時三十分、農林大臣官舎ニ於ケル農業報国連盟役員
会ニ出席ス。大臣、次官、農政局長、馬政局長官、石
黒理事長、田中理事、後藤大政翼賛会事務総長、加藤
寛治、千石興太郎、小平権一、梅地慎三諸氏ノ外多数
関係者出席ス。大臣ノ挨拶ニ次テ石黒理事長ヨリ、第
三回農業増産報国推進隊中央訓練要綱ヲ説明シ、次テ
各員ノ發言アリテ原案ヲ決定シ、四時散会ス。

○五時、帝国ホテルニ於テ増田次郎氏令嬢結婚披露会ア
リ、出席ス。出席者約二百名頗盛会ナリ。来賓岡田忠
彦、米山梅吉両氏祝辞ヲ述へ、結城豊太郎氏乾杯ヲ為
ス。八時散会ス。

〔欄外〕

○南太平洋海戦ノ大戦果発表セラル。
又八月下旬以来ノ戦果モ併セテ発表セラレタリ。

十月二十八日(水) 晴 寒

○十時、同成会例会へ出席ス。塚本、次田、丸山、中川、
入江、河西、片倉諸氏出席ス。丸山氏ヨリ東京市会議
長辞職ニ関スル報告アリ。傷病将兵慰問団加入ノ件ニ
付相談ス。其他時事観測談アリ。十一時四十分散会ス。

○三時、貴族院ニ出頭ス。松平議長ヨリ静岳公記念事業
準備委員会ニテ決定シタル建碑ノ件ニ付、書記官長ヲ
シテ報告セシメラル。ソレヨリ広く發起人ヲ募集シ、
公爵縁故関係者ヨリ醸金ヲ集ムルコト、実行委員ハ松
平伯ヲ総代トシ各団体代表一名及準備委員(凡テ發起
人ニ加ハルモノトス)トスルコト、醸金ハ一口(金五
円)以上トスルコト。建碑事業ハ第一期事業トシ、時
局安定ノ後ニ更ニ適當ナル計画ヲ為スコト等ヲ決ス。
河田烈、田澤義鋪、宇佐美興屋、鈴木信太郎、斎藤守

園、日赤、東京慈恵会、日本俱樂部等出席ス。

○右申合ニ依リ静岡育英会、葵会へ發起人ノ範圍ヲ示シ参加ヲ求メ、且名簿ヲ提出セラレンコトヲ塩島主事ニ電話ニテ依頼ス。一木会長へハ小林書記官長へ發起人依頼申入ノコトヲ依頼ス。

○黒崎幸吉氏ヨリ莊内柿一箱ヲ贈ラル。又、西郷村明朗会員一同ヨリ治郎柿一箱ヲ贈ラル。

〔欄外〕

○直子二十六日盲腸炎ノ手術ヲ受ケシニ、経過良好ナリトノ速達信書ヲ受ク。

○五時半ヨリ法曹会館ニ第十回松濤会アリ出席ス。来会者四十余名。第十三回卒業者日本製鉄会社企画部長畑俊男氏ノ、本邦ニ於ケル製鉄事業ニ関スル説明アリ、甚有益ニシテ多大ノ感銘ヲ与ヘタリ。

○前田利為侯爵ボルネオニ於テ陣没ノコト発表セラル。

〔空白〕月〔空白〕日ヲ以テ大将ニ任セラル。

要ハ午前九時、大日本婦人会二丁目班結成式ヲ八幡神社ニテ挙行ス。

二時、社務所ニ於テ阿川町会長ノ応召入営送別会ヲ役員会トシテ挙行ス。

十月二十九日(木)晴 冷

○午前中、岐阜県木炭増産推進運動報告ノ材料ヲ整理ス。

○一時三十分、農林大臣官邸ニ於ケル報告会ニ出席ス。

二時開会。農相ヨリ挨拶アリ、次テ石黒忠篤、伍堂卓雄、小平権一、後藤文夫四氏ノ報告アリテ、予モ報告ス。ソレヨリ佐藤銀五郎、君島清吉、熊野英、多久安信諸氏ノ報告アリ。予ハ四時半早退ス。

○五時、中央林業協力会事務所ニ出頭シ、第五回林業振興懇談会ニ於ケル開会挨拶、食糧増産講話及閉会挨拶ノ筆記ヲ校正ス。七時過帰宅ス。

○夕、赤木正雄氏来訪。明日上諏訪へ旅行ニ付打合ヲ為サンカ為ナリ。予不在。夕食後赤木氏ヲ訪ヒテ打合セヲ遂ケタル上、千葉県神代村へ甘藷視察旅行計画ノ相談ヲ為ス。帰りテ井上甘藷会社副社長ト相談セシニ、四日ニ変更ヲ求メラル。依テ赤木氏ニ其旨訂正ス。

〔欄外〕

○笠次雄氏逝去。本日告別式アリシモ会葬セス。

十月三十日(金)晴 暖

○正午、第四十回中央林業協力会理事会ニ出席ス。漆山、白澤、原諸氏出席ス。第二回挙国造林促進運動地方協議会へ漆山常務外一名出席ノコトヲ相談シタルノ外、格別ノ議事ナシ。

○二時三十分新宿発列車ニテ上諏訪ニ向フ。砥河及横河川砂防視察ノ為ナリ。八時三十九分上諏訪著。「空白」県土木部長及砂防課長ノ出迎ヲ受ケ、自動車ニテ半旅館ニ至ル。

先著ノ小泉理事長、俵、八條、西尾、江口各顧問、田中監事、赤木常務理事ト合ス。夕食ヲ共ニス。先著諸氏ハ午後以上ノ視察ヲ為シ、上下兩諏訪神社ニ参拝シ宴会ニ出席シタルナリ（此宴会ハ今井岡谷市長主催ナラン）。

○諏訪マテノ車中甚タ無聊ナリ。今朝受領シタル貴族院ノ地方食糧事情調査報告速記録ヲ読ム。

〔欄外〕

○朝、山崎赶来訪ス。見習士官拝命、休暇ヲ得テ昨夜帰省シタルナリ。重友ト会食セシム。

十月三十一日（土）晴 暖

○三時半頃覚眠ス。五時半貸切バスニテ塩尻峠ニ向フ。四十分ニシテ達ス。徒歩二、三丁ニシテカスミ網茶屋ニ入ル。一同ハ茅葺小屋ニ入りツグミ、アトリ、ヒワ等ノ焼鳥ヲ食ス。又ウイスキー、甘酒等アリ、超満腹トナル。八時頃誘ハレ出テテ網場ヲ視察シ、説明ヲ聴ク。

ソレヨリ茶屋ニ入り江口、小泉両氏ハ主人ノ需ニ応シテ揮毫ス。其他ハ辟易シテ窃ニ退出ス。次ニ嶺上ノ塩嶺館ニ入り楼上ヨリ眺望雄大ナルヲ賞シ朝飯ヲ喫ス。鯉ノ洗身コクシヤウ甚佳味ナリ。

江口、小泉、俵諸氏ハ揮毫ス。其他ハ一枚ノ紙ニ寄書ヲ為ス。十時退出。明治天皇御野立所ヲ拝見ス。十時三十分、自動車ニテ下山、岡谷駅ニ至ル。十一時四十分発、上諏訪ニテ見送ノ諸氏ト別ル。江口氏ハ岡谷ニテ別レ松本へ赴ク。

○二時六分甲府下車。県庁ニ農務課長ヲ訪ヒ甘藷栽培ノ成績ヲ問フ。課長ノ更迭アリ要領ヲ得ス。依テ係官ニ面シテ実状ヲ聴ク。成績佳良ナルカ如シ。三時二十六分發七時三分新宿著、帰ル。

〔欄外〕

○要ハ興三ヲ伴ヒ山崎赴^マヲ訪フ。赴^マ明日帰營スルヲ以テナリ。

○朝比奈アキ子来訪ス。

○三島直子ハ手術ノ經過佳良ナル由、甫ヨリ通知アリ。

○田口弼一氏ヨリ電話アリ、同氏明後日出発朝鮮へ赴クト云フ。依テ彼地食糧事情ノ調査ヲ乞フ。

○薄田鹿兒島県知事ヨリ、本年甘藷栽培成績ヲ報セラル。

十一月一日(日)曇 小雨 冷

○町会長阿川昌朝氏応召入営ニ付見送ル。頗盛会ナリ。

○八幡神社ニ参詣ス。

○敏子ハ明後三日妹節子カ丸尾文治氏ニ嫁クニ付、中泉へ帰ル。

○小山谷藏氏来訪ス。丸山氏ヲ中心トスル農業指導者ヲ結合シテ、食糧増産協会ヲ組織センコトヲ提議セラル。慎重攷究スヘキ旨ヲ答フ。

○午後二時過、志村正一氏来訪ス。静岡中学校同窓会務進行ノ件、名簿作成ノ件、評議員会開催ノ件等ニ付相談ヲ受ク。氏ヲ久保應助氏ニ紹介ス。

○館林マス子来訪ス。柿実ヲ与フ。

○神代村甘藷作視察旅行ニ関シ、日本甘藷会社井上副社長ニ電話ヲ以テ配慮ノ結果ヲ問フ。其結果四日決行ヲ可トシ、自動車ノ用意成レリト答ヘラル。依テ東久世男ヲ誘ヒシニ、三須、山根両男ヲ推薦セラル。依テ両男へ電話ニテ日程ノコトヲ報告ス。夜、赤木正雄氏ヲ訪ヒ人選ノコトヲ相談ス。

○報徳社本社ニ甘藷掘会アリシモ、出動セス。

〔欄外〕

○大東亜省官制発表セラレ、青木一男氏大東亜大臣ニ任セラル。

○各省行政整理強化官制発表セラル。官吏ノ多数ノ異動アリ。

○丸山方作氏ニ書状ヲ呈シ、農相視察ノ場合ニ付取扱方ヲ協議ス。同氏ヨリ本年ノ試験事業ノ内容ヲ報告セラル。

○尾崎元次郎氏ヨリ、中村円一郎氏ノ健康保全ノ為相談シタシトノ書状ヲ受ク。六日出岡スヘシト返書ス。

十一月二日(月)快晴 暖

○明後四日、千葉県神代村甘藷栽培成績視察ニ付、諸方へ電話ニテ勧誘ヲ為ス。

○明治神宮国民錬成大会ハ、天覧、台覧アラセラルタルヲ以テ陪看ス。十一時二十分入場、両陛下十二時十分臨御遊ハサル。ソレヨリ特別演練番組ニ依リ十三種目ノ体操、武道、競技、行進アリ。三時三十分頃修了ス。両陛下還御ノ後帰宅ス。群衆四万ニ上ルニ拘ラス少シモ混雑ナシ。

○志田収氏夫人夕刻来訪ス。

○早朝、塩尻ヨリ贈ラレタル小鳥ヲ料理ス。

○要ハ七時ヨリ組長常会ニ出席シ、深夜迄帰宅セス。十時過帰ル。

十一月三日（火）快晴 暖

○池之上国民学校ニ於テ、午前八時明治節祝賀式ヲ举行セラルルニ依リ出席ス。学校会役員十名計リ出席ス。

○杉本良氏十時過來訪ス。集会廃滅、参詣省節等ニ付話ス。

○千葉市増田正直氏ヨリ電報アリ。「明日オトメス」トアリ。蓋シ明日オトモスノ誤ナラン。同氏今朝來訪ノ由昨日電話アリシモ、竟ニ來ラス。

○池之上学校ニ二丁目鍊成会アリ、祝賀式ノ帰途不参ヲ断ル。

○午後二時、宮城ニ参賀ス。帰途伊夫伎準一氏ト電車ニテ帰ル。

○途上星野輝興氏ニ出會フ。退官セシ事情ヲ話サル。

○夕、池之上学校ニ設備セシピアノ資金募集ニ付、多数ノ会員ヲ募リ巨額ノ釀金ヲ集メタル婦人会員ニ対スル感謝状ヲ起草シ、印刷用原版紙ニ之ヲ浄書シ副会長和田謙三氏へ送付ス。

○館林一也、葉子午後來訪ス。夕食ノ後帰宅ス。

○要ハ大日本婦人会ノコトニテ忙シ。又、午後恵泉女学院展覽会へ行ク。

〔欄外〕

○夜七時、第三組常会ヲ開ク。野菜配給制実施ニ付之カ

報告ヲ為シ、組中ノ了解ヲ求ム。

十一月四日（水）晴 暖

○七時二十分、赤木正雄氏ノ來訪ヲ受ケ直ニ出發ス。八時五十八分両国発列車ニテ、千葉県神代村甘藷増産実況視察ヲ為ス。同行ハ俵孫一、江口定條、男爵三須精一、男爵山根健男、赤木正雄氏博士ノ諸氏ナリ。日本甘藷馬鈴薯会社ヨリ、社長岩瀬亮、副社長井上健彦、技師西田悦夫、秘書課長福地誠助、同千葉出張所長池沢勇諸氏及千葉県社会事業主事増田正直同行斡旋セララル。佐原駅ヨリ神代村收入役某氏出迎ヘラル。笹川ニ下車≒十一時五十五分≒。石井信氏出迎フ。直ニ自動車≒甘藷会社用意≒ニテ神代村平山村長吉田知三氏宅ニ赴ク。《農会長向後省三、組合長某氏、学校長木内正毅氏、收入役石井信氏等》多数來会者アリ。農会長ヨリ甘藷増産計画実施由來及本年作柄ニ付報告アリ。吉田氏ヨリ厚キ午餐ヲ饗セララル。

一同ハ食後吉田氏圃場、第二位多收穫者某氏（收穫中）ノ畑、石井氏ノ畑及貯蔵窯、普通方法ノ畑作、倉庫等ヲ視察シテ、吉田氏方ニ帰り茶菓ヲ饗セララル。其間有益ナル談話ヲ聴ク。四時吉田氏邸發笹川ニ至ル。

○四時四十分笹川發（《村長、收入役、農会長、石井氏等

多数見送^シ、七時廿五分両国著。省線電車ニテ渋谷ヲ
経テ、八時過帰宅ス。鶏卵及自然薯ヲ贈ラル。

〔欄外〕

○神代村成績（反当）

一等 一、八一五 ^{（其）} 石井信氏

二等 一、六五〇 某氏

○橘村成績（千貫会）

一、五七五 清水利一 一、五〇〇 川口由松 一、

三五〇 清水治太郎 一、五〇〇 保立一二雄 一、

二六〇 林善作

岩田勝 野々清高 保立勲 清水嘉一 岩田理一郎

野々兵衛 保立貴七 林豊次 田谷貞三 保立喜平

保立博 石毛英一郎 野々市太郎 林健三郎 清水仲

保立裕助 林忠一 岩田甚助 保立政一 保立和一

以上二十名 各千貫以上

十一月五日（木）晴 冷

○午前中、神代村吉田知三、向後省三、石井信、三氏へ

謝状ヲ認ム。又増田正直氏へモ認ム。ソレヨリ富山県

食糧課長、赤沼千尋両氏へ謝状、伊藤保三郎、服部源

太郎両氏へはかきヲ認ム。

○午後、電話ヲ以テ農林大臣秘書官青木氏ヲ煩ハシ、来

八日農相丸山農場視察ノコトヲ乞フ。大臣ヨリ政務多
忙ノ為視察シ難シトノ返事ヲ受ク。依テ此事ヲ丸山氏
へ電報シ且書状ヲ以テ詳細ヲ報告シ、他日ヲ俟ツヘキ
ヲ求メ速達ニ付ス。尚、本年ノ成績ヲ纏メ各地ノ報告
ヲ蒐集セラレンコトヲ求ム。

○袴田銀蔵氏へ書状ヲ発シ農相ノコトヲ報シ、本年度甘
藷指導者タリシ講師ニ対シ各地ノ報告ノ提出ヲ求ムヘ
キコトヲ希望ス。

○瀬古賞勲局総裁ニ書状ヲ呈シ、榛葉良男氏へ恩賞ノコ
トヲ問フ。

○中央林業協力会ニ出頭シ事務ヲ処理シ、旅費ヲ受ク。

○五時、戸塚昌宏氏二女昌子、秋元〔空白〕氏ト結婚披

露会アリ、大東亜会館ニ出席ス。席上井野農相ノ紹介

辞アリ、河本元一氏、予、其他数名ノ祝詞演説アリ。

八時散会ス。

〔欄外〕

○疋田通之助氏逝去、明六日午後二時鷺津ニテ葬儀ノ由、

嗣子徹郎氏ヨリ電報アリ。之ニ対シ明日参会出来サル

旨返電ス。

○柴田氏ト右ニ付打合セヲ為ス。

清浦伯、本日熱海ニテ薨去セラレシ由ヲ聞ク。

十一月六日(木)曇 寒冷

○十時発列車ニテ静岡へ赴ク。尾崎、三橋両氏ニ面会ノ為ナリ。

一時八分著。迎へラレテ、日本橋方ニ至ル。中村円一郎、三橋四郎次両氏ニ面会ス。おはぎ、稲荷すし、鯉こくノ御馳走ニナル。何レモ特大ナリ。中村氏ト別レ三橋氏ト市役所ニ至リ、尾崎氏ニ面会ス。用件ハ中村氏ノ将来ニ関スル件ニシテ、三五、遠州両銀行合併進行ニ伴ヒ、各種ノ困難続出ノ見込ナル由ナリ。

○藤岡知事ノ求ニ依リ県庁ニ知事ヲ往訪ス。知事ヨリ、皇太后陛下并秩父宮殿下ニ甘藷献上ノ為、選定ヲ服部源太郎氏ニ依頼シタシトノ相談ヲ受ク。仍チ直ニ之ヲ受諾シ、市役所ニ帰りテ同氏ヲ呼寄セシニ不在ナリ。依テ用件ヲ認め特使ヲ以テ之ヲ送ル。

○静岡発五時廿五分ニテ掛川ニ帰ル。駅頭ニ三橋氏見送ラル。

○村明朗会員十名計集会アリ。本日河西凜衛教諭ヨリ麦磐田三徳ノ配布ヲ受ケタレハ、之ヲ分配スル為ナリト云フ。各地ニ於ケル甘藷成績ヲ聴ク。

十一月七日(土)晴 暖

○六時四十四分掛川発ニテ金指ニ赴ク。駅へノ途中ニテ、

服部源太郎氏ノ静岡ヨリ来リ訪ヘルニ出会フ。依テ駅ニテ所用ヲ弁セシニ、服部氏モ金指迄同車ス。車中ニテ用件(甘藷献上ニ付選定方法ノ指示、西駿明朗会會長ニ尾崎氏ヲ推シ、伊藤氏等ニ適當ナル地位ヲ与フル件)ヲ相談ス。八時十八分金指著。河西教諭、小柳氏ヨリ電話アリシトテ出迎フ。直ニ農学校へ赴ク。

○伊藤恒治氏ハ駅ヨリ同行、樽井虎一、石原民次郎両氏ハ夫々自宅ヨリ来会ス。用談ヲ了リ井伊谷村ニ至リ、共同藪作場ニ於テ新野治氏ノ分ノ採収ヲ見ル。村長、農会技手等来会ス。

○伊藤恒治氏ニ将来ノ希望ヲ問フ。予ノ考方ヲ告ク。

○十時三十六分発ニテ佐久米へ赴ク。石原氏同行ス。万楽館ニテ中食ス。

○一時佐久米発、汽艇ニテ二時鷺津著。疋田氏ヲ弔問ス。全家、埋骨ニ赴キ不在ナリ。遺影ニ向テ焼香シ香料金十円ヲ呈シテ去ル。停車場ニテ待合中養嗣子徹郎氏来リ面会ス。二時三十六分発豊橋ニ至リ、三時十分豊橋発、八時十八分品川著帰宅ス。

〔欄外〕

○敏子中泉ヨリ帰来ル。

十一月八日(日)快晴 冷

○財団法人興農学園ノ記念式ニ列席ノ為、西浦村へ赴ク。
東京駅八時発、十時三十九分沼津著。学園ヨリ出迎ノ
自動車ニ分乗シ十一時半頃到着ス。一行ハ白澤理事長、
小坂夫人、田中次郎氏、同夫人、齊藤惣一氏、清水麻
布中学校長、其他多数ニシテ、十五六名ニ達ス。又、
三津ニテ岡部長景子モ一行ニ行ハル。

○先ツ校舎ヲ見テ旅館〔空白〕方ニテ中食ス。一時ヨリ
新築中ノ校舎ニテ落成式兼記念式ヲ行フ。白澤理事長
ノ挨拶、大谷校長ノ謝辞、来賓松前重義工學博士、岡
部子爵、河井、清水校長ノ祝辞アリ、了テ甘藷二株ヲ
展覧ニ供セラル。一同ハ更ニ渡瀬翁ノ記念碑ヲ拝シ、
農場ヲ視察ス。

○帰途、岡部子ニ招カレテ三津ナル同氏別荘ヲ見ル。風
光雄大真ニ快心ノ居ナリ。

○沼津五時十四分発掛川著七時四十三分ニテ帰村ス。白
澤博士来泊ス。

○袴田銀蔵、松井二郎、小柳直吉三氏来リ待居タリ。袴
田氏ハ報徳社用務ヲ以テ、松井氏ハ大株作甘藷ヲ持来
リ在リ。白澤氏大ニ感動ス。

十一月九日(月)晴 寒

○早朝、小柳直吉氏来訪。同氏栽培ノ白飯郷一株ヲ持来

リ白澤博士ノ看覧ニ供ス。

○白澤博士ト同道、奈良へ赴ク。掛川八・二九一一・
四二名古屋○・五三一―一・五八龜山二・〇〇―三・三
○奈良ナリ。駅ヨリ人力車ニテ奈良ホテルニ入ル。先
著ノ漆山、佐藤諸氏ニ会フ。

○県庁ニ出頭シ知事堀田健男氏ニ面会シテ挨拶ヲ述フ。
又、内政部長井上文介氏ニモ面会ス。ソレヨリ林務課
ニ至リ課長安藤得美氏、技師向井長平氏、事務官竹原
萬兵衛氏等ニ面会シテ、ホテルニ帰ル。

○六時三十分、月日亭方ニテ堀田知事、〔空白〕県森聯会
長及北村県林材会社々長ニ招カレ、鄭重ナル饗応ヲ受
ク。協会ノ理事、職員全部出席ス。

○佐藤助九郎氏、岡娘正子、大谷米十氏ト結婚、披露余
ヲ招カレシキ出席出来ネ。

○夜、後藤会長ヨリ欠席ノ旨ノ電報ヲ受領ス。

十一月十日(火)晴 寒

○第七回林業振興懇談会ハ午前九時ヨリ奈良県公会堂ニ
開カレ、奈良、京都、大阪、和歌山、三重及滋賀六府
県ノ官民有力代表者約百名出席ス。

九時半開会。開会辞(漆山)、会長代挨拶(河井)、知
事挨拶、大阪営林局長挨拶アリテ後、議事ニ入ル。正

午休憩。此時庭苑ニ於テ鹿寄セヲ看覽ス（撮影アリ）。午後、會議ヲ続行シ發言者三十八名。六時三十分散会ス。

午後ノ開會劈頭四ノ委員会ノ組織ト共ニ委員長、委員ノ氏名ヲ報告ス。

○七時ヨリ奈良ホテルニ於テ來賓一同ヲ招キ晚餐会ヲ催ス。予ノ挨拶ニ次キ堀田知事謝辞ヲ述フ。八時半頃散会ス。

会食中、白澤博士腦貧血ニテ倒ル。医ヲ招キテ手当ヲ加フ。經過良好ニシテ速ニ意識ヲ回復ス。

十一月十一日（水）晴 寒冷

○昨日、寒氣強カリシヲ以テ感冒ニ罹ル。

○九時前、県公開堂ニ至ル。四種ノ委員会ハ何レモ九時過ヨリ開会シ、正午前後ニ終了ス。

午後一時開会シ各委員長ノ委員会報告ヲ聴ク。

ソレヨリ予ハ会長代理トシテ總括的所見及謝辞ヲ述へ、二時散会ス。

○二時ヨリ約三十分ニ亘リ食糧増産トシテ甘藷及麦ノ栽培方ヲ説明ス。聴衆ニハ農務課ノ技術官モ加ハリ、一同大ニ拍手ヲ送ル。

○三時ヨリ大東亜戦争記念林実施ノ為、四府県林務課長

及有力代表者ノ打合会ヲ開ク。漆山常務理事座長トナリテ審議シ、五時終了ス。

○白澤博士ハ急速回復シ、本日委員長ノ職ヲ遂行セラレタリ。

○十時頃ヨリ帝室博物館ニ至リ古代仏像ヲ見ル。係官ノ説明ヲ聴ク。漆山氏同行ナリ。十一時四十分頃辞去ス。〔欄外〕

○朝、食堂ニテ徳川慶光公ニ謁ス。薄茶ヲ呈ス。

○「西遠明朗会長森口淳三氏ヨリ甘藷ヲ贈呈セラレヘキ由」、甘露寺侍従次長、大谷皇太后宮大夫、吉島高松宮附事務官へ書状ヲ発ス。

○四時頃、県庁ニ堀田知事ヲ訪ヒ謝意ヲ表ス。内務部長井上氏ニモ面会ス。

十一月十二日（木）晴 暖

○北村林材会社々長ノ招キニ依リ奈良県内吉野林業ヲ視察ス。白澤、佐藤両理事、漆山常務ノ外西村営林局長、吉江營業部長、安藤県林務課長、堀、楠、宮崎三主事同行ス。経ル所左ノ如シ。

奈良ホテル八・二〇―八・四五櫃原神宮（参拝）九・

〇〇―一〇・三〇上市駅一〇・四〇―一〇・三〇川上村迫、丹生川神社（参拝）一一・四〇―一二・〇〇上多古

(玉屋ニテ中食。鶏肉《スキヤキ》及栗飯ヲ饗セラル)
一・二〇―一・三五上谷字焼尾(北村氏ノ林業視察)
二・二〇―二・四〇上多古―四・三〇吉野町桜花壇
○北村氏ノ饗応ニテ六時三十分桜花壇ニテ晚餐会ヲ開カレ一同出席ス。

○本日ハ全程自動車(大阪営林局長提供)ニ依リシヲ以テ軽快迅速ニ行動シタリ。然ルニ塵埃多ク咽喉ヲ害シタリ。

十一月十三日(金)晴 暖

○早朝、揮毫数葉ヲ為ス。本日ノ行程左ノ如シ。

桜花壇九・一〇―九・二〇塔尾陵九・三〇―如意輪寺
一〇・一〇―一〇・二〇竹林院一〇・四〇―一〇・四
五吉水神社一〇・〇〇―一〇・〇五蔵王堂一〇・二〇
―一〇・二五皇居址一〇・五〇―一〇・一〇吉野貯木
場(中食、協議、撮影)二・二〇―二・五八吉野口駅
《以上自動車。之ニテ一行ト別ル》。

○吉野口駅二・五八―四・五六和歌山。駅ニハ技手板屋辰雄氏出迎へ、自動車ニテ新和歌浦望海楼旅館ニ入ル。
○板屋技手ニ晚餐ヲ饗シ、甘藷増産ノ実情ヲ聴取ス。七時頃、技師宮崎重雄氏来訪。八時頃、名田村ヨリ帰来レル甘藷主任技師綾野菅雄氏来訪シ、甘藷増産、麦増

産計画ニ付協議シタル結果、各種ノ試案ヲ提出ス。又、東西両牟婁郡ノ米作ヲ麦甘藷作ニ轉換スルコトヲ勧告ス。

三氏十時頃去ル。板野^{ゴウ}技手ハ今夜出發新宮方面へ、綾野技師ハ明早朝名田村へ出張スト云フ。

十一月十四日(土)雨 寒冷

○感冒稍昂進ス。依テ旅行ヲ中止シ速ニ帰京ノコトニ決心ス。

○九時過、宮崎技師来訪ス。自動車ヲ雇ヒ県庁ニ出頭シ、農務課長事務官栗山廉平氏、經濟部長鶴田義隆氏ニ面会シ、甘藷苗規格ノ公定、栽培地交互視察、知事ノ諸掘り実行、実物展覧会、品評会、紙芝居採用ヨリ進ンテ、和歌山県下食糧自給自足政策ノ断行ノコトヲ進言ス。

知事廣瀬永造氏病臥中、内政部長坂田啓造氏上京中ナルヲ以テ、刺ヲ通シテ去ル。林務課長(空白)氏ニモ面会ス。

○和歌山一〇・三〇―一〇・三五天王寺ニテ大阪ニ入ル。南海ビルニテ中食シ、住友及営林局へ電話ス。斬髪ノ後、自動車ニテ営林局ニ至リ荷物ヲ受取り、自動車ヲ供セラレテ大阪駅ニ至リ、荷物ヲ預ケテ四時頃芦屋昇

三郎方ニ入ル。昇三郎出張中ナリ。

〔欄外〕

○五時、甲南病院ニ直子ヲ訪フ。母子頗佳ナリ。吉野上市産鮎壽司、山葵及鰻頭^{マヅ}ヲ贈ル。五時半頃、三島母上来院ス。六時辞去、芦屋へ赴ク。七時著、一泊。
○要ハ五時大阪著ニテ芦屋ニ来ル。高子ハ史郎ト共ニ駅ニ迎ヘシモ行違トナル。

十一月十五日(日)晴 午後曇 冷

○昨夜、風雨強カリシモ、朝来好晴トナリ寒冷加ハレリ。
○感冒昂進セスト雖、静養ヲ兼ネ帰村スルニ決ス。
○九時頃、要ト共ニ芦屋宅ヲ出テ、要ハ甲南病院ニ直子ヲ見舞ヒ予ハ大阪駅ニ向フ。
○十時二十分大阪発三時五十三分浜松著。四時九分発ニ乗リ四時四十五分掛川著、帰宅ス。
○明朝丸山氏往訪ノ旨、米原ヨリ同氏ニ打電セシニ、来訪ヲ待ツ旨返電アリ。

○夜、小柳直吉氏来訪ス。南鄉村、西鄉村、土方村、浜松市ニ於ケル甘藷増収成績ニ付報告アリ。又、村内麦作模範地実行計画、村内共同苗代、田植実施対策ニ付報告アリ。後者ニ関シテハ相当ノ尽力ヲ要スルモノト認め、丸山氏ノ東遠明朗会稲作品評会ノ時ヲ利用セン

コトヲ勸ム。

十一月十六日(月)晴 夕曇 冷

○昨夜快眠。少シク頭痛アリシモ丸山氏往訪ニ決ス。
○七時二十二分掛川発八時五十五分豊橋著。九時十五分吉田発十時東新町下車。丸山氏ニ迎ヘラレテ同氏宅ニ至ル。先ツ眼疾ヲ見舞ヒ、甘藷成績品展覧会実行出来難キヲ告ク。又、氏ヨリ北海道ヲ初メトシ各地ノ成績ヲ聴キ、甚心強キヲ感シタリ。ソレヨリ圃場ニ出テ、(一)苗ノ優劣試験、(二)各品種ノ収量試験、(三)貯蔵根発育試験、(四)肥料ノ有無及施肥時期試験等ヲ視察ス。孰レモ甚有益ナル実験ナリ。中食ヲ饗セラレ一時十九分東新町発ニテ帰ル。吉田駅マテ丸山氏同車見送ラル。氏ハ之ヨリ浅岡病院ニテ眼ノ治療ヲ受クト云フ。
○二時三十分豊橋発ニ乗ル。七時三十三分品川著、渋谷ヲ経テ帰ル。一同健在ナリ。

十一月十七日(火)風雨 寒冷

○今曉嘔吐ス。起床七時四十分。腹工合快癒ス。感冒去ル。
○十一時マテ不在中ノ所用ヲ処理ス。其中ニハ京城田口彌一氏ノ書翰アリ、甘藷栽培指導者派遣ニ関スルモノ

ナリ。氏ハ十七日滿洲ヨリ京城ニ還リ、十八日出発帰京スト云フ。依テ「昨夕帰京、貴簡拝謝。」ト云フ希望ス。委細拝眉決メタシト返電ヲ發ス。

○十二時、治山治水協會ニ香坂理事長ヲ訪ヒ、要談ス。

○正午、全国治水砂防協會午餐會ニ出席ス。小泉、俵、勝、池田、小林、田中、大河内子、西尾子、澤田、矢吹男、真田諸氏出席ス。末次會長ヨリソロモン海方面戦争ノ大要ヲ聴ク。赤木常務理事ヨリ、西原氏報告ニ係ル土地改良ニ依ル稲作増収実績ノ対照表發表アリ。小山代議士ヨリ食糧増産協會結成ノ發議アリシニ対シ、予ハ全国的結成ニ先チ地方的実行者ノ結合ヲ強調ス。各員多数、予ノ意見ヲ贊ス。

○中央林業協力會ニテ二時半ヨリ三時半マテ執務ス。

○四時過、軍人会館ナル静岡育英會理事會ニ出席ス。貸費生採用ノコトヲ決定ス。静岡飯田主事ヨリ、県費補助額ハ原案不削減ニ決セリトノ教育課長ノ報告ヲ聴ク。

〔欄外〕

○県下中等（男子）学校教頭ノ戸山学校見学団ト育英會理事トノ會談アリ、社長出席挨拶ヲ述ヘラル。ソレヨリ理事トノ懇談會アリ、予ハ一寸出席セシノミ。

○遠州学友會秋季例会ニ出席ス。先輩一木會頭、伊藤、村尾、桜井、垣内、松井、石川、中山、八木、児玉、

鈴木其他、学生二十名、総計三十四五名出席ス。一木會頭ノ訓示ハ懇切ヲ極メ、青年学生ノ進路ヲ示ス。児玉氏ノ講話甚適切ナリ。各員自己紹介及意見ヲ發表ス。九時過散會。

十一月十八日（水）晴 寒冷

○病氣殆全癒、氣分宜シ。

○朝、丸山方作、海瀨定一、袴田銀蔵、小柳直吉、牧島忠夫等ノ諸氏ヘ発信ス。又、田口弼一氏ニ明日ヨリ旅行ノコトヲ通ス。

○一時半頃、築地本願寺ニ於ケル故倉元要一氏ノ告別式ニ至リ、焼香ス。

○中央林業協力會ニ漆山常務理事ト會談ス。

○館林ヲ内務省ニ訪問シ、自動車専用設備許可ヲ警視庁ヨリ得ンコトヲ依頼ス。

○赤木正雄氏ヲ訪ヒ、去月末諏訪旅行ノ費用ヲ支払フ。

○漆山氏眼疾ニ罹リ治療ノ要アルヲ以テ、氏ヲ千葉医大伊東博士ニ紹介シ、博士ニ対シ依頼狀ヲ發ス。

○夜、東京精密機器製作所主久保田経二氏（吉田村出身、柏木□□□□住）来訪ス。氏ヲ松浦永次郎中将ヘ紹介ス。

○報徳社ヨリ、千葉県笹川町利根川内ニ五百町歩ノ開墾

適地アル由ヲ報シ来ル。依テ赤木氏ニ依頼シテ之カ調査ヲ為ス。

〔欄外〕

○朝、伊佐勇松氏来訪ス。其結果、新潟県南魚沼郡東村、浦佐村、古志郡石津村釜ヶ島へ講演旅行ノコトヲ決シ、日程ヲ作ル。

○学習院教授久野朔郎氏ヨリ沼津市須田病院ノ場所等ヲ照会シ来ル。依テ笈夫人ニ問ヒテ返書ヲ認ム。久野氏ハ腎臓結石ヲ患フト云フ。

○第三次ソロモン海戦ノ経過発表セラル。

十一月十九日(木) 晴 暖 夕曇 寒

○伊佐勇松氏ノ需ニ依リ、食糧増産運動ノ為新潟県へ赴ク。午前十一時三十五分上野発、午後五時一分浦佐着。伊佐氏、東村々長佐藤五市氏及浦佐村石田廣吉氏ノ出迎ヲ受ケ、自動車ニテ東村雷土栗原佳隆氏方ニ至リ宿泊ス。佐藤村長ノ外農会長上村覚之助氏、三用国民学校長伊倉義雄氏等ニ面談シ、夕食ヲ共ニス。

○夜、東村農業ノ状況等ヲ聴キ、問ニ応シテ答フ。蕎麦ヲ饗セラル。鯉汁ヲ初メトシ各種ノ珍羞山ノ如シ。

十一月二十日(金) 晴 冷

○本日ハ珍シキ好晴ナリ。駒ヶ岳、中ノ岳、八海山等白雪皚々トシテ朝暉ニ赫灼タリ。朝食ニ餅ヲ饗セラル。

○九時過、東村赤石国民学校ニ自動車ヲ馳ラス。十時過ヨリ村有志、学校職員等四十名計リト会谈ス。甘藷増産ニ関シ其必要ト実行性トヲ述ヘテ、明年度必行ヲ力説ス。一同感銘セシカ如シ。次テ学校児童ノ為簡單ナル訓話ヲ為ス。十二時退出、栗原氏方へ帰ル。

○栗原氏方ニテ中食シ、一時ヨリ徒歩三用国民学校へ赴ク。同校ニハ米麦以外ノ農産物共進会アリ、之ヲ一覽ス。ソレヨリ村民有志六、七十名ノ為ニ甘藷増産ヲ説キ必行ヲ勸ム。四時終了ス。栗原氏方ヲ辞スル時、金十円ヲ贈ル。

○四時過、浦佐村長湯本嘉平治氏ノ出迎ヲ受ケ同車、同氏宅ニ至リ一泊ス。夕食後湯本氏ノ需ニ依リ普光寺本堂ニ至リ、村民八九十名ニ対シテ甘藷増産ヲ説ク。九時半還ル。郵便局長関久治氏ハ報徳ヲ信奉シ、信用篤ク有力ナリト云フ。

十一月二十一日(土) 曇 雨 寒冷

○昨夜再降雨アリ、陰冷ヲ覚ユ。湯本氏夫妻及巖君(空白)氏(七十八才)、同夫人接待大ニカム。今朝ハ咽喉痛ミ心地悪シ。

○十時、浦佐村役場ニ出頭シ、十二時マテ報徳ノ精神及結社ノ実例ニ付説明ヲ為ス。

○湯本氏方ニテ伊佐氏ノ製セル鮓ヲ中食トス。去ルニ臨ミ金十円ヲ呈シ、謝意ヲ表ス。

○浦佐村石田廣吉氏ハ伊佐氏ノ親友ナリ。昨日三男出生シタリトテ予ニ命名ヲ求ム。仍テ正吉ト命シ、命名書ニ之ヲ誌ス。

○湯本氏ノ案内ニテ普光寺毘沙門堂ニ参詣ス。ソレヨリ浦佐駅ニ至リ、二時三十七分發ニ乗ル。湯本氏、同父君ハ態々荷物ヲ持チテ来リ送ラル。又、上村東村農會長モ特ニ見送ラル。

○三時三十五分宮内著。四時二十三分同發（十分遅延）四時三十二分来迎寺著。石津村ヨリノ出迎ヲ受ケ、暗中徒歩五時半釜ヶ島伊佐伊吉方ニ至リ一泊ス。同地養誠会幹部来リテ接待セララル。

○八時過ヨリ十時半マテ同所国民学校ニ於ケル座談会ニ臨席ス。

〔欄外〕

○湯本氏ノ為ニ数葉揮毫。

○宮内ヨリ来迎寺迄ノ車中ニテ雪洞庵住職新井石龍師ニ出会フ。塚山長谷川氏分家へ赴クト云フ。

十一月二十二日（日）曇 午後晴 暖

○午前九時半、国民学校ニ於テ講演会開催セラレ出席ス。第五六学年児童ノ外、村民男女百余名出席ス。(1)先ツ児童ニ対シテ講話シ、(2)次ニ大東亜戦争ニ対スル所感ヲ述ヘ、(3)進ンテ甘藷及米麦増産ヲ説キ、相当ノ反響アルヲ見タリ。十二時半終講ス。

○校長ノ需ニ応シテ校訓三則ヲ執筆ス。

○朝、伊佐伊吉氏ノ需ニ依リ揮毫七八葉。

○昼食ヲ饗セラレ、一時伊佐氏方ヲ出發来迎寺ニ向フ。

伊佐氏ヲ初メ有力者数名川端マテ見送り、人力車ニ後押シヲ付ス。勇松氏及校長ハ来迎寺マテ来ル。

来迎寺二・二五―二・三三来迎寺。来迎寺三・三九―八・二〇赤羽―池袋―渋谷―池之上ニテ、九時頃帰宅ス。

○夜十時二十分頃警戒警報發令セララル。

十一月二十三日（月）曇 冷

○朝、落合英司氏来訪ス。氏ハ目下応召、静岡ニ勤務中ナリ。近クスマトラ方面へ赴クヘシトテ来訪セルナリ。重友ヲシテ二葉亭へ伴ヒ昼食ヲ饗セシム。

○大政翼賛会ノ新穀感謝祭ニ参列ノ為、一時明治神宮へ赴ク。参列者約三百名、頗盛会ナリ。式畢テ神酒ヲ頒

タル。翼賛会副総裁安藤中将ノ挨拶、吉田委員長ノ謝辞、来賓惣代井野農林大臣ノ謝辞アリ、三時半頃帰宅ス。

○北沢二丁目大日本婦人会ハ、一時ヨリ池之上国民学校ニ開催セラル。警戒警報発令中ナルヲ以テ、開否ニ付齟齬アリシモ、滞ナク実行スルヲ得タリ。

○夜十時頃、大森健一郎来訪、宿泊ス。

十一月二十四日（火）晴 暖

○早朝、和田謙三氏来訪ス。池之上学校用ピアノノ寄附ニ付、釀金募集婦人ニ対スル謝状贈呈式举行ノコトヲ打合せヲ為ス。

○十時過貴族院ニ出頭、小林書記官長ヲ訪問ス。書記官長ヨリ徳川公記念事業会發起人ノ両院議員関係者名簿ヲ示シ、相談セラル。予ハ中央林業協力会ノ為、評議員候補者ノ内選ヲ依頼ス（両院議員）。

○翼賛政治会事務所ニ中村茂氏ヲ訪ヒ、同会員名簿ヲ受ク。

○朝鮮林業開発株式会社社長渡辺豊日子氏ヨリ、星ヶ岡茶寮ニ招待セラレ午餐ヲ饗セラル。同社ノ事業ニ付説明ヲ聴取ス。白澤、漆山、菌部、藤岡、佐藤、三浦、小林諸氏出席ス。

○中央林業協力会事務所ニ立寄り、去二十日理事会ニテ議題トナリタル件、及次回ノ議題ニ付、漆山、白澤両氏ト協議ス。

○赤木正雄氏ヲ砂防協会ニ訪問シ、利根川敷内荒蕪地ノコトヲ聴ク。問題ノ笹川町地先ノ箇所ハ、汐入ニテ蘆荻密生シ不適當ナラント云フ。

○五時、松井茂博士ノ頌徳喜寿祝賀会アリ、帝国ホテルニ出席ス。岡喜七郎、一木男、山崎次官、丸山、石田諸氏ノ演説アリ、食堂ニテ俵、柴田、松村、仁井田、松波諸氏ノ演説アリ松井氏謝辞ヲ述フ。九時過散会。

〔欄外〕

○警戒警報ハ午後二時頃解除セラル。

○伊澤氏ニ面会ス。氏ハ政府ノ招待ニ応シ、近ク飛行機ニテ南洋方面ノ視察ニ赴カントスト云フ。

松井茂博士詩 用東湖先生韻

昭和十七年壬午喜寿述懷

処世無為生猶死 七生報国師菊水
日夕辛勤不偷閑 七十七年夢裡徒
世途通塞非偶然 人事推移豈徒爾
聖恩雨露霑肌膚 皇軍活躍徹骨髓
一億一心必勝期 大東亞戰百年企
能遵国策正人心 警防奚憂不振起

尺寸昭昭誓神明 我亦老軀斃而已

十一月二十五日（水）晴 北強風 寒

○朝、鈴木梅太郎博士ニ電話ヲ以テ「理研榮養パン」ノ
実示ヲ乞フ。明日午後二時ヲ以テ約セラル。

○十時過、同成会例会アリ出席ス。塚本、柴田、入江、
丸山、下條、建部諸氏出席ス。

○正午過、日本俱樂部（部脱）ニ至リ中食ス。食後、企画院第二部
長柏原文太郎氏ノ生産拡充ニ関スル講演ヲ聴ク。

○二時、貴族院調査部第六部会ニ於テ、鉄道官立花次郎
氏ノ「動乱ノ世界ヲ巡ッテ」ナル講演ヲ聴ク。

○再ヒ日本俱樂部ニ戻リ、森口淳三氏ニ対シ、甘藷献上
手續ニ関スル甘露寺侍従次長ノ電話要旨及吉島高松宮
附事務官ヨリノ書簡ノコトヲ通知シ、兼ネテ奉獻品ノ
品種并数量ノ報告ヲ求ム。又、掛川報徳社ニ対シ、千
葉県笹川町地先利根川河川敷開墾地開拓ニ付、茨城県
鹿島郡若松村太田新田多崎憲治氏申出ニ対シ、赤木正
雄氏ヲ煩ハシテ取調ヘタル東京土木出張所長山下技師
ノ意見ヲ報告ノ手紙ヲ認メ、之ヲ發送ス。

○六時、星ヶ岡茶寮ニ於ケル松平議長ノ招宴ニ出席ス。
佐々木副議長、小林書記官長、大河内子、吉田茂、田
口弼一、松井春生、坊城男、竹下豊次諸氏出席ス。食

糧問題調査旅行ヲ慰勞セラル。

〔欄外〕

○朝、甘露寺侍従次長ヨリ電話アリ、森口代議士ヨリ送
付セラレタル甘露ハ献上品トシテハ取扱ヒ難キヲ以テ、
予ノ差上ケタルモノトシテ天覽并御覽ヲ仰クコトトス
ヘシト通告セラル。而シテ其事ハ直接ニ森口氏ヘ通知
スヘシト云ハレシモ、予ヨリモ通知スヘシト答フ。

○吉島高松宮附事務官ヨリ來書アリ。森口氏献上甘露ハ
殿下ノ御覽ニ供セシ由通知ニ接ス。

○田口弼一氏ヨリ、朝鮮總督ノ甘露栽培ニ関スル希望ヲ
聴取ス。之ニ依リ朝鮮渡航ノ決心ヲナス。

○江口定條氏ノ招待ハ十二月二日晚餐トスルニ決定ス。

○伊佐勇松氏來訪ス。

○大森健一郎來泊ス。

○要ハ午後婦人会副班長会ヲ開キ、大瀧靖氏ヲ請ジ婦人
会貯金実行案ヲ決定ス。

十一月二十六日（木）曇 冷

○朝、理化学研究所鈴木博士ノ研究ニ係ル、榮養パン并
ブタノールノ説明ヲ聴ク為、関屋貞三郎、男山根健男、
大膳頭黒田長敬子ヲ誘フ。

○十時、出征軍人川崎忠氏ノ入営ヲ八幡神社ニ見送ル。

○阿川昌朝氏除隊ニ付往訪ス。

○十一時、貴族院ニ出頭。書記官長ニ面会シ、議長昨夜ノ恩遇ヲ拝謝ス。中食ヲ書記官ト共ニス。

○一時四十分頃、理化学研究所ニ鈴木博士ヲ訪フ。関屋氏、山根男、西尾忠方子、黒田大膳頭ノ外、三浦大膳職事務官、八田侍医頭モ来会ス。総員七名ナリ。鈴木博士ノ室ニ入り、博士ヨリブタノールノ製出ニ至ルマテノ経過ト、之カ製造方法及会社トニ付説明ヲ受ク。

次ニ理研ニテ研究完成セル、甘藷ヲ原料トセル各種パン類ノ性能ト其成分トノ説明ヲ聴ク。最後ニパン類其他ノ栄養製品ヲ供セラレ試食ヲ為シ、四時頃退出ス〔宮内省ノ自動車ニ乗ル〕。

○要ハ夜、森巖寺ニ於ケル町内組長常会ニ出席、十時頃帰宅ス。

十一月二十七日(金) 雨 冷

○昨夜、睡眠十分ナラス。

○十一時、中央林業協力会事務所ニ出頭シ、会務ヲ処理ス。

○正午、山王ホテルニ開会セル第四十二回中林協理事会ニ出席ス。白澤、佐藤、田中、藪部、村上、原、小林(文)、北村、漆山各理事ノ外、井出局長、小山田課長

モ出席ス。(1)幹線林道急設ノ件〔既決建議推進ノコト、特別調査ノ為委員選定ノコト〕、(2)大政翼賛会中央協議会ニ林業関係事項上程并林業代表者ヲ出席セシムル件、(3)所得税中山林伐採収入控除額増加ノ件并税法改正ノ件〔山林伐採税并林産物搬出税廃止〕ノ調査併託〔委員選定〕等ヲ決定ス。又、本会主催各地ノ林業振興懇談会発言内容取纏メ編纂ノ件等ヲ議ス。了テ中食ヲ為ス。

二時ヨリ大東亞戦争記念林造成ニ関スル委員会アリシモ欠席ス。

○二時、貴族院調査部会第二部会ニ出席ス。大使館参事官〔空白〕氏ノ、ソ聯ノ近況ニ関スル講話ヲ聴ク。

○夜、第六回懇談会ノ演説要旨原稿ヲ検閲ス。
〔欄外〕

○小柳直吉氏ヨリ、十二月六日南郷村明朗会稲作品評会報告会開催ノ由通知アリシニ対シ、必要ト認ムル指示ヲ為ス。

十一月二十八日(土) 晴 寒

○十時参内、皇后宮職ニ大夫事務官ヲ訪ヒ、義宮殿下御誕辰ニ付奉賀ス。記帳ヲ為シテ退出、御菓子ヲ賜ハル。黒田大膳頭ヲ訪フ。甘露寺侍従次長、福羽御用係ニモ

面会ス。

○岡本官房主管ニ面会シ、松樹虫害対処ノコトヲ勸ム。
○十一時二十分頃、農林省ニ山林局長ヲ訪フ。漆山常務

ト三浦次官(石馬)ヲ訪問スル為ナリ。然ルニ同理事ハ電話ノ
行違ヒニテ退出シタル由ナリ。依テ再ヒ来局ヲ求ム。
共ニ局長及監理課長ニ面会ス。

ソレヨリ局長課長ト同車、麴町宝亭ニ次官ヲ訪ヒ、漆
山氏ト共ニ林道費増額案ニ付極力主張ヲ求ム。又、举
国造林補助費百五十万円ノ予算ノ強調及林業重労働者
ヘノ米ノ増配ニ付配慮ヲ求ム。

○山林局長ヨリ林業新聞発刊ニ関シ至急理事会ノ召集ヲ
求メラル。既ニ漆山常務ニ於テ手續執行中ナリ。予ハ
後藤会長不在ノ故ヲ以テ之ヲ断リ、局長ヨリ企画院ニ
対シ其旨通告アラントヲ求ム。

○宝亭ニテ小山田監理課長、漆山氏ト共ニ中食ス。

○一時半、貴族院事務局ニ花房囑託ヲ訪フ。徳川静岳公
御事蹟ニ関シ、御伝記編纂員諸氏ノ求メニ応シ説明ヲ
ナス。三時半退出ス。

〔欄外〕

○館林成也ノ誕生日ナリ。マス子ニ伴ハレテ来ル。葉子
モ来ル。恩賜ノ御菓子其他祝ノ食物ヲ贈ル。

○中林協事務所ニ出頭シ、原稿ニ付注意ヲ与フ。

○全国砂防協会ニ赤木正雄氏ヲ訪問ス。

○夜、池之上国民学校会ノ為ニ、呉泰次郎氏ニ対シ感謝
状ヲ揮毫ス。

○池田猪三次氏二十六日死去ノ由、嗣子耕一氏ヨリ通知
ニ接ス。依テ弔詞ヲ贈ル。

十一月二十九日(日)晴 寒冷

○十時、池之上国民学校会ピアノ資金募集功労者表彰式
ニ出席ス。呉泰次郎氏及三町婦人有志三十名許リ出席
ス。呉氏及婦人百三十余名ニ対シテ感謝状ヲ呈シ、一
場ノ挨拶ヲ述フ。又、岸上校長モ謝辞ヲ述ヘラレ、十
一時散会ス。

○散会后、物資不足状況ニ関シ説明ヲ為シ、食糧充足方
法トシテ甘藷及麦ノ増産ヲ強調ス。十二時過帰宅ス。

○三時過、要ト本間俊平先生ヲ訪問ス。先生ハ軽キ脳溢
血症ニ罹リ静養中ナリ。夫人モ去月重患ニ罹ラレシト
云フ。夫人ニ面会ス。甘藷、菠薐草及林檎ヲ呈ス。

○四時頃、館林方ヲ訪問ス。一同在宅ナリ。又、多久次
氏モ来訪、面会ス。五時頃辞去帰宅ス。

途中宮益坂郵便局ニテ直子宛ノ速達郵便ヲ発ス。

○七時、森巖寺ニ於ケル町会顧問会ニ出席ス。出席者ハ、
長谷川氏ト予トノミナリ。副会長加藤、田口両氏ヨリ、

町会長トシテ阿川氏再任依頼ノコト、及十二月八日行事ニ付依頼アリ。八時半帰宅ス。

〔欄外〕

○子爵日野西資博氏薨去セラレタルニ付、弔辞ヲ発ス。

○千葉県橘村清水利一氏ヨリ同村甘藷ノ作柄ヲ報セラレ、又、七福種一俵ヲ贈ラル。

十一月三十日(月)晴 寒冷

○九時、阿川昌朝氏ヲ訪問ス。長谷川將軍ト共ニ面会シ、同氏ニ対シ町会長ノ残任期間町会長タランコトヲ乞ヒ、兼ネテ適當ナル補佐役ヲ囑託シテ町会長ヲ輔クルコトヲ申入ル。其結果承認ヲ与ヘラレ、補佐役トシテ大瀧靖氏ヲ依頼スルコトトシ、之カ交渉ヲ長谷川將軍ニ願フ。又、大瀧氏ニ対スル謝金支出ノ方法ニ関シテハ、阿川氏ノ考究ニ俟ツコトトセリ。大瀧氏依頼ノ結果、現任事務員カ不満ヲ抱ク場合ニ対シ処置ヲ考慮ス。

○十時、八幡神社ニ入営三勇士ノ歡送会アリ出席ス。長谷川、児玉両將軍モ参加セラル。田口町会副会長ニ阿川氏ト交渉ノ内容ヲ報告ス。

○農林省山林局ニ小山田監理課長ヲ訪ヒ、同氏ノ紹介ニテ会計課長笹山書記官ニ面会シ、林道開設予算、拳国造林補助予算ヲ大蔵省ニ強調センコトヲ求ム。

○坂田特産課長ヲ訪ヒ、甘藷増産講師派遣費補助一万円ノ交付ヲ求メシニ、之ヲ諾セラル。依テ報徳社ノ明年度予算ニ計上スルコトヲ告ク。

○日本俱樂部ニテ田口弼一氏ト面会ス。朝鮮総督往訪計画ニ付、氏ノ意見ヲ聴ク。甚好都合ナリ。

〔欄外〕

○三時、中央林業協力会ニ出頭ス。漆山理事ニ面会シ、当面ノ要務ヲ処理ス。

○五時過、関義寿男来訪ス。永村氏夫人及畑野源一郎夫人ト会见ス(西宮市門戸岩ヶ谷□□□)。

十二月一日(火)晴 寒冷

○早朝、八幡神社ニ参詣ス。

○朝、中央林業協力会事務所ニ出頭。漆山氏ト会见シ、(1)評議員候補者選定案ヲ作ル、(2)理事以下年末手当支給案ヲ作ル。

○十二時、日本俱樂部ニテ中食シ、河田烈氏ニ面会ス。静岡三五銀行ト遠州銀行ト合併後ノ首脳部組織方針ニ付意見ヲ述ヘ、銀行局長ノ意見ヲ徴センコトヲ求ム。右ノ状況ハ即刻書状ニ認メ、三橋四郎次氏ニ發送ス。

○東京府食糧営団坂口利作氏ト日本俱樂部ニテ面会ス。同氏ヨリ府知事辞令同営団評議員囑託ノ辞令ヲ受ク(十

月十日附ナルコト、河合ト書キアルコトナド、驚クヘキモノナリ)。

○四時、後藤会長ヲ翼賛会ニ訪ヒ、(1)評議員ノ選定、(2)理事以下年末手当額決定、(3)新聞紙発行等ニ付協議ス。漆山氏之ニ与カル。農林省ヨリ総務局総務課長石坂弘氏、小山田監理課長ト来訪、新聞紙発行ニ付説明ヲ為ス。

〔欄外〕

○夜、昇三郎一泊ス。

十二月二日(水)晴 寒冷

○朝、東京駅ナル Tourist Bureau ニ至リ、朝鮮旅行ニ付手續ヲ為ス。其結果関釜連絡船ノ乗船券ノミヲ購フヲ得タリ。七日、西下ノ寝台券ハ住友本社ニテ買入方ヲ依頼スルニ決シ、住友支社ニ出頭、此事ヲ託シ、南郷村宅へ送付ヲ頼ム。

○正午、華族会館ニ開会セル五葉会ニ出席ス。細川侯、井上侯、安保男、岩倉男、岩田氏、倉知氏、岡氏、古島氏、塚本氏、次田氏出席ス。谷外務大臣特ニ出席ス。二時散会。

○二時半、農相官邸ニ於ケル木材増産促進協議会ニ出席ス。中林協後藤、河井、全森聯佐藤、多久、田中、日

木社村上、原、〔空白〕出席ス。井野農相ノ挨拶、井出局長ノ説明アリ、村上、佐藤、田中、河井発言ス。五時散会ス。

○五時半、如水会館ノ香邨寮ニ於ケル江口氏ノ招宴ニ出席ス。主賓伊東弥恵治氏、陪賓水野梅暁、瀧澤邦行両氏在リ。予ハ恩賜ノ羊羹ヲ以テ茶ヲ点ス。食中食後水野、瀧澤、伊東諸氏ノ対話甚面白シ。九時過散会ス。

〔欄外〕

○昇三郎帰ル。今夕帰西スト云フ。

十二月三日(木)晴 冷

○山梨県下砂防事業視察旅行ニ上ル(赤木氏案内、山県有道公、矢吹省三男視察)。

八時甲府発十時五十分甲府著。山梨県土木課長技師大岡禮三氏、事務官坂本増二氏、技師米村進之助氏ノ出迎ヲ受ケ、荷物ヲ談露館ニ送り自動車ニテ葦崎町ニ向フ。砂防協会長杉山幸男氏同車、米村技師ト共ニ案内セラル。車上ヨリ湯村、荒川、塩川ヲ見テ、葦崎町高地ノ突端ニ立チテ杉山氏及助役佐々猛秀氏ノ説明ヲ聴ク。ソレヨリ杉山氏ト別レテ甘利沢川ニ至リ、神山村長等ノ出迎ヲ受ケ同川砂防工事ヲ見ル。此所ノ堤上ニテ中食(弁当)ヲ饗セラル。

○次ニ御勅使川原堰堤ニ至リ赤木氏ノ説明ヲ聴ク。ソレヨリ下リテ旭村ノ橋上堤上ニテ村長ノ説明ヲ聴キ、茶菓ヲ饗セラル。ソレヨリ笛吹川ノ橋ヲ渡リ信玄堤ヲ見、四時頃甲府市談露館ニ入ル。

○夜、談露館ニテ一同ハ大岡課長、坂本事務官、米村技師、杉山氏等ト会食ス。其時、甘藷増産及農村改善ニ付説明ヲ為ス。

〔欄外〕

○皇后陛下御思召ヲ以テ御野菜一籠ヲ下賜セラル。

○ソロモン方面海戦大捷ノ発表アリ。

十二月四日(金)曇 冷

○談露館ノ一夜ハ甚快適ナリ。六時起床ス。

○一行ト別レ七時四十五分ニテ帰京ス。坂本事務官、木村技師ニ送ラル。十一時三十一分新宿著。四谷ヨリ市電、一時前山王ホテルニ着ス。

○一時、中央林業協力会理事会ニ出席ス。(1)予算増加運動報告、(2)木炭増産第二次促進ノ件、(3)木材増産運動ニ関スル農相官邸会合ノ報告、(4)評議員増加ノ件、等ヲ協議ス。

新聞紙発行ノ件ハ中央林業協力会ニテハ行ハサルコトトス(自紙取扱)。

食後甘藷増産運動ニ付一同ニ談話ス。

○二時過、事務所ニ出頭。末広会ノ日時決定(通知書用意)、貴族院議長官舎ニ関シ貴族院庶務課長へ通知、朝鮮へ旅行ニ付野口明氏へ電話(一木男祝賀会ノ件トモ)、花房氏へ謝金決定、朝鮮ホテルへ打電、榛葉、川合、大谷、一杉諸氏へ発状。

○帰途、赤木正雄氏ヲ訪ヒ謝意ヲ表シ、宿泊料ヲ支払フ。

〔欄外〕

○夜、内田明氏来訪ス。議長官舎選定ノ件及電話架設ノ件ニ付報告セラル。

十二月五日(土)晴 寒

○朝、皇后宮職ニ出頭シ、一昨日ノ恩賜ニ対シ事務官ヲ経テ御礼ヲ言上ス。

○日本俱樂部ニテ衣ヲ更メ、東京駅発十二時五分列車ニ新橋ヨリ乗り、帰郷ノ途ニ就ク。

四時十七分静岡ニ下車、浮月楼ニテ尾崎市長及三橋四郎次氏ニ面会ス。静岡三十五銀行重役選任ノ件ニ付、河田烈氏ニ面会ノ結果ヲ報告ス。

○五時二十五分静岡発六時三十七分掛川著ニテ帰宅ス。留吉、駅頭ニ出迎フ。

夜、小柳直吉氏来訪、明日ノ東遠明朗会及南郷村明朗

会總會ノコトヲ相談ス。

○ます枝ノイトコ夫婦来泊ス。

〔欄外〕

○住友本社清水清三氏ヨリ釜山京城間寢台券入手続完了ノ旨ヲ示サル。又、明後七日使用ノ寢台券ヲ送来ル。

十二月六日(日)晴 寒

○小柳直吉氏早朝来訪、本日ノ集会ノ用意ヲ為ス。石野元治郎氏、袴田銀蔵氏モ来訪ス。

○十時、報徳社ニ出頭ス。明年度甘藷増産講師派遣費予算計上ノコトヲ相談ス。鷺山氏ヨリバタ半斤ヲ贈ラル。佐々井副社長ニ面会セシニ、加藤仁平先生目下朝鮮ニ在リト云フ。

○東遠明朗会稲作審査委員諸氏、早朝ヨリ来会ス。出品糶ノ審査ヲ為シ、一時頃終了ス。

○丸山方作氏十一時頃静岡市ヨリ来著ス。丸山氏ノ下ニ品評会ノ成績ヲ審査決定ス。之ニテ東遠明朗会審査会ヲ閉ツ。

○四時半ヨリ南郷村明朗会總會ヲ開ク。鷺山恭平、丸山方作、小野仁輔、袴田銀蔵、戸倉儀作五氏及国民学校長、村会議員一名来賓トシテ出席ス。総員三十名、トロ口汁、野菜天ぷらヲ食フ。誠ニ長鯨ノ百川ヲ吸フニ

似タリ。丸山氏ノ談話アリテ十一時散会ス。丸山氏一泊ス。

○一同ニ対シ恩賜ノ野菜ヲ入レテ副食物ヲ作ル。

〔欄外〕

○照宮殿下御誕辰ニ付祝電ヲ呈ス。

○昇三郎へ電報ヲ以テ寢台券入手ヲ謝シ、且明日大阪駅頭ニテ面会センコトヲ申入ル。

○釜山栗林新吉氏ニ電報ヲ以テ、釜山京城間寢台券ハ買入手続完了セシ旨ヲ通シ、厚キ配慮ヲ深謝ス。

十二月七日(月)暖^マ晴^マ

○朝、石野元治郎氏来訪ス。原田喜久雄氏ノ墓誌ヲ依頼セラル。

○丸山方作氏、九時過ノ列車ニテ三河へ帰ル。

○報徳社ニ出頭、鷺山、田辺両氏ニ面会シ社務ヲ相談ス。甘藷栽培法十部、育苗成法及貯蔵法各二十部ヲ朝鮮へ携行ス。

○十二時二分発浜松ニ至リ鈴木幸作氏ヲ訪ヒ敬三君ヲ弔フ。鈴木氏ハ病褥ニ在リ、夫人代テ迎ヘラル。遺影ニ向テ焼香シ、夫人ノ案内ニテ墓参ス。朝鮮へ出発ノ時刻ニ余リアルヲ以テ、氏ノ別宅ニ休息ス。駅マテ自動車ニテ送ラル。

○三時九分浜松発列車ニ乗ル。八時四十四分大阪著。駅ニテ昇三郎及三島甫ノ出迎ヲ受ク。兩人ヨリ直子ノ腹部化膿シ病状困難ナル由ヲ聴ク。

昇三郎ニ村宅産ノ甘藷及身不知柿ヲ頒ツ。車中夢円ナラス。

〔欄外〕

○恩賜ノ野菜ヲ左ノ如ク頒ツ。

鷺山恭平氏 田辺三郎平氏 山崎常磐氏 丸山方作氏
石野元治郎氏 小柳直吉氏 大村留吉

十二月八日（火）晴 寒

○朝六時四十五分下関著。泰治ヲ捜ス。見当ラス。依テ新駅ヨリ遠ク歩廊ヲ涉リ、十五分ニシテ山陽ホテルニ至リ泰治ヲ捜ス。又不在ナリ。朝食ヲ為シ新駅ニ還ル。○新駅ニテ乗船手続ヲ為ス。会マ佐藤雄氏ノ朝鮮へ赴クニ出会ス。甚奇遇ナリ。

天山丸ニ乗ル。十時発船ス。海上波穏ナリ。夕六時三十分釜山栈橋ニ著、直ニ上陸ス。栗林新吉氏出迎ヘラル。

○栈橋駅長室ニテ朝鮮鉄道ノパスヲ受取ル。又、東亜旅行社ニテ九時発急行車ノ二等寝台券ヲ求ム。

○栗林氏ノ案内ニテ鉄道ホテルニ小憩ス。道會議員阪田

文吉氏ト甘藷栽培ニ付談話ス。九時、栗林氏ニ見送ラレテ京城ニ向フ。佐藤氏予ノ寝台ノ上段ニ在リ、益奇遇ナリ。

十二月九日（水）晴 頗寒

○朝七時三十五分京城著下車ス。佐藤氏ノ好意ニ依リ同氏出迎ノ人、予カ荷物ヲ運ヒ自動車ニ持込マル。ホテルノ自動車ニ乗りホテルニ入ル。幸ニシテ一室ヲ得タリ。直ニ朝食ス。

○ホテルニテ榛葉、篠田両氏ニ電話ス。榛葉氏ハ上京中ニシテ、篠田氏ハ明朝ノ往訪ヲ諾セラル。

総督秘書官大野季夫氏ニ電話ニテ、総督ト面会ヲ乞フ。総督ハ滿洲ニ赴キテ不在ナリ。

○十時頃、大野秘書官ヲ訪ヒタル後、農林局長塩田正供氏ニ面会ス。又、局長ノ室ニテ農産課長厚地法人氏ニモ面会ス。来意ヲ告ケ甘藷講習会開催ノコトヲ申入ル。快諾ヲ得タリ。

○小磯総督ヨリ正午官邸ニ於テ午餐ヲ饗セラル。正賓ハ今回南方ニ転任セル陸軍大佐馬淵逸雄氏ナリ。京城師團長山本三男中将、農林局長、農産課長等同席ス。食後甘藷ノ写真ヲ示セルニ、一同大ニ驚ク。総督ニ説明ヲ為ス。

○総督府ニ帰りテ農産課長ト細目ヲ協議ス。

〔欄外〕

○学務局長大野謹一氏ニ面会ス。

○四時半、総督ニ面会ス。大ナル好意ヲ以テ迎ヘラレ、必ス甘藷ノ増産ヲ為スヘキヲ確言セラル。

○食後榛葉氏ノ留守宅ヲ訪ハントセシニ、一同不在ノ由回答アリ。

十二月十日（木）晴 頗寒

○早朝、住友林業主任小華和茂弥氏来訪ス。住友ノ林業ニ付説明セラル。又、朝鮮銀行川合彰武氏来訪ス。

○十時、総督府ノ自動車ニテホテルヲ発シ、篠田治策氏ヲ見舞フ。大ニ健康ヲ回復セラレ、談話平日ノ如シ。甘藷ノ残余ヲ呈ス。会谈三十分。

○ホテルニテ支払ヲナシ、府技手藤堂誠氏ノ案内ニテ京城ヲ発ス。十二時四十分発ノ三等列車ニ乗ル。車中混雑甚シ。二時八分水原著。出迎ノ自動車ニテ農事試験場ニ至リ、場長湯川又夫氏ニ面会シテ講習会ヘ講師派遣ノコトヲ述ヘ、大ナル賛成ヲ得タリ。同場ノ事業中甘藷品種改良及貯蔵法ハ最タルモノナリ。是レ皆湯川場長ノ熱心ニ依ルモノナリ。佐々木即技師（貯蔵法研究者）、嵐嘉一技師ニ紹介セラレ、更ニ各種事業成績品

ヲ紹介セラル。四時十分発ニ乗ル。

○汽車ノ遅延甚シク、八時三十分大田著（先是鳥致院駅ニテ、大田府庶務課長鈴木光次氏出迎）。駅ニ内務部長一杉藤平氏、同夫人出迎フ。直ニ大吉方ニ招カレ一杉、木村英一（東拓支店長）、杉村覺寿、松永徳治、鈴木光次諸氏外一名ノ県人ヨリ、晚餐ヲ饗セラル。十時退出、自動車ニテ儒城温泉鳳鳴洞ニ至リ投宿ス。十一時過就褥。

〔欄外〕

○朝、厚地課長ホテルニ来訪シ、総督ノ使トシテ挨拶ヲ述ヘ、金千円ヲ贈ラル。

○三等車白衣の人のひしめきて たばこにんにくわきがたゞよう

十二月十一日（金）晴 暖

○昨夜ハ行火アリ、之カ為ニ睡眠十分ナラズ。

○朝、旅館ニテ一杉氏ト同氏ノ将来ニ付談話ス。又、小倉侍従御差遣ノ状況ヲ聴ク。十時、自動車ニテ大田ニ向フ。

○十時半、忠清南道序著。産業部長金羽英氏、地方課長理事官瀧下良策氏ニ面会シ、甘藷増産講習会ノコトヲ依頼ス。

○知事不在。一杉部長ノ需ニ応シ、道庁員ノ為ニ時局觀及食糧増産問題ノ講演ヲ為ス。出発時間迫レルヲ以テ十二時過之ヲ終了ス。十二時十八分大田發大邱ニ向フ。一杉部長、同夫人、鈴木光次氏及県人一名見送ラル。一杉夫人ヨリ菓子ヲ贈ラル。三等車ニシテ混雑甚シ。四時二十二分大邱著。産業部長竹山清、農務^政課長河越太郎氏駅ニ出迎フ。

○大邱府ナル慶北道庁ニ出頭、内務部長山村正輔氏、技師嘉村三男氏等モ来会ス。席上甘藷増産ノコトヲ依頼ス。ソレヨリ竹山、河越、山村、嘉村諸氏及警視古谷光藏氏ニ招カレ、魚竹方ニテ晚餐ヲ饗セラル。

〔欄外〕

○夕六時十三分大邱發釜山ニ向フ。駅頭ニ竹山、河越両氏見送ル。又、道庁ニ依頼シ永田仁助氏ニ来著ノコトヲ報セシニ、駅ニ来リ面会ス。永田氏ハ予ヲ送リテ同車、釜山ニ来リテ別ル。

○八時三十分、内務部長池清氏、産業技師七浦春吉氏、釜山棧橋駅ニ出迎フ。自動車ヲ供セラレ、海雲台温泉ホテルへ送ラル。《九時十五分著》。

○棧橋駅ニテ加藤仁平氏一行三名ノ船ヲ待ツニ出会フ。奇遇ニ驚ク。

十二月十二日（土）晴 暖

○温泉清爽、室広濶ニシテ快適無比。味爽起出テ窓ヲ明ケテ日出ヲ拝ス。対馬ノ山模糊ノ中ニ在リ、絶景比ナシ。

○九時半、農務課長渡辺正敏氏（技師）、七浦技師来迎フ。即發シ釜山ニ向フ。途中皇民鍊成道場ニ立寄り場長関屋実善氏、主事光山鐵藏氏ニ面会シ、又、場生ノ為訓話ヲ為ス。

○ソレヨリ道場附近ノ農家ニ至リ、今夏旱害ノ実状及其影響ヲ視察ス。食糧増産ノ必要迫レルヲ痛感ス。

○十一時半、慶南道庁ニ出頭。知事西岡芳次郎、産業部長金大羽、警察部長松永幹諸氏ニ紹介セラル。食事ヲ供セラル。知事、産業部長以下ニ対シ甘藷増産ノコトヲ説明シテ依頼セシニ、熱烈ナル賛同ヲ得タリ。三時退出ス。

○総督府ヨリ特派セラレタル案内係技師藤堂誠氏、連日ノ労ヲ犒フ為、氏ヲ主賓トシテ松島ホテルニ晚餐会ヲ催ス。渡辺課長、七浦技師モ陪席ス。各種ノ魚料理ヲ満喫ス。八時發棧橋ニ向フ。

○九時、藤堂技師京城ニ還ル。パスヲ駅長ニ返還シ乗船手續ヲ了シ、八時半、天山丸ニ乗船ス。藤堂、渡辺、七浦三氏船マテ見送ラル。

十時、発船。海上平穩ナリ。

〔欄外〕

○釜山ニテ栗林新吉氏ヲ招クタメ道庁ヲ煩ハシタルモ、電話ナキタメ目的ヲ達セス。

○釜山ニテ重友、三島甫、昇三郎、泰治へ電報ヲ発シ、明日以後ノ行動ヲ告ク。

十二月十三日（日）曇 風強ク 寒シ

○同室ノ船客吉田氏ヨリ鮭ヲ与ヘラル。海上平穩ナリ。

朝六時三十分下関ニ着ス。警戒警報発令下ニ在リ。

○上陸セシモ混雑甚シ。今更ナカラ釜山マテ世話セラレシ藤堂技手ノ援助ヲ懐フ。食堂ニ入りテ朝食ヲ為ス。泰治ヲ捜スモ在ラス。

○八時十分、鹿児島行ノ急行列車ニ乗ル。門司ニ下車（八時廿四分）。九時門司発東京行急行列車ニ乗ル。下関ニテ泰治ニ出会ヒ、直子ノ病状ニ付テ打合セヲ為シ東上ス。

○七時廿六分三宮駅下車。阪神電車ニテ芦屋ニ来リ、昇三郎方ニ一泊ス。

要ハ八日来著、今夕ハ甲南病院ニ在リト云フ。電話ニテ予ノ来著ヲ報シ、今朝見舞フヘキヲ約ス。

○昇三郎ハ九時四十分発ニテ東京へ赴ク。

十二月十四日（月）晴 寒

○九時半、昇三郎方ヲ出テ甲南病院ニ直子ヲ見舞フ。経過良好ナリ。小児モ発育佳良ト云フ。要アリ、世話ス。

○病院長ニ面会シテ病氣ノ経過ト将来ノ見透シトヲ問フ。又、栄養衰ヘタルカ如キヲ以テ、一切ノ手当ヲ十分ニ遂行セラレンコトヲ依頼ス。

今朝、三島甫、昇三郎ト来訪。従来ノ経過ト処置トニ付希望ヲ述ヘタルヲ以テ、之ヲ加味シテ院長ニ依頼セシナリ。又、直子ニ対シテハ、一ニ院長ヲ信頼シテ治療ヲ受クヘキヲ戒ム。

○要ハ芦屋ニ帰り、予ノ荷物ヲ片付ケ大阪駅ニ持来ル。○予ハ十二時十五分病院ヲ出テ阪急ニテ十二時五十分大阪駅ニ著シ、要ノ来ルヲ待チ、辛ウシテ一時三十分発急行列車ニ乗ルコトヲ得タリ。十時四十三分品川著、渋谷ニ出テ帝都線ニテ帰ル。池之上駅ニハ俊子、都出迎フ。

○泰治ニ対シ直子ノ病状ヲ報告スルタメ、大阪駅ヨリ葉書ヲ発ス。態々見舞ノ為来ルニ及ハサル旨ヲ以テス。

十二月十五日（火）晴 寒冷

○昨夜睡眠十分ナラス。

○朝、小林書記官長へ電話ニテ、議長官舎ノコトヲ相談ス。又、野口明氏ニ電話ニテ篠田治策氏往訪ノ状況ヲ告ク。

○朝、不在中ノ緊急用務ヲ処理ス。

○正午、全国砂防協会役員会ニ出席ス。山県公、大河内子、矢吹男、松平男、三須男、江口、澤田、小泉、俵、勝、小山、田中、中井、植原、木檜、河井等十八名出席ス。赤木幹事ヨリ内務省土木費関係予算ノ決定額ニ付報告アリ。

○食後、中央林業協力会事務所ニ出頭シテ、不在中ノ要務ヲ処理ス。

○貴族院ニ小林書記官長ヲ訪問ス。又、近藤書記官ニモ会フ。朝鮮旅行ニ付配慮セラレタルヲ深謝ス。

○夕、静岡県中豆農学校長高木幸平氏、北狩野村長山田又衛氏来訪ス。今回学制改革ノ結果甲種ニ昇格ニ付、建築材料ニ付配慮ヲ申出ツ。

○右ハ久連ノ農学校ニモ関係アルヲ以テ、白澤保美氏ニ電話シ、大谷校長ヲシテ県庁ニ就キ取調ヲナサシムルヤウ進言ス。

〔欄外〕

○夕、丸山方作氏来訪ス。明日、農相官邸ニ於テ開催セラルヘキ甘藷馬鈴薯増産協議会ニ出席スル為ナリ。夜

一泊、緩々打合セヲナス。

○丸山氏ヨリ甘藷数種（品名ヲ附ス）及蜜柑ヲ贈ラル。

十二月十六日（水）晴 頗寒

○昨夜、冷凍甚シク睡眠困難ナリ。七時半起床ス。

○十時頃、鈴木幸作氏来訪シ、令息寛氏結婚式ノコトニ付打合セヲ為ス。

○十一時四十分頃、華族会館ニ赴ク。関男爵ト会见シ、同男ノ結婚問題ニ付男爵ノ経済実状ヲ先方ニ告クルコトヲ頼マル。

○十二時、五葉会アリ。（空白）大東亜省次官ヲ招キ、午餐ヲ共ニス。食後時局ニ関スル談話ヲ為ス。一時半、半途ニシテ退出ス。

○二時、農相官邸ニ於ケル甘藷馬鈴薯増産懇談会ニ出席ス。井野農相ヨリ今後ノ食糧事情ノ説明及甘藷馬鈴薯ノ増産懇談会開催ノ趣旨説明アリ。石井農政局長ノ説明ニ次キ各員發言ス。河井、三善、加藤、後藤、千石、石黒等ニ次テ丸山氏發言ス。予ハ四時十分頃後藤氏ト共ニ退出同車、中央林業協力会理事会ニ出席ス。丸山氏一泊ス。

○後藤会長ヨリ、昨日ノ首相官邸ニ於ケル産業代表者ノ集會及天皇陛下ニ拝謁ノ報告アリ。重大時局ニ対スル

決意ヲ披瀝セラル。之ニ對シ予ハ一同ヲ代表シテ答辭ヲ述フ。並木統制課長ヨリ木材需給ノ現状ニ付説明アリ、五時半頃散会ス。

〔欄外〕

○丸山氏一泊ス。

十二月十七日（木）晴 暖

○昨夜快眠ス。

○朝、丸山氏ト朝鮮講習旅行ノ相談ヲ為シ、朝鮮ニ於ケル甘藷事情検討ノ諸材料ヲ渡ス。又、国内ニ於ケル講習ノ将来ニ付協議ス。同氏十時四十分東京發ニテ帰国ス。林檎ヲ呈ス。

○加藤虎之亮氏來訪。中村家令嬢ヲ迎ヘタキコト、予ヲシテ媒酌人タラシメ正式ノ回答ヲ得タキコトヲ求メラル。之ヲ快諾ス。

夜、川島老人へ書状ヲ認メ、右ノ返事ヲ与ヘラレンコトヲ乞フ。

加藤氏ヨリ興三ノ卒業及帝大入学祝トシテ、弘道館述義小解ヲ贈ラル。

○下谷区上車坂町□□水野定治氏來訪。金原明善翁伝記ヲ与ヘラル。又、金原翁、金森吉次郎翁ノコト其他ニ付談話ス。

○永村氏夫人ヲ訪ヒ、昨日ノ関男爵ノ伝言ヲ依頼ス。

○二時過、井出山林局長、小山田監理課長ヲ訪問シ、新聞紙發行者ノ件ニ付意見ヲ述ヘ、次官ヲ訪フコトヲ告ク。次官病氣ニ付面会出來ス。

○坂田特産課長ヲ訪ヒシニ病氣ニテ欠勤中ナリ。

○田中長茂氏ヲ農業報國聯盟ニ訪フ。不在ナリ。

〔欄外〕

○四時頃、中央林業協力会事務所ニ出頭ス。漆山理事ト会谈シ会務ヲ処理ス。

○重友ハ横浜ニ朝比奈ヲ訪問ス。

○興三八高知徳島両県へ修学旅行ノ為、夜十一時二十分發ニテ西行ス。明日直子ヲ見舞ニ芦屋ニ一泊、十九日四国へ向フ筈。

○矢田部昌子夫人、夜九時過來著ス。

血圧百五十四 心臟平常ニ異ラス（堀氏診察）

十二月十八日（金）曇 雨 頗寒冷

○関義寿男爵、早朝來訪シ、先般永村氏夫人ヲ介シテ開始セラレタル縁談ハ、親戚ノ會議ニ付シタルニ反對者一人アリ、到底同意ノ見込ナキヲ以テ断ル旨ヲ告ケ、写真ヲ返還セラル。依テ直ニ永村氏夫人ヲ訪ヒテ此事ヲ告ケ、写真ヲ返却ス。

○朝、川島悦郎氏へ書状ヲ発シ、昨日加藤博士ノ申出タルコトヲ報告シ、且中村家ヨリ正式承諾ヲ得ラレタキコトヲ頼ム。

○要ニ対シ右ノ件、関男ノ件ヲ報告シ、且過日甲南病院長ニ面会シタルコトノ内容ヲ告知ス。

○第四十〔空白〕回中央林業協力会理事会ニ出席ス。理事多数出席。山林局監理課長其他ヨリ明年度予算ノ決定セル分ニ付説明アリ、中食ノ後右ニ関スル質問ヲ為ス。次ニ村上理事ヨリ日本木材統制協会ニテ林材新聞紙発行ヲ引請ケタルニ付、助力ヲ乞フ旨発表セラル。懇談会要領ノ編纂、幹線道路国費開鑿委員会用務、所得税ニ関スル委員会等ニ付協議シ、四時頃散会ス。会場山王ホテル。

〔欄外〕

○熊谷三太郎氏ヨリ福井県産蟹ヲ贈ラル。

○矢田部盛枝氏三時頃来訪ス。昌子ト共ニ埼玉県へ赴ク。

○夜、遠州学友会幹事鈴木昶氏来訪ス。雑誌発刊ニ付、名簿訂正ノ件ニ付テナリ。

十二月十九日(土) 晴 寒冷

○十一時半頃、朝鮮銀行ニ至リ紙幣ノ交換ヲ頼ム。一回二百円ヲ限リトスト云フヲ以テ断念シテ帰ル(森永ニ

テ中食ス)。

○中央林業協力会事務所ニ出頭、漆山理事ト会務ヲ協議ス(理事へ手当ノ件)。又、主事以下へ賞与ヲ与フ。

自動車運転手阿部稔ヲ雇入ル(《月一二〇、別二三〇》)。

○二時頃、貴族院ニ至リ第一部会ニ出席、政府ノ説明ヲ聴ク。相変ラス法律案多数ニ上ル。四時半、中途退出ス。

○五時、末広会(第十回)ニ出席ス。田口、赤池、岩田、小原、岡、古島、大西、塚本、次田、河井ノ十名出席ス(田澤、松村、江口、澤田、丸山欠席)。席上重要国務ニ付今期議会ニ処スヘキ態度ニ関シ、近々相談会ヲ開クニ決定シ、日時ヲ二十三日午後二時トシ場所ヲ院内トス。

○夜、矢田部盛枝氏、昌子ト共ニ埼玉県ノ金鑑神社家ヨリ帰来ル。同家ヨリ媒酌人トシテ嫁ヲ受取り来レルナリ。

十二月二十日(日) 晴 寒冷

○昨夜不眠甚シ。

○十一時頃、川合改次郎氏来訪ス。予テ画会ニ入りシ油絵成レリトテ交付セラル。「秋収近カラシ」トスルノ図ナリ。又、直子ノ病氣見舞トシテ林檎二箇ヲ描ケルモ

ノヲ与ヘラル。尚、次期ニモ画会ニ加入スルニ決シ、金十円ヲ呈ス。

○重友ハ寛先生ノ治療ヲ受ク。本日ヲ以テ一ト先ハ結了ト決ス。

○昨夕、末広会ノ決定ニ基キ、二十三日午後二時ノ集會ノ場所ヲ院内第一内談室トシ、其旨全員ニ通知ス。

○矢田部氏夫妻ハ赤坂山王神社ナル結婚式ニ臨ム。

〔欄外〕

○去十二日発刊ノ「日本産業經濟」紙上ニ、栃木県農事試験場発表ニ係ル「丸山式ハ有利ナラス」トノ記事ヲ、丸山、田村、前橋三氏ニ送り意見ヲ求ム。

十二月二十一日（月）晴 寒

○昨夜快眠ス。

○十一時、学会館ニ開會ノ東京府食糧営団評議員会ニ出席ス。林理事長ノ挨拶、総務部長島村軍次氏ノ営団設立経過報告アリ。午餐ヲ饗セラル。一時散會。

○一時半、徳川公爵家ニ至リ静岳公御伝記編纂事務所ニ出頭シ、井野辺博士ニ面會ス。

○二時ヨリ徳川公爵家々政相談人會ニ出席ス。明年度予算案ヲ審議ス。支那ヨリ帰京セル石渡莊太郎氏モ臨席ス。又、植村甲午郎氏新ニ相談人トナリ出席ス。

○三時半公爵邸ヲ辞シ、四時前帝国ホテルニ至リ、四時半ヨリ開會ノ中央林業協力会評議員会ニ於ケル會務経過報告原稿ヲ作ル。五時開會。漆山常務ノ開會辞、後藤會長ノ挨拶、予ノ會務報告、井野農相ノ挨拶、井出山林局長ノ詳細ナル説明アリテ、晚餐會ヲ開キ、後藤會長ノ挨拶、石黒次官ノ答辞アリ。八時頃散會ス。來會者六十人。

○帰途後藤會長ノ車ニ乗り、甘藷増産ノコトヲ強調ス。

〔欄外〕

○自用車ノ用意未成ラサルモ、代用車ヲ用フ。

○矢田部盛枝氏日光へ還ル。昌子夫人ハ館林方へ赴ク。一泊ス。

○館林成也、感冒ニテ発熱高シ。

○夕、伊佐勇松氏來訪。越後石津村ノ事情ヲ話ス。ミカシ、林檎ヲ呈ス。

○岡本宮内省参事官ニ対シ新年歌始會陪觀ノ手續ヲ問フ。

○川島悦郎氏ヨリ返書アリ、中村家ニテハ加藤家へ娘ヲ嫁スルニ同意ノ由ヲ通セラル。依テ夜、其事ヲ加藤氏へ電話ス。

十二月二十二日（火）晴 寒

○十一時頃、中村たみ子夫人、川島悦郎氏ト來訪ス。中

村家末女ヲ加藤氏ニ嫁セシムルコトヲ快諾ス。又、予等ニ対シ媒酌人タルコトヲ申入ル。其他結納交換方法、結婚式日取、式場、招待スヘキ範圍、調度等ニ付談話アリ。昼食ヲ呈ス。

両氏ハ直ニ帰宅スト云フヲ以テ、右ニ付電話ヲ以テ加藤氏夫人ニ打合セヲ為ス。加藤氏、夕刻来訪ノ予定ナリシヲ断ル。

矢田部夫人館林方ヨリ帰来リ、昼食ヲ共ニス。好都合ナリ。

○午後、朝鮮総督、農林局長、試験場長等へ謝状ヲ認ム。

○五時半、赤坂福住方ニテ全国治水砂防協会ノ西原亀三氏歓迎会アリ、出席ス。西原氏ノ外、山県公、八條子、松平康春子、小泉又次郎氏、田中好氏、河井、赤木常務理事出席ス。九時散会。

十二月二十三日（水）晴 曇 夜雨 寒

○朝、加藤虎之亮氏ト電話ニテ、昨日ノ中村家方来談ノ要旨ヲ話シ、更ニ必要ナル打合セヲ為ス。

○皇太子殿下御誕辰ニ付宮城及東宮御所へ参賀ス。皇后宮大夫并石川傳育官長ニ面会シ、祝辞ヲ申上ク。

○貴族院事務局ニ至リ自用自動車ノ届出ヲ為シ、又燃料配給ノコトヲ依頼ス。

小林書記官長令娘ノ病氣ヲ電話ニテ見舞フ。

○日本産業経済社ニ至リ小汀利得氏ニ面会シテ、丸山式ハ寧有利ニ非スノ意見ニ対シ所信ヲ述へ、更ニ予ノ意見ヲ掲載センコトヲ求ム。小汀氏ハ近ク記者ヲ派遣スヘキヲ約セラル。

○日本外政協会午餐会ニ出席シ、森〔空白〕氏ノ蘇聯ニ関スル講演ヲ聴ク。

○二時、第一内談室ニ末広会有志対議会打合会ヲ開キ出席ス。松村、田澤、赤池、岩田、小原、岡、大西、古島、澤田、塚本、丸山、河井出席、四時半散会ス。

〔欄外〕

○矢田部夫人ハ帰日光ノ処、下谷山崎夫人来訪セシニ依リ帰ルヲ見合ハス。

○本日、新橋駅ヨリ宮城、東宮御所、貴族院、日本産業経済社、中央亭マテ自動車ヲ使用ス。

○丸山方作氏ヨリ栃木県農事試験場ノ批評ニ対スル駁論ヲ送来ル。

十二月二十四日（木）雨 冷

○八時出発八時四十五分登院ス。正副議長ヲ訪ヒ挨拶ヲ述フ。

○九時過、議席ニ就キ部属ヲ定ム（議長一任）。休憩中部

長、理事ノ選挙ヲ行フ。予ハ第九部ニ属ス。再会ノ上、部長、理事ノ氏名報告アリ、散会ス。

○控室ニテ同成会總會ヲ開ク。一年中ノ会務及會計報告アリ。本期議會ニ対シテハ各派交渉委員及常任、特別委員選定ヲ塚本、河井、小坂（順）ニ委員セラル。三人ハ内談室ニ入り之カ選定ヲ了ス。

二時ヨリ研究会事務所ニ各派交渉委員集會シテ、常任及特別委員選出數ヲ決定シ、常任委員ノ顔触ヲ定ム。

○一時半ヨリ予算委員室ニ於テ内務省關係予算案及法律案ノ説明ヲ聴ク。

○五時ヨリ学士會館ニテ、故湯淺男爵三週忌記念晚餐會ニ招カレ出席ス。來會者百名計リ。湯淺家側ノ挨拶ニ対シ伊澤氏謝辞ヲ述フ。七時半散會ス。

〔欄外〕

○要ヨリ直子ノ経過、頗宜シキ由通知アリ。

○矢田部夫人日光へ還ル。

十二月二十五日（金）晴 暖和

○九時前、自動車ノ出迎アリ大正天皇祭ニ参列ス。甘藷増産成績異常ナル写真三葉（長野県下条村、千葉県橘村、茨城県国民高等学校女子部）ヲ懷中シ、感謝ト共ニ冥護ヲ祈リ奉ル。

○帰途青山齋場ニ立寄り、故第一高等学校校長狩野亨吉先生ノ告別式ニ臨ミ、拝礼ス。

○午前中ニ中食ヲ為シ、重友ト共ニ浅川ニ至リ大正天皇陵ヲ正式参拝ス。四時半頃帰宅ス。

○直子ノ経過頗佳ナル由、要ヨリ通知アリ。

○御祭典控室ニ於テ農林大臣ニ面會シ、甘藷増産即時着手ノコトヲ催促ス。

〔欄外〕

○天皇陛下御拝アラセラレス、三條掌典長代拝ヲ奉仕ス。皇后陛下御拝御代拝ナシ。皇太后陛下御拝アラセラル。

十二月二十六日（土）晴 暖和

○昨夜不眠甚シ。袴田、丸山、増田、福田、水谷、福岡、佐々木、栗原、水野等十一氏へ書状又ハ葉書ヲ認ム。

○開院式ニ付登院ス。車駕親臨アラセラレ優渥ナル勅語ヲ賜フ。陛下ニハ少シク御風氣ノ御模様ニ拝シ奉リ、恐懼措ク能ハス。

○議員歳費半期分（分類所得税百五十円差引）ヲ受領ス。

○内田明氏ニ依頼シ、朝鮮銀行券千円ヲ渡シ之カ引換ヲ求ム。

○沖縄県立第一中学校藤野憲夫氏ノ為ニ新年歌始會御儀拝聴ノ手續ヲ内閣稻田書記官ニ電話ニテ問合セ、其結

果同氏ニ対シ「知事ヨリ電報ヲ内閣総理大臣ニ発シ願
出ツヘシ。手續ハ配慮中」トノ電報ヲ発ス。

○十一時半、中央林業協力会ノ委員会ニ出席ス。林業振
興懇談会ニ発表セラレタル意見取纏メノ為ナリ。予ハ
税法調査委員会ニ対シ、至急審議ヲ遂ケラレタキ旨ヲ
希望ス。

○一時、日本産業経済紙記者石井義勝氏ノ来訪ヲ受ケ、
丸山式ノ内容及効果ヲ説明シ、栃木県試験場ノ妄論ヲ
駁ス。

○夜、昇三郎来訪ス。興三、脛ニ腫物ヲ発シタル由ヲ聞
ク。直子経過佳良ナリ。

〔欄外〕

勅語

朕茲ニ帝国議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員
ニ告ク。

朕カ外征ノ師ハ広汎ナル地域ニ亘リ、万難ヲ排シテ随
処ニ敵ヲ撃破シ威武ヲ宇内ニ宣揚セリ。而シテ支那ト
ノ盟約ハ愈々固キヲ加フ。朕深ク之ヲ欣フ。今ヤ戦局
重大ナリ。宜シク億兆一心益々国力ヲ増強シ敵国ノ非
望ヲ破碎スヘシ。

朕ハ挙国臣民ノ忠誠勇武ニ信倚シ速ニ征戦ノ目的ヲ達
成セムコトヲ期ス。朕ハ國務大臣ニ命シテ、昭和十八

年度及臨時軍事費ノ予算案ヲ各般ノ法律案ト共ニ帝国
議會ニ提出セシム。

卿等克ク朕カ意ヲ体シ和衷審議以テ協賛ノ任ヲ竭サム
コトヲ望ム。

○五時半、田中好氏ヨリ猪肉ヲ饗セラル。赤坂福住ニテ
満腹ス。末次、俵、小泉、勝、赤木、田中、河井出席
ス。徒歩四谷ヲ経テ帰ル。

十二月二十七日（日）晴 頗寒

○朝四時頃覚眠ス。大分山口両県ノ甘藷増産成績ヲ写ス。

○九時半、貴族院へ登院ス。庶務課ニテ沖繩へノ電報料
不足ヲ払フ。

○同成会總會アリ、交渉委員ヨリ去二十四日以来ノ交渉
会ノ内容ヲ報告アリ。菊地恭三君胃癌ニ罹リ重体ナリ
ト聞ク。依テ一同ヨリ見舞トシテ鉢植ノ花ヲ贈ルニ決
ス。実行ヲ稲畑勝太郎氏ニ依頼ス。

○十時開会。勅語奉答書ヲ可決シ、全院委員長ノ選挙ヲ
行フ。徳川圀順公当選ス。次ニ各部ニテ常任委員ノ選
挙ヲ行フ為休憩ス。十一時二十分再会。常任委員氏名
ノ報告アリ、次ニ東条陸相、島田海相ノ戦況報告演説
アリ、最後ニ徳川家正公ノ説明ニ依リテ陸海軍ニ対ス
ル感謝決議可決セラル。両大臣ハ直ニ之ヲ全軍ニ通知

スル旨ヲ演説ス。宇佐美勝夫氏薨去ニ付、弔辭贈呈ヲ決議ス。

十二時五十五分散会。食堂ニテ天どんヲ食フ。佳味ニシテ七十銭ナリ。

○米山氏ノ好意ニ依リ宇佐美勝夫氏ヲ弔問ス。

○夜七時隣組常会アリ。

〔欄外〕

○昇三郎ハ朝十時頃他出ス。今夕発帰阪ノ筈ナリ。

○夕刻、朝鮮方面ニ対スル謝状六通ヲ認ム。

○後藤文夫氏ニ面会シテ、所得税ヲ山林増伐分ニ課スルニ付意見書ヲ呈ス。明日兩人ニテ大蔵大臣ヲ訪問スヘキヲ約ス。

○藤野沖繩第一中学校長ヨリ、一月十六日ニハ同校生徒ノ査閲アルヲ以テ、歌会始御儀ノ日ヲ電報ニテ照会シ来ル。

十二月二十八日(月)晴 頗寒

○出発時ニ長谷川將軍ヲ訪ヒ、元旦ノ拝賀ニ同車ヲ誘フ。

○朝、稲田内閣書記官ヨリ電話アリ、藤野氏新年歌会始御儀陪聴ノコトハ、文部省ヨリ推薦者満員ナルニ由リ今回ハ見合セラレタシトノ趣意ナリ。依テ之ヲ了シ次回推薦ノコトヲ依頼ス。

又、宮内省へ御儀ノ日ヲ問フ。之ニテ藤野氏へ電報ヲ以テ、今回ハ見合セラレタシト通知シ書面ヲ以テ右ノコトヲ報告ス。

○十時過、中央林業協力会ニ出頭ス。増伐木材所得ニ対スル所得税累進率賦課ヲ止メラレタキ意見書ヲ大蔵大臣及農林大臣ニ提出スルノ用意ヲ為ス。右ノ用意トシテ菌部博士ヲ訪ヒシニ、不在ナリ。依テ白澤博士ニ電話ニテ不明ノ点ヲ質ス。

三時半、大政翼賛会ニ後藤会長ヲ訪ヒ、会長ト同車大蔵大臣ヲ訪ヒ、右ノ意見書ヲ提出シ考慮ヲ求ム。大臣之ヲ諾ス。

○後藤会長ノ車ニテ農林省ニ送ラレ、山林局長ヲ訪フ。不在ナリ。依テ小山田監理課長ヲ訪ヒ、局長次官ヲ經テ大臣ニ右ノコトヲ通セラレンヲ望ム。

○五時半、光永星郎氏ニ招カレ、電通ニテ天城山猪肉ノ戎吉斯汗鍋焼ヲ食ス。来会者八九十名、甚盛会ナリ。

〔欄外〕

○興三、九時頃帰宅ス。腫物ノ経過良好ナリト云フ。

○敏子ハ午前中日本赤十字社病院ニ至リ産科医ノ診察ヲ受ク。胎兒健全ナリト云フ。

館林マス子同道世話ス。

○重友ハ午後ノ汽車ニテ遠州へ赴ク。

○漆山氏トアジアニテ中食ス

十二月二十九日(火)晴 甚寒

○早朝、代田二丁目□□ニ小山田光一氏ヲ訪ヒ、中央
林業協力会ノ手当金ヲ渡ス。

○九時半頃、一木男爵ヲ見舞フ。約一ヶ月感冒ノ為ニ臥
床セラル。昨今平熱ニ復シ、食欲出テ元氣ヲ回復セラ
ルト云フ。寢室ニテ談話ス。ストーヴヲ入レタルモ燃
料ヲ有セスト云フ。談話ハ主トシテ、帝室御財政ニ関
スルコト及甘藷増産運動ニ関スルコトナリ。十時半辞
去ス。

○十一時頃、野口明氏ヲ帝室林野局ニ訪問ス。一木男へ
木炭ノ供給ヲ潤沢ナラシムルコトヲ依頼ス。偶々技師
島本〔空白〕氏在リ。又、小島〔空白〕氏モ来リ、南
洋方面ノ森林ヲ御料ニ入ルルノ可否ニ付所見ヲ交フ。

○十二時過、丸ビル東洋軒ニ三氏ヲ招キ中食ヲ呈ス。

○日本倶楽部ニ至リ、所用ヲ弁シツ、一昨夜矢吹男ノ紹
介ニ係ル有坂文夫氏ノ来訪ヲ待ツ。四時過ニ至リシモ
来ラサルヲ以テ退出ス。

○四時半頃、農林大臣ヲ官邸ニ訪問ス。昨日大蔵大臣ヲ
訪問セシ件ニ付、大臣ニ報告ス。大臣ヨリ甘藷増産ニ
協力アルヘキコトヲ求メラル。之ヲ諾ス。

○夕食ノ時、小柳直吉氏ノ贈レル野鳩ヲ食フ。頗美味ナ
リ。

十二月三十日(水)曇 寒冷甚

○朝、山林局長井出正孝氏ヲ訪問シ、年内中林協ニ与へ
ラレタル支援ヲ謝ス。

○田辺三郎平、榛葉勇次郎、栗林新吉三氏ニ対シ、贈品
ノ謝状ヲ認ム。又、丸山方作氏ニ対シテ明年甘藷増産
計画ニ付報告ヲ為ス。其他吉田知三、繁田武平、野口
明、漆山雅喜等諸氏ヘモ発状ス。

○十二時半出發宮城ニ参入、歳末御祝詞言上ノ記帳ヲ為
ス。

○中林協事務所ニ立寄り、去二十一日ノ中林協評議員会
ノ記録ヲ受取ル。

○一時半、青山斎場ニ於ケル宇佐美勝夫氏ノ告別式ニ臨
ミ、焼香ス。

○二時、朝鮮京畿道林業試験場有坂文夫技手来訪ス。甘
藷栽培ノコトニ付説明ヲ与フ。

○角替利策氏三時頃来訪ス。匡子縁談ノコトヲ報告ス(毛
糸(スフ)ヲ与ヘラル)。

○夜、雑記帳ヲ手製ス。
〔欄外〕

○小林次郎氏来訪。歳末ノ挨拶ヲ述ヘラル。

十二月三十一日（木）晴 寒和ク

○終日家居。丸山、石原、丸尾、磯部、神谷、昇三郎、戸塚、海野、山崎（健太郎）、河西、鷺山等ノ諸氏ヘ年末挨拶其他ヲ発ス。

○高柳暉、村松孝一両氏来訪ス。

○加藤虎之亮氏ヨリ電話ニ接ス。依テ川島悦郎氏ヘ電報ヲ以テ婚儀ノ日決定回答ヲ催促ス。夕、返電アリ、三十日ヲ希望ストノコトナリ。

○午後、掛軸ノ取換ヲ為シ、又、額ヲ掲ケ直ス。

○要、五時過帰京ス。

○隣組長ヲ郷氏ニ譲ル。夕、同氏及母堂来訪、事務ノ引継ヲ為ス。

河井弥八手帳 1942年 抜粋

手帳 凡例

- 1 以下以外は日記の凡例に準じた。
- 2 判読不能の場合はその文字数程度の □ を入力した。
- 3 句読点は原文通りを原則とし、新たに付さなかった。
- 4 文字の大小は考慮しなかった。

貴族院調査会 第五部会 17-6-25

○仏印ノ植物ニ付テ。理博本田正次氏

本調査班ノ目的ニ付テ述フ 然レトモ各種資源ノ徹底ノ多量獲得ハ不可能ナリ 其理由ハ

1. 土地広大ナルコト
2. 交通路不全
3. 自動車燃料不足ニシテ探検隊ノ行動困難ナルコト

故ニ予定ノ規模ヲ縮小シテ自然科学上未開墾地タル老撾地方ヨリ着手スルニ致シタリ 然レトモ調査ノ部門ハ広範ニ亘ルコトトス 而シテ人数ハ各班少数ニ限リ一行三十人以内トス 時季ハ雨期ヲ避ケテ乾季トシ 秋ヨリ始ムルニ決ス。雨季調査ノ利益ハ別ノ方法ニテ之ヲ収ム

ドクター総督初メ学者ノ大ナル協カヲ得タリ

調査要項 物ノ有無、性質、数量、用途

1. 木材。北ラオス地方ニ甚多シ

パルプ資源意外ニ多シ……松類ト云フ闊葉樹ハ調ヘズ

ラワン チーク等用材（器具用、建築用）甚多シ

薬用材多シ。白檀。タンニン原料等

松類多キカ如シ 之ハ南支ヨリ東京州ニ互リ多ク見ラル

2. 草木。薬用、染料用ノモノ亦多キカ如シ

学者ペトロー氏ノコト

植物研究所ノ不完全。根本的調査方法ノ完成ニ期待ス

北老撾ノ外 所見附言

南部仏印ノ車中観。水田ニ付テ 水田ノ中及周囲ノ竹叢ニ付テ

竹ノ利用ヲ盛ナラシムヘシ

馬來 Jungle トハ多種常緑木ノ密林ニシテ籐其他ノ蔓有刺植物纏延シ人ノ容易ニ入ルヲ許サス 多クハ湿地ニシテ猛獸、毒蛇生息ス

植物採取ノ困難ト利益

護謨林ノ状況

昭南島、植物園 ラップルスノ Museun、Library アリ 之等ハ完全ニ戦火ヲ避ケテ

保存セラレタルハ学界ノ至慶ナリ

○仏印ノ地下資源ニ付テ 理博大塚弥之助氏

最近ノ欧洲事情 安藤欧亜局長 17-6-26

独ソ戦ニ付テ

独ハ決シテ悲觀スヘキニ非ス 昨年 Hitler ノ対ソ見誤リト對ソ戦争開始ノ好運. 冬期ソ聯ノ反撃ト効果

今秋ハ Volga ニ達シ Caucasus 油田ノ若干ヲ確保スヘシ。イラン、イラクハ明年ナラン

ソ聯ノ今後. ソ聯ノ人口ノ動向ト政府鼓舞 — ソ政権ノ鞏固。ソ聯ノ工業力ト資源饒多. 兵ノ装備及食糧十分ナリ. 然レトモ其戦力ハ次第ニ低下スヘシ

独ソ戦ハ欧州諸国ノ態度ニ影響スルコト大ナリ.

トルコ 戦争ニ干与セス。国力伸張ニ専念ス。

仏. 不即不離. ラバール親独派ナルモ中立ヲ守ル。独ハ之ヲ好マス

西. 態度曖昧ナリ. 目下中南米ヨリ物資ヲ集ム 埃及ノ戦争ト西班牙ノ勃興

独 人的資源. 捕虜. 伊国人ヲ用フ

独伊聯契

精神的ニモ政治的ニモ鞏固ナリ 伊ノ失敗ニ独ハ援助ス

Hitler ノ演説 H. ハ常ニハ伊人ヲ離セサルヲ命スルト共ニ大ニ文化的政策ニ依リテ伊ノ人心ヲ収ム 独ハ又日本ト伊トノ關係ヲ緊密化センコトニ努ム。

M 首相ノ對独對日態度. 单独講和否定問題. 對米宣戦ニ南京政府承認問題ニ M ノ精神ヲ見ル. M. ノ日本精神文化研究ニ努ム. 之カ戰鬥方法ニ影響ス

大東亞戦争ノ独伊ニ及シタル影響

戦争ノ前途ニ對スル確信ヲ与ヘタリ

戦争ノ影響

鉄石炭ハ豊富ナルモ ゴム、スズ、タングステンノ不足ニ悩ム

人的消耗ノ創痍. 東亞ノ必要物資供給ノ要.

英国

独ソ戦ニ依リ国力ヲ回復ス. 空襲少キ故工場回復ス. 飛行機タンク多数出来タリ 又此間食糧原料ノ蓄積ヲ得タリ 故ニ今後ノ抵抗力強カラン

米国ノ援助ニ依リテ一層強カトナラン

只最痛心スルハ商船撃沈ナリ此状況カ今後六ヶ月ニ互ラハ英ハ降伏ノ外ナカラン故ニ此際独ノ大捷ニ依リテ英ニ對スル大空襲アラハ英ノ困難一段ナラン

近キ将来ニ英独ノ单独講和ハナカラン防共戦捷ヲ信ス

独ソ講和亦然リ ソ聯ハ戦争ニヨリテノミ国内安全ナラン。

動乱世界ヲ巡リテ 鉄道官立花次郎 17-11-25

鉄道輸送力 米〔米を丸で囲む〕列車5000屯 ソ〔ソを丸で囲む〕3000 独〔独を丸で囲む〕1200

独逸食糧。

一週 パンニキロ. 一日半斤程度。内白1/3. 黒2/3.

白パン100gm [小文字] ノ交換價。 Restaurant feltküffe^[feldküche カ] [野戦炊事場カ]
外食ノ時ニモ割当券ヲ用フ 木、一皿一 mark 火. 金. 肉ナシ day 肉アリ、
日水土ダケ一流料理店何人ニテモ行ク
労働者. 八階級ニ分ツ 閾値二十倍 銃殺 Köln 市長
最重労働者パンニ倍、肉バタ 2.8 倍 煙草一日分 男三本 女 1/2
招待状ニモ食券ヲ提出セシム.

物価騰貴 一年ニ三倍以上

徴用 女子 23 ~ 25 子一人アルモ免レス. 外人労働者は初メ放逐セシモ今ハ招寄セル

Organisation Trad. 輸送力確保、荷役□

高知営林局管内森林増伐計画 局長談。

全体ノ施業案ニ対シ、本年度ノ増加斫伐ハ六割三分ナリ。

其結果、輸送機関（林鉄）ノ利用都合ヨキ箇所ニテハ施業案ニ対シ二倍以上ノ伐採ヲ為シ不便ナル箇所ニテハ六割程度ニ止ム 即奥山ハ伐採量ヲ減シ口山ヨリ多量ノ算出ヲ期ス 是レ経費ノ小額ナルト資材燃料労力等ノ不足ナルニ由ル

伐採方法ハ択伐ヲ主トスルモ部分的ニハ皆伐ヲ為ス

増伐計画ハ斯ノ如クシテ永續シ能ハサルヘシ 三四年間ハ継続シ得ラルルナランカ. 他日ノ風水害ニ対シテ最危険ナリ.

風潮害事項

1. 稲ノ潮害枯死ヲ救ヒタル例

(a) 広島県佐伯郡宮内村青年学校教員高石功氏二十八日早朝ヨリ生徒ヲ指揮シ潮水浸入セル田面ニ灌水ヲ施シ約二十町ノ被害ヲ著シク軽減シタリ (村民ハ家屋堤防等ノ防築ノ為、斯カル余裕ナカリキ)

(b) 同郡小方村農会技手某氏ハ二十七日夜ヨリ灌水シ同様ノ効果ヲ挙げ村民感謝措カス

2. 海岸防風林造成ノ必要

山口県ニ於テ海岸防風林ノ存セシ箇所ハ被害概ネ軽少ナリ. 海岸ノ松樹ハ伐採セラルル趨勢ニ至ルモ猛省ヲ要ス

土佐海岸 (室戸岬途上) ニテ海岸堤防成レリトノ事由ニテ保安林ヲ解除シ松ノ大木ヲ

伐倒シタル箇所ヲ目撃シタリ輕挙悔ヲ貽スナキヲ憂フ

3. 貯木場設置ノ必要

(a) 山陽パルプ会社 (岩国市) ニハ設置アリ今困ハ三十万石ヲ貯ヘシモ一本ノ流失ナシ
又岩国ニハ昭和十二年ニ設置セル県営貯材場アリ (経費三十万円ヲ要セリ) 災害ノ
時六万石ヲ委託ヲ受ケ貯蔵セシニ一本ノ流失ナシ。

(b) 反之. 宇部市ニテハ十五万石ヲ流失セリ

此内四割ハ収材競セリ此木材ハ坑木ニシテ沖ノ山. 東見初. 沖宇部. 元山. 大浜等
炭坑会社ノ所有ナリ而シテ大浜ノ如キハ一本ヲモ剩サス

三田尻ニハ陸軍用材 (樺古材) 25,000 石ノ大材ヲ陸揚ケシ (船三隻ニテ運来ル)
アリタルニ悉ク流失シタリ材木業者百余石ヲ徴用シテ此内七割ヲ収材シタリ

(c) 県ハ貯木場急設ノ為 1,000,000 ノ予算要求中ナリ

(d) 之等ノ流材ハ損耗ニ帰スルノミナラス人命家屋其他ノ設備ヲ破壊セルコト多大ナ
リ石炭増産必要ノ折柄、甚遺憾ノコトナリ

4. 潮水浸入跡農耕地ニ植付クヘキヤ

稲作ハ当分適當ナラス藺ナト宜シカラシ

二毛作ノ箇所ニハ麦 (小麦) ト棉又ハ甘藷適當ナラン麦類ト甘藷ニ付テハ大ニ進言ス

5. 山口県本年度軍用供出材ノ督励

県ハ年度初ヨリ軍用材ノ供出ニ努メ一般需要ヘノ供出ヲ押ヘテ銳意強行シタリ其規
格ハ長十三尺ニシテ供出目標ハ十万石ナリ. 斯カル長大材ヲ多量ニ供出スルニハ一般
向ヲ後廻シトスルノ外ナク伐出モ公有林私有林ヲ問ハス然ルニ木材会社側ハ供出成
績悪シキヲ高調シタレハ森組ノ伐入督励ヲモ行ハシムルニ至レリ

然ルニ会社ハ十三尺ノ規格ニテ軍用ニ供スト揚言シナカラ二十尺乃至二十五尺ノモ
ノヲ作り遙ニ高価ナル電柱物ト為シテ巨利ヲ収メタリ是ニ於テカ森林所有者森組側
ハ会社ヲ以テ名ヲ軍用ニ籍リテ私利ヲ營ミ以テ森林所有者ヲ害スルモノト為シ非難
シテ已マス之ニ對シテハ県当局ハ会社成立後日尚淺キヲ以テ兩者ヲ妥協セシメント
努メシモ成ラス遂ニ森組ト会社ト協議シテ価格ノ折合ヲ付ケシメントセシモ亦成ラ
ス紛争ノ間ニ今回ノ災害ニ遭遇シタリ

木材会社側ハ此際ハ尚分森組側ヲ抑制セヨト言フモノアリ其態度甚不当ナリ

以上ノ事實ハ曲会社側ニ在ルハ勿論ナリト雖モ森組ト会社ト同時ニ結成セラレ其何
レモ未確固タル基礎ニ立タサルノ間ナレハ斯ノ如キ異変ノ發生スルハ当然ナリト云
フヘキカ

6. 陸軍省所管防府貯材所ニハ滑ナメラ国有林ノ伐出材ツガ. モミ. 檜ノ大材末径二尺…
三尺. 長三間~四間ノモノ約一万石計リ累積シアリ 既ニ一年ヲ経過シ漸次朽敗シツ
ハアリ. 之ニ對シ當局ハ此材ハ腐朽セシメテ宜シト言フト云フ

7. 炭坑用坑木ノ規格

山口県内用ト九州向トハ相違アリ

(a) 字部用

末口直径 長
三寸 四～五尺
四寸 五～六尺（此モノ多シ）
五寸 六～八尺

字部用ハ末径ト長トノ釣合ヒ嚴重ナリ

故ニ単価石六円平均（発駅ホーム渡）ニシテ三割高ナリ。

字部ニテハ落盤ヲ為シ坑ヲ充填ス（九州ニハ此事ナシ）。

(b) 九州向

五寸 八尺～一丈

(c) 一般的規格

末径 四寸～五寸 近来三四寸ノモノモアリ。

長 六尺～六尺四五寸

末径五寸長六尺四五寸ノモノハ一石ニ付六本六分トナル

末径三四寸ノモノハ石、十二本程度

8. 今回ノ強風ニ依リテ山林ノ被害ハ意外ニ多大ナリ

殊ニ大木ノ倒折甚多シ是レハ適當ナル間伐又ハ撫育ヲ怠リタル山林ニ於テ頗顯著ナリ

（吉川子爵家山林部安田鐵三氏談）

山口県内水害激甚箇所

1. 車上瞥見

深溝. 阿知須ノ海岸

岩国市 錦川下流 今津川 門前川ニ因ル三角洲地帯ノ浸水。川下区／愛宕区被害激甚

門前川左岸ノ締切ハ十月四日出來ス

今津川左岸沿ノ山陽パルプ会社敷地ハ護岸堅牢ノ為被害ナシ（白井四方氏案内
反之川下区ヲ主トスル吉川子爵ノ所有田二百町歩ハ今尚^マ侵水去ラス（安田鉄三氏）

吉川家ハ罹災者ニ杉皮三坪宛ヲ賜リ又金五千円ヲ恤救ス

下関市長府町ニ於ケル被害

国道 会社（火災・マクネシウム屑）

防府. 破堤四ヶ所 材木流失多シ

富田 開作 浸水 道源権治氏説明

徳山

2. 知事説明

小郡ヨリ宇部ニ至ル開作 1600 町歩ノ水田浸水収穫皆無。将来数年間稲作不能。
厚東川右岸ハ県道上部ハ既ニ~~メ~~切完成セシモ、以南（厚南ト云フ）ハ~~メ~~切出来ス。十月五日ヨリ之ニ対シ~~メ~~切ヲ開始シ、二十日ヲ以テ完成セントス此被害面積 260 町石炭産出量ハ予定量ニ比シ 1/3 以内減少ス。宇部市内ニハ稼行不能ニ陥レル炭坑アリ小野田市 有帆川左岸ノ田地被害激甚。市ノ重ナル部分悉ク浸水、住民被害県下第一。県ハ対策、（応急、回復）ニ汲々タルモ此際特ニ釘、セメント、魚網、漁具ノ配給急要ナリ。又汐入地ノ農作物ヲ如何ニスルヤハ指導中ナリ。

3. 宇部市長説明（伊藤勘助氏）

沖ノ山炭坑（渡辺系）東見初炭坑（藤本系） 何レモ年産 1,200,000 屯ハ無事殉職者 250 人

小炭坑ノ稼行不能トナレルモノニツアリ

西大路炭坑ハ工夫救出ノ為出迎者三人死ス

工場ノ被害中

マクネシューム会社ハ~~ニ~~ガリ（原料）溶失ス

高オクタン燃料会社ハ油流失ス

二社（其他モ同様）モーター、機械ニ錆ヲ生シ損害多大ナリ

港内沈没船 150 隻。此中 dredge boat 一隻、汽船二隻、機帆船 漁船多数アリ開作ハ大内義隆ノ時ヨリ始メラル海岸築堤ニ依ルモノニシテ爾来ノ開田甚多シ此殆全部ハ海水進入シタリ

鮮人二万人、アリ内鮮関係甚 delicate ナリ

思慮ノミニシテハ行カス将来モ六ヶシキ問題ナリ

彼等ハ一定ノ賃金ヲ好マス闇稼ヲ目的トスル者多シ

沖ノ山炭坑ニテ十四五万円ヲ以テ防空壕ヲ作りシニ彼等ハ却テ喜ハス斯カル危険地ニテ従業スルヲ欲セスト言ヘリ

災害以来、食物ハ不足セサリシモ衣類ト薬ノ不足甚シ

4. 小野田市長（細迫兼光）説明 助役小野正助氏

小野田市ノ被害トシテハ住民ノ殆全部カ被災者ナルコトヲ特徴トス。市ノ大部分ハ夜中突如七八尺ノ水ニ侵サレ住民ハ辛ウシテ身ヲ以テ免レタルハ素ヨリ家財商品等ヲ携帯スル能ハス又住宅ハ引続キ連日二回満潮ノ侵ス所トナリ家中ノ遺留品ハ悉ク腐朽シテ用ヲ為サスト云フ

市民ハ三日間水浸米ヲ炊イテ食ヘリ飢餓ニ迫ラルルモ悪臭強クシテ食フニ堪ヘサリキト云フ

水道ハ不通一日ニシテ復旧ス。其時ノ歓喜譬フルニ物ナシ

炭坑ノ損害最モ多キハ桜山炭坑ナリ。坑内ニテ三十名死亡ス

工場ノ損害ノ最モ多キハ小野田セメント会社ナリ四日ヨリ一部ノ操業ヲ開始シタリ全活動ニハ本年中ヲ要ス

次ハ武田製薬工場ノ硫酸会社ナリ。日産化学工業会社ハ社員ノ社宅ノ損害多シ以上ニ対シテ市ハ鋭意食糧ノ供給ニ努メ又大ニ衛生ニ注意シタレハ幸ニシテ伝染病発生セズ

家屋ノ損害ニ対シテハ修理用材二万石（一戸二石券）ノ割当ヲ確保シタルモ衣服寢具ノ欠乏ハ真ニ堪へ難キノ苦痛ナリ又畳、建具、障子紙、チリ紙ノ如キモノマテ欠乏シ逐次補給ニ腐心ス

昭和十七年度木炭需給ノ見透シト対策

第一、戦時下木炭需要情勢

加速度増加ナリ 最近石炭瓦斯等ノ家庭用燃料ノ需給関係ノ変化ニ基クモノニシテ殊ニ産業交通方面ニ於ケル飛躍的需要増加ノ影響ヲ受クルコト多シ

昭和八年以来ノ木炭消費推定量下ノ如シ

昭和八年 580,000,000貫

九年 620,一,一

十年 640,一,一

十一年 635,一,一

十二年 635,一,一

十三年 690,一,一

十四年 690,一,一

十七年 850,一,一

昭和十七年度ニ於ケル用途別消費割当量

家庭用55% 瓦斯用13%

鉦工業用15% 農工業用 5%

事務用 7% 小口業務用 7%

1942年日記 人名録

人名録凡例

- 1 配列は、五十音を基本とした。苗字のみで名前が不明の場合には、その苗字の最初とした。
- 2 アルファベット名は、全体の末尾にまとめた。
- 3 「記載月日」は、日記記載月日であり、2桁で示した。
- 4 人名字体は、日記記載に準じた字体を使用した。

氏名	記載月日(mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
相川 勝六	01.06 06.18 07.02 08.14 08.19	愛知県知事 6月～大政翼賛会実践局長 官僚・政治家
青木 一男	09.17 11.01	無任所大臣 11月～大東亜相
青木 信光	01.27 05.12 07.07 07.15	貴族院議員(子) 研究会
青木	11.05	農林大臣秘書官 職員録に無し
青野 文之丞	05.19	
青野文之丞夫人	05.18	
青樹 吉兵衛	05.07	陸軍軍医大尉
青森 幸吉	05.22 05.23	静岡県農業試験場主任技手
青山 於菟	02.23	静岡県職員録 知事官房になし
赤池 濃	01.19 01.28 01.31 03.23 12.19 12.23	貴族院議員(勅) 同和会 元静岡県知事
赤木 正雄	01.16 01.18 01.19 01.27 01.29 02.03 02.06 03.19 03.21 03.22 03.23 03.24 03.25 03.31 04.01 04.02 04.04 04.10 04.11 04.14 04.15 04.20 04.21 04.23 04.25 04.26 04.27 04.28 04.29 05.01 05.05 05.08 05.12 05.20 06.20 06.23 06.25 06.26 06.30 07.02 07.03 07.07 07.08 07.09 07.11 07.14 07.29 08.03 08.10 08.18 08.19 08.25 08.31 09.01 09.02 09.03 09.04 09.08 09.11 10.29 10.30 11.01 11.04 11.17 11.18 11.24 11.25 11.28 12.03 12.04 12.15 12.22 12.26	国内砂防技術の基礎築く 砂防の父
赤木 樟一	01.20 01.23 01.27 01.28 05.16 05.21 05.27	中央林業協力会理事兼主事
赤木	04.20	
明石 照男	05.21	第一銀行頭取
明石 為治	04.13	明石合名会社社長
梶 忍	01.06	名古屋市長 1881-1942 大正-昭和時代 前期の官僚
縣 敏	01.16	梶忍の誤記カ
赤沼 千尋	08.08 11.05	
阿川 新平	01.28	
阿川 昌朝	05.31 10.26 10.28 11.01 11.26 11.29 11.30	北沢二丁目町会長 池之上小学校会顧問
秋山 光夫	09.10	東京帝室博物館列品課監査官
安積 得也	01.06	愛知県経済部長
朝田	09.16	眼科医
浅野 総一郎	10.25	二代目浅野財閥総帥 セメント統制会長
朝比奈 アキ子	02.06 03.02 03.13 03.14 03.15 03.18 03.19 03.20 03.22 03.23 03.24 03.25 03.26 03.27 04.02 04.11 04.13 04.15 04.17 05.23 06.27 08.23 10.31	弥八娘、朝比奈貞一妻
朝比奈 瑛子	02.06 03.22	朝比奈貞一の家族
朝比奈 貞一	03.18 03.20 03.22 04.13 06.25 08.03 08.05 12.17	弥八の娘婿 朝比奈氏当主
朝比奈 美弥子	03.22	ミヤ子 朝比奈貞一の家族 ミサ子の誤
朝比奈 由紀子	03.15	朝比奈貞一の家族
芦澤 辨作	07.09	山梨県南巨摩郡睦合村長
厚地 法人	12.09 12.10	朝鮮総督府農林局農産課長
安積 得也	02.25	東京府経済部長
阿野 進	06.10 06.19	鹿児島県学務部社寺兵事課属
阿部 邦一	02.17	愛媛県経済部長
阿部 春夫	10.12	富山県経済部農産課長
阿部 源蔵	02.23	高知県学務部長
阿部 稔	12.19	自動車運転手

氏名	記載月日(mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
安倍 能成	08.22	第一高等学校校長
有馬 重一	07.06	県農会幹事
安保 清種	05.27 12.02	海軍大将 男爵
阿保親王	10.7	平城天皇皇子 在原業平父、本文は安保と
天野 兼松	02.08 07.26 09.07 09.10 09.11	大日本報徳社農事講師
天谷 虎之助	09.07	内務官僚 「現代農村ノ傑出人物」著者
綾野 菅雄	11.13	和歌山県経済部農林技師 甘藷主任技師
新居 善太郎	09.17	内務省国土局長 本文は新井と表記
新井 石龍	11.21	新潟県 雪洞庵住職
新井 英夫	07.16 07.24	貴族院調査部雇
荒川 英二	09.02 09.04 09.09	住友鉱業所長
荒川 秀俊	08.05	中央气象台調査課長
荒井	06.27	貴族院カ属
荒木 貞夫	10.25	陸軍大将 男爵 大日本興亜同盟顧問
荒木 與逸	10.13	石川県農会技師
有坂 文夫	12.29 12.30	朝鮮京畿道林業試験場技手
鱒坂 二夫	01.13	静岡県視学官 本文は有坂と表記
有松 昇	07.27 07.29	宮城県経済部長
有光 次郎	09.17	文部省大臣官房秘書官
安藤 伊佐雄	10.10	岐阜県郡上地方事務所経済課長
安藤 紀三郎	06.18 11.23	大政翼賛会副総裁 陸軍中將
安藤 狂四郎	02.21 04.24	京都府知事
安藤 得美	11.09 11.12	奈良県内政部林務課長
安藤 義良	06.26	外務省欧亜局長
安間 忠一	05.31 06.21	元満州拓殖会社社員
飯國 壯三郎	07.19	大和紡績会社出雲工場長
飯島 重次郎	05.23	
飯島 幡司	01.30 02.05	日本出版文化協会常務理事
飯塚 銀次	09.12	石川県立師範学校教諭
飯田 英作	05.17 08.15 08.27 08.28 09.07	静岡育英会理事 聖路加病院副院長
飯田 俊徳	08.26	官僚 鉄道庁
飯田	11.17	静岡県育英会主事
飯田	01.13 06.17	静岡県学務部
飯田	06.23	
飯田	08.22 09.10 09.16	角替家養子候補
伊江 朝助	01.29	貴族院議員(男) 公正会
五百木 茂	10.19	武蔵高等学校生徒
庵地 保彦	01.21	庵地保の孫カ
庵地 武彦	01.21 07.02	庵地保彦三男
庵地	07.11 08.06 08.07	
井口 正夫	10.12	富山県学務部長
伊倉 義雄	11.19	新潟県南魚沼郡三用国民学校長
池澤 勇	07.05 11.04	日本甘藷馬鈴薯会社千葉出張所長
生悦住 求馬	02.14 02.15	佐賀県知事 読みは「いけずみもとめ」
池田 猪三次	11.28	元静岡県会議長 元衆議院議員(政友)
池田 耕一	11.28	池田猪三次嗣子
池田 乙次郎	07.09 07.10	山梨県森村山林事務所長
池田 克	01.31	司法省刑事局長
池田 欽三郎	03.03 03.04	茨城県経済部長

氏名	記載月日(mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
池田 秀雄	10.27 11.17	全国治水砂防協会
池田 雄二	04.25 04.26	内務省国土局神宮関係施設造営所技師
池端 栄	02.11	宮崎高等農林学校教授
伊佐 伊吉	11.21 11.22	
伊佐 勇松	08.22 10.15 10.17 11.18 11.19 11.21 11.22 11.25 12.21	要の知人 新潟
伊澤 多喜男	02.01 02.02 02.04 04.13 04.14 05.03 05.13 06.29 09.13 10.27 11.24 12.24	枢密顧問官 貴族院議員(勅) 同成会 (~1941年1月)
伊澤夫人	04.03 04.13	
伊澤 紀	02.25 04.03	伊澤多喜男次男
伊澤 つねえ	02.25 04.03	伊澤紀夫人 西宗久壽馬の娘
石井 英之助	03.14 03.23 05.17 05.19 05.22 05.26 10.27 12.16	農林省農政局長
石井 桂一	10.03 10.18	広島県土木部経理課長
石井 信	06.14 06.15 07.02 07.05 07.12 07.13 09.07 09.20 10.20 11.04 11.05	甘藷貯蔵法并収穫取扱方研究会
石井 義勝	12.26	日本産業経済紙記者
石井 亮二	07.28	東北振興パルプ会社取締役
石川 郁郎	05.14 11.17	遠州学友会(役員普通幹事)
石川 岩吉	12.23	宮内省皇太子傳育官長
石川 政	07.06	水戸出張所員
石川 太介	03.13	帝室林野局盛岡出張所長
石川 貞四郎	03.03	栃木県経済部長
石川 実太郎	02.20	愛知県篤農家
石川 与次郎	10.11	製炭地経営
石川	07.10	県立静岡中学教諭
石上 林二郎	07.28 08.01	東北振興パルプ会社常務
石黒 武重	07.03 08.26 10.20 10.27 11.28 12.21 12.28	農林次官 08.26 11.28は三浦と誤記
石黒 忠篤	01.19 01.26 10.27 10.29 12.16	第2次近衛内閣農相 農業報国聯盟理事
石毛 英一郎	11.04	千葉県香取郡橘村
石坂 弘	12.01	農林省総務局総務課長
石田 廣吉	11.19 11.21	新潟県浦佐村
石田	05.09	
石田	08.31	池之上国民学校会評議員会幹事
石田	11.24	
石塚 慶雲	06.06	長崎県対馬
石野 元治郎	01.05 01.12 03.17 03.30 04.05 04.08 05.30 08.30 08.31 10.22 10.24 12.06 12.07	
石野 福松	08.16 09.20 10.22	
石野 聡	04.30 09.20 10.22	
石野 弥三郎	08.30	村軍人会分会長石野弥三郎
石橋 徳作	10.17	貴族院事務局書記官
石原 民次郎	01.05 02.08 03.02 03.03 03.07 03.09 03.20 04.06 05.05 05.22 05.23 05.24 07.03 07.13 07.26 08.28 11.07 12.31	技手 気賀駅在 大日本報徳社農事講師
石原民次郎父	05.03	
石部 元三郎	07.08	山梨県西八代郡富里村長
石間 尚	01.11 04.13	静岡県志太郡島田町の資産家、弥八の甥
石間 たみ	01.14 01.15 03.04 04.12 04.13 04.19 09.11 10.25	民子(04.17) 多美子(06.19)
石間 信夫	01.11 01.14 01.21 01.22 01.23	
石間 全吉	06.20	
石渡 荘太郎	02.04 05.02 09.14 12.21	貴族院議員(勅) 研究会

氏名	記載月日(mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
泉 守紀	12.26	沖縄県知事
五十川捨造	03.03	静岡県学務部教育課長
磯崎 忠五郎	07.06	茨城県那珂郡前渡村長
磯部 英一	01.11 03.04 04.13 04.18	静岡県磐田郡磐田町
磯部 きえ	04.12 04.13 06.20	磯辺きゑ子
磯部 幸一郎	01.08 02.08 03.30 06.14 07.13 07.26 09.07 09.20 10.01 12.31	丸山会会員 大日本報徳社農事講師
磯山 賛	07.06	茨城県地方事務所及郡農会技師
板屋 辰雄	11.13	技手
一條 秀美	06.26	
一木 喜徳郎	01.31 02.01 03.21 04.16 05.26 08.01 09.13 10.19 10.28 11.17 11.24 12.04 12.29	元枢密院議長 男爵 大日本報徳社社長 静岡県育英会会長
一木喜徳郎亡夫人	03.21	
一木 軺太郎	04.17	一木喜徳郎の実子、検事 静岡県育英会理
井田 完二	07.22 07.31	山口県総務部長
市川 藤五郎	09.13	愛知県八名郡大和村
一杉 藤平	09.12 12.04 12.10 12.11	朝鮮忠清南道内務部長
一杉藤平夫人	12.10 12.11	
井出 謙治	05.02 05.05 09.14	徳川宗家家政相談人 海軍大将
井手大将令息	05.07	勝彦カ
井出大将夫人	05.07	
井出 正孝	01.27 04.28 05.10 05.16 05.24 06.20 06.23 06.30 07.03 07.29 08.26 09.01 09.10 10.15 10.20 10.24 11.27 11.28 12.02 12.17 12.21 12.28 12.29 12.30	農林省山林局長 中央林業協力会理事
井戸 正明	07.20 09.13 10.01	江戸中期の大森代官 甘藷の普及に尽力
伊東 卓治	01.01 01.30 02.27 04.20 05.03 05.23 08.27	東京帝室博物館 北京大学教授 弥恵治弟
伊東 寿子	08.27	伊東卓治妻
伊東 弥恵治	01.30 02.27 06.19 08.04 08.27 08.28 08.29 09.01 09.07 09.16 11.18 12.02	千葉医科大教授 医学博士
伊藤 いさ子	06.20	
伊藤 市典	05.22 05.23 05.24	引佐郡鎮玉村長
伊藤 勘助	07.23 10.05	山口県宇部市長
伊藤 保三郎	08.09 11.05	元静岡県立葦山中学校長
伊藤 和三郎	05.14 05.17 05.21 06.19 11.17	静岡育英会 遠州校友会
伊藤 恒治	04.06 05.19 05.21 05.22 05.23 05.24 06.26 06.30 07.02 08.30 11.07	
伊藤 良次	07.07	
稲田 周一	12.26 12.28	内閣書記官
稲田 昌植	10.25	貴族院議員(男)公正会
稲畑 勝太郎	12.27	貴族院議員(勅)同和会
乾 武	02.12 06.08 06.16	鹿児島県経済部長
井野 碩哉	01.23 04.15 06.20 06.22 08.14 08.18 09.11 10.16 10.19 10.26 10.27 10.29 11.01 11.05 11.23 12.02 12.04 12.15 12.16 12.21 12.25 12.28 12.29	東條内閣農相
伊能 芳雄	01.13 02.23 03.24 03.30 10.21	静岡県学務部長
井上 玄一	03.14	井上円了博士息
井上 三郎	05.27 12.02	貴族院議員(侯)火曜会 陸軍少将
井上 司朗	09.06 09.10	情報局第五部第三課長
井上 健彦	01.16 01.17 01.18 02.26 06.27 07.05 07.11 08.01 08.13 10.29 11.01 11.04	日本甘藷馬鈴薯株式会社副社長
井上 匡四郎	01.16	貴族院議員(子)研究会
井上 重陽	02.11	宮崎高等農林学校作物主任教授
井上 綱雄	07.27	農林省馬政局馬産課長

氏名	記載月日(mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
井上 文介	11.09 11.11	奈良県内政部長
井上	07.06	
井野邊 茂雄	03.05 07.15 10.27 12.21	徳川公伝記編纂所長 国学院大学教授
猪股 敬四郎	02.12	鹿児島県警察部長
伊林 初次郎	04.20 05.03 07.14	内閣興亜院連絡部 北京赴任
伊夫伎 準一	11.03	元宮内官僚
今井 好二郎	07.21	浜田土木管区事務所長
今井 梧楼	10.30	長野県岡谷市長
今浦 庸介	06.07	鹿児島営林署技手
今関 秀雄	02.28 03.22	厚生館針灸治療師
今関 敏雄	03.08 03.25	目白厚生館針灸治療師
今松 治郎	03.20	内務省警保局長
今村 駿一郎	04.24 09.18 09.23	京都帝大理学部講師 本文は鑑一郎と表
今村 信次郎	04.29	宮内省皇族附 秩父宮別当 海軍中將
井村 豪	01.27 01.28 02.08 04.06 06.14 08.16	大日本報徳社農事講師
伊元 貞三郎	02.19	兵庫県経済部技師
入江 貫一	03.20 04.12 04.14 04.15 04.16 05.28 06.24 09.08 10.28 11.25	貴族院議員(勅) 同成会
入江	07.12	
岩井 豊治	06.22 07.15	隣組副組長
岩倉 道俱	05.13 05.27 12.02	貴族院議員(男) 公正会
岩崎	03.31 05.09	中央林業協力会書記
岩瀬 八重二	02.08 02.27 09.09	大日本報徳社農事講師
岩瀬 亮	07.11 11.04	日本甘藷馬鈴薯株式会社長
岩田 甚助	11.04	千葉県香取郡橘村
岩田 宙蔵	01.19 01.28 02.02 03.23 04.02 05.19 12.02 12.19 12.23	貴族院議員(勅) 同和会
岩田 勝	11.04	千葉県香取郡橘村
岩田 理一郎	11.04	千葉県香取郡橘村
岩竹 雄弼	07.20	島根県邇摩郡大森町長
岩塚 源也	10.20	大政翼賛会国民生活動員本部副部長
上浦 種一	09.12	内務省地方局内自治振興中央会常任幹事
上垣 堅一	09.03 09.07	別子住友鉱業所採鉱課坑務係長
植木 庚子郎	10.20	大蔵省主計局長
植木 松五郎	06.10	鹿児島県溝辺村長
上田 柳一	10.12	富山県土木部長
上田	10.20	全森聯主事
上野 季三郎	02.15	宮内官僚(故人)
上野 益男	08.26 09.02 09.03 09.04 09.05 09.07	別子鉱業所
植原 悦二郎	03.21 03.25 04.01 05.01 05.03 05.31 06.01 06.03 06.28 09.01 09.15 10.27 12.15	衆議院議員~4月 非推薦 元政友会
植原悦二郎弟	06.03	
上原 準一	09.24	香川県県森聯会長
上原 敬二	09.06 09.12	林学博士 山林文学集著者
上原 義雄	07.03	企画院第三課長 海軍大佐
上村 篤夫	06.08 06.19	宮内省諸陵寮可愛部陵墓守長
上村 覚之助	11.19 11.21	新潟県東村農会長
植村 家治	05.06 05.07 05.08	貴族院議員(子) 研究会
植村 甲午郎	12.21	澄三郎息 官僚 徳川家々政相談人
植村 恒三郎	06.06 06.07 06.08 06.09 06.10 06.18 09.22 09.23	九州帝大農学部教授 林学博士

氏名	記載月日(mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
植村澄三郎夫人	01.17	
宇佐美 興屋	02.04 03.05 04.29 05.02 05.29 06.03 08.15 08.25 08.27 09.14 10.17 10.28	陸軍中將 徳川家々政相談人 静岡育英 会理事
宇佐美 勝夫	12.27 12.30	貴族院議員(勅) 同和会 内務官僚
鶴澤 總明	10.06	元衆議院議員 元貴族院議員
氏家 武	06.18	大蔵省国民貯蓄奨励局次長
氏原 盛豊	09.29	速記者
牛尾 宗太郎	07.21	島根県美濃郡豊田村長
碓井 貞雄	02.10 02.11 06.12 06.16	宮崎県経済部農政課長
内ヶ崎 作三郎	05.25	衆議院副議長
内田 明	01.27 01.28 12.04 12.26	貴族院庶務課理事官
内田 重成	02.04 04.11 05.29 06.13 06.16 06.27 07.04 07.21 08.20 08.26 09.09	貴族院議員(勅) 交友倶楽部 司法官
内田 隆	03.03	
内山 真龍	02.04 02.09	遠江国豊田郡大谷村名主 江戸後期の国 学者
梅地 慎三	10.27	
浦部	05.14	安田銀行理事
漆山 雅喜	01.16 01.17 01.20 01.21 01.23 01.24 01.29 02.03 02.06 02.25 03.03 03.09 03.19 03.21 03.31 04.01 04.02 04.11 04.28 05.05 05.09 05.11 05.12 05.14 05.16 05.19 05.21 05.25 06.02 06.06 06.07 06.08 06.10 06.20 06.22 06.23 06.30 07.01 07.02 07.03 07.15 07.26 07.27 07.28 07.29 08.08 08.09 08.10 08.11 08.14 08.17 08.19 08.26 09.02 09.06 09.10 09.12 09.18 09.20 09.21 09.23 09.26 09.28 09.29 09.30 10.01 10.15 10.20 10.23 10.24 10.26 10.30 11.09 11.10 11.11 11.12 11.18 11.24 11.27 11.28 11.30 12.01 12.17 12.19 12.21 12.28 12.30	中央林業協力会 常務理事 理事長
漆山息	09.26	
海野 真岳	01.24 01.26 03.06 03.07 06.19 08.26 09.19 12.31	
海野	06.17	真岳と統一
江口 定條	01.19 03.21 03.22 03.23 03.25 04.02 04.09 04.21 04.23 04.25 04.27 04.28 05.01 05.04 05.12 09.01 10.30 10.31 11.04 11.25 12.02 12.15 12.19	貴族院議員(勅) 同和会 実業家
江口夫人	08.27	
江崎 誠	07.10	第6代静岡中学校長
悦翁	03.24	徳田悦翁に移動
榎谷 孝典	08.03	前橋税務署長 司税官
江松 次郎	3.24	
大石 健蔵	05.18 05.26	静岡県蚕種組合長
大石 蜂郎	04.13	
大石 三郎	08.22	
大内 慎太郎	03.11	秋田県経済部技手
大内	06.05 06.10	
大岡 禮三	12.03	山梨県経済部土木課長技師
大賀 正男	05.20 05.21	長崎県経済部林務課長
大木 操	04.30	衆議院書記官長
大口 喜六	06.18	大政翼賛会総務
大久保 立	02.04	貴族院議員(子) 研究会 海軍中將 故

氏名	記載月日(mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
大久保 利賢	06.25 07.02	横浜正金銀行頭取 日本銀行参与理事
大久保 利通	02.12	
大久保 寛一	02.04 08.01	帝室林野局業務課長技師 大久保立息
大熊 喜邦	06.03	博士 営繕官僚
大後 美保	08.05 08.07	文部省中央气象台産業気象課長
大河内 輝耕	01.19 02.06 03.21 03.22 03.23 03.25 04.01 04.02 05.19 08.11 08.18 09.01 09.08 10.27 11.17 11.25 12.15	貴族院議員(子)研究会 全国治水砂防 協会顧問
大河内輝耕夫人	09.14	
大河内 正敏	07.24 07.25	貴族院議員(子)研究会
大河内正敏夫人	01.26	
大里 忠二	03.19	農林省山林局林政課長
大澤 忠次	03.04 07.06	茨城県経済部農事試験場甘藷主任技師
大澤 融	04.11	農林省山林局監理課営林局事務官
大島 健一	06.03	貴族院議員(勅)同和会 元陸軍中將
大島	06.03	清風会幹事
大島	07.15	弥八東京隣組
太田 博	05.17	
太田 勇次郎	06.09	農林省熊本営林局長
太田	06.21	
大瀧 勲	03.27	大瀧靖息子
大瀧 靖	03.24 03.27 05.16 06.25 11.25 11.30	池之上小学校会顧問
大竹弟	01.16	
大竹山 森右衛門	06.11 06.19	技師 鹿児島県立農民道場長
大谷 英一	01.16 03.27 08.05 08.15 11.08 12.15	久連国民高等学校校長
大谷 英一	02.08 02.14 03.20	大日本報徳社農事講師 井伊谷村
大谷 五平	02.04 03.03 03.23 05.13 05.29 12.04	貴族院議員(多) 同成会 川柳作家 俳
大谷 東平	08.05	中央气象台予報課長
大谷 正男	11.11 11.28	宮内省皇太后宮職大夫
大塚 惟精	01.19 02.02 03.15 06.25	貴族院議員(勅)研究会
大塚 小一郎	06.16	
大塚 一也	06.16	大塚小一郎嗣子
大塚 伸次郎	04.01	
大西 甚一平	08.06	農村振興施設者
大西 虎之介	03.23 05.19 12.19 12.23	貴族院議員(多) 交友倶楽部 琴平電鉄
大西 龍三	04.22 04.23 04.24	滋賀県経済部土木課土木技手兼道路技手
大貫 元	07.19	島根県警察部長
大野 謹一	12.09	朝鮮総督府学務局長
大野 季夫	12.09	朝鮮総督秘書官
大野 芳子	02.06 02.27 03.01 03.02 03.24 04.12 04.28 04.29 05.02	よし子、ヨシ子とも表記
大橋	02.05	新橋内科医院医師 博士
大濱	07.06	
大村 留吉	01.03 01.12 01.14 01.24 03.16 04.09 4.12 04.13 05.29 07.14 08.15 08.29 08.31 10.21 10.24 12.05 12.07	河井家使用人
大村 直	05.01 05.02	衆議院議員(推)
大村 ますえ	01.11	大村留吉の妻 ます枝
大村 芳次	01.02 01.03 01.08 01.09 01.10 07.14	掛川報徳社 大村留吉息子
大森 くみ子	08.20	久美子と表記
大森 健三	01.31	
大森 しづ子	03.23 03.27 04.13 04.16 05.24 08.20	故大森健三妻、健一郎の母
大森 健一郎	01.10 07.14 07.15 08.25 08.26 11.23 11.25	要の甥

氏名	記載月日(mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
大山 巖	02.02	元帥陸軍大将
大和田 耕造	07.06	茨城県那珂郡前渡村助役
岡 喜七郎	01.16 03.09 03.23 05.19 05.27 11.24 12.02 12.19 12.23	貴族院議員(勅)交友倶楽部
岡井	05.21	中央林業協力会
小笠原 長生	04.29	宮中顧問官 子爵 海軍中将
岡田 温	08.06 08.07	農業技師 指導者 愛媛県温泉郡石井村
岡田 忠彦	03.21 03.23 03.25 05.25 10.25 10.27	元内務官僚 衆議院議員(推 5月～衆議院議長 元政友会)
岡田 秀勝	07.19 08.13	出雲市長
岡田 分平	08.05	岡田良平養子
岡部 長景	01.20 05.04 11.08	貴族院議員(子)研究会 国民精神総動員運動中央連盟事務局総長
岡本 愛祐	01.02 03.06 03.24 06.25 07.16 09.02 11.28 12.21	宮内省帝室林野局監理部長 官房主務・大臣参事官
岡本 三良助	03.05	栃木県経済部長
小川 清一郎	07.21	島根県浜田市役所長浜出張所長主事
小川	04.23	
沖野 悟	09.27 09.30	高知県知事
小倉 庫次	02.28	宮内省侍従職庶務課長
小栗 一雄	06.21 06.22	ボルネオ陸軍司令部附陸軍司政長官(顧問)
尾崎 喜八	05.30	詩人
尾崎 元次郎	06.17 09.21 10.16 10.21 10.23 11.01 11.06 11.07 12.05	静岡県森林組合聯合会会長(～3月 10月～静岡市名誉市長)
長船 克巳	02.10 06.12	宮崎県知事 内務官僚
小澤 三郎	04.23	滋賀県蒲生郡鏡山村長
小澤 豊	02.08 02.16	大日本報徳社農事講師
小田 正暁	07.30	東京府教職員互助会三楽病院医師
織田 智	03.06 09.07	千葉県経済部長
小田原 勇	03.21 03.29 03.31 08.15	静岡県立榛原中学校長 培本塾長
越智 太兵衛	08.06	衆議院議員(推) 大政翼賛会中央協力
落合 英司	11.23	
落合 信篤	07.10	
小野 春次	03.05	宇都宮高等農林学校庶務主任
小野 正助	10.05	山口県小野田市助役
小野 達道	06.06	農林省熊本営林局事業部販売課長
小野 仁輔	01.12 01.14 05.29 08.16 12.06	大日本報徳社副社長 東遠明朗会副会長
小畠	12.29	小畑忠(帝室林野局監理部庶務課長)カ
小原 盛	06.08 06.10 06.11	鹿児島県経済部林務課技師
小原 成二	06.19	
小原 直	01.16 01.19 01.28 01.31 03.18 03.23 03.26 05.19 12.19 12.23	貴族院議員(勅)
小山田 光一	03.19 06.06 09.10 09.28 11.27 11.28 11.30 12.01 12.17 12.28 12.29	農林省山林局監理課長
織部 幸五郎	08.16	
折茂 與四	03.12	青森県農産課主任官技手
海保 勇三	07.14 07.17	貴族院属
加賀谷 朝蔵	04.29	京都市長 内務官僚
垣内 幸太郎	06.19 11.17	遠州学友会
柿崎 平四郎	03.15 03.22	婦人之友編集部 柿崎とも
笥 繁	07.30 09.21 10.14 12.20	東京府教職員互助会三楽病院院長 博士
笥夫人	11.18	
河西 豊太郎	04.07 10.20 10.28	貴族院議員(多)同成会

氏名	記載月日(mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
河西 凜衛	04.06 05.19 05.21 05.22 05.23 05.24 06.26 06.30 07.02 08.08 11.06 11.07 12.31	引佐農学校教諭 県職員録：「凜」
笠原 亨二	10.31	山梨県内政部農務課長
片岡 要	06.17	静岡商工会議所
片岡 直方	01.06 01.07 02.19 04.05 04.07 04.08 09.12	大阪瓦斯会長
片岡 録朗	09.19	静岡商工会議所理事
片倉 兼太郎	06.24 10.28	貴族院議員(多) 同成会 片倉製糸紡績
片倉兼太郎母	07.02	
片野 重修	08.06	帝国農会副会長 元衆議院議員(政友)
片平 七太郎	04.05 04.07 04.08	庵原郡庵原村長
片平 信通	04.05 04.12	駿河東報徳社(庵原村)
片山 茂樹	06.06	九州帝大農学部教授
片山嘉太郎夫人	06.20	
加藤 貫一	10.10	岐阜県郡上地方事務所長
加藤 恭平	04.11 04.15 07.26 07.30 08.19	台湾拓殖会社社長
加藤 銚一	10.10	岐阜県林産物検査所八幡支所長
加藤 茂雄	02.25	東京府経済部技師
加藤 精三	02.12	鹿児島県学務部長
加藤 仁平	07.11 12.06 12.11	東京高等師範学校教授兼東京文理科大学
加藤 恒忠	02.17	外務官僚 1923年没
加藤 虎之亮	12.17 12.18 12.21 12.22 12.23 12.31	東洋大教授 中国哲学 静岡育英会理事
加藤 完治	10.27	本文は寛治と表記
加藤 弥一	03.29 05.22 08.31 09.07	培本塾主事
加藤 泰通	03.06 05.04	貴族院議員(子) 研究会
加藤 善徳	07.16	大日本生活協会代理主事
加藤	04.07	
加藤	08.26	武蔵高等学校教員カ
加藤	11.29	北沢二丁目町会副会長
門口 幸三郎	02.10 02.11 06.12 06.16	宮崎県経済部地方農林技師
門野 一雄	01.08	滋賀県立農事試験場技手
金井 秀夫	02.19	兵庫県体位向上係
金久保 栄次郎	07.15	弥八東京住居町内副組長
金杉 英五郎	01.29	故人
金森 吉次郎	12.17	大垣の治水事業家
金谷 隆一	07.26 07.27 07.28	日本木材社理事 海軍主計中將 日記は金谷隆と表記
金山 寛介	10.12 10.13	富山県知事官房秘書課長
可児 敏郎	10.11	岐阜県林産物検査所高山支所長
金子 堅太郎	05.20	枢密顧問官 伯爵
兼子 常一郎	01.10	県庁高等官地方農林技師
狩野 亨吉	12.25	元第一高等学校長 故人
加納 秀雄	10.08 10.10 10.11 10.12 10.15 10.18 10.19	農林省山林局林務課技師
鎌田 勝太郎	09.01	故人
鎌田 憲夫	09.01	鎌田勝太郎嗣子
紙谷 齊治	4.25	京都府土木部道路技師兼土木技師
神谷 あい子	01.14 04.10 04.13 04.14	神谷文平夫人
神谷 一郎	04.13	神谷文平親族
神谷 節子	11.01	神谷文平娘 敏子妹 丸尾文治妻
神谷 貞吉	04.13 08.08	神谷文平親族
神谷 久子	04.13	神谷文平親族 貞吉夫人
神谷 しを	04.13	神谷文平親族
神谷 茂子	04.13	神谷文平親族
神谷 清五郎	04.13	神谷文平親族
神谷 敏子	04.10 04.13	神谷文平の娘 重友妻 1942年4月13日結婚式
神谷 文平	01.11 01.14 04.10 04.13 04.14 08.03 12.31	磐田郡中泉町長
亀井 高孝	08.22	第一高等学校教頭
亀井	01.14	東遠明朗会

氏名	記載月日(mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
賀屋 興宣	02.04 05.28 06.18 12.28 12.29	東條内閣蔵相 貴族院議員(勅)研究会
唐澤 在民	04.26	技師
河合 三	03.15	河合産業社長
河合 慎二	05.21 06.07 06.18	福岡県経済部林務課長
河合	01.13	静岡県嘱託
川合 彰武	12.10	朝鮮銀行
川合 改次郎	12.20	画家
川合	12.04	末広会関係か
河井 要	01.21 01.22 01.26 01.28 01.31 02.02 02.07 02.08 02.19 03.02 03.03 03.04 03.13 03.14 03.15 03.19 03.20 03.22 03.24 03.25 03.26 03.27 04.01 04.02 04.03 04.11 04.13 04.14 04.15 04.16 04.18 04.19 05.15 05.17 05.20 05.21 05.24 05.30 06.02 06.04 06.17 06.21 06.23 06.27 07.01 07.02 07.26 07.31 08.01 08.02 08.03 08.04 08.05 08.07 08.08 09.01 09.06 09.10 09.11 09.20 09.21 10.14 10.15 10.16 10.17 10.18 10.19 10.26 10.31 11.02 11.03 11.14 11.15 11.25 11.26 11.29 12.13 12.14 12.18 12.24 12.25 12.31	弥八妻
河井 興三	01.03 01.09 01.11 01.17 01.23 01.31 03.06 03.09 03.25 03.31 04.13 04.15 04.28 05.01 05.03 05.17 06.17 07.04 07.07 07.14 08.07 08.17 08.19 08.19 08.21 08.25 08.26 09.01 09.02 09.06 09.10 09.11 09.20 09.21 10.01 10.14 10.16 10.31 12.17 12.26 12.28	弥八息子 武蔵高等学校生徒 10月1日～ 東京帝大理学部学生
河井 重友	01.02 01.03 01.10 01.11 01.13 01.14 01.15 01.20 01.21 01.22 01.23 01.29 01.31 02.07 03.15 03.22 03.23 03.25 03.26 03.28 04.01 04.03 04.09 04.10 04.13 04.14 04.15 04.16 04.17 04.18 04.19 05.03 05.15 06.16 06.25 06.27 06.29 07.02 07.07 07.25 08.02 08.07 09.06 09.11 09.21 10.14 10.17 10.30 11.23 12.12 12.17 12.20 12.25 12.28	弥八息子 日本電気社員
河井 敏子	04.13 04.14 04.15 04.18 06.15 08.02 08.25 09.01 10.16 11.01 11.07 12.28	河井重友妻 神谷文平娘
河井 昇三郎	01.06 01.08 02.03 02.04 02.18 02.19 02.21 03.27 04.11 04.13 05.03 05.04 05.05 07.04 07.25 07.31 08.02 08.15 08.17 08.18 08.20 08.26 10.06 10.07 11.14 12.01 12.02 12.06 12.07 12.12 12.13 12.14 12.26 12.27 12.31	弥八弟 大阪建物社長 住友各社役員
河井 高	01.06 01.07 04.11 04.13 04.24	河井昇三郎妻 伊澤多喜男娘 高子
河井 泰治	01.30 02.10 02.14 02.15 03.26 04.03 04.08 04.13 06.02 06.05 06.12 06.21 07.23 07.24 08.22 08.25 10.05 12.08 12.12 12.13 12.14	弥八息子 住友金属付属研究所 陸軍航空 技術将校候補生
河井 弥八	01.28 03.21 03.23 04.05 04.13 04.28 04.29 05.02 05.10 05.11 05.12 05.13 05.19 05.27 06.03 06.06 07.27 07.28 08.12 08.18 09.11 09.24 11.08 11.10 12.01 12.02 12.15 12.16 12.19 12.22 12.23 12.24 12.26	徳川家家政相談人 中央林業協力会副会 長
川勝 仁三郎	04.25	京都府南桑田郡旭村長
川上 壯五郎	07.23	山口県経済部地方商工技師
川上 親晴	02.12 04.15 05.13 06.10	鹿児島県始良郡加治木町住
川口 由松	11.04	千葉県香取郡橘村 甘藷生産 千貫会員
河越 太郎	12.11	朝鮮慶尚北道産業部農政課長
川崎 卓吉	03.26	内務官僚 岡田内閣文相 広田内閣商工大 臣 貴族院議員(勅)同和会 1931年死去
川崎 忠	11.26	出征軍人

氏名	記載月日(mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
川崎 勇	09.30	高知県経済部長
川島 明八	06.09	鹿児島高等農林名誉教授 職員録では講
川島 悦郎	12.18 12.21 12.22 12.31	川島老人の縁者
川島 清	07.24	山口県下関中央青果会社取締役
川島 義視	07.20	島根県彦摩郡井田村 篤農
川島	08.04	第一銀行渋谷支店 預金係
川島老人	12.17	
河田 烈	06.03 10.28 12.01 12.05	貴族院議員(勅) 第2次近衛内閣蔵相 静岡育英会理事
河田 杰	05.05 08.20 08.23	農林省林業試験場主席技師 博士
川戸 忠司	02.21	京都府農水産課属
河本 元一	11.05	
川本 邦雄	01.19	拓務省大臣官房文書課長
川本 勉	07.23	山口県宇部警察署長
神崎 廣	07.25	埼玉県警察部長
神戸 保	01.15	庵原郡高部村柏尾報徳社長
甘露寺 受長	11.11 11.25 11.28	宮内省侍従職侍従次長
木内 正毅	07.05 11.04	千葉県香取郡神代村国民学校長
菊池 清士	01.16	農林省東京営林局属
菊池 恭三	12.27	貴族院議員(勅)同成会
菊池	04.17	大阪 医学博士
岸 三郎兵衛	07.28 07.29	山形県最上郡金山町
岸 良一	01.17 01.27 02.01 02.02 02.03 02.06 03.14 10.27	農林省馬政局長官
岸上 京三	05.15 05.31 07.04 11.29	東京市池之上国民学校校長
喜多 寛治	07.23	田尻駅長
北岸 外良吉	08.08 10.13	
北小路 三郎	05.06 05.07 05.08	貴族院議員(子)研究会
北島 貴孝	07.17 07.31	貴族院議員(男)公正会
北村 又左衛門	05.03 05.19 09.23 09.26 09.28 09.29 10.01 10.02 11.27	中央林業協力会理事
北村	10.01 10.03 10.18	広島県総務部長ママ
北村	11.09 11.12	県林材会社々長
吉川 元光	10.04	子爵
吉川 元良	01.15	庵原郡飯田村高橋報徳社長
橘高 義雄	05.20 05.21	大分県経済部林務課長
木戸 喜佐登	10.09 10.10	岐阜県経済部長
城戸 芳三	04.26 04.27	三重県土木部砂防課土木技手 職員録は「芳三郎」
紀藤 常亮	07.23	衆議院議員 山口県選出
木下 信	05.25	衆議院議員
木下 道雄	03.09 03.15	宮内省帝室会計審査局長官
木下	03.06	中央林業協力会関係
岐部 光久	01.08	滋賀県経済部農政課長
君島 清吉	10.29	内務官僚 官選知事
木村 英一	12.10	東拓支店長
木村 康一郎	01.02	清風会幹事
木村 尚達	01.19	貴族院議員(勅)研究会
木村 進一郎	06.03	清風会
木村 進	06.01 06.03	清風会会長
木村 通	06.21 08.04 08.27	弥八旧友
木村 正昭	04.26 04.27	三重県経済部都市計画課土木技手
木村	06.06	農林省山林局木炭課 職員録に名前無し
清浦 奎吾	11.05	伯爵 元首相
清棲 幸保	09.15	伯爵 文部省資源科学研究所属託
清原	01.31	司法省カ
桐谷 勝三郎	04.22 01.08	滋賀県経済部長

氏名	記載月日(mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
金 雨英	12.11	朝鮮忠清南道庁産業部長 本文は金羽英と表記
金 大羽	12.12	朝鮮慶尚南道庁産業部長
金原 賢之助	05.16	慶応大学教授
金原 舜二	03.21	弁護士
金原 明善	05.25 12.17	社会事業家
草野 仙吾	03.05	栃木県立宇都宮農林学校実験農場主任
久次米 邦蔵	01.07 01.10 01.18 07.11	馬鈴薯研究
九條 道秀	04.29	貴族院議員(公)火曜会
楠 幸平	02.28 05.09 07.01	中央林業協力会
楠	06.07 06.10 06.30 07.01 11.12	鹿児島県主事
楠目娘	07.11	
葛原 格	04.25 04.26	三重県土木部監理課長
久野 朔郎	11.18	英語学者
國枝 敬二	08.06 08.07	岐阜県安八郡仁木村 産聯会長
國光	09.06	
久保 應助	11.01	三菱経済研究所
久保 春海	03.15 05.03 05.17 05.25 07.16 08.15 10.18	徳川家家政相談人 遠州学友会 東京商科大教授 静岡育英会理事
久保 春海夫人	05.17	故人
久保春海息子	10.18	
久保春海息子妻	10.18	
久保井 正太郎	02.12	鹿児島県経済部農務課甘藷主任技師
久保田 経二	11.18	東京精密機器製作所主
窪谷 直光	10.20	大蔵省主計局第四課長
熊谷 三太郎	04.15 05.13 12.18	貴族院議員(多)同成会 熊谷組創立者
熊谷 年郎	05.17	
熊野 英	10.29	大政翼賛会中央協力会議員 元内務官僚
倉元 要一	11.18	元衆議院議員
倉知 鉄吉	05.27 12.02	貴族院議員(勅) 錦鶏間祇候 実業家
栗田 昇一	03.13	栗田徳次郎末弟
栗林 新吉	10.18 10.20 12.06 12.08 12.12 12.30	
栗原 吉雄	10.08 10.10 10.11 10.12 10.18	岐阜県経済部山林課長
栗原	12.26	
栗山 廉平	11.14	和歌山県経済部農務課長
呉 泰次郎	11.28 11.29	池之上小学校会関係
紅林 玲助	01.13	報徳社志太出張所長
紅林 卓次	01.21	撫順炭鉱
黒崎 幸吉	10.28	直子媒酌人 聖書学者
黒澤 酉蔵	05.03	北海道興農公社(後の雪印乳業)創設社長 衆議院議員
黒澤 隆吉	04.26 04.27 05.04	三重県三重郡菰野町長
黒瀬 恭一	05.22	
黒瀬 宣一	05.22	
黒田 新平	03.06	農林官僚 住友本社林業所
黒田 節三	01.14	前小笠郡平田村長
黒田 長敬	11.26 11.28	子爵 宮内省大膳寮頭
黒田 長和	03.22 03.23 03.25 05.12 05.27	貴族院議員(男)公正会
黒田 長礼	05.07	貴族院議員(侯)火曜会
黒田 吉郎	02.08	
黒柳 恒吉	10.11 10.12	農林省大阪営林局高山営林署長
葉原 佳隆	11.19 11.20	新潟県南魚沼郡東村
葉原 省吾	03.11	秋田県経済部産業課主任技師
小池 光太郎	06.25	
小池 武夫	10.11 10.12	宮内省帝室林野局名古屋支局高山出張所
小池 正彪	07.26	三井総元方常務理事
小泉 清	06.05	全森聯理事
小泉 梧郎	07.17 07.18 07.19 07.31	島根県知事

氏名	記載月日(mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
小泉 又次郎	04.01 04.10 04.28 05.01 05.12 08.18 09.01 09.08 10.27 10.30 10.31 11.17 12.15 12.22 12.26	衆議院議員 全国治水砂防協会理事長、幹 事長
小磯 國昭	12.09 12.22	朝鮮総督
郷 誠之助	01.23	貴族院議員 1月19日死去
郷 秀雄	06.03 07.15 10.16 12.31	清風会幹事
郷秀雄母	12.31	
向後 省三	07.05 11.04 11.05	千葉県香取郡神代村 農会長
香坂 昌康	04.01 05.05 09.08 09.11 09.15 10.01 10.02 10.15 10.20 11.17	元内務官僚 国民精神総動員中央聯盟理 事
河野 勝彦	09.12 09.18	帝室博物館事務官
河野 博道	08.01	
河野	02.06	日本電気会社庶務課
高村 坂彦	02.17	愛媛県警察部長
郡場 寛	02.21 04.24 09.13 09.18 09.23	京都帝大理学部長
郡 祐一	06.13 06.16 07.15 08.04	山口県経済部長(6.16 祐次と誤記) 内務 省地方局振興課長
古賀 重寿	05.22	静岡県技師
小口	05.09	大日本山林会関係
木檜 三四郎	02.07 02.27 03.09 03.25 05.01 05.03 05.19 06.23 06.25 08.18 09.08 10.25 12.15	衆議院議員 木桧表記あり
小坂 梅吉	04.15 05.13 05.29 10.25	貴族院議員(勅)同成会 実業家
小坂 順造	01.18 12.24	貴族院議員(多)同成会
小坂順造夫人	01.18 11.08	
小坂 登代子	10.25	小坂梅吉娘 小高英雄妻
小坂 夏太	09.24 09.25 09.30	徳島県経済部林務課長
古島 一雄	01.28 03.23 05.19 05.25 05.27 12.02 12.19 12.23	貴族院議員(勅)交友倶楽部
小菅 芳次	02.16	香川県知事
小平 権一	10.27 10.29	衆議院議員
小平 常夫	05.12	諏訪の人
小高 秀夫	10.25	小坂梅吉娘婿
児玉 九十	02.28	明星学苑創立者 静岡育英会理事 明星中 中学校長
児玉 秀雄	01.21	貴族院議員(伯)研究会
児玉	11.17	遠州学友会関係
児玉 友雄	11.30	陸軍中将
後藤 文夫	01.17 01.21 01.23 01.27 02.03 02.04 02.05 02.06 03.03 03.07 03.21 04.11 04.14 05.09 05.11 05.14 05.15 05.16 05.19 05.27 06.02 06.16 06.18 06.20 06.22 06.30 07.01 08.07 08.14 08.17 08.19 09.10 09.11 09.12 10.15 10.25 10.27 10.29 11.09 11.28 12.01 12.02 12.16 12.21 12.27 12.28	貴族院議員(勅)無所属倶楽部 大政翼賛 会中央協力会議長 防空協会会長 中央林 業協力会長 農業報国聯盟常務理事
伍堂 卓雄	10.29	貴族院議員(勅) 海軍造兵中将
小華和 茂弥	12.10	住友林業主任
近衛 文麿	02.02	公爵 貴族院議員
小林 観寿郎	07.08	山梨県北巨摩郡韮崎町長
小林 住二郎	04.24	滋賀県土木技手
小林 準一郎	07.01 07.28 07.29 08.01 08.04 09.18	王子製紙副社長
小林 次郎	01.29 02.02 03.20 03.24 04.02 04.03 04.07 04.10 04.12 05.02 05.04 05.26 05.29 06.03 06.22 06.25 06.26 07.02 07.03 07.08 07.16 07.28 07.30 07.31 08.02 10.17 10.28 11.24 11.25 11.26 12.15 12.23 12.30	貴族院書記官長
小林次郎娘	07.30 08.01 08.02	
小林 汎	10.12	岐阜県瓦斯用木炭株式会社々長

氏名	記載月日(mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
小林 文之助	01.20 03.31 05.05 05.19 05.21 06.30 09.24 09.26 09.28 09.30 10.15 11.17 11.24 11.27	中央林業協力会理事
小柳 直吉	01.05 01.10 01.12 01.25 01.26 02.07 02.08 03.17 03.28 04.07 04.08 04.19 05.19 05.29 05.30 06.02 06.14 07.14 08.16 08.30 09.19 09.20 10.21 10.22 10.24 11.07 11.08 11.09 11.15 11.18 11.27 12.05 12.06 12.07 12.29	報徳社農事講師 小笠郡掛川町杉谷 東遠 明朗会
小山 正	01.13	国学研究者
小山 武夫	08.06 08.07	侍医
小山 谷蔵	02.27 07.07 09.01 09.10 09.13 10.25 11.01 11.17 12.15	衆議院議員 和歌山 全国治水砂防協会
小山 松吉	01.19 03.18	貴族院議員(勅)無所属倶楽部
小山	01.31	思想問題研究会
小山	05.16	中央林業協力会
近藤 英明	04.12 12.15	貴族院書記官庶務課長
近藤 定一	02.08 03.20	報徳社農事講師 愛知県碧海郡六ツ美村
近藤 壤太郎	01.08 01.29	神奈川知事～1月9日 滋賀知事に転
近藤 好夫	04.09 04.10 07.24 08.25	小倉監督班附少尉
齋	04.14 04.16 07.11 07.12 08.01	貴族院小使
齋藤 啓造	07.07	
齋藤 馨之助	01.27	日本勸業銀行理事
齋藤 惣一	11.08	
齋藤 昌二	05.21	
齋藤 正一	01.19	
齋藤 孝子	05.21	齋藤昌二娘 白柳景吉妻
齋藤 勝次郎	06.01 06.03	清風園幹事
齋藤 樹	07.26 07.30	台湾総督府総務長官
齋藤 守罔	10.28	元内務官僚
齋藤 義雄	03.30	翼賛政治体制協議会静岡県支部会員 大 政翼賛会静岡県支部常務委員
齋藤	09.12	新潮社出版部
齋藤 正次	03.04	茨城県経済部農務課員
阪 千秋	02.19	兵庫県知事
酒井 忠正	08.05	愛知県小坂井町
酒井 惣作	01.24 02.26	貴族院議員(伯)研究会
坂口 鎮雄	04.29	
坂口 利作	12.01	東京府食糧営団
坂田 英一	01.18 01.22 01.30 03.19 03.23 08.19 11.30 12.17	農林省農政局特産課長 技師
坂田 喜一郎	02.23	静岡県経済部長
坂田 啓造	11.14	和歌山県内政部長 坂田喜一郎カ
阪田 文吉	12.08	朝鮮 道会議員 貿易商 坂田カ
坂野 鉄次郎	02.03	貴族院議員(多) 同成会
坂本 寅雄	02.21	
坂本 増二	12.03 12.04	山梨県経済部道路主事兼土木主事
佐川 四郎	07.05	千葉県茂原の有力者
佐倉少将夫人	03.22	
桜井 榮一	05.14 06.19 11.17	遠州学友会(役員)
佐合 貞吉	01.30	(左合か)
佐合 正雄	01.30 03.04	佐合貞吉の長男 (左合か)
佐々 猛秀	12.03	山梨県北巨摩郡韮崎町助役
佐々井 信太郎	01.04 02.23 04.05 05.29 05.30 08.16 12.06	報徳社理事 一円融合会理事長 副社長
佐々木 章	07.22 07.23	山口県経済部農務課地方農林技師
佐々木 堅一	09.25 09.30	高知県経済部林務課長
佐々木 齊治	07.20 07.21	浜田港修築事務所長土木工師
佐々木 即	12.10	朝鮮総督府農事試験場 技師
佐々木 行忠	02.02 05.04 05.20 11.25 12.24	貴族院副議長(侯)火曜会
佐々木 芳遠	06.13 06.16 07.22 07.31 10.05	山口県知事

氏名	記載月日(mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
佐々木	12.26	
笹本 浅吉	12.06	小笠郡南郷村国民学校兼青年学校長
笹本 睦夫	08.31	小笠郡西郷村
笹山 茂太郎	11.30	農林省大臣官房会計課長
属 本式	07.23	山口県宇部市主事 属の読みは「さつか」
佐藤 一郎	10.01	広島県経済部長
佐藤 薫二	10.10	岐阜県警察部経済保安課長
佐藤 五市	11.19	新潟県東南魚沼郡東村長
佐藤 幸一	02.26	埼玉県経済部長
佐藤 銀五郎	01.23 03.31 04.28 05.05 05.10 05.12 05.15 05.16 05.19 06.23 06.30 07.18 07.26 07.27 07.28 07.29 09.01 09.26 09.28 09.29 10.15 10.29 11.09 11.12 11.24 11.27 12.02	林学博士 大日本山林会会長 中央林業協 力会委員会専門理事 全森聯会長
佐藤 助九郎	01.16 04.12 04.15 05.13 05.17 05.29 07.04 08.08 08.28 10.12 10.13 10.18 11.09	貴族院議員(多)同成会
佐藤 武夫	07.05	千葉県匝瑳郡椿海村
佐藤 忠雄	03.30 08.05 08.15 10.21 10.25	静岡県学務部教育課長
佐藤 忠太郎	01.19 01.21	宮城県白石の工芸家か
佐藤 恒丸	03.27 04.03 04.29	元宮内省侍医寮頭 宮中顧問官
佐藤 信雄	03.27	東京帝大文学部学生 恒丸息
佐藤 鐵太郎	03.22	海軍中将 貴族院議員(勅) 3月4日没
佐藤鐵太郎夫人	03.22	
佐藤鐵太郎息	03.22	
佐藤 秀雄	04.20 06.22 06.27 12.04	貴族院事務局書記官 庶務課長
佐藤 雅雄	02.08 04.08	小笠郡西郷村 精農 報徳社農事講師
佐藤 正子	11.09	佐藤助九郎娘 木谷米一妻
佐藤 三作	07.21	島根県那賀郡浜田町 漁業協同組合事務
佐藤 康次郎	05.01	東京市芝白金三光町
佐藤 雄	12.08 12.09	隣組長
佐藤 六平	04.19 05.03	
佐藤	07.15	清風会
佐藤	09.07 09.16	千葉県学務部社会課増田氏代理
佐藤	09.15	東京帝国大学助教授
佐藤	09.16	千葉県職員
佐藤夫人	09.16	千葉県職員佐藤の夫人
真田	11.17	全国治水砂防協会
佐野 利器	10.19	武蔵高等学校父兄会代表
佐上	05.09	武徳会・防空・消防関係
猿谷 嘉吉	09.02 09.03 09.04 09.05 09.07 09.17 09.29 10.25	住友鋳業所農林課長
澤口 義隆	06.05 06.07 06.19	福岡県地方農林技師(八女)
澤田 牛麿	01.28 03.23 05.28 09.01 09.08 11.17 12.15 12.19 12.23	貴族院議員(勅)同和会 全国治水砂防協会 役員
沢本 頼雄	04.04	海軍次官
塩川 茂	06.18	福岡県木社常務
塩沢 幸一	10.25	海軍大将 軍事参議官
塩島 金一郎	08.15 10.20 10.28	静岡育英会主事
塩田 團平	02.04 05.29 09.08 09.09	貴族院議員(多)同成会
塩田 正供	12.09	朝鮮総督府農林局長
塩見 伊三郎	02.17	愛媛県経済部農産課農林技手
志賀 信秀	07.07	
志賀信秀夫人	07.07	
志賀信秀息	07.07	
鹿又 保	02.16	香川県立農事試験場長
嶋原 篤二	07.05	千葉県立茂原農学校長
式部 鶴	06.06	大日本青少年団主事
嶋田 繁太郎	02.17 03.12 04.04	海軍大将 東條内閣海相
繁田 武平	03.01 08.05 12.30	

氏名	記載月日(mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
重野 宗廣	09.04 09.05 09.09	住友化学工業会社製錬部長
重光 簇	07.07	清風会 浦賀船渠会社常務
志田収夫人	07.11 11.02	
篠田 治策	08.03 09.13 09.16 09.23 12.09 12.10 12.15	京城帝大総長
篠田治策夫人	08.03	
篠田 次助	08.15	陸軍中将 培本塾理事 静岡育英会関係
柴田 善三郎	01.16 01.22 02.25 03.03 03.09 03.15 03.25 03.28 04.13 04.14 04.15 05.03 05.13 05.15 05.17 05.22 06.18 07.05 07.12 08.18 08.21 08.22 09.16 09.22 11.05 11.24 11.25	貴族院議員(勅) 同成会 静岡県出身 培本塾理事長
柴田善三郎夫人	04.10 04.13 04.15	
柴沼惣吉夫人	03.08	
柴山 昌生	08.18	貴族院議員(男)公正会
渋澤 金蔵	02.04	貴族院議員(多)交友倶楽部
渋澤 敬三	06.03 09.23	日本銀行副総裁 子爵
渋澤 實	03.07	日本甘藷馬鈴薯会社前橋出張所長
嶋田 繁太郎	05.02 05.27 12.27	海軍大将 東條内閣海相
島田 昇	03.05 03.09	栃木県経済部農務課長
島津 忠重	05.27	貴族院議員(公) 海軍少将
島村 軍次	12.21	東京府食糧営団総務部長
島本 貞哉	12.29	宮内省帝室林野局計画課技師
清水 嘉一	11.04	千葉県香取郡橋村 甘藷生産 千貫会員
清水 喜重	02.26 04.29	陸軍中将 山水中学校長
清水 治太郎	11.04	千葉県香取郡橋村 甘藷生産 千貫会員
清水 秋作	07.20	島根県邇摩郡農会技師
清水 清三	09.07 12.05	大阪住友本社
清水 利一	07.05 11.04 11.30	千葉県香取郡橋村 甘藷生産 千貫会員
清水 伸	11.04	千葉県香取郡橋村 甘藷生産 千貫会員
清水 孫衛	03.28	小笠原本村 朝鮮咸鏡南道徳源駅長
清水 正俊	03.28 03.29	陸軍予科士官学校生徒 清水孫衛息 平野金一郎甥
清水 由松	11.08	麻布中学校長
清水	08.31	池之上国民学校会評議員 清水錠之助顧
清水	09.30	
志村 正一	06.22 06.26 06.27 06.29 07.04 07.05 07.07 07.12 08.04 08.12 09.09 11.01	静岡中学在京同窓会幹事 日本鋼管
下河辺 良亮	07.06	茨城県鹿島地方事務所総務課長
下郷 傳平	07.25	元貴族院議員(多) 二代目
下條 康麿	01.28 02.05 02.06 04.15 05.13 08.12 08.18 09.08 11.25	貴族院議員(勅) 同成会 元賞勳局総裁
城	02.21	会計審査局事務官
白井 四方	10.04	山陽パルプ
白井 万里	10.18	
白澤 保美	01.23 03.07 03.31 04.02 04.28 05.05 05.09 05.10 05.11 05.19 05.21 05.24 06.02 06.23 06.27 06.30 07.02 07.03 07.08 07.09 07.10 07.14 07.26 07.27 07.28 07.29 08.17 08.23 09.06 09.12 09.18 09.23 09.26 09.28 09.29 10.01 10.02 10.15 10.20 10.25 10.30 11.08 11.09 11.10 11.11 11.12 11.24 11.27 12.15 12.28	中央林業協力会委員会 林学博士
白土 松吉	07.06 08.27	茨城県技師
白根 松介	04.29	宮内省次官
白柳 秀湖	04.25 05.15 05.21 07.14 08.03	社会評論家 浜松出身
白柳 景吉	05.15 05.21	白柳秀湖息
榛葉 孝平	01.30 03.04 09.13 09.23 12.09	大日本報徳社関係
榛葉 良男	05.22 11.05	静岡県育英会理事 培本塾理事 大日本報徳社関係

氏名	記載月日(mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
榛葉 玲子	01.30 03.04	榛葉孝平娘 佐(左)合正雄と婚約
榛葉 康子	05.06 07.01 10.14	
榛葉 勇次郎	12.30	
榛葉	03.28	小笠郡西山口村
榛葉	12.04	末広会関係か
末次 信正	03.02 03.21 03.22 03.23 03.25 04.01 04.02 04.28 05.01 05.23 07.07 07.14 09.01 11.17 12.26	全国治水砂防協会会長 海軍大将 元内務大臣
末松 直次	03.02	池之上小学校会顧問
菅澤 肇	02.15	佐賀県経済部長
杉浦 重剛	04.22	教育者 元衆議院議員
杉浦	04.17	晴光園療院理事
杉村 馨	07.22	山口県 豊栄神社宮司
杉村 覚寿	12.10	
杉村 七太郎	06.19 08.28 09.13	医学博士
杉本 良	04.11 04.12 04.14 06.25 06.29 08.16 08.27 09.28 10.16 10.17 10.21 10.23 11.03	元静岡県榛原郡金谷町長 培本塾評議員・監事
杉山 遠征郎	04.06	
杉山 宗次郎	10.30	長野県土木部長
杉山 八平	09.01	杉山大尉遺族
杉山 幸男	07.08 12.03	山梨県砂防協会会長
杉山	09.01	大尉 故人
薄田 美朝	01.22 02.12 02.13 03.08 06.08 06.09 06.16 10.31	鹿児島県知事
鈴木 昶	12.18	遠州学友会幹事
鈴木 梅太郎	08.02 09.13 11.25 11.26	ビタミンの発見 元東京帝大教授 理化学研究所
鈴木 栄二	03.11	秋田県経済部長
鈴木 寛一	01.31 02.01 02.02 04.13 04.14 05.24 07.04 10.08 10.10	要の兄 陸軍獣医学学校勤務
鈴木 貫太郎	01.21 02.26	枢密院副議長 男爵 海軍大将
鈴木 吉五郎	05.16	池之上小学校会顧問
鈴木 啓一郎	08.30	小笠郡掛川町会議員
鈴木 慶太郎	2.12	鹿児島県農務部主任課長
鈴木 幸作	03.19 04.09 06.21 06.23 06.24 09.16 09.17 12.07 12.16	
鈴木幸作妻	04.09 06.21 12.07	
鈴木幸作娘	04.09	
鈴木 敬三	03.19 04.09 06.21 09.16 09.17 12.07	鈴木幸作息子 戦死
鈴木 光次	12.10 12.11	朝鮮大田府庶務課長
鈴木 脩一	04.12	片平信通の甥の子
鈴木 信太郎	10.28	徳川静岳公追悼会相談会
鈴木 誠一	03.05	栃木県経済部農務課農林技師
鈴木 善一	01.31	要の親類
鈴木 大拙	10.19	仏教学者
鈴木 陳平息	06.21	鈴木陳平次男
鈴木 貞一	03.28 08.14 08.18	第2・3次近衛内閣国務大臣兼企画院総裁
鈴木 直人	10.03 10.18	広島県経済部長
鈴木 二平	01.31 04.13 10.17	要の甥 静岡県田方郡土肥町
鈴木 登	03.16 10.01 10.18	広島県呉市長 小笠郡佐東村出身 培本塾評議員
鈴木 一	08.30	静岡県小笠郡掛川町軍人分会副会長
鈴木 八郎左衛門	05.03	榛原銀行頭取 藤相鉄道取締役 醤油醸造業
鈴木 英雄	01.16 05.01	全国治水砂防協会 中央林業協力会委員
鈴木 寛	04.09 06.21 06.23 09.16 12.16	鈴木幸作息子
鈴木 雅枝	01.31	四街道鈴木の妻か
鈴木 正夫	03.27 03.28	見習士官
鈴木 みさ	04.13	鈴木寛一の妻

氏名	記載月日(mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
鈴木 美代子	05.24 07.04	鈴木寛一の次女
鈴木 善重	10.18 11.17	東京帝大経済科 遠州学友会(役員 常任幹事)
鈴木 義郎	03.16 03.17 03.18 03.19 03.22 02.01	静岡県小笠郡西山口村成滝
鈴木	02.01	四街道在住か
須藤 良策	3.08	
須原 芳雄	03.29	培本塾主事
住 喜七郎	01.26	天城山立木伐採地 支配人
住友 縫之助	10.07	神戸在
須山 甫	02.17	愛媛県経済部農務課属
須山 温圭	09.18 09.28 10.15 10.20	帝国治山治水会幹事 帝国治山治水協会理事 中央林業協力会理事
関 重雄	06.06	農林省熊本営林局事業部長
関 壮二	07.24	山口県下関市鮮魚介出荷統制組合専務理事
関 久治	11.20	郵便局長(新潟県浦佐村?)
関 義寿	06.16 06.19 11.30 12.16 12.17 12.18	貴族院議員(男) 公正会
瀬木 孫一郎	10.11	(高山営林署?) 飛騨支庁長代理
関口 八太郎	07.21 07.22	山口県警察部特高課長
関口 蕃樹	02.28	医学者(博士) 東北帝大教授逝去 2月6日逝去
関口蕃樹夫人	02.28	
関根	08.26	武蔵高等学校教員カ
関屋 貞三郎	01.16 03.09 04.17 04.29 06.10 06.11 06.26 11.26	貴族院議員(勅) 研究会
関屋貞三郎夫人	04.17	
関屋 実善	12.12	朝鮮釜山・皇民錬成道場 場長
瀬古 保次	01.01 06.19 07.29 11.05	内閣賞勲局総裁 前貴族院書記官長
瀬見 芳輔	6.07	農林省熊本営林局鹿児島営林署長
芹澤 丑丸	2.24	山梨県経済部地方事務所長 農務課長
千石 興太郎	01.24 02.04 10.27 12.16	貴族院議員(勅) 無所属倶楽部 農業報 国聯盟常務理事
仙石 久英	06.24 07.07	貴族院議員(子) 研究会
曾我平作	04.26	三重県山田出張所長、道路技師
曾我 祐邦	05.31 06.01 06.28	子爵
添野 隆鐵	08.18 09.18	世田谷警察署情報係巡查
菌部 一郎	03.31 04.28 05.05 05.11 05.12 05.16 06.03 06.23 07.27 07.28 09.18 09.23 09.28 09.29 10.01 10.20 11.24 12.27 12.28	帝国林政会 東京帝大教授 林学博士 中央林業協力会理事
園部 潜	05.14	安田銀行専務 本文では「菌部」と表記
園田音次郎	02.16	香川県農事試験場技師
平 敏孝	02.14 02.15	長崎県知事
高井 孝蔵	06.29 07.15	内閣特許局審判部長 清風会幹事
高井孝蔵夫人	06.29	
高尾 亮一	08.19 08.20	宮内省帝室林野局庶務課 事務官
高木 幸平	12.15	学校組合立中豆農学校長
高倉 篤磨	04.26	伊勢神宮司庁大宮司
高田 覚三	08.08	
高澤 五郎	02.26	埼玉県経済部地方農林技師
高島 一郎	08.06	福井県立待村 県農会長
鷹司 信輔	01.30 02.03 02.04 02.05 02.06 02.28 05.27	貴族院議員(公) 火曜会 神社庁理事長 鳥類学者
高野 源進	02.24 07.08	山梨県知事(～7月6日)
高橋 一郎	08.15	静岡県経済部長
高橋 茂	03.11	秋田県平鹿地方事務所技師
高橋 正八	05.20	除隊の挨拶(近隣の関係者か)
高橋 進一	10.08	名古屋木炭事務所 岐阜出張所属
高橋 忠治	07.22	山口市長

氏名	記載月日(mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
高橋 又次郎	09.02 09.04	住友鋳業所関連 機械工業会社取締役
高林 兵衛	01.24 03.30 04.07 09.20 09.21	翼賛政治体制協議会静岡県支部会員 大政翼賛会静岡県支部常務委員 遠州病院 院長 浜松貯蓄銀行監査 浜松に日本 民芸美術館を設立
高平 勇	02.08 02.25	引佐郡三ヶ日町 報徳社農事講師
高瀬 吉五郎	06.08	農林省熊本営林局鹿児島営林署属
高原 佐吉	09.01 10.11 10.12	岐阜県の林業関係者?
高原 佐太郎	10.11 10.12	岐阜県の林業関係者?
高村 坂彦	2.17	愛媛県警察部長
高柳 暉	07.12 08.14 08.22 08.27 08.28 09.22 12.31	東京聾唖技芸学園主
高柳 光寿	03.27 05.14	遠州学友会 東京帝大史料編纂官 国学院 大教授
高山 義夫	02.17	愛媛県甘薯技師
高山 三平	07.26	台湾拓殖株式会社理事
高山 侃一	07.03 07.08	書記官
高良 末綱	07.08	山梨県経済部土木課長
瀧澤 邦行	12.02	
滝下 吉太多	05.23	引佐郡農民
瀧下 良策	12.11	朝鮮忠清南道 地方課長理事官
瀧口 吉継	08.06	山口県阿武郡野木村長ママ
瀧田 周三	09.24	農林省高知営林局計画部長
多久 安信	05.09 05.10 05.16 10.29 12.02	全森聯副会長
田口 弼一	01.28 02.04 03.23 05.19 06.29 07.14 07.16 07.17 07.18 07.20 07.24 08.12 08.18 08.26 10.27 10.31 11.17 11.18 11.25 11.29 11.30 12.19	貴族院議員(勅) 元衆議院書記官長
田口 忠義	06.10	鹿児島県農事試験場技師
田宮	03.29	卒業生の父
竹内 亥三吉	09.02	日本カーバイド工業会社 新居浜製造所 研究部長
竹内 薫兵	10.19	小児科医、武蔵高等学校長山本良吉の旧 門弟
竹内 二郎	05.19 05.20 05.21 05.22 05.23 05.25	農林省農政局農産課技師
武内 可典	09.25	高知県経済部林務課技師
武内 元善	09.24	香川県経済部地方農林主事
竹越 與三郎	07.15	貴族院議員(勅) 交友倶楽部
竹越 万里	09.30	大阪市清水土地植林会社
竹下 俊亮	07.20	島根県農会技師
竹下 豊次	02.04 08.06 08.18 11.25	貴族院議員(多) 交友倶楽部 宮崎県出身 内務官僚
竹原 萬兵衛	11.09	奈良県事務官
竹山 清	12.11	朝鮮慶尚北道産業部長
建川 美次	05.13	元駐ソ連大使 陸軍中将
多湖 実夫	07.08	7月7日～山梨県知事
多崎 憲治	11.25	茨城県鹿島郡若松村農民
田澤 義鋪	01.28 02.05 02.06 03.27 03.28 03.30 04.01 04.03 04.07 10.28 12.19 12.23	貴族院議員(勅) 無所属倶楽部、社会教 育家
田澤夫人	03.28	
田代 寿徳	08.12 09.09 09.17	静中同窓会副会長(09.09と09.17は「寿 雄」と表記)
田代 篤郎	07.20	島根県浜田市助役
多田 直巳	02.16 02.18	香川県経済部技師
多田 登	06.18	台湾拓殖会社
多田 文男	09.15	東京帝大助教授 理学士 地理学
達林 正吉	02.14 06.05 06.06	福岡県経済部長
立花 次郎	11.25	鉄道省建設局技師
館林 多久次	11.29	
館林多久次夫人	05.02	

氏名	記載月日(mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
館林 三喜男	01.01 01.02 01.18 01.29 02.06 02.07 02.26 02.27 03.08 13.15 03.19 04.12 04.13 05.09 05.13 05.15 05.25 06.01 06.16 06.21 07.05 07.15 07.25 08.04 08.27 08.28 09.06 09.10 09.12 09.21 10.15 10.18 11.18 11.29 12.21 12.22	河井弥八女婿 内務事務官 4.10～群馬 県警察部長 9.6～内務省防空局業務課 長
館林 マス	02.27 02.28 03.15 03.25 03.26 04.03 04.11 04.12 04.13 04.29 05.25 05.28 07.01 07.16 08.20 08.21 08.23 08.27 09.07 09.10 09.12 11.01 11.28 12.28	弥八娘 館林三喜男妻 マス子
館林 一也	01.18 03.04 03.26 03.31 04.29 07.04 07.01 08.17 08.20 08.23 09.10 10.18 11.03	館林三喜男マスの子
館林 成也	01.01 01.18 02.28 03.02 03.03 03.04 03.15 04.03 04.11 04.29 05.25 05.28 07.01 07.16 08.20 08.21 08.27 08.28 09.06 09.07 09.10 09.12 09.13 11.28 12.21	館林三喜男マスの子
館林 葉子	01.29 02.26 02.27 03.26 04.29 07.01 07.04 07.16 08.03 08.04 08.08 08.21 08.23 09.10 11.03 11.28	館林三喜男マスの子
辰己 鼎	04.23	滋賀県経済部甲賀事務所長
田中 市太郎	07.20	島根県宍摩郡五十猛村篤農家
田中 長茂	01.19 03.07 07.11 08.22 11.17 12.17	農業報国聯盟常務理事 農林官僚 戦後 宮崎県知事
田中 外次	09.02	愛媛・住友鋳業所庶務課長
田中 四郎	01.30 02.05 02.06 09.06	日本出版文化協会専務理事
田中 次郎	11.08	興農学園関係者？
田中次郎夫人	11.08	
田中 武雄	02.07 09.17	朝鮮総督府 総務長官
田中 唯重	10.12	富山県警察部長
田中 都吉	04.11	元ソ連大使 日本新聞界会長
田中 穂積	09.13	貴族院議員(勅) 無所属倶楽部
田中 秀夫	06.17 09.18 10.21	静岡市収入役 06.17は秀雄と表記
田中 八百八	03.10	農林省山林局林務課長
田中 好	01.19 03.21 03.23 03.25 12.22 12.26	衆議院議員 全国治水砂防協会関係者
田中 芳雄	05.16	
田中	03.31 05.05 05.11 05.19 05.21 06.23 10.02 10.15 10.27 10.30 11.24 11.27 12.02 12.15	中央林業協力会理事
田中	06.30	池之上国民学校ピアノ寄贈関連？
田辺 治通	01.28	貴族院議員(勅) 無所属倶楽部 第3次 近衛内閣内務相
田辺 三郎平	01.12 01.25 02.08 05.19 06.14 07.13 08.16 12.07 12.30	大日本報徳社常務理事
田部 長右衛門	07.17 07.19	貴族院議員(多) 研究会 22代長右衛門
田原 徳一	04.10	
田原 幸三	07.20	島根県立女子師範学校教諭
谷 正之	09.17 12.02	東條内閣外相
谷井 力	7.24	山口県下関市経済課長
谷口 熊之助	02.12 06.09 06.10	鹿児島高等農林学校校長
谷口 恒二	03.09 07.03	大蔵次官 日銀副総裁
谷村 庄平	10.13	石川県金沢 古美術商
谷山	12.06	
田村 角太郎	01.01	貴族院事務局 守衛長
田村 勉作	02.08 03.02 03.03 03.07 03.09 03.15 03.17 04.08 06.14 07.16 07.26 08.16 09.05 09.07 09.20 12.20	静岡県浜名郡白須賀町の篤農家、報徳社 農事講師
田村 義男	09.24	香川県森聯専務
田宮	03.29	培本塾卒業生父
田谷 貞三	11.04	千葉県香取郡橘村農民

氏名	記載月日(mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
田山 貢	02.26	埼玉県経済部農務課長
樽井 虎一	04.06 05.04 05.05 05.17 05.22 05.23 05.24 06.16 06.30 08.16 08.23 11.07	引佐郡中川村
俵 孫一	02.07 03.21 03.22 03.23 03.25 04.01 04.02 04.10 04.28 05.01 05.03 05.12 05.19 09.01 09.08 10.27 10.30 10.31 11.04 11.17 11.24 11.29 12.15 12.26	衆議院議員 商工大臣、立憲民政党幹事 長などを歴任
団	03.25	教授(興三の恩師か)
近田 儀一	02.08 02.10	報徳社農事講師(愛知県宝飯郡一宮村)
中馬 猪之吉	06.10	鹿児島県農会長
長 世吉	02.03	貴族院議員(勅)元貴族院書記官長
津上 雄三	09.02 09.04	住友鉱業 化学工業工作部長
塚本 清治	01.18 01.28 01.29 05.13 05.19 05.27 06.24 10.28 11.25 12.02 12.19 12.23 12.24	貴族院議員(勅)同成会
塚本 末子	06.20	
辻 謹吾	04.20	農林省食品局長
次田 大三郎	01.19 01.20 01.22 01.27 01.28 02.02 02.05 02.06 03.23 03.26 04.07 04.15 05.13 05.27 06.24 10.28 12.02 12.09	貴族院議員(勅)同成会
津久井 利行	10.27	元朝鮮総督府検事
堤 康次郎	08.14	衆議院議員 実業家
恒松 於菟二	07.20 07.31	衆議院議員
土田 莊助	06.16	「巖父万助」死去につき悔み状
角替 文子	01.21 03.19 04.13 05.18 05.21 08.14 08.21	弥八の妹 角替利策妻 「ふみ」の表記 もあり
角替 太郎市	10.25	
角替 匡子	12.30	利策が縁談の件を報告
角替吉平夫人	06.27	
角替 利策	01.21 04.13 05.21 06.21 06.27 07.04 07.29 08.05 08.22 09.10 09.16 10.18 12.30	弥八の妹文の夫
津森	09.24	香川県技師カ
鶴田 義隆	11.14	和歌山県経済部長
寺尾 博	07.26	農林省農事試験場長 農学博士
寺島 健	05.28	東條内閣鉄相通相 海軍中將
寺田 美佐久	02.08 02.18	東遠明朗会 農事技師 榛原郡坂部村
寺田 作市	02.08 02.26	報徳社農事講師 榛原郡坂部村
寺本 英二郎	04.29	
寺山	06.03	清風会 会計就任
田 昌	05.21	白柳秀湖子息の結婚式に参列
田昌夫人	05.21	白柳秀湖子息の結婚式に参列
天明 郁夫	01.22 01.30 02.02 02.06 08.22	帝国農会幹事、帝国農会販売幹旋課長
的場 慎一	10.13	石川県経済部農産課長
土井 藤平	06.06	九州帝大 造林学(林業振興懇談会出 席)
道源 権治	10.04 10.18	元貴族院議員(多)元衆議院議員 山口県 出身
東郷 茂徳	01.21 05.27	東條内閣外相(~9月1日)
東郷 平八郎	02.12	元帥海軍大將
東條 英機	01.21 03.12 03.26 05.27 05.29 06.18 12.27	東條内閣首相陸相内相(内相~2月17日)
東梅 良太郎	07.18	島根県経済部地方農林主事
峠 範次	10.11	岐阜県吉城郡国府村森林組合技師
藤堂 誠	12.10 12.12 12.13	朝鮮総督府技手
遠山 信一郎	09.12	内務省地方官僚
土岐 章	02.21 09.15	子爵 海軍少將
徳川 家達	05.26 06.03 11.28 12.21	徳川宗家第16代当主(故人) 戒名顕徳 院殿 号静岳
徳川 家正	03.10 05.02 05.29 07.07 07.15 07.29 08.14 09.14 10.15 10.25 12.21 12.27	貴族院議員(公) 火曜会 静岡育英会総 裁

氏名	記載月日(mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
徳川 圀順	12.27	貴族院議員(公) 火曜会 日本赤十字社長
徳川 武定	05.02	子爵 海軍少将
徳川 達成	05.02	伯爵 海軍大佐
徳川 宗敬	07.27 07.28 07.29	伯爵 林学者 林業振興懇談会 評議員
徳川 慶光	11.11	徳川慶久長男 第六天公爵
徳田 政信	03.01 03.24	東洋大学学生(同大退学) 天照教
徳田 義信	04.28 05.02	千葉の人 養蜂家
徳田義信夫人	04.28	
徳田義信令嬢	05.02	
徳田 源一	08.06	香川県上笠居村 県推進隊長
徳田 悦	09.16	二十世紀梨をもらう
徳久	07.22	山口県農事技手
徳富 蘇峰	05.21	ジャーナリスト
戸倉 儀作	02.08 06.14 09.07 09.20 12.06	東遠明朗会、報徳社農事講師、袋井市在
戸倉 惣兵衛	02.08 04.01 05.06 07.16 08.25	養蚕家、勸農報徳社、袋井市
戸倉	05.14 05.15 05.17 05.18 05.26 06.17 08.22	昭栄製糸関連のトラブル?
都竹 市左	10.11	岐阜県吉城郡国府村
都竹 正雄	10.11	海軍二等兵(故人) 岐阜県国府村
戸塚 九一郎	01.12 03.27 05.14 06.17	北海道長官 戸塚昌宏弟・重一郎兄 遠州学友会 第6代大日本報徳社社長(1961~1973)
戸塚 重一郎	01.24 06.17 09.19 09.20 09.22 10.23	酒造業 平喜初代会長 昌宏・九一郎弟
戸塚重一郎夫人	10.23	
戸塚 昌子	11.05	戸塚昌宏二女
戸塚 昌宏	04.01 05.14 05.15 05.17 05.18 05.26 06.17 06.19 08.22 11.05	西武電鉄専務取締役 戸塚九一郎・重一郎兄
戸塚	01.25	会計係
戸塚	12.31	年末挨拶
戸津川 善吉	07.21	島根県浜田合同缶詰株式会社工場取締役 会長 浜田市議会議長
土肥 米之	02.20	鳥取県知事
富小路 隆直	05.20	貴族院議員(子) 研究会
富澤	07.10	静岡中学校教諭
富田 亀蔵	06.12	宮崎県経済部地方農林技師
富田	08.31	夫妻、二児あり
戸山 寅雄	06.09	農林省熊本営林局経営部長
内藤 確介	05.25	鹿児島大林区署長、故中村弥六追悼の談話
中井 一夫	03.19 09.01 12.15	弁護士 衆議院議員 懲罰委員長
中井 清	07.22	山口県農林技手
永井 柳太郎	05.21 10.25	衆議院議員
柳楽 義雄	07.20 07.21	島根県那賀地方事務所長事務官
中尾 桂一郎	01.31 02.01	農林省東京営林局長
長尾 仟	07.20	島根県彦摩郡井田村長
長尾	06.23	鈴木寛と永野高子の結婚式に娘と出席
長岡 徳治		三菱経済研究所長
中金 鎬三	06.06 06.18	福岡県木社長
中川 市三郎	04.23	滋賀県高島郡百瀬村長
中川 勝富	05.21	
中川 吉造	08.03	土木技術者 内務技監 工学博士 このころ逝去
中川 健蔵	05.13 06.24 07.26 08.01	貴族院議員(勅) 同成会
中川 望	10.28	貴族院議員(勅) 同和会 赤十字社副社長
中込 香苗	10.26	東亜煙草取締役
中越 義幸	09.25 09.29	衆議院議員 高知県森聯常務
中島 栄治	08.06 08.07	石川県石川郡富奥村長
中島 資朋	06.19	海軍中将
中島 信	08.06 08.07	青森県上北郡天間林村 篤農

氏名	記載月日(mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
中田	04.07	
長田 暁玄	10.01	岡山県笠岡市 威徳寺住職
永田 仁助	12.11	朝鮮釜山在
永田 為喜	07.05	茂原署長
中津川 長治	01.11 04.18	静岡県磐田郡磐田町
中津川 定次郎	01.29	神奈川県学務部社会教育課嘱託
中西 栄一	04.25	京都府船井郡富本村長
中西 四郎	02.25 02.26	元逓信省官僚
中野 善敦	09.28 09.29 10.09 10.10	岐阜県知事 (42年5月から)
永野 新作	06.21 06.23	
永野 高子	06.21 06.23	新作の二女
永野新作夫人	06.23	新作の夫人
永野新作息	06.23	新作の息子
中原 清	02.14 06.05	福岡県経済部主任技師
中部 兼市	07.24	林兼商店副社長(下関)
長嶺 要	04.24 04.25	京都府土木部砂防課長
長嶺 公固	07.03	内閣技術院第三部第四課長 海軍機関大佐
永峰 小太郎	09.24	香川県経済部技師
中村 円一郎	01.13 01.14 04.07 05.05 05.07 05.25 08.31 09.21 11.01 11.06	静岡三十五銀行頭取、茶業振興、元貴族院議員(多)研究会(1918~1939) 初代円一郎
中村 円一郎令孫嬢	05.05 05.07	
中村 茂	01.01 11.24	衆議院議員議院倶楽部
中村 藤兵衛	10.27	池之上小学校会顧問
中村 たみ子	12.22	末女を加藤家に嫁する
中村 英夫	01.08	滋賀県農事試験場長
中村 孝也	03.05	東京帝大文学部教授(国史学) 文学博士
中村 与資平	05.17	建築家 浜松出身 静岡市役所設計者
中村 弥六	05.25	故人追悼会開催、政治家、林務官僚、ポンセ支援
中村 良三	03.30 04.01 04.07 06.17	静岡県総務部長
中村	09.20	
中村家令嬢	12.17	
永村 清	07.04 07.15	弥八東京宅隣組組長
永村夫人	11.30 12.17 12.18	
中山 きみ子	11.17	元静岡育英会貸費学生、小笠郡比木村国民学校訓導
中山 純一	04.06 05.17 05.22 05.23 05.24	静岡県立引佐農学校校長
中山	11.17	遠州学友会
半井 清	01.29	神奈川県横浜市長
名川 侃市	10.18 10.20	衆議院議員~4月 非推薦 元政友会判事 弁護士
灘尾 弘吉	02.06	大分県知事
七浦 春吉	12.11 12.12	朝鮮釜山・産業技師
鍋島子爵	02.14	佐賀県「故子爵」
並木 龍男	01.23 07.27 09.01 12.16	農林省山林局木材統制課長
並川 義隆	04.22	滋賀県知事
奈良 武次	05.01 06.27	陸軍大将 枢密顧問官 男爵
成田 勝郎	05.02 09.14	徳川家家政相談人 海軍少将
成田 一郎	03.09	内務省地方局長
成良一郎	10.08	岐阜県経済部農務課長
成瀬 達	09.12	元貴族院書記官長、日本生命社長(第4代)
成瀬達息	09.12	
成瀬 隆蔵	02.04	三井合名会社理事
名和田哲郎	07.23	宇部興産株式会社専務
南部 直正	09.02 09.04	住友鉱業所関連 機械工業会社取締役

氏名	記載月日(mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
仁井田 益太郎	11.24	貴族院議員(勅) 同和会 東京帝大教授
新野 治	02.08 03.07 03.08 11.07	報徳社農事講師
新野 水作	03.07	
仁木 虎一	07.28	東北振興パルプ会社 工場長
西 力造	02.12	鹿児島県高等農林学校教授
西 信忠	10.20	文部省東洋文化研究所
西井 一孝	10.21	静岡県総務部長
西尾 忠方	08.11 08.18 11.17 11.26	貴族院議員(子) 研究会
西尾 栄次郎	03.30	選挙粛正運動事務担当属
西尾 秀彦	07.10	海軍少将
西尾 銈次郎	07.12	静岡中学校同窓会
西尾	10.30	林業関係 顧問
西岡 太郎	02.24	山梨県経済部長
西岡 芳次郎	12.12	朝鮮・慶南道知事
西ヶ谷 正巳	01.15	駿河東報徳社
西川	01.14	報徳社関係か?
西澤 治郎	05.11 09.28	農林省山林局林務課長 09.18「業務課長」と表記
西田 悦夫	07.05 07.06 07.11 08.27 11.04	甘藷会社本社技師
西田 天香	04.09	宗教家 社会事業家
西田 屹二	06.06	九州帝大名誉教授(林業振興懇談会出席)
西原 亀三	01.19 04.09 05.01 05.04 05.12 09.15 09.17 11.17 12.22	京都府与謝郡雲原村村長(1938~51)「西原借款」の亀三と同一人物
西野 吉蔵	07.23	宇部鉄工所長
西村 金三郎	06.16 09.22	衆議院議員
西村 茂生	10.04	山口県 岩国市長
西村 七夫	02.19	大阪瓦斯会社秘書部長
西村 博雄	07.10 09.17 09.19	静岡中学校長
西村 彰一	11.12	農林省大阪営林局長カ
西村	04.20	属(中央官庁=農林省か?)
西本 俊雄	07.24	陸軍航空技術少尉
新田	09.24	香川県木社
二宮 尊徳	09.12	幕末の農政家
野口 明	01.02 01.23 03.06 03.07 05.10 08.19 09.01 12.04 12.15 12.29 12.30	宮内省宗秩寮宗親課々長 帝室林野局監理部長 戦後お茶の水女子大学学長
野口 弥吉	07.29	東京帝大農学部教授 農学博士
野手 敬二	10.12 10.18	富山県技手
野々 市太郎	11.04	千葉県香取郡橋村農民
野々 清高	11.04	千葉県香取郡橋村農民
野々 兵衛	11.04	千葉県香取郡橋村農民
野々村 浩	04.14 04.16	
野々上 慶一	05.28 05.30 06.01	松本勝太郎子息 甘藷関係を出版予定
野田 鑢五郎	09.07 09.13 09.17 09.18 10.07 10.15	神戸商工会議所
野村 盛康	08.26	広島税務監督局長 毛利公爵家の調査事務所 所長
野村 益三	01.24	貴族院議員(子) 研究会 帝国水産会長 南洋水産協会会長 教科用図書調査会第三部長 大日本農会理事
袴田 銀蔵	01.05 01.10 01.14 01.16 01.24 01.27 02.01 02.07 02.08 02.22 03.07 03.16 03.17 03.19 03.30 04.09 05.01 05.08 05.12 05.13 05.14 05.19 06.02 06.14 07.13 08.08 08.10 08.16 08.20 08.23 09.07 09.19 09.20 11.05 11.08 11.18 12.06 12.26	静岡県小笠郡西南郷村元村長 東遠明朗会
伯野 次郎	09.12 10.05 10.15	山口県小野田市
箱崎平三郎	1.28	茨城県石城郡小名浜町在
橋本 喜一	08.08 11.05	富山県経済部食糧課長

氏名	記載月日(mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
蓮池	02.19	神戸厚生館の経営者か？
長谷川 一郎	07.02 09.18	郷土史家 作家 雑誌『武蔵野』に寄稿
長谷川 重栄	04.11 06.02 06.18 06.26 07.02 07.04 07.07 07.14 07.16 07.25 08.01 08.13 08.14 08.19	台湾拓殖株式会社社員 東京支店勤務
長谷川 赳夫	02.02 02.03 03.21 03.24	貴族院議員(多) 無所属倶楽部
長谷川 直敏	01.01 03.24 11.29 11.30 12.28	陸軍中將 池之上小学校会顧問
長谷川 弥作	04.30	小笠郡西南郷村在
長谷川 整司	04.30 05.01	長谷川弥作の二男(衆院速記者養成所入所の身元保証人)
長谷川 好石	05.01	長谷川整司の叔父
長谷川 浩	06.10	鹿児島県農事試験場技師
長谷川	07.31	同日応召につき地元神社で歓送会
長谷川	11.21	新潟・雪洞庵住職新井石龍が塚山の長谷川氏分家に行く
畑 俊男	10.28	日本製鉄会社企画部長
畠田 昌福	02.17	愛媛県知事
幡野 儀作	02.11	宮崎高等農林学校教授(静岡中学出身)
畑野源一郎夫人	11.30	
八條 隆正	12.22	貴族院議員(子) 研究会
八条	10.30	林業関係 顧問
八田 善之進	11.26	宮内省侍医寮頭
八角	09.01	全国治水砂防協会役員
服部 源太郎	02.08 02.14 02.27 02.28 03.07 03.09 03.10 06.17 07.26 08.01 08.23 09.07 09.20 11.05 11.06 11.07	静岡市 丸山会々員 報徳社農事講師
服部 峻治郎	08.04	京都帝国大学医学部附属医院長
花房 崎太郎	11.28 12.04	貴族院囑託
花田	10.20	中央林業協力会 技師
葉原 慶三郎	02.16	香川県経済部農産課主任技師
早尾 丑麿	09.10	農林省山林局業務課長 中林協関係者
早川 幸市	09.02 09.04	住友鋳業 機械工業会社研究部長
林 健三郎	11.04	千葉県香取郡橘村農民
林 善作	11.04	千葉県香取郡橘村農民
林 忠一	11.04	千葉県香取郡橘村農民
林 常夫	04.28 07.28 07.29	元北海道庁林務課長
林 豊次	11.04	千葉県香取郡橘村農民
林 信夫	07.27 07.29	宮城県知事
林 学	09.03	愛媛県吏員か
林 喜親	06.11 06.19	鹿児島県祭務官補
林	09.18 10.20	中央林業協力会囑託
林	12.21	東京府食糧営団理事長
速水 九郎次	09.18	
原 清	04.02	海務院長官
原 二郎	10.08 10.12 10.18	岐阜県技師
原	03.31 04.28 05.19 05.21 06.06 06.07 06.30 10.10 10.11 10.15 10.30 11.27 12.02	中央林業協力会 理事
原口 仙造	01.20	鹿児島県農会副会長
原田 九郎左衛門	01.09	小笠郡南郷村長
原田 喜久男	04.08 05.30 09.21 10.23 12.07	陸軍兵長 故人 12.07は「喜久雄」と表記
原田 喜之助	01.09	原田九郎左衛門息子 中尉
原田喜之助母	01.09	原田九郎左衛門妻
原田 清	08.06	愛知県北設楽郡本郷町長
樋口 芳包	08.08 08.09 10.01	呉鎮守府法務長 海軍法務大佐
東久世 秀雄	02.02 03.24 05.09 05.10 07.14 08.17 10.15 11.01	貴族院議員(男) 公正会
疋田 通之助	11.05	医学者 遠州学友会 11月5日逝去
疋田 徹郎	11.05 11.07	通之助継嗣

氏名	記載月日(mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
久宗 董	06.02 06.30 07.26 08.01 08.26	台湾拓殖株式会社副社長 08.26は「董」と表記
土方 久徴	08.25 08.27	貴族院議員(勅) 同和会 徳川家家政相談人 8月25日逝去
日野西 資博	11.29	子爵 元宮内官僚
檜山 平三郎	07.06	農林省水戸出張所長
平井 勇	06.29 07.02	正金銀行人事部長
平岡 丈一	7.24	山口県下関漁港事務所長 県主事
平沼 亮三	05.13 09.08	貴族院議員(多) 同成会
平野 忠五郎	01.14	農友会員
平野 金一郎	03.29	
平野 繁太郎	03.30	遠州銀行常務取締役 翼賛政治体制協議会静岡県支部会員 大政翼賛会静岡県支部顧問 本文は「義太郎」
平野 研吉	07.06	茨城県那珂郡地方事務所・農会長
平山	06.03	清風会 庶務就任
平谷 竹一	01.10 01.26 02.23	静岡県経済部農務課農林技手 陸軍少尉
廣瀬 永造	11.14	和歌山県知事
馮 國光	09.06	
馮 國彬	09.06	東京工業大学電気科卒業
深尾 隆太郎	08.22	貴族院議員(男) 公正会 元南洋拓殖社長
深町 経蔵	02.27 02.28 03.01 03.07	財) 育心会理事長
福井 精平	04.23	防毒マスク用炭素粒製造方法発明
福岡 友仁	06.13 07.21 07.22 10.05 12.26	山口県経済部農務課長
福澤 安明	08.06 08.07	富山県東砺波郡北般若村 大地主 教導隊参加
福島甲子三未亡人	02.04	福島甲子三は新潟県長岡の実業家、社会事業家
福島 貞雄	03.07 03.12	青森県経済部長
福田 武三	04.22 04.30 05.01 12.26	
福地 誠助	11.04	日本甘藷馬鈴薯会社秘書課長
福羽 癸三	11.28	宮内省内匠寮工務課御用掛
藤井 宇多治郎	01.01	宮内省東京帝室博物館事務官
藤井 静一	08.25 08.26 09.09	社会事業家 報徳思想 岡山県
藤井静一夫人	09.09	
藤井 種太郎	09.29	皇子御養育掛長 宮中顧問官
藤岡 長敏	01.26 02.23 03.30 03.31 05.17 05.18 10.20 10.21 10.22 10.24 10.25 11.06	1月～静岡県知事
藤岡 光長	01.20 01.23 01.26 09.28 09.29 11.24	農林省林業試験場長 東大農学部教授 中央林業協力会
藤岡 厲一	10.08 10.10 10.11 10.12 10.18	名古屋木炭事務所岐阜出張所長
富士川 金二	03.02 08.20	宮内省大臣官房秘書課属
藤澤	09.24	香川県木社
藤田 久蔵	01.05 02.08 02.20 03.17 03.18 05.22 05.23 05.24 06.14 06.16 08.08 08.16 09.07 09.20	静岡県引佐郡中川村 献上甘藷栽培
藤田 忠信	07.20	島根県宍摩郡久利村農会長・産業組合長
藤沼 庄平	01.19 01.31 05.09	貴族院議員(勅) 研究会 元内務官僚
藤野 憲夫	12.26 12.27 12.28	沖縄県立第一中学校長(土方村出身)
藤原 銀次郎	05.25	産業設備営団総裁 海軍軍政顧問 翼賛政治会顧問 東條内閣国務大臣 (1943.11～) 『藤原銀次郎回顧八十年』
藤原 孝夫	02.27 09.07	千葉県知事
古園 万吉	06.05 06.07	福岡県経済部地方農林技師
古谷 光蔵	12.11	慶尚北道警察部警視
北條 篤八	01.28	貴族院議員(子) 研究会
坊城 俊賢	08.11 11.25	貴族院議員(男) 公正会
星 一	01.28	衆議院議員～4月 星製菓創業者

氏名	記載月日(mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
保科 正昭	09.08	貴族院議員(子)研究会
星野 輝興	11.03	元宮内省掌典職祭事課長、祭祀学者
星野 直樹	03.03 08.18	東條内閣書記官長
星野 義昭	05.20 05.21	佐賀県経済部林務課長
細川 護立	05.27 12.02	貴族院議員(侯)火曜会
細迫 兼光	10.05	小野田市長 元労働農民党書記長
保立 勲	11.04	千葉県香取郡橋村在住
保立 和一	11.04	千葉県香取郡橋村在住
保立 貴七	11.04	千葉県香取郡橋村在住
保立 喜平	11.04	千葉県香取郡橋村在住
保立 政一	11.04	千葉県香取郡橋村在住
保立 博	11.04	千葉県香取郡橋村在住
保立 一二雄	11.04	千葉県香取郡橋村在住
保立 裕助	11.04	千葉県香取郡橋村在住
堀田 健男	11.09 11.10 11.11	奈良県知事
堀田 正恒	03.09	貴族院議員(伯)研究会 貴族院請願委員長
穂積 陳重	09.13	法学者 元枢密院議長(1855-1926)
堀 巖	06.28	
堀 庫一	01.29 02.26 02.27 02.28 03.02 03.18 03.31 04.03 04.28 05.01 05.27 05.28 07.14 07.15 08.20 08.21 08.27 09.07 09.10 09.12 09.16 09.21 12.17	医師
堀	04.28 06.07 06.10 07.15 08.08 09.29 11.12	中央林業協会会主事
本田 正次	06.25	東京帝国大学理学部助教授 理学博士
本多 静六	01.23 03.06 09.18 10.15	中央林業協会理事 帝国林政会 林学博士
本多 猶一郎	03.09 03.10	子爵 宮内省主馬頭
本田 万三郎	07.17 07.20 07.21 08.01 08.10	日本甘藷馬鈴薯会社松江出張所長
本田	06.03	清風会幹事(庶務)
本間 精	02.14 06.05 06.06 06.07	福岡県知事 内務官僚
本間 俊平	09.01 11.29	社会事業家
本間俊平夫人	11.29	
本間	07.29	
枚田 四郎右衛門	04.25 04.26	内務省地方局神宮関係施設造営所長
前川 源之	04.23	滋賀県高島郡川上村長
前島 伊藤治	11.07	引佐郡伊井谷村長
真榮城 守行	01.29 01.30 03.05	沖縄県議会議員
前田 利定	07.15	貴族院議員(子)研究会
前田 利為	10.28	陸軍中将 侯爵 ボルネオ守備軍司令官 9月逝去
前橋 眞八郎	03.06 08.01 08.14 12.20	栃木県足利郡筑波村長
牧 福松	03.04 07.06	茨城県経済部農務課長
牧島 忠夫	02.08 11.18	大日本報徳社農事講師 下伊那郡下條村 睦沢
牧野 伸顕	02.26	伯爵 元内大臣 元宮内大臣
牧野 元春	02.17	愛媛県東宇和郡石城村国民学校長
牧野 良三	10.06	衆議院議員(推) 岐阜県 元通信官僚
真島 幸次郎	06.01	池之上小学校会顧問 清風会長
増田 次郎	10.27	日本放送電会社総裁 静岡育英会監事 静岡県志太郡稲川村出身
増田次郎娘	10.27	
増田 正直	02.27 03.03 03.04 03.09 05.03 05.04 07.02 07.05 09.07 11.03 11.04 11.05 11.26	千葉県庁嘱託 千葉県社会事業協会主事 甘藷会社千葉出張所長
枘本 輝義	10.12 10.13	富山県経済部長
町村 金五	01.10 04.10 05.17 10.09 10.12 10.13 10.18	富山県知事
松井 石根	05.25	大日本興亜同盟副総裁 陸軍大将
松井 三郎	05.14 06.19 11.17	明治生命 遠州学友会

氏名	記載月日(mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
松井 茂	05.09 11.24	貴族院議員(勅) 中央教化団体聯合会 理事長
松井 七郎	09.20	南郷村会議員
松井 二郎	11.08	掛川地域の農民
松井 秀五郎	01.01	
松井 信助	07.23	下関市長 朝鮮総督府官僚
松井 春生	11.25	日本商工会議所常務理事 元内務官僚
松井 六郎	01.05 01.12 04.07 08.16	東遠明朗会評議員 農事座談会参加
松浦 永次郎	11.18	海軍艦政本部第六部長 海軍少将 掛川 出身
松浦 正造	03.30 04.08 08.31	大日本報徳社農事講師
松浦 清三郎	01.10 02.08 04.08 08.31	東遠明朗会役員 静岡県小笠郡西郷村 大 日本報徳社農事講師
松尾 勉	10.08 10.10 10.11 10.18	名古屋木炭事務所長
松尾 直三	04.26 04.27	三重県四日市土木出張所長
松岡 剛夫	04.25 04.26 04.27 05.04	三重県土木部砂防課長
松田 巻平	02.05	陸軍中將
松平 親義	02.03	貴族院議員(子) 研究会
松平 恒雄	03.24 03.26 05.20	宮内大臣
松平 外與麿	01.19 08.18 09.08 09.15 12.15	貴族院議員(男) 公正会
松平 直國	10.17	
松平直國夫人	08.27	
松平 康春	02.02 03.24 12.22	貴族院議員(子) 研究会
松平 康昌	05.02	貴族院議員(侯) 火曜会 内大臣秘書官 長
松平 慶民	05.02	式部長官 子爵
松平 頼寿	02.02 05.04 05.20 05.31 06.01 06.03 06.16 06.23 06.25 06.26 06.27 07.02 07.03 07.08 07.09 10.28 11.25 12.24	貴族院議長(伯) 研究会
松平	09.01	全日本治水砂防協会役員
松永 幹	12.12	慶尚南道警察部長
松永 徳治	12.10	朝鮮忠清南道大田在住
松波 仁一郎	11.24	日本大学法文学部長
松野 清巧	09.02	住友アルミニウム製錬会社業務部長
松野 鶴平	07.07	衆議院議員(推) 熊本県
松野	04.01	全国治水砂防協会会員
松原 五百蔵	08.06 08.07	衆議院議員(推) 滋賀県
松原 茂樹	10.13 10.18	富山県立農事試験場園芸試験分場長
松前 重義	11.08	逓信省工務局長
松村 義一	01.19 01.28 03.18 05.19 11.24 12.19 12.23	貴族院議員(勅) 公正会 末広会
松村 真一郎	02.21	貴族院議員(勅) 元農林官僚
松村 光磨	01.16 02.25	東京府知事
松村 基弘	12.11	忠清南道知事
松本 學	01.19 01.31 03.18 08.12 08.18 08.25	貴族院議員(勅) 研究会 日本文化中央 連盟常務理事 元内務官僚
松本 勝太郎	02.04 05.28	甘藷栽培
松本 喜作	09.16	「農家経営ノ要領」著者、静岡県小笠郡 相草村出身の篤農家
松本 賢一	08.12 08.13	茨城県息栖町
松本 俊三	02.07	
松本 丞治	05.21	商法学者 貴族院議員(勅) 無所属倶楽 部
松本 俊雄	05.21	全森聯
松本 道定	02.01	貴族院守衛長
松本	02.04	水道工事関係者カ
松山 高四郎	01.16 03.14	
松山 智恵子	02.04 02.05 08.31	横浜在住
松山 信昭	01.30 03.16 03.19 05.01 05.08 05.13 05.14 06.02	帝国農会幹事

氏名	記載月日(mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
松山	09.16	弁護士
的場 慎一	10.13	石川県経済部農産課長
真鍋 勝	05.03	衆議院議員～4月 非推薦で落選 弁護士
真鍋	04.01	全国治水砂防協会
真野	06.25	博士
馬淵 逸雄	12.09	第五師団参謀長 陸軍大佐
丸尾 鈺六	04.10 04.13	
丸尾 武	04.13	
丸尾文雄夫人	04.13	
丸尾 文治	04.13 11.01	
丸尾	12.31	
丸本 彰造	07.16	大日本生活協会常務理事 陸軍主計少将
丸山 鶴吉	04.03 04.11 05.29 10.28 11.24 11.25 12.19 12.23	貴族院議員(勅) 同成会
丸山 秀夫	08.13 08.29	丸山方作息子
丸山秀夫夫人	08.29	
丸山 方作	01.01 01.04 01.05 01.10 01.12 01.14 01.16 01.20 01.25 01.29 01.30 01.31 02.03 02.05 02.16 02.17 02.27 02.28 03.01 03.02 03.06 03.09 03.10 03.15 03.16 03.28 04.06 04.07 04.08 04.11 04.15 04.19 05.03 05.21 05.30 06.02 06.13 06.14 06.15 06.18 06.19 06.26 06.30 07.02 07.04 07.07 07.14 07.15 07.16 07.21 07.22 07.25 07.26 07.28 07.29 07.30 08.01 08.02 08.05 08.13 08.19 08.26 08.28 08.29 09.01 09.06 09.07 09.09 09.10 09.11 09.13 09.16 09.20 10.17 10.22 10.26 11.01 11.05 11.15 11.16 11.18 12.06 12.07 12.15 12.16 12.17 12.20 12.23 12.30	農業技術の普及指導、さつまいも増産技術 大日本報徳社農事講師
丸山方作夫人	08.29	
丸山	12.26 12.31	
三浦 篤	01.22 01.23 08.01	宮内省帝室林野局長官
三浦 一雄	08.26 11.28	農林次官～4月 5月～衆議院議員
三浦 義男	11.26	宮内省大膳寮庶務課長・主膳課長
三浦 安藏	01.18 01.20 04.07 04.10 04.15 07.02	同成会書記
三浦	05.16	博士
三浦	11.24	林業関係
三島 卯四郎	04.22	大阪土木出張所工務部長
三島 なほ	01.07 02.05 02.19 04.13 10.07 10.19 10.28 10.31 11.14 11.15 11.29 12.07 12.13 12.14 12.17 12.20 12.24 12.25 12.26	弥八の娘 三島甫妻 直子
三島 甫	01.07 02.05 02.19 03.05 03.06 04.13 07.29 10.07 10.19 10.31 12.07 12.12 12.14	河井直子夫
三島甫父	10.07	
三島甫母	10.07 11.14	
三島 淳三郎	10.17	三島甫弟
三島 那美子	10.07	三島甫妹
三島 通陽	05.04	貴族院議員(子) 研究会
三須 精一	11.01 11.04 12.15	貴族院議員(男) 公正会
水谷 熊吉	01.10 02.08 02.09	大日本報徳社講師
水谷 益三	10.09	名古屋鉄道局岐阜県駐在員
水谷 □	09.08	内務省国土局河川課技師 職員録ツブレ
水谷	12.26	
水野伊太郎夫人	06.16	水野伊太郎～外務省通商局長(～5.29) 外務省南洋局長(5.29～11.1) 大東亜省南方事務局長(11.1～)
水野伊太郎母堂	06.16 10.19	

氏名	記載月日(mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
水野 定治	12.17	『天竜翁金原明善』『金原精神』著者 水野写真機店
水野 梅暁	12.02	浄土真宗本願寺派僧侶
水野 鍊太郎	07.15	貴族院議員(勅) 交友倶楽部
水野	12.26	
三隅 虎雄	02.17	愛媛県農事試験場長
溝口 正	01.14 03.07 04.09	大日本報徳社書記
溝口 禎次郎	09.10	東京帝室博物館列品課長
溝渕 増巳	03.19	内務省警保局経済保安課事務官
三井 進午	10.19	農林省農事試験場技師 武蔵高等学校同窓会
三谷 重忠	09.24 09.25	徳島県経済部長
三橋 四郎次	03.25 04.07 04.10 04.12 05.15 05.17 09.21 11.06 12.01 12.05	貴族院議員(多) 同成会
三矢 宮松	01.26 04.16 06.25 09.15	中央林業協力会顧問 元宮内省帝室林野局局長
光山 鐵藏	12.12	釜山皇民錬成道場主事
緑川	06.25	中央林業協力会書記
南 弘	07.15	枢密顧問官 元台湾総督 元貴族院議員(勅)
南	04.17	医学博士
宮内 琢	09.24	高知営林局属
水谷川 忠麿	02.02	貴族院議員(男) 公正会
宮城 良雄	07.07	住友生命保険会社員
三宅 秀太	01.08 04.22 04.23 04.24	滋賀県土木課長 技師
三宅 雪嶺	05.21	帝国芸術院会員
三宅 宗八	09.02	愛媛県経済部林務課主事
宮崎 重雄	11.13 11.14	和歌山県経済部 地方農林技師
宮崎	11.12	主事(中央林業協会カ)
宮澤 浩	03.07	陸軍少将
宮下 九太郎	10.20	
宮田 泉	06.07	農林省鹿児島営林署属
宮田 為益	07.08	山梨県総務部長兼経済部長
宮田 光雄	02.02 02.03 02.04 03.24	貴族院議員(勅) 研究会
宮原 與助	06.11 06.19	鹿児島県肝属郡始良村長
宮村 才一郎	10.01 10.02 10.03	広島県知事
宮脇 参三	10.01	広島県警察部長
三代川 清造	09.24	香川県専売局技師
三善 信房	01.18 01.30 01.31 12.16	衆議院議員(推 元政友会)
三輪	06.18	寿壮カ
向井 長年	11.09	奈良県経済部林務課 地方農林技師
椋木 為一	07.19	出雲市助役
村尾	04.17	晴光園療院理事
村尾	11.17	遠州学友会
村上 国吉	02.21	衆議院議員(推 元民政党 農業技術者)
村上 博靖	01.12	静岡県農事試験場技師
村上 富士太郎	01.20 01.23 03.07 03.31 04.28 05.05 05.09 05.11 05.16 05.19 06.23 09.01 10.15 11.27 12.02 12.18	日本木材社長 中央林業協会理事 大日本山林会理事
村田 省蔵	09.16	比島派遣軍最高顧問 元大阪造船社長 貴族院議員(勅) 同和会 第2次3次近衛内閣通相兼鉄道相(2次に一時離任期間あり)
村山 二郎	03.09	佐賀県経済部農務課長
村山	07.22	山口県技手
毛利 基	02.14	佐賀県警察部長
毛利公爵家	08.26	
望月 正	07.11	森村山林事務所員

氏名	記載月日(mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
本原 正利	04.23	滋賀県総務部地方統計主事
森 茂樹	08.04	京都帝大医学部教授
森 繁樹	11.14	和歌山県経済部林務課長
森 肆郎	05.20	農林省農政局農産課長
森川 助三郎	09.23 09.26 09.28 09.29 10.01	日本木材社顧問
森口 淳三	01.04 01.05 02.08 03.09 03.16 03.17 03.25 04.06 04.07 04.16 04.18 04.19 05.01 05.02 05.05 05.15 05.17 05.19 05.23 05.29 08.13 08.20 09.19 11.11 11.25	5月～衆議院議員(推 引佐郡気賀町長 翼 賛会県支部協力会議員・顧問 県翼賛壮年 団総務
森重 半治	10.04	岩国市議会議長
森下 國雄	09.08	全国治水砂防協会役員
森下 長男	10.04	山口県経済部地方農林主事
森谷 博	01.28 02.08	大日本報徳社農事講師 南設楽郡東郷村竹弘
森山 鋭一	08.18	東條内閣法制局長官
森山 耕田	08.06 08.07	新潟県西蒲原郡国上村 大地主
森村 開作	07.03	森村組社長 男爵
八木雅枝子	01.31	
八木雅枝夫人	02.01 02.03 08.23	
八木 雅夫	08.30 09.01	
八木雅夫夫人	09.01	
八木 元八	04.14 05.01 05.03 06.18 06.19	5月～衆議院議員(推 翼賛政治会 元 ハル濱総領事 満州国安東省労務興国会 理事長 満州国協和会安東省本部委員
八木 芳信	05.11	長野県経済部長
八木 力三	06.19 11.17	遠州学友会
八木	03.29	培本塾 見習士官
安井 英二	08.12 08.18	貴族院議員(勅) 無所属倶楽部 内務官 僚
安井 正吾	03.05	徳川公爵家家扶 陸軍少将
保井 誠一郎	01.01	安井誠一郎(前新潟県知事)の誤記か
安田 鐵三	10.04	吉川子爵家関係者
安田 尚義	02.12	鹿児島県史蹟主事
安間 忠一	05.31 06.21	元満州拓殖会社社員
八角	09.01	全日本治水砂防協会役員
矢田部 昌子	01.12 01.14 01.31 02.04 02.05 04.13 05.23 05.24 12.17 12.19 12.20 12.21 12.22 12.23 12.24	要の姪 矢田部盛枝妻
矢田部 盛枝	01.31 04.13 12.18 12.19 12.20 12.21	二荒山神社宮司
矢野 忠一	03.11	秋田県経済部産業課地方農林主事
矢吹 省三	01.19 03.21 03.22 03.23 03.25 04.02 08.18 11.17 12.03 12.15 12.29	貴族院議員(男) 公正会
矢部 貞夫	08.12	
矢部 進	08.25	敏子の妹・綾子の結婚相手
矢部 立志郎	07.27	農林省青森営林局長
山内 義文	03.12 03.13 06.27	岩手県知事 6月15日～長崎県知事
山内 倭文夫	07.27	農林省東京営林局経営部長
山川 黙	10.19	武蔵高校校長
山県 有道	01.29 02.03 04.29 05.08 09.08 12.03 12.15 12.22	貴族院議員(公) 火曜会
山木 武夫	08.06	山形県東田川郡新堀村産業連盟会長
山口 泉	02.16 09.24	香川県経済部長
山口 國太郎	04.01	
山口 繁	07.22	甘藷会社[山口?]出張所長
山口 文造	07.04	鈴木寛一次女美代子夫
山口 美代子	07.04	鈴木寛一次女
山口 安憲	02.03 03.14 04.16	三井報恩会 元内務官僚 社会福祉関係
山口 立	01.20 12.18	農林省山林局監理課長
山口	01.20 01.23	中央林業協力会

氏名	記載月日(mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
山口	04.17	晴光園療院理事
山崎 朝雄	03.07	群馬県農業試験場技手ママ
山崎 巖	03.09 03.20 03.21 11.24	内務次官
山崎 覚次郎	08.05	静岡育英会副会長 元東京帝大教授
山崎 克子	01.18	本文「克子」山崎カ
山崎 義一	07.20	島根県浜田市長
山崎 金五郎	01.31 04.11	下谷住
山崎金五郎夫人	01.31 12.23	
山崎 健太郎	01.04 01.05 02.07 08.05 12.31	資産家 地主 山崎覚次郎親族
山崎健太郎夫人	08.05	
山崎 昇二郎	01.02 01.10 01.18 01.21 01.23 01.26 01.29 02.11 02.21 04.13 08.02 08.05 08.06 08.07 08.08 10.17	弥八弟 河井家より山崎家養子 興亜院 嘱託 華中棉産改進黨
山崎 赳	01.18 01.21 01.28 01.29 10.30 10.31	山崎はま家族 応召 10月～見習士官
山崎 次郎	08.28 09.22	
山崎 常磐	02.09 12.07	井伊谷宮宮司 『遠州報国隊略歴』編 大日本報徳社関係
山崎 はま	01.18 01.29 04.11 04.13	山崎昇二郎妻 はま子
山崎 好知	09.21	大日本報徳社関係
山崎 良太郎	08.05	山崎健太郎息
山沢 和三郎	12.09 12.22	朝鮮総督府農林局長
山下 暉夫	11.25	内務省国土局東京土木出張所長
山田 愛二	07.17 07.20 07.21	島根県経済部企画課地方農林主事
山田 惇元	03.29 05.30 06.01	静岡県小笠郡桜木村家代
山田 いく子	05.30	故山田元治関係者
山田 金右衛門	07.19	島田県会議長 前出雲市長
山田 しづ江	06.01	山田惇元母
山田 俊介	01.06	愛知県内務部長
山田 丈右衛門	05.20 05.21 06.07 06.11 06.12 06.16	鹿児島県経済部林務課長
山田 徳四郎	04.25 04.26	内務省地方局神宮関係施設造営所理事官
山田 秀蔵	05.15	ビルマで百貨店経営
山田 平四郎	01.13	藤相社事務所
山田 まさ	01.11 03.29 05.30 06.01	静岡県小笠郡桜木村家代
山田 又衛	12.15	田方郡北狩野村長
山田 元治	01.13 05.30	故人(三周忌)
山田元治未亡人	03.29	
山田 美治	07.19	出雲市議会議長
山根 健男	11.01 11.04 11.26	貴族院議員(男) 公正会
山村 正輔	12.11	慶尚北道内務部長
山本 亮	09.02 09.03 09.04	理化学研究所研究員 農学博士 静岡県出身
山本 栄枝	01.10 01.12 03.20	山本福吉息子
山本 熊一	12.16	外務省東亜局長兼アメリカ局長兼外務次官 9月～11月 11月～大東亜省次官
山本 五郎	02.10	
山本 重兵衛	04.26	伊勢神宮技手
山本 四郎	03.12	青森県経済部農産課長
山本 信次郎	03.03	海軍少将 元宮内省御用掛
山本 盛一	07.09	山梨県南巨摩郡富河村長
山本 達雄	01.14	男爵 貴族院議員(勅) 交友倶楽部 元蔵 相・農商務相・内務相
山本 貞蔵	09.24	香川県経済部林務課長
山本 福吉	01.10 02.08 02.28 03.01 03.02 03.03 03.07 03.30 07.26 08.16 09.07 09.20	南郷村明朗会員 金谷町菊川
山本 三男	12.09	京城師団長 陸軍中將
山本 光政	06.09	鹿児島県高等農林学校教授
山本 友一	07.24	下関中央青果会社専務取締役
山本 幸雄	09.24	香川県内政部教育課長
山本 泰	05.01	陸軍曹長 掛中教師

氏名	記載月日(mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
山本 芳輔	07.22	防府市長 陸軍少将
山本 良吉	07.14 08.26 10.19	武蔵高校校長
山本	05.25	陸軍少将
湯浅 倉平	05.12 12.24	元内大臣 貴族院議員(勅) 同成会 1940年12月逝去
結城 豊太郎	10.27	日本銀行総裁 大蔵省顧問
結城 廣太郎	04.01	
湯川 又夫	12.10 12.22	朝鮮総督府水原試験場長
湯河 元威	03.14 03.19 07.11	農林省食糧管理局長官
雪澤 千代治	02.13	熊本県知事 内務官僚
湯沢 三千男	03.22	内務次官 2月～東條内閣内務大臣
湯本 嘉平治	11.20 11.21	新潟県南魚沼郡浦佐村長
湯本嘉平治父	11.21	
湯本嘉平治夫人	11.21	
横井 徳治	10.19	武蔵高等学校教授
横尾 惣三郎	02.02 02.25 02.26 02.27 02.28 05.15 07.04	元農林官僚 農民講道館創設者
横田 進	08.22	
横幕 捨次郎	10.04 10.05 10.06 10.24	山口県技師
横溝 光暉	02.18 06.27	岡山県知事～6月～熊本県知事
横光 武徳	09.24	農林省高知営林局高松営林署長
横山 正蔵	06.05	福岡県宗像郡池野村長
吉江	11.12	吉野林業営業部長
由雄 又次郎	07.18 07.19	島根県経済部長
吉川 元良	01.15	庵原郡飯田村高橋報徳社長
芳澤 謙吉	03.09 03.10 03.23	特命全権大使(仏印) 貴族院議員 (勅) 交友倶楽部
吉島 六一郎	11.11 11.25	宮内省皇族附高松宮附武官
吉田 耕造	07.23 07.24	下関市助役
吉田 茂	08.11 08.18 11.25	貴族院議員(勅) 無所属倶楽部 内務官僚
吉田 善佐	08.28	
吉田 知三	07.05 07.12 11.04 11.05 12.30	千葉県香取郡神代村長
吉田 貞吉	09.04 09.26	住友アルミニウム製錬会社社長 化学工業社長 住友本社理事 元四国電力取締役
吉田 曄生	11.23	大政翼賛会総務局企画部副部長
吉田 文一郎	09.26 09.27 09.28 09.30	高知営林局長
吉田 増次郎	03.22	海軍中将(故人)
吉田 安喜雄	02.11	宮崎高等農林学校長
吉田	12.13	関釜連絡船同室の客
吉村 信吉	09.15	陸軍予科士官学校教授 理学博士
吉村夫人	09.16	
米村 進之助	12.03 12.04	山梨県経済部土木技師兼道路技師
米原 章三	02.06	貴族院議員(多) 研究会
米山 梅吉	02.03 03.14 04.16 05.13 06.28 09.10 10.27 12.27	貴族院議員(勅) 同成会 静岡育英会監事 三井報恩会長
李 燧煤	06.27 06.29 07.14 07.16 07.24 08.01 08.22 08.24 09.01	貴族院事務官
六字	03.17	小笠郡西山口村報徳社長
和久田	03.13	岩手県経済部長ママ
鷲山 恭平	01.12 01.25 02.08 02.09 02.23 03.18 03.30 04.05 05.29 05.30 07.13 12.06 12.07 12.31	大日本報徳社常務理事 4月～顧問
和田 尹	10.04	山口県経済部林務課長
和田 嘉六	10.30	長野県土木部砂防課長
和田 喜代紀	07.31	池之上近隣の出征兵士
和田 謙三	03.08 03.24 08.10 10.20 11.03 11.24	池之上国民学校会理事、副会長
和田 貞臣	02.10	大分県経済部長
和田 真	07.04	池之上国民学校会関係

氏名	記載月日(mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
和田 八重造	10.19	武蔵高等学校教授
渡辺 覚造	01.29 09.08	貴族院議員(多)同成会
渡辺 史郎	08.09 08.22 08.24	8月～陸軍軍属
渡辺 周	06.18	15日急逝、葬儀
渡辺 龍雄	03.05	宇都宮高等農林学校教授
渡辺 男二郎	07.21 07.22 07.31 10.05	山口県経済部長
渡辺 艶子	09.18	
渡辺 豊日子	11.24	朝鮮森林開発会社々長
渡辺 信男	08.15 10.25	静岡県学務部長 名刺A-9 132.jpg
渡辺 平三郎	07.20	島根県女子師範学校校長
渡辺 正敏	12.12	朝鮮慶尚南道産業部農務課長
渡辺 祐四郎	03.21	
渡辺 亘	05.16	宮中顧問 池之上小学校会顧問
渡辺	03.29	培本塾
渡會 緋三郎	07.24 08.20	下関市鮮魚介出荷統制組合副組長
名前のみ		
西欧人		
皇族関係		
明治天皇	07.30 10.31	
大正天皇	12.25	
昭和天皇裕仁	03.25 03.26 04.03 04.29 05.27 05.29 05.30 06.25 07.30 10.16 10.17 11.02 12.16 12.25 12.26	
香淳皇后	02.28 03.06 03.24 03.25 04.03 10.14 10.16 10.17 11.02 12.03 12.25	
貞明皇太后節子	01.01 04.03 06.25 07.30 11.06 12.25	
継宮明仁	04.29 12.23	
朝香宮 孚彦	04.03	
朝香宮 千賀子	04.03	
朝香宮 鳩彦	04.03	
秩父宮 雍仁	06.25 11.06	
高松宮 宣仁	04.03 04.26 05.26 11.25	
三笠宮 崇仁	01.21 04.03	
閑院宮 春仁	04.03	
常陸宮 正仁	11.28	
久邇宮 邦昭	08.14	
梨本宮 守正	04.03	
東久邇宮 稔彦	04.03	
清宮 貴子	03.02	
孝宮 和子	09.29	
照宮 成子	12.06	
久宮 祐子	03.08	
朝鮮王室		
李 垠	04.03	
役職のみ 人名判明せず		
国府台陸軍病院院長	05.08	
相模原陸軍病院院長	05.07	
広島県総務部長	10.01	広島県は総務部長を置かない
林学士	07.01	仏印の森林視察経験者

Working Paper Series

Graduate School of International Relations
University of Shizuoka

- 01-01 Hirohisa Kohama, *Misunderstandings on Japan's Economic Development: Japan's Experience and its Lessons for Transition*, September 2001
- 01-02 Yasuyuki KOKUBO, *The EU Enlargement: Its Implications for Europe and Asia*, September 2001
- 01-03 小浜裕久「日本の ODA —その歴史的展開」(*Japan's ODA: A Historical Overview*) 2001 年 11 月
- 01-04 小谷野俊夫「グリーンズパン議長の金融政策」(*An Evaluation of US Monetary Policy by Chairman Greenspan*) 2002 年 3 月
- 02-01 Masaharu Hishida, *China and the WTO: The Effect on China's Sociopolitical Stability*, Summer 2002
- 03-01 梅本哲也「『核兵器による秩序』と『RMA による秩序』」2003 年 7 月
- 03-02 小浜裕久「グローバリゼーションと南北格差」2003 年 9 月
- 03-03 長谷川純一・小浜裕久「ODA 改革—我が国援助政策の転換とその経済学的意義」(*Japan's ODA: Its Policy Change and Economic Implications*) 2004 年 2 月
- 05-01 小浜裕久「援助と政策一貫性—日本の国際貢献を考える」2005 年 10 月

Working Paper Series

Graduate School of International Relations
University of Shizuoka

- 07-01 小浜裕久「アジア通貨危機と IMF・日本」2007年10月
- 09-01 小浜裕久「世界経済危機と資本主義の将来」2009年9月
- 10-01 飯野光浩・小浜裕久「アジア危機、世界経済危機とグローバル・インバランス」2010年11月
- 11-01 小浜裕久「日本の TPP 参加と農業改革・産業構造調整」2011年10月
- 12-01 梅本哲也「米中関係と大量破壊兵器不拡散」2013年2月
- 14-01 前山亮吉・森山優（編）河井重蔵・弥八研究会（校訂）『河井弥八日記』『河井弥八手帳』一九五二年」2014年9月
- 16-01 前山亮吉・森山優（編）河井重蔵・弥八研究会（校訂）『河井弥八日記』一九四〇年」2016年9月
- 18-01 前山亮吉・森山優（編）河井重蔵・弥八研究会（校訂）『河井弥八日記』一九四一年」2018年9月
- 20-01 梅本哲也「INF 全廃条約の失効と米露中戦略関係」2020年5月
- 22-01 森山優（編）河井重蔵・弥八研究会（校訂）『河井弥八日記』一九四二年」2022年3月

河井弥八日記 一九四二年

2022年3月31日 第一刷発行

編集・解題 森山 優

校訂 河井重蔵・弥八研究会

発行者 静岡県立大学大学院国際関係学研究科

〒422-8526 静岡市駿河区谷田 52-1

本ワーキングペーパーにおける議論は、研究会の見解であり、大学を代表するものではない。